

講義科目名称： 教育学

授業コード： 4N001

英文科目名称： Education

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
井上 暁子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>教育とは何か            本科目の目的や本科目で取り上げる内容、進め方等についてのガイダンス。            「教育とは何か」について概観し、教育学を学ぶことの意味を捉える。            topics： 教育とは何か 教育の意義 教育の目的 教育学を学ぶことの意味</p>	井上暁子
	<p>第2回</p> <p>教育と子ども家庭福祉            子どもの権利や子ども観、影響を与えた教育思想、教育と福祉に関する法などについて知ることを通して、「教育」と「子ども家庭福祉」には深い関連性があることを理解する。            topics： 子ども観 教育思想 児童の権利に関する条約 教育に関する権利 児童福祉法・教育基本法と教育</p>	井上暁子
	<p>第3回</p> <p>教育制度の基礎            教育を運用していくための制度について、教育の歴史的変遷と現在の教育制度、教育課程、その基準となる学習指導要領について知ることから学ぶ。            topics： 教育制度の歴史的変遷 日本の教育制度 教育課程 学習指導要領 学習指導要領改訂の変遷</p>	井上暁子
	<p>第4回</p> <p>乳幼児期の教育            就学前の子どもの教育について、どのような教育の場があるのかや、幼児教育の基本的な考え方について理解する。            topics： 幼稚園・保育園・幼保連携型認定こども園 幼児教育の基本的な考え方 5つの領域 育みたい資質及び能力 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿</p>	井上暁子
	<p>第5回</p> <p>幼児教育の実際            幼稚園における実際の保育実践の映像を視聴することにより、子どもが主体的に環境と関わり、遊びを通して育つ幼児教育の本質と重要性について、自身の幼稚園・保育園時代を振り返りつつ具体的に理解する。            topics： 子どもの成長と発達 遊び 環境を通して行う教育 幼児期にふさわしい生活</p>	井上暁子
	<p>第6回</p> <p>学校教育現場の諸問題            現代の社会において、学校教育の現場で起きている不登校やいじめに代表される様々な問題について、その現状と課題や対応等について知る。            topics： いじめ 不登校 学級崩壊 暴力行為、体罰 性的マイノリティー</p>	井上暁子
	<p>第7回</p> <p>家庭環境にかかわる諸問題を抱える子どもと教育            現代の社会において、家庭環境に起因する貧困やヤングケアラーなどの様々な問題について、その現状と課題や対応等について知る。            topics： 子どもの貧困 ヤングケアラー 外国籍の子ども 少年非行 教育格差</p>	井上暁子
	<p>第8回</p> <p>児童虐待と教育            児童虐待について、定義、現状、早期発見のポイント、通告などの基本的な事項を理解し、対人援助の職に就く自分にできることは何かを考える。また近年話題となっている「教育虐待」について知る。            topics： 児童虐待とは 児童虐待の早期発見 児童虐待通告 児童虐待と学校・保育現場 教育虐待</p>	井上暁子
	<p>第9回</p> <p>社会的養護の下で生活する子どもと教育            社会的養護とは何かと、児童養護施設などの児童福祉施設の機能や役割について知り、そこに暮らす子どもに対してどのように教育が保障されているのかを理解する。            topics： 社会的養護 児童福祉施設 里親 施設と学校との連携 教育や学習・進学に関する課題</p>	井上暁子
	<p>第10回</p> <p>特別な配慮を要する子どもと教育            特別支援教育とは何かや、障害のある子どもの学びの場としての特別支援学校や特別支援学級・通級による指導の対象や教育体制、教育課程について等、特別支援教育の概要を理解する。            topics： 特別支援教育 インクルーシブ教育 障害 特別支援学校 特別支援学級 通級による指導 自立活動</p>	井上暁子

	第11回	保健・医療上の配慮を要する子どもと教育 重症心身障害児、医療的ケア児、病虚弱児など、保健・医療上の配慮を要する子どもの教育の場や教育の体制について知る。 topics：重症心身障害児 医療型障害児入所施設 訪問教育 医療的ケア児 病弱・身体虚弱児 特別支援学校(病弱)	井上暁子
	第12回	チームとしての学校 学校では、教職員をはじめ教員以外の学校スタッフの多様な人材がそれぞれの専門性を生かして能力を発揮し、連携・協働しチームとして教育にあたっていることを学ぶ。 topics：チーム学校 学校保健 養護教諭 スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー	井上暁子
	第13回	教育相談 教育現場で行われる「教育相談」について、その意義・目的、実施機関・実施者、対象、構造、生徒指導との兼ね合い等の事項を理解する。また対象者との信頼関係を築く上で大切な基本的態度について知る。 topics：教育相談 四層構造の教育相談 カウンセリングマインド 受容 共感 傾聴	井上暁子
	第14回	キャリア教育 一人ひとりの社会的・職業的自立に向け必要な基礎となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促すキャリア教育について理解する。 topics：キャリア教育 キャリア発達課題 基礎的・汎用的能力 職場体験 進路指導 キャリアパスポート	井上暁子
	第15回	社会教育と生涯学習 青少年や成人に対して地域で行われる社会教育の位置づけや社会教育施設について学ぶ。また生涯学習の理念や意義について知り、私たちが人生を豊かにするために生涯にわたって学習し続けることができることを理解する。 topics：社会教育 社会教育施設 生涯学習 生涯学習を支える社会教育の場 リカレント教育との違い	井上暁子
科目の目的	教える育てるという2方向の作用を含む概念である教育について、教育の概念・教育の制度・教育の内容等、幅広い観点から基本的事項を学ぶ。また、子どもをめぐる近年多様化複雑化する様々な問題・課題についてとりあげ、教育との関連から考察する。それらの学びを通じて、医療職という対人援助職に必要な教育者の素養を身につける。 【看護職としての態度】【対象の理解】		
到達目標	教育の役割や制度について基本的な事柄を理解すると共に、現代社会における教育に関する諸問題について関心を高め、自らに引き寄せて考えられるようになる。また、教育学の学びを活かして対人援助職として、様々な課題を抱える対象者を理解しどのように向き合っていくかを自分の言葉で説明できる。		
関連科目	心理学、教育心理学、社会学		
成績評価方法・基準	期末レポート（70%） 授業内小レポート（30%）：小レポートは通常の授業内で何度か実施（次回講義の冒頭でフィードバックを行う）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyにより配布の講義資料を読んで予習する。授業後には内容を振り返り、扱われたテーマについて理解を深め復習する。また、日頃から新聞、テレビ、インターネット等で「教育」に関連した記事に関心を持ち目を通すようにし、それらを含めて1コマあたり180分を目安に自己学習を行う。		
教科書	使用しない		
参考書	授業内で随時紹介する		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより講義資料を配布します（原則として前回授業翌日から当該日まで）。各自、PCにダウンロードして授業に持参してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ディスカッションを実施		
ナンバリング	RBa-102		

講義科目名称： 心理学

授業コード： 4N002

英文科目名称： Psychology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
大石 武信			

授業形態	講義（一部ワークを実施予定）	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>人間のリズム 人間は様々な周期のリズムを体内に持っている。そのリズムとはどのようなもので、そのリズムが崩れた時に心身にどのような影響があるのかを知ることにより、自分自身と患者の特徴を理解することができるようになることを目指す。また、この章で扱う内容を自分自身が実践することにより、心身の健康維持・促進に役立てるようにする。 key words：サービズ、ウルトラディアンリズム、インフラディアンリズム、睡眠</p>	大石 武信
	<p>第2回</p> <p>パーソナリティ1 パーソナリティとは人格、性格、気質など色々と表現されることがある。人間理解を進める際に最も直接的に判断する指標となることも多い。普段の日常生活でもよく使われるために、間違った解釈をしてしまい、上手な関わり方が出来なくなる危険も持ち合わせている。そこで、パーソナリティとはどのようなものかを理解し、自己理解・他者理解に役立てていく能力を身につけることを目的とする。 key words：パーソナリティ、人格、性格、気質、遺伝と環境</p>	大石 武信
	<p>第3回</p> <p>パーソナリティ2 パーソナリティの理解のための分類法として古くからある類型論を紹介する。沢山の理論が存在するのですべてを紹介することは出来ない。そこで、考え方が特徴的なもの、看護の他の科目で扱う可能性の高いもの、過去の国家試験で出題されたものを紹介していく。 key words：類型論、ガレノス、クレッチマー、シェルドン、シュブランガー、ユング</p>	大石 武信
	<p>第4回</p> <p>パーソナリティ3 パーソナリティの類型論のメリットは全体像が分かりやすい。その一方細かい部分に分かりにくいというものであった。そこで細かい部分を理解したいという考え方が出てきた。そのパーソナリティの細かい要素のことを特性といい、その特性がどの程度あるのかを測定することによってその人を理解しようとする考え方を特性論という。 また、パーソナリティ全体を構造的にとらえるアプローチもあり、それを構造論という。こちらも代表的な理論を紹介する。 key words：オルポート、キャッテル、構造論、アイゼンク、フロイト、レヴィン</p>	大石 武信
	<p>第5回</p> <p>パーソナリティ4 対象者の行動を見る「観察法」や直接対面してのやり取りから情報収集できる「面接法」など、パーソナリティを理解する方法にもいくつかのものがある。本書では、第2章から第4章までにパーソナリティの定義や理論を紹介してきた。そこで、そのパーソナリティを理解する手段としてのパーソナリティ検査について学ぶ。医療で使用される様々な検査と同様に、パーソナリティ検査についても多くの留意点がある。その点もしっかりと理解できることを目的とする。 key words：信頼性と妥当性、質問紙法、作業検査法、投影法</p>	大石 武信
	<p>第6回</p> <p>学習 パーソナリティにおいて、遺伝要因が大きいことは説明したが、当然のことながら経験による環境要因も大きい。この日常生活において経験を通じてそれまでと行動が変わっていくことを学習という。代表的な学習の理論を学ぶことによりそのメカニズムを日常生活に応用できるようにしていくことを目指す。 key words：古典的条件づけ、道具的条件づけ、観察学習（モデリング）、練習</p>	大石 武信
	<p>第7回</p> <p>記憶 日常でも「記憶」という用語は頻繁に使用するとともに重要なものである。過去に経験した情報を扱うという点では第6回の学習と重なる部分も多いが、心理学領域においては専門的に扱われ、古くて新しい研究領域である。人間にとって必要不可欠な能力であり、また、普段の生活や試験勉強などにも応用が利くことが多くあるもので、ここでしっかりとそのメカニズムを理解して、使えるようにする。また、忘却についての知見も深める。 key words：記憶のメカニズム、リハーサル、忘却</p>	大石 武信

第8回	<p>発達1 発達の研究法と発達理論 看護に限らず、日常生活場面においても「生涯発達」のように見かけることも多い発達とはどのようなものかについて学ぶ。特に看護では、「小児看護」「成人看護」「老年看護」のように発達段階に応じた内容でカリキュラムが構成されていることから、その理解はとても重要なものとなる。この章では、発達の定義や研究法、発達理論などを理解し、この先の各発達段階の理解の基礎を作ることを目的とする。</p> <p>key words：縦断的研究と横断的研究、コホート要因、ピアジェ、フロイト、マラー、エリクソン、ハヴィガースト</p>	大石 武信
第9回	<p>発達2 各発達段階 胎児期・乳児期 近年、人間の発達とは受精から死までの生涯発達の考え方が主流である。当然その流れはどこかで突然切れるものではなく、連続性を持っている。その中でも大きく変化する段階がある。この回では産まれる前の胎児期と出生後の乳児期を取り上げ、その特徴を理解する。</p> <p>key words：聴覚の発達、視覚の発達、知覚の狭窄化、愛着（アタッチメント）、ホスピタリズム、母性剥奪、自己の芽生え</p>	大石 武信
第10回	<p>発達3 各発達段階 幼児期・児童期 乳児期に続き外部からの刺激の処理能力の向上である幼児期の知覚についてまとめるとともに、大人とは違う処理をしている点も挙げる。その後の児童期では、それまでの刺激の処理能力の安定とともに、最も重要な社会性の獲得に重点を置いてまとめる。</p> <p>key words：第一次反抗期、共感覚、言語の発達、informal group(非公式集団)とformal group(公式集団)、ピグマリオン効果</p>	大石 武信
第11回	<p>発達4 各発達段階 青年期 おそらく本講義を受講している人の多くがこの青年期に相当するのではないだろうか。この章では、子供から大人への移行期である青年期とはどのようなもので、どのような特徴があるのかを学ぶ。自分自身のこれからの人生を考える意味でも自分に置き換えながら理解を進めてい居て欲しい。</p> <p>key words：第二次反抗期、アイデンティティ（自我同一性）の確立、モラトリアム</p>	大石 武信
第12回	<p>発達5 各発達段階 成人期 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間アイデンティティの確立を始め、様々な課題の達成を求められる激動の青年期の後が成人期である。そのため一見すると安定した印象を持つことがある。しかしながら、社会や家族など組織の一員としての役割が重視されるようになり、その変化による困難も同時に出てくる。一般に考えられている誤ったイメージとの相違を含めて理解していくことを目的とする。</p> <p>key words：1次的老化と2次的老化、認知的変化、結婚と家族、タイプA</p>	大石 武信
第13回	<p>発達6 各発達段階 老年期 心理学のみならず、医学の面からも老化（加齢）現象をしっかりと扱いだした歴史は実はまだ浅い。これは世界的に平均寿命の上昇など高齢化が進み、人口に占める高齢者の割合が多くなってきたため必要に迫られた側面がある。実際、研究が進み多くの知見が得られてきてはいるが、高齢化の速度に追い付いていないとも言える。その中で、一般には勘違いされている点も含め、高齢者の特徴を学んでいく。</p> <p>key words：加齢・老化・aging、パフォーマンスとコンピテンス、流動性知能と結晶性知能、老性自覚</p>	大石 武信
第14回	<p>人間の欲求と動機 人間の行動の原動力となっているエネルギーについて、心理学的観点から学ぶ。特に看護においては「マズローの欲求階層説」に関する出題が頻発することもあり、しっかりと理解していくことが国家試験対策にあるだけでなく、患者に対する援助においても大切である。</p> <p>key words：マズローの欲求階層説、外発的動機と内発的動機、欲求不満、葛藤、適応機制</p>	大石 武信
第15回	<p>コミュニケーション 人間は様々な手段を使って他の人や集団との情報交換・共有を行っている。その情報交換であるコミュニケーションとはどのようなものがあるのか、どのような効果があるのかを理解し、生活や仕事の中で役立てていけるようにすることを目的とする。</p> <p>key words：ノンバーバル（非言語的）コミュニケーション、バーバル（言語的）コミュニケーション、開かれた質問と閉ざされた質問、傾聴</p>	大石 武信
科目の目的	<p>心理学は人間の行動を研究する学問である。そのため、患者に対応する医療・看護の領域においてもその知見は応用が利くものも多く、その知識は必須である。また、日常生活の中にも知らず知らずのうちに理論が使用されているものも多い。ニュースや事件などの雑談にも心理学的見地からの説明を行い、学問的・世間的な興味を高め、視野を広げていくことを目的とする。</p> <p>ディプロマポリシー：【看護職としての態度】 【対象の理解】</p>	
到達目標	<p>1. 心理学諸理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。</p>	
関連科目	<p>【教養・共通基盤科目群】教育学、教育心理学、生命倫理、哲学、人間と宗教、家族社会学、生活文化と医療、人口知能・ロボットと社会、人間関係・コミュニケーション論、基礎統計学、情報処理、情報リテラシー、データサイエンス入門、大学の学び入門、大学の学びー専門への誘いー、多職種理解と連携</p>	

成績評価方法・基準	定期試験（定期試験・70％）に毎回の講義後に作成する小レポート等の評価（30％）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書の授業に関連するトピックについて読み、どのような内容について学ぶのか事前におさえておく。不明な点や気になる点があれば、授業時に理解がすすむようにノートなどにまとめるなど準備しておく。予習・復習時間は合わせて180分程度。
教科書	大石武信（2020）「ザ・ベーシック・サイコロジー ―これを知らなきゃ看護はできない心理学」サイオ出版
参考書	適宜指示する
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	実施する（ワーク）。
ナンバリング	MBa-101

講義科目名称： 教育心理学

授業コード： 4N003

英文科目名称： Educational Psychology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 暁子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>教育心理学を学ぶ意義 本科目の目的や取り上げる内容や進め方についてのガイダンス。 教育心理学とは何かについて学び、教育心理学を学ぶことの意味を捉える。 key words：教育心理学</p>	井上 暁子
	<p>第2回</p> <p>発達1 発達心理学の枠組みのもと、主に乳幼児期から青年期にかけての定型発達について基本的事項を概観し、発達の特徴を考慮した上での対象者との関わりについて考える。 key words：愛着、共同注意、心の理論、保存の概念、第二次反抗期</p>	井上 暁子
	<p>第3回</p> <p>発達2 本講義では、エリクソンの発達課題について学ぶ。特に青年期のアイデンティティの確立に焦点を当てて、自身に引き寄せて考える。さらに、自分史とライフラインチャートを作成することによって、自らの発達の過程を周囲の人とのかかわりの中で捉えつつ振り返る。 key words：心理社会的発達段階論、エリクソンの発達課題、自我同一性（アイデンティティ）、自分史</p>	井上 暁子
	<p>第4回</p> <p>記憶 心理学における記憶の知見について学ぶ。そのうえで、記憶に残る知識をつくるためのアプローチについて理解を深める。 key words：記憶の段階、エビングハウスの忘却曲線、記憶の種類、記憶方略、展望記憶</p>	井上 暁子
	<p>第5回</p> <p>学習の理論 心理学における学習の理論について学ぶ。日常生活における行動の獲得と変容の過程を分析する視点を得る。 key words：条件づけ、洞察学習、観察学習、自己調整学習、メタ認知</p>	井上 暁子
	<p>第6回</p> <p>動機づけ 心理学における動機づけの知見や学習性無力感について学ぶ。その上で日常生活における自身の行動について動機づけの観点から考察してみる。 key words：欲求、動機づけ、学習性無力感、自己効力感</p>	井上 暁子
	<p>第7回</p> <p>教育評価 教育評価の理論と方法について学ぶ。学習を支援する評価、教育指導のための評価という視点から評価を捉える。 key words：教育評価の種類、教育評価の方法、偏差値、テスト、学力</p>	井上 暁子
	<p>第8回</p> <p>教育相談 教育相談が学校現場でどのように展開されているのか、また、教育相談で用いられるカウンセリングの理論や技法の基本等を学ぶ。そして演習を通して、相手の話を聴く際の非言語コミュニケーションを意識した望ましい態度について体験する。 key words：教育相談、カウンセリング、クライアント中心療法、傾聴</p>	井上 暁子
	<p>第9回</p> <p>いじめの実情とその課題・支援 いじめの実情とその課題を知り、具体的な支援について考える。 key words：いじめの定義、いじめの状況、現代のいじめの特徴、いじめの構造、いじめの心理、いじめの予防・対応</p>	井上 暁子
	<p>第10回</p> <p>自傷・自殺とその課題・支援 自傷・自殺の実情とその課題を知り、具体的な支援について考える。 key words：自傷・自殺の概況、自殺企図、自傷行為、自傷の心理、自傷・自殺の予防・対応</p>	井上 暁子
	<p>第11回</p> <p>非行とその課題・支援 非行の実情とその課題を知り、具体的な支援について考える。 key words：非行の状況、犯罪少年、触法少年、虞犯少年、非行対応の流れ、少年非行の背景、他機関との連携</p>	井上 暁子

	第12回	児童虐待の種類と実情 児童虐待の実情とその課題を知り、具体的な支援について考える。 key words：身体的虐待・性的虐待・心理的虐待・ネグレクト、児童虐待が子どもに及ぼす影響、児童虐待の背景	井上 暁子
	第13回	不登校とその課題・支援 不登校の実情とその課題を知り、具体的な支援について考える。 key words：不登校の実態、不登校のタイプ、不登校の要因、不登校の子どもに対する支援	井上 暁子
	第14回	特別な配慮を要する子どもの理解と支援1 代表的な発達障害である自閉スペクトラム症、ADHD、限局性学習症の特性について学び、各状態像が抱えやすい困難とそれに対する配慮・支援のポイントについて学ぶ。加えて二次障害の予防についても理解を深める。 key words：自閉スペクトラム症、ADHD(注意欠如・多動症)、限局性学習症、二次障害	井上 暁子
	第15回	特別な配慮を要する子どもの理解と支援2 学校教育現場における、その他の特別な支援を必要とする様々な子ども(知的障害児、肢体不自由児、医療的ケア児、選択性緘黙等)の存在についても取り上げ、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育的関わりの重要性について知る。 key words：特別支援教育	井上 暁子
科目の目的	人間の発達、とりわけ乳児期から青年期にかけての心身の発達、教育の過程における様々な現象、近年の学校を中心とした教育現場における諸課題を心理学の観点から捉え、教育的支援の方策を考える。自分や周囲が体験してきた教育を振り返り、その心理的意味を考察することで、人間を理解し、人との関係の取り方や自分自身の有り様を見つめ、医療専門職を目指すキャリア形成の一助とする。 【看護職としての態度】		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の発達や心理について、自分および周囲の人々の体験から理解し、自分自身を考察する。</li> <li>・教育心理学の知見を活かして、他者との効果的な関係づくりができるようになる。</li> <li>・支援が必要な子どもの課題を理解し援助にあたるための基礎的な知識や視点を獲得する。</li> </ul>		
関連科目	心理学、教育学、発達心理学、社会学、大学の学び入門、多職種理解と連携 臨床心理学		
成績評価方法・基準	定期試験(レポート形式・55%)に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価(45%)を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習として、Active Academyにより配布される講義資料を読んで、興味のあるトピックスについて事前に調べておく。復習として、授業後に学んだ知識の整理を行うとともに、日常生活でいかしてみる。また、日頃から新聞、テレビ、インターネット等で教育心理学で扱うテーマに関連した記事に関心を持ち目を通すようにする。それらを含めて1コマ当たり1時間を目安に自己学習を行う。		
教科書	なし		
参考書	繁枘算男(2018)「公認心理師の基礎と実践2 心理学概論」遠見書房 ※科目「心理学」の教科書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより講義資料を配布します(原則として前回授業翌日から当該日まで)。各自、PCにダウンロードして授業に持参してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	ワーク、ディスカッション、体験学習を一部実施		
ナンバリング	MBa-103		

講義科目名称：健康スポーツ理論

授業コード：4N004

英文科目名称：Sports Science

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	講義（12回）・演習（3回）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション・目標の設定と達成 受講のルール説明、全15回の流れを解説。自身の大学生活についてのアフターセッションを行う。	岩城 翔平
	第2回	運動、スポーツを通じたコミュニケーション アリーナでミニ運動会を行う。心と身体の健康と運動・スポーツのつながりを体感する。	岩城 翔平
	第3回	形態計測 メジャーを用いて四肢と体幹の周径囲を計測する。自己の身体に関心を持ち、運動継続のモチベーションに繋げる。	岩城 翔平
	第4回	生涯を通じた運動・スポーツの実践 生活の中に運動を取り入れるきっかけづくりとしての意識を学ぶ。また、人はなぜ運動習慣を作ることが難しいのかを知る。	岩城 翔平
	第5回	トレーニングの基本理論① 筋収縮の様式やトレーニングの原理原則について学ぶ。	岩城 翔平
	第6回	トレーニングの基本理論②、トレーニングと栄養 トレーニングが身体に与える様々な影響および基礎的な栄養との関わりについて学ぶ。	岩城 翔平
	第7回	初心者のためのトレーニング 身体の各部位における代表的なトレーニングを簡単な実践を交えながら学ぶ。	岩城 翔平
	第8回	様々なトレーニング方法 HIITの実践方法やウェイトトレーニングの実践テクニックを学ぶ。	岩城 翔平
	第9回	トレーニングプログラムの考案 班活動を行う。それぞれ設定された課題に対して、適した運動を班で協議し、トレーニングプログラムを作成する。	岩城 翔平
	第10回	トレーニングプログラムのプレゼンテーション① 第9回で作成したトレーニングプログラムを用いて班別プレゼンテーションのプレテストを行う。その様子をビデオ撮影する。	岩城 翔平
	第11回	コーチングの基本理論 コーチングの基本的な理論を学ぶ。その後、第10回のプレゼンテーションを録画したものを視聴し、班内で話し合い、プログラムおよび発表方法を改善する。	岩城 翔平
	第12回	トレーニングプログラムのプレゼンテーション②（演習試験） 第11回で改善したプレゼンテーションのテストを実施する。班別プレゼンテーションは演習の成績評価に該当する。伝えようとする姿勢（声の大きさ・トーン、目線、身振り、セリフ）の評価は撮影した映像から採点する。	岩城 翔平
	第13回	健康スポーツと行動変容・試験説明 健康スポーツが心に及ぼす影響と、行動変容との関わりについて学ぶ。試験の内容等について説明する。	岩城 翔平
	第14回	授業内試験（講義内容の振り返り） 授業内試験は試験の成績評価に該当する。これまでの講義で学んだ知識が身についているかどうか、確認する。	岩城 翔平
	第15回	試験結果のフィードバック、まとめ 試験結果をフィードバックする。また、本講義で得られた成果を今後どのように生活へ役立てるのかを改めて考え、自身の健康とスポーツのかかわりについて具体的にイメージする。	岩城 翔平
科目の目的	<p>本学の体育系実技科目は必修の単位でない上、1年次後期のみの開講である。多忙な医療系学生においては特に、主体的に運動機会を作らなければ運動時間は減少していく。卒業後、未永く現場で活躍することを目標とすれば、心身ともに健やかでいることは必須条件であることから、自己の健康管理能力は極めて重要なライフスキルであるといえる。</p> <p>本科目では、現在から将来にかけて、多忙な生活の中に自らの意思で運動・スポーツを取り入れ、生涯にわたり健康で豊かな運動・スポーツライフを継続していくための実践的な知識を学んでゆく。運動を続けるモチベーションの維持はなぜ難しいのか、どのように工夫すれば望ましい運動習</p>		

	慣が身に付くのか等を、具体的な方法論と軽運動の実践を交え、仲間とコミュニケーションをとりながら学習していく。その過程で、一人ないし複数人での運動が心に好影響をもたらしたり、仲間との協力・協調を育むきっかけとして機能したりすることを実感し、運動・スポーツが心の健康に及ぼす影響についても理解する。 【看護職としての態度】
到達目標	自身の心身の健康を保持増進することはもとより、身の回りの人が健康で豊かな生活を送るサポートができるような知識と協調性を養う。
関連科目	健康スポーツ実技
成績評価方法・基準	演習（35％）：基礎的な運動について理解があるか、また、適切な表現方法でプレゼンできているかどうかを、班別プレゼンテーション内で評価する。 試験（65％）：講義内容を理解できているか測る授業内試験により評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内で学習したトレーニングについて1週間に計45分程度実践し、運動習慣の形成に努める。
教科書	教員作成のPowerPointを用いる。
参考書	「生涯スポーツ実践論：第4版」川西正志・野川春夫 編著 市村出版 ※「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一 ※非常に高価ですので、購入は必須ではありません。運動・スポーツ・ウェイトトレーニングに強い興味を持ち、今後ジムに通い実践しながら学んでいきたいと考える学生については、購入して損はありません。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	数回、運動することがある。 その際は運動するのに適したスタイルで参加すること。  養護教諭二種免許の取得を目指す者は、必ず履修選択すること。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、グループ・ディスカッション、グループ・ワーク
ナンバリング	NBa-104

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	実技	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション・からだづくり運動 受講のルール説明、学生自己紹介カードの作成、全15回の流れについて解説をしたのち、低強度のHIITトレーニングを行い、今後の授業に向けて身体を慣れさせる。班と班長の決定。	岩城 翔平
	第2回 班編成・安全なスクワットの習得・球技（バレーボール①） HIITトレーニング、アイスブレーキング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第3回 第1回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干変更したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座位体前屈	岩城 翔平
	第4回 班別ミーティング、球技（バレーボール②） アイスブレーキング、班別ミーティング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第5回 班別トレーニング①、球技（バレーボール③） アイスブレーキング、班別トレーニング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第6回 班別トレーニング②、球技（バドミントン①） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第7回 班別トレーニング③、球技（バドミントン②） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第8回 班別トレーニング④、球技（バドミントン③） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第9回 班別トレーニング⑤、球技（タグラグビー導入） 班別トレーニング、タグを使ったアイスブレーキング、タグに慣れる、ボールに慣れる、ボールハンドリング、効果的なアタックの方法、ディフェンスの方法、ルールの確認	岩城 翔平
	第10回 班別トレーニング⑥、球技（タグラグビー①） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第11回 班別トレーニング⑦、球技（タグラグビー②） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第12回 班別トレーニング⑧、球技（アルティメット①） フライングディスクを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、アルティメット	岩城 翔平
	第13回 班別トレーニング⑨、球技（アルティメット②） フライングディスクを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、アルティメット	岩城 翔平
	第14回 第2回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干変更したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座位体前屈 【期末レポート提出】	岩城 翔平
	第15回 「新体力テスト+」結果フィードバック、球技 体力テスト結果をフィードバックする。 全体のまとめ、リクエスト球技を実施する。	岩城 翔平
科目の目的	<p>心身の健康の保持増進と運動・スポーツは密接に関わる。本講義では[1. 運動・スポーツを通じた協調性の獲得][2. 運動習慣の獲得による体力向上]を目的とし、展開していく。</p> <p>[1. スポーツを通じた協調性の獲得] 運動の得意不得意に関係なく、誰しもが積極的にスポーツを楽しむためには、互いに相手の気持ちを想像し合い、思いやることを意識しなければならない。一方の立場だけでなく、別の立場からの視点を考慮することは、あらゆる医療職が集うチーム医療の実践に必要な協調性およびコミュニケーション能力の一つとして必須である。</p> <p>[2. 運動習慣の獲得による体力向上] 自身の体力課題を設定したうえで、班員同士協力し合い、毎週の講義で目的に応じたトレーニングを実施していく。また、本講義では予習復習の時間を自宅でのトレーニング実践時間として位置付けるため、履修学生は主体的に運動・スポーツに関わる機会を得る。今現在運動習慣がない者でも、運動・スポーツに継続して取り組めば、体力向上が可能なことを知り、その達成感を味わう</p>	

	にする。そうして獲得した運動習慣を、講義終了後も継続してもらうことが本講義最大の目的である。 【看護職としての態度】
到達目標	【運動・スポーツが心身の健康におよぼす影響を実感する】 ・仲間の心情を想像し相手を思いやることを心掛ける（心のトレーニング） ・スポーツ参加者全員が楽しめる場や空気の作り方を考える（心のトレーニング） ・班員同士協力して体力課題を乗り越える（心身のトレーニング） ・自身の体力課題を計画的に克服することで、運動習慣が身体機能におよぼす効果を実感する（身体トレーニング）
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	リアクションペーパーの提出（20%）：配付したリアクションペーパーを翌週提出したかどうか。公欠が無ければ翌々週を受付期限とする。 講義への取り組み（20%）：積極的に活動していたか。よほど目に余る行動（内職や不要なスマホの操作、だらけきった態度等）が無ければ減点されることはない。 班活動の様子（20%）：積極的にコミュニケーションを取り活動に取り組んでいたか。 第2回体力テスト結果（30%）：課題として設定した項目のスコアが伸びていたか。 期末レポート（10%）：設定した課題に取り組んだかどうか。レポートの提出が無ければA+評価は得られない。  球技の実力の多寡で成績評価はしない。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	第3回の授業で実施する体力テストの結果を参考に設定した課題に適したトレーニングやストレッチを自宅で実践する。1週間に45分～程度。
教科書	教科書無し。
参考書	「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識 第2版」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一 NSCAジャパン ※非常に高価ですので、購入の必要はありません。今後ジムに通い、本格的にウェイトトレーニングを行う予定の学生は購入しても損はありません。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	・スポーツウェア・内履き・タオルが必要。それぞれ高校で使用していたもので可。 ・教員が運動に適していないと判断した服装、外履きや素足、靴下での参加は認めない。 ・怪我予防のためピアス・ネックレス等装飾品は外して臨む。 上記服装について何度注意しても繰り返されない場合、授業への参加を認めない。その際、欠席として取り扱う。  ・実技の授業中に内職をするなど言語道断である。 ・履修者数が10名を下回った場合、シラバスに記載の通りに球技を行うことは不可能である。その場合は状況を見て実施可能な種目を選択する。  養護教諭二種免許の取得を目指す者は、必ず履修選択すること。
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、体験学習、グループ・ディスカッション、グループ・ワーク
ナンバリング	NBa-105

講義科目名称： 現代文学

授業コード： 4N006

英文科目名称： Modern Literature

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイダンス：「文学」とは何かを考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義の流れ</li> <li>2. 代表的な作詩者について考える。メッセージ力とは何か、どこから生まれてくるのだろうか。</li> <li>3. 世界的に愛される詩の秘密を考察する。</li> <li>4. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で「詩」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
	<p>第2回</p> <p>芥川龍之介概論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高校時代読み学んだ小説「羅生門」をどのように読み取ったかを振り返ってみる。</li> <li>2. 芥川龍之介について説明する。</li> <li>3. 芥川龍之介の生涯を学んで、小説「羅生門」を読み直す。今までと違った感じ取り方を味わうことができる。</li> <li>4. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で芥川龍之介と「羅生門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
	<p>第3回</p> <p>梶井基次郎概論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 梶井基次郎について説明する。</li> <li>2. 文学と病の関係について説明する。</li> <li>3. 小説「檸檬」を読み直す。「檸檬」の中に潜む「光と影」を読み取る。「得体のしれない不吉な塊」とは何か？どんな背景があるのか？また、多くの人が絶賛する「檸檬」の文章は、その内容もさることながら、並べ立てられていく言葉の流れそのものが美しかった。日本語というのはこんなに綺麗に、鮮やかに描くことができるのかと思った。」と言われる箇所はどこか。</li> <li>4. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で梶井基次郎と「檸檬」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
	<p>第4回</p> <p>宮沢賢治概論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宮沢賢治について説明する。</li> <li>2. 「母親」の教えから、どのような人生を送ったのか、その人生の中にある「光と影」について考察する。また「春と修羅」詩集「銀河鉄道の夜」等の児童文学を残し、現代を生きる作家や映画監督、ミュージシャン等にも影響を及ぼしているその理由を考察する。</li> <li>3. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で宮崎駿と「宮沢賢治」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
	<p>第5回</p> <p>結核と文学①（宮崎駿『風立ちぬ』から）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宮崎駿と『風立ちぬ』と結核との関係を説明する。</li> <li>2. 結核について文化史的側面から考察する。</li> <li>3. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で宮崎駿と「風立ちぬ」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
	<p>第6回</p> <p>結核と文学② 宮崎駿『風立ちぬ』から）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宮崎駿と『風立ちぬ』と結核との関係を説明する。</li> <li>2. 結核について文化史的側面から考察する。</li> <li>3. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で宮崎駿と「風立ちぬ」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p> <p>※小レポート作成準備</p>	衣川 隆
	<p>第7回</p> <p>文学がひらくもの</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文学と医療の関係について、仮説を立て方等を説明する。</li> <li>2. 前半の講義の中から、様々な問題を読みとり考察する。</li> <li>3. 講義内容をまとめる仮説を立てレポートを書く準備をする。</li> </ol> <p>※事前学習で「社会人の基軸となる豊かな感性、倫理観、幅広い教養を備え、医療職としての態度」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆

第8回	<p>与謝野晶子と出産——『青海波』を読む——</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与謝野晶子について説明する。</li> <li>2. 与謝野晶子と家族、出産について説明する。</li> <li>3. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で宮崎駿と「青海波」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第9回	<p>夏目漱石概論①——病と文学——</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 夏目漱石について説明する。</li> <li>2. 文学と病の関係について説明する。</li> <li>3. 小説「門」を読む。門に隠された表現を探っていく。小説はまず主人公を読者に紹介しつければならない。主人公をどうやって印象付けるかを探る。</li> <li>4. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で夏目漱石と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第10回	<p>生命の尊厳について学ぶ①（『おくりびと』から）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遺体を棺に納める“納棺師”という職遺体を棺に納める“納棺師”という職業を通して、様々な死と向き合い人生をみつめていくことを説明する。</li> <li>2. 死者を見送ることや生命の尊厳について考察する。</li> <li>3. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で「おくりびと」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第11回	<p>生命の尊厳について学ぶ②（『おくりびと』から）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遺体を棺に納める“納棺師”という職遺体を棺に納める“納棺師”という職業を通して、様々な死と向き合い人生をみつめていくことを説明する。</li> <li>2. 死者を見送ることや生命の尊厳について考察する。</li> <li>3. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で「おくりびと」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第12回	<p>樹木希林——「一切なりゆき」を読む——</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 樹木希林について説明する。</li> <li>2. 作者と病（がん）の関係について説明する。</li> <li>3. 「一切なりゆき」を読む。活字において数多くのことばを遺した語り口は、平明でいつもユーモアを添えることを忘れない。その奥にある深さを鑑みる。</li> <li>4. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で樹木希林について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第13回	<p>正岡子規概論——病と文学——</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正岡子規について説明する。</li> <li>2. 文学と病の関係について説明する。不治の病で床に伏し、激痛と闘いながらも森羅万象への好奇心を持ち続けた日々の記録を読む。</li> <li>3. 正岡子規の俳句や短歌、文章の革新運動の表現を探っていく。</li> <li>4. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で正岡子規と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第14回	<p>オノマトペとは（短歌を作る）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オノマトペ表現から他者の感覚を想像することができる。</li> <li>2. オノマトペを使って短歌を作ることができる。</li> <li>3. 「東洋大学現代学生百人一首」応募する。「現代学生のもの見方・生活感覚」を詠みこんだ短歌を作る。</li> <li>4. まとめシートに記入する。</li> </ol> <p>※事前学習で「オノマトペ」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第15回	<p>文学がひらくもの</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文学と医療の関係について説明することができる。</li> <li>2. 文学やその近接ジャンルから様々な問題を読み取ることができる。</li> <li>3. 講義内容をまとめるレポートを書く準備をする。</li> <li>4. 医療対象を身体的・心理的・社会的側面からとらえながら、深い洞察力・倫理観・生命の尊厳についての深い認識をもってレポートを書く。</li> </ol> <p>※事前学習で「文学がひらくもの」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
科目の目的	<p>時代を超越した文学の中には、人生の学びともなりこころの基軸ともなる。そこには光と影、生と死、愛と憎しみ、病と祈り、不安と恐怖、歓喜とその裏にあるものなど、言葉の中に表現されたテーマは実に多様であり、その表現方法も種々様々である。</p> <p>本科目の文学では、近代から現代までを取り上げ、俳句・短歌・詩・小説といったさまざまな文学のジャンルの魅力やその表現の奥にある深さや豊かさを理解し、生涯にわたって基軸になるような宝となりうるかもしれない文学的教養の扉を開いて行く。</p> <p>そして文学の世界を理解するために、映画、アニメーション等といった様々な近接ジャンルについても理解を深め、人間の創り出す物語とは何かという問題に向かい合う。</p> <p>一方で、病者の抱える苦悩や絶望といった内面的な問題を中心に置き、病者自らが記した小説・日記・俳句等から読み取り、それを医療従事者としてどのように理解し自らの医療行為に反映させることができるのかを考えることを目的とする。</p>	

	【看護職としての態度】
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会人の基軸となる豊かな感性、倫理観、幅広い教養を備え、医療職としての態度を身につけることができる。</li> <li>2. 医療対象を身体的・心理的・社会的側面からとらえることができる。</li> <li>3. 幅広い教養を持った感性豊かな人間性と、深い洞察力・倫理観・生命の尊厳についての深い認識などを持つことができる。</li> <li>4. 社会の変化や地域の特性をふまえ、多様な人や環境に積極的かつ柔軟に対応できる。</li> <li>5. 世界で生じている保健医療の問題に関心をもち、医療職の役割を考えることができる。</li> </ol>
関連科目	医療人文学、哲学、社会学、心理学
成績評価方法・基準	授業内小レポート（20%）、期末レポート（80%）。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前＝講義で使用するテキストを読み問題を整理する。（1.0時間）</li> <li>・授業後＝授業内容の復習。（0.5時間）</li> </ul>
教科書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布する。各自で印刷するか、パソコンを持参し講義資料を見るか各自で選ぶこと）。
参考書	各テーマごとに講義資料を作成して配布する。
オフィス・アワー	
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。</p> <p>具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること</li> <li>2. 情報の伝達より学生のスキルの育成に重きがおかれていること</li> <li>3. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること</li> <li>4. 学生は活動（例：読む、議論する、書く）に関与していること</li> <li>5. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること</li> <li>6. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること</li> </ol>
ナンバリング	NBb-101

講義科目名称： 人間と宗教

授業コード： 4N007

英文科目名称： Human Beings and Religion

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
森 禎徳			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 人間と宗教 なぜ人間は宗教を必要とするのか。人間にとっての「超越者」の意義を考える。	森禎徳
	第2回 日本人と宗教 「自然宗教」から「新宗教」まで、日本人と宗教とのかかわりについて学ぶ。	森禎徳
	第3回 多神教 (1) 神々が「人間的に」ふるまう多神教の物語、まずはギリシャ神話の世界を概観し、神話に含まれる教訓を学ぶ。	森禎徳
	第4回 多神教 (2) ギリシャ神話に続いて日本神話の世界に触れ、神話と実際の歴史がどのようにリンクしているのかを学ぶ。	森禎徳
	第5回 世界宗教 (1) 「世界宗教」と呼ばれるキリスト教、イスラム教、仏教のうち、キリスト教とイスラム教の歴史と主な教えについて考える。	森禎徳
	第6回 世界宗教 (2) 「世界宗教」のうち仏教の教えを学び、仏教が目指す「悟り」「解脱」とは何かを考える。	森禎徳
	第7回 神の存在証明 中世キリスト教哲学では、神の存在を証明する試みが隆盛した。その歴史と証明の論理構造を概観する。	森禎徳
	第8回 神の存在証明批判 ヒュームの経験論とカントの批判哲学を中心に、神の存在証明に対する批判を概観する。	森禎徳
	第9回 知性と宗教 聖書に見られる反知性主義、キリスト教による科学の弾圧の歴史を通して信仰と知性の関係を考える。	森禎徳
	第10回 道徳と宗教 カントの『単なる理性の限界内における宗教』を出発点に、信仰と道徳、信仰と自由の関係について考える。	森禎徳
	第11回 平和と宗教 (1) 十字軍の歴史を通して異教徒（異文化）間の相互理解の可能性と限界について考える。	森禎徳
	第12回 平和と宗教 (2) かつて日本において、本来なら平和の重要性を説くべき仏教が国家の戦争に動員され、戦争の道具となった歴史を振り返る。	森禎徳
	第13回 ホスピスの歴史と思想 シシリー・ソンドースの生涯と思想をたどりながら、ホスピスの原点とホスピス運動の展開について考える。	森禎徳
	第14回 アイデンティティと宗教 「宗教二世」問題を通して、宗教によって自らの生き方を選ぶ機会を奪われた人たちの思いを考える。	森禎徳
	第15回 医療と宗教 宗教的信条に基づく輸血拒否の事例をもとに、信仰は生命に優先するのかを考える。	森禎徳

科目の目的	宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの相において人間にかかわりをもつ「宗教」とは何かについて考え、キリスト教を中心にその教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会の理解にも役立つだろう。また、医療と宗教のかかわりについても考える機会を設けたい。
-------	---

到達目標	①宗教が人間にとって大きな意味を持っていることを知る。 ②宗教が人間の営みに対して時に有害な影響を行使したことも知る。 ③宗教と医療のあるべき関係について考えを深める。
関連科目	哲学 生命倫理
成績評価方法・基準	期末レポート（100%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1コマ当たり4時間程度、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に加えて、比較宗教学による文献の読解もお勧めする。授業中に参考文献や映画を紹介するので、気になった作品に触れてみてください。
教科書	教科書は使用しません。授業はパワーポイントを使って進行します。
参考書	授業中に必要に応じて紹介します。ただし、購入を強制するものではありません。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	集中力・注意力の減退につながるため、基本的に授業資料の配布は行いません。重要だと思ったことはノートに記録して復習に役立てるよう心がけてください。
アクティブ・ラーニングの実施	授業形態としての実施はなし。出席票での質問、口頭での質問は、毎回受けつけます。
ナンバリング	OBb-102

講義科目名称： 芸術

授業コード： 4N008

英文科目名称： Art

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
東 晴美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。	東 晴美
	第2回 ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。	東 晴美
	第3回 劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。	東 晴美
	第4回 観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともに作りあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。	東 晴美
	第5回 身体：身体文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。	東 晴美
	第6回 ジェンダー：演じる性と演じられる性（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。	東 晴美
	第7回 能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。	東 晴美
	第8回 狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。	東 晴美
	第9回 歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。	東 晴美
	第10回 文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。	東 晴美
	第11回 ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。	東 晴美
	第12回 アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。	東 晴美

	<p>第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。</p> <p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。</p>	東 晴美  東 晴美  東 晴美
科目の目的	<p>この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとり、芸術について学びます。</p> <p>まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。</p> <p>次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われるがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。</p> <p>最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。</p> <p>これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【看護職としての態度】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。</li> <li>・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。</li> <li>・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。</li> <li>・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。</li> </ul>	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小テスト（2回）各20%、期末教場レポート20%、授業中リアクションペーパー40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
参考書	各回のテーマに関連する参考書を授業中に紹介する。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習（教員が示した芸術の事例をもとに、自分が親しんでいる芸術ジャンルの特色を発見し考察する）	
ナンバリング	NBb-103	

講義科目名称： 哲学

授業コード： 4N009

英文科目名称： Philosophy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
赤羽 悠			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 イントロダクション 哲学とは何か	赤羽 悠
	第2回 古代哲学（1） 宗教と哲学 「論破」と「対話」は何が違うのか 【ソフィスト／ソクラテス】	赤羽 悠
	第3回 古代哲学（2） 「真理」を探究するとはどういうことか 【プラトン／アリストテレス】	赤羽 悠
	第4回 古代哲学（3） 「欲望」をどう考えるか 【エピクロス派／ストア派】	赤羽 悠
	第5回 中世哲学 キリスト教と哲学 【トマス＝アクィナスほか】	赤羽 悠
	第6回 近世・近代哲学（1） 「理性」とは何か 【デカルト／スピノザ】	赤羽 悠
	第7回 近世・近代哲学（2） 「経験」はいかにして私を形作るのか 【ロック／バークリー／ヒューム】	赤羽 悠
	第8回 近世・近代哲学（3） 「自由」はどこにあるのか 【カント／ヘーゲル】	赤羽 悠
	第9回 近世・近代哲学（4） 「国家」はなぜ存在するのか 【ホッブズ】	赤羽 悠
	第10回 近世・近代哲学（5） 「所有」するとはどういうことか 【ロック】	赤羽 悠
	第11回 近世・近代哲学（6） 「社会」とは何か 【ルソー】	赤羽 悠
	第12回 近代哲学の問い直し（1） 「真理」と「道徳」を問い直す 【ニーチェ】	赤羽 悠
	第13回 近代哲学の問い直し（2） 「意識」を問い直す 【フロイト／マルクス】	赤羽 悠
	第14回 現代哲学（1） 「全体主義」の経験から考える 【アーレント】	赤羽 悠
	第15回 現代哲学（2）／講義の総括 現代哲学の課題	赤羽 悠
科目の目的	哲学をすることは、日常からかけ離れた抽象的なことをあれこれ考えることではない。それは、身近な、しかし容易には答えの出ない問題を、普段よりもう一段掘り下げて考えてみることである。歴史上の偉大な哲学者が行ってきたことも、実はそのようなことにほかならない。この講義では、哲学者たちの思考の営みをたどりながら、受講者に、各々が生きていくなかで直面する問題を解きほぐすのに役立つ哲学的思考を身に付けてもらうことを目指す。講義は「授業計画」に従って進めるが、受講者の理解度・関心等をふまえて若干内容を変更する場	

	<p>合がある。また、基本的には古代から順を追って哲学の歴史を紹介していく形式をとるが、適宜、現代の哲学者の議論や現代の問題も参照し、各回ごとのテーマについて、受講者各人がじっくりと考えられるような機会としたい。</p> <p>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）における位置づけ：本科目は【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】に該当する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歴史上の哲学者がどのような問いを立て、その問いにどのように取り組んできたのかを理解する。</li> <li>2. 1を通じ、哲学的に問いを立てることがどういうことかを学ぶ。</li> <li>3. 以上を通じ、生きていくなかで直面する様々な問題に対処するにあたり必要とされる、哲学的な思考を身に着ける。</li> </ol>
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「人間と宗教」、「社会学」、「心理学」、「生命倫理」等の科目と関連を有する。</li> </ul>
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 期末筆記試験（論述）の成績による（100 %）。</li> <li>● 詳細については初回講義時に説明する。</li> </ul>
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予習については特に求めない。講義の場で話を聞き、またそれについてその場で考えることに集中してもらいたい。</li> <li>● 他方、授業後に内容を振り返り、扱われたテーマについて自分なりに考えをまとめる復習の作業はおこなってほしい。そのために必要な学習時間については、概ね1時間程度を目安とする。</li> </ul>
教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科書は用いない。講義は講義資料（レジュメ）を配布し、それに基づいて行う。</li> </ul>
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 竹田青嗣・西研編『はじめての哲学史』（有斐閣アルマ）</li> <li>● 鷺田清一著『哲学の使い方』（岩波新書）</li> <li>● 千葉雅也『現代思想入門』（講談社現代新書）</li> <li>● その他の参考文献については、各回の講義の中で紹介する。</li> </ul>
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	0Bb-201

講義科目名称： 生命倫理

授業コード： 4N010

英文科目名称： Bioethics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一			

授業形態	講義（ディスカッションを含む）	担当者
授業計画	第1回 インTRODクシヨN 総論 授業全体の予定や授業の進め方などの説明、生命倫理の概要 第2回 生命倫理の基礎（1） 生命倫理の社会的・歴史の変遷、四原則 第3回 生命倫理の基礎（2） 生命倫理の理論 第4回 生命倫理の基礎（3） 臨床倫理の四分割表 第5回 中絶（1） 中絶を守る立場と問題 第6回 中絶（2） 中絶を守る立場と問題 第7回 生命倫理の基礎と中絶のまとめ 生命倫理の基礎と中絶に関する重要な問題のまとめ 第8回 生命倫理の基礎と中絶のまとめと中間テスト 生命倫理の基礎と中絶に関する重要な問題の確認 第9回 中絶（3） 生命倫理の基礎と中絶に関する重要な問題のまとめ 中絶を批判する立場と問題 第10回 中絶（4） 中絶を批判する立場と問題 第11回 インフォームド・コンセント（1） インフォームド・コンセントの基本的な考え方、擁護する立場と問題 第12回 インフォームド・コンセント（2） インフォームド・コンセントを批判する立場と問題 第13回 難病（1） 難病療養者が抱える問題 第14回 難病（2） 難病療養者と生命倫理 第15回 中絶、インフォームド・コンセント、難病のまとめ 中絶、インフォームド・コンセント、難病に関する重要な問題のまとめ、期末試験 相談	峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一 峯村優一
科目の目的	生命倫理・医療倫理の概要・諸問題を、講義形式だけではなく、ディスカッションを通して、自分で考える力を身につけることを目的としています。時事問題や学生の関心によって講義内容を変更する場合があります。【看護職としての態度】	
到達目標	医療者は時に「医療者視点」が絶対的であるという思い込みに陥りがちになります。医療の主役はあくまで患者さんやその家族です。この授業を通して「医療は誰のものか」ということを改めて考えることができるようになること、また生命倫理の各トピックに関する倫理的問題を考察して、医療者として適切な判断ができるようになることを目指します。	
関連科目	哲学、公衆衛生学、生活文化と医療、社会学、生物学、心理学	
成績評価方法・基準	中間テスト（50%）、期末テスト（50%）による総合評価。講義前に教科書、資料を読み、講義中の講師からの質問に対して、講義資料に従って的確に返答する学生を高く評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書を読むようにしてください。また授業に関する資料を配布しますので、資料に目を通してください。1コマあたりの学習時間の目安2時間。	
教科書	（教科書） 鎌田依里・峯村優一著 2023 『難病療養者のこころー心理臨床と生命倫理の視点からー』 創元社	
参考書	（参考書） 霜田求編 2018 『テキストブック生命倫理』 法律文化社	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	

履修条件・履修上の注意	授業開始時および授業中の私語禁止、授業中のスマートフォンおよび携帯電話の使用も禁止します。注意しても改善がみられない場合は退室を命じる場合があります。
アクティブ・ラーニングの実施	講義中の講師からの問いかけに答える、またディスカッションに参加するアクティブラーニングを実施。
ナンバリング	NBb-202

講義科目名称： 法学(日本国憲法含む)

授業コード： 4N011

英文科目名称： Law(the Constitution of Japan)

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
道下 洋夫			

授業形態	講義形式にて行なう		担当者
授業計画	第1回 法とは何か なぜ法を学ぶのか、法とは何かについて様々な角度から考える	道下 洋夫	道下 洋夫
	第2回 法と社会・法の種類 法と社会との関わりあい方、法と医療の関わり合い方について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第3回 日本の法システム 日本の法令にはどのようなものがあるか、どのような性質を持つかについて理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第4回 日本の司法制度 法的責任、訴訟事件にはどのようなものがあるかについて理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第5回 憲法1 憲法の基本理念及び構造について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第6回 憲法2 基本的人権（平等権、受益権、平和的生存権）について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第7回 憲法3 基本的人権（自由権、社会権、包括的基本権）について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第8回 憲法4 統治機構（三権分立、地方自治）について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第9回 民法1 私法とは何か、債権債務とは何か、契約とは何かについて理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第10回 民法2 不法行為など契約外の債権について、及び債権の一般的な規則について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第11回 民法3 物権とは何か、担保とは何かについて理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第12回 民法4 行為能力、時効など民法の一般的な規則について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第13回 刑法1 刑法の基本原理について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第14回 刑法2 個々の犯罪、および特別法について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第15回 刑法3 構成要件、違法性、責任とは何かについて理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
科目の目的	日本は、法治国家である。法治国家においては、法令が社会の仕組みを規定しており、その実施こそが社会を動かしているという過言ではない。特に医療は（他の仕事とは異なり）法律によってやっつけいいこと、やっつけいけないことが厳格に規定されており、その範囲でないと対価を得られないばかりか、訴訟されたり免許が取り消されたりしてしまう恐れすらある。したがって、法律の知識は、国家試験での出題比率が増してきているだけでなく、実務においても必須であるといえる。【看護職としての態度】		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法を中心とした日本の法システムの概要について理解する。</li> <li>・憲法、民法、刑法を通じて実際の法規定を概観する。</li> <li>・社会人として生きていくのに必要な法知識を習得するだけでなく、2年生以降の専門領域における各種医療関係法規、医療倫理、社会保障制度の学習へつなげる。</li> </ul>		
関連科目	看護学概論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉・社会保障制度論、地域保健行政、地域保健政策論、施策化・政策形成過程演習、生命倫理		
成績評価方法・基準	定期試験(100%)：法律とは何か、また憲法・民法・刑法とはどんなものか、について理解できているかを測る筆記試験を行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は、90 時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30 時間分（15 コマ）となるため、60 時間分相当の準備学習が必要となる。前回講義で扱った内容についてしっかり目を通しておくこと。		
教科書	教科書：特にないが適宜、資料・法令を配布するので、指示に従って各自用意して授業に臨むこと。		
参考書	特に使用しない。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		

履修条件・履修上の注意	PCやタブレット・スマホは使用せず配布するレジユメに直接書き込んでもらう。 ただし、習得すべき知識量が極めて多いことに留意すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。
ナンバリング	NBc-101

講義科目名称： 社会学

授業コード： 4N012

英文科目名称： Sociology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
坂本 祐子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 社会学とは 社会の成り立ち 個人と集団と社会</p> <p>第2回 個人の生活の理解 多面的な日常生活のとらえ方</p> <p>第3回 保健・医療・看護とQOL QOL概念の変遷とその時代背景 現代医療におけるQOL概念の意義</p> <p>第4回 社会的な健康 健康とは ソーシャル・キャピタルと健康</p> <p>第5回 家族（1） 家族とは 家族の個人化と多様化</p> <p>第6回 家族（2） ライフコースの変化と家族</p> <p>第7回 家族（3） 家族のケア機能 ケアとジェンダー</p> <p>第8回 家族（4） 児童虐待 ドメスティック・バイオレンス 高齢者虐待</p> <p>第9回 社会階層 連鎖する貧困 社会的排除</p> <p>第10回 地域社会（1） 地域社会とは 地域社会の変動とコミュニティ</p> <p>第11回 地域社会（2） 人々の地域社会との関わり</p> <p>第12回 地域社会（3） 社会的ネットワークとその意義</p> <p>第13回 地域社会（4） コミュニティ形成とその諸課題</p> <p>第14回 集団・組織 フォーマルな組織とインフォーマルな組織</p> <p>第15回 ふりかえり 社会的存在としての人間 医療と社会情勢の変化</p>	坂本 祐子 坂本 祐子
科目の目的	<p>現在、日本は人口減少、経済格差や健康格差等多くの課題を抱えており、健康や生活を専門とする医療職は、医療や保健だけでなく、福祉、労働、地域等のあらゆる分野での活躍が期待されている。この科目は、適切な看護技術を提供するだけでなく、社会情勢の変化に注目し、身近な看護に関連する社会の有り様について考えるとともに、人々の生活や家族との関係、地域社会の動向を踏まえた適切な保健医療サービスの提供を可能にする知識の形成を目的とする。【看護職としての態度】【対象の理解】</p>	
到達目標	<p>1. 社会情勢の変化をとらえ、その社会で生きる個人の生活を考える際には、様々な切り口（家族・ライフスタイル・健康・地域社会とのつながり等）があることが理解できる。</p> <p>2. 人間にとって社会とは何か、私たちが生きている現代社会のあり方を社会科学的な視点で考察することができる。</p> <p>3. 専門援助者として、家族の変化や虐待・DV等の暴力にどのように対応すべきか考えることができる。</p>	
関連科目	<p>法学（日本国憲法含む） 経済学 社会福祉・社会保障制度論 小児看護学総論 老年看護学総論 地域ボランティア活動論 看護学概論Ⅰ・Ⅱ 母性看護学総論 公衆衛生看護学概論 母子と家庭の心理・社会学 在宅看護学概論 災害看護論 社会福祉・社会保障制度論</p>	
成績評価方法・基準	<p>講義時間内に、何度か小レポートを実施（次回講義以降に返却）。定期試験70%・小レポート30%</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>Active Academyにより資料を配布するので、資料内の不明な用語等を調べてくること。また、前回講義の重要事項を見直しておくこと。日頃から新聞に目を通すことを習慣にし、1週間で4時間半以上を自己学習に必要な時間の目安とする。</p>	
教科書	<p>使用しない</p>	
参考書	<p>本田由紀編（2015）『現代社会論』有斐閣ストゥディア ケイン樹里安（2019）『ふれる社会学』北樹出版</p>	
オフィス・アワー	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照</p>	
国家試験出題基準	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照</p>	

履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を配布するので（前回講義翌日から当該日まで）、各自講義中に使用できるように準備しておくこと。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	NBc-102

講義科目名称： 生活文化と医療

授業コード： 4N013

英文科目名称： Culture and Medicine in Life

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション 本講義の目的および到達目標と授業の進め方を説明します。講義で、簡単なアンケート用紙配布しますので、皆さんが考える生活文化と医療について教えてください。	鈴木 英恵
	第2回 患者にとってのお守り 医療従事者が経験、あるいは見聞した患者とお守りのエピソードを紹介し、患者にとってのお守りとは、どのような力を発揮するのでしょうか。皆さんも一緒に考えてみましょう。	鈴木 英恵
	第3回 死生観について 人は皆、それぞれ自分の死生観を持っています。ここでは「死生観とは何か」を考え、死とじっくり向き合う時間を設けます。あわせて、GWのレポート課題「死生観」の説明とレポートの書き方、文章の組み立てとその方法等のお話をします。	鈴木 英恵
	第4回 名づけとキラキラネーム 近年、簡単に読めない名前が医療現場でも問題になっているようです。名づけの方法と名前に込められた意味を考えながら、伝統的な名づけとキラキラネームの命名法の特徴をみていきましょう。	鈴木 英恵
	第5回 いのち観と人生儀礼 I ここでは「いのち」とは何かを考える時間を設けます。いのち観と靈魂の関係を考えます。絵画資料や文芸作品等から、過去の人びとが考えていた「いのち」観をみてみましょう。	鈴木 英恵
	第6回 いのち観と人生儀礼 II 人生儀礼と生命観をキーワードに、人生儀礼（冠婚葬祭）の民俗に着目します。とくに、赤子の誕生儀礼等を取り上げます。	鈴木 英恵
	第7回 民俗学と医療民俗学の接点 本授業の科目名は「生活文化と医療」です。生活文化の特徴は、親から子へ、子から孫へとそれぞれの地域社会、家でくり返し受け継がれてきた伝統的な風習、つまり民俗といえます。ここでは、柳田國男による民俗学についてお話をし、医療民俗学との接点を考えます。	鈴木 英恵
	第8回 医療民俗学 I ここでは、民俗学における医療の捉え方に着目します。医療民俗学を創設した人物について紹介し、その調査研究方法を理解します。	鈴木 英恵
	第9回 医療民俗学 II 年中行事と暦の関係をみていきます。季節の節目には、予め病気を避ける疫病除けの年中行事が集中しますが、その方法をみていきます。薬の民俗についても考えます。	鈴木 英恵
	第10回 課題レポートの説明 本講義では、「生活文化と医療」をテーマにしたレポート課題があります。近い将来、皆さんは医療従事者として患者やその家族と接する機会があると考えます。レポートでは、皆さん自身の生活に目を向けてもらい、生活文化と医療に関連する事柄をまとめてもらいます。まず、お見舞いの品や六曜についてお話をします。その上で、レポートの書き方をお話します。	鈴木 英恵
	第11回 医療民俗学 III ここでは、病気をめぐる民俗について、近世後期の石仏（道祖神等）を事例に治療祈願の方法をみていきます。	鈴木 英恵
	第12回 映像鑑賞 盲目の旅芸人瞽女 かつて越後や北陸地方の村をめぐる盲目の女性、瞽女さんがいました。幼いころに目を患うと自立した生活を送るために、幼少時から師匠に付いて三味線と唄の技術を身につける女児もいました。ここでは、瞽女さんの生活様式をみていきましょう。	鈴木 英恵

	第13回	長寿祝いと老人観 高齢化社会を象徴する長寿祝いをみていきます。老いと福祉に関する回想法についても理解します。	鈴木 英恵
	第14回	高齢女性の活躍と道の駅 近年、「人生100年時代」といわれるようになり、社会で活躍する高齢者が増加しています。ここでは道の駅で活躍する高齢女性の暮らしに着目し、その元気の秘訣を探ります。	鈴木 英恵
	第15回	葬送儀礼と先祖供養 伝統的な葬送儀礼から生者と死者の関係性をみていきます。死の予兆とは何か、人は亡くなると何処へ行くのか、を考えてみます。先祖供養の方法についてもみていきます。	鈴木 英恵
科目の目的	本講義では、科学的医療ではなく伝統的な医療習俗を取り上げます。伝統的な医療習俗とは、世間一般の人びとの間で理解される病気の捉え方、経験に基づき伝承されている治療方法など、いわゆる民間療法が対象となります。民間療法は、医師や医療従事者より古い時代から存在し、私たちの生活に根付いてきました。このような民間療法の特徴を知ること、人はどのように病気を捉え、健康を取り戻そうとしてきたのか、その心意や治療方法を学ぶことができます。医療技術は日々進歩し、病院や医療機関等では科学的医療が施されますが、その一方で、人は重い病気や完治の困難な病気を抱えたと、お守り、お札（護符）など神仏の力、さらには家族や周りの友人に頼って、それらを心の拠り所にして病気と向き合います。よりよい健康状態を求めようとする人びとの心意こそが、伝統的な医療習俗に属します。本講義をとおり、私たちの生活と医療とのかかわりを実感し、患者やその家族を支えるような思慮深い保健医療従事者になることを目的とします。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】		
到達目標	現代医療に通じる伝統的な医療習俗を学ぶことは、いまの生活の質を向上させる可能性を持っています。今後、医療従事者を目指す皆さんは赤子から高齢者まで、さまざまな世代の患者やその家族と接するときがきます。伝統的な医療習俗や地域医療の対象となる人びとの生活文化を、知識として有していれば、患者らとの円滑なコミュニケーションを取ることが期待できます。本講義では、「死生観」と「生活文化と医療」に関するレポート課題がありますが、履修者の課題に対する取り組みへの姿勢とその内容を鑑み、成績に反映させます。レポート課題を達成した後、履修者が獲得できる能力は①患者の視点に立って物事をみる力を養うこと、②患者やその家族らの心の動きが理解できることの2点と考えます。医療技術のみならず、患者らの気持ちに寄り添えるような保健医療従事者となる能力の獲得を目標とします。		
関連科目	生命倫理、家族社会学		
成績評価方法・基準	死生観に関するレポート課題（40%）、生活文化と医療に関するレポート課題（40%）、講義内容について理解できているのかを測るミニテスト（20%）を実施します。 2つレポート課題（死生観に課するレポート及び、生活文化医療に関するレポート）の提出は必須です。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	日常生活の中から病気、健康などに関すること（衣食住で病気にならないように気を付けていること、健康維持の方法など）に興味を持ってください。そして日々の時間の中で、本講義の名称「生活文化と医療」に関連するキーワードを自分で探し出してみてください。人は生きている限り、常に病いと向き合って生きていきます。皆さんは身体の体調が悪いときや怪我をしたとき、どのようにして健康な身体を取り戻すでしょうか。自分を含み、身近な人たち（父母、祖父母、友人、知人など）は如何にして病気と向き合い、健康を取り戻しているのかを注意深くみてみましょう。そこには身体から病気を排除するような意識が働いているはずですが、必要な学習時間ですが、授業前までに、90分ほど時間をかけてテキストをじっくり読み、授業内容と合わせて自分なりの考えをまとめてみてください。		
教科書	教科書：『日本人の一生：通過儀礼の民俗学』 谷口 貢・板橋春夫著 （2014 八千代出版）		
参考書	参考書1：『図解案内 日本の民俗』 福田アジオ・内山大介・小林光一郎・鈴木英恵・萩谷良太・吉村風編 （2019 吉川弘文館） 参考書2：『医療民俗学論』根岸謙之助 （1991 雄山閣） 必要に応じて、講義に関する資料を配布します。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	私語は他の受講者に迷惑になるので厳禁です。授業の出席だけでは単位取得は認めません。		
アクティブ・ラーニングの実施	本講義では、履修者の能動的な学修への参加を望むためアクティブ・ラーニングを行います。think, Pair, Shareを重視します。講義内で「生活文化と医療」に関連する質問を皆さんに投げかけますので、それに対する自分の意見を考え（Think）を持ってください。その後、隣・前後の履修者と2～3名（Pair）でその内容について話し合ってください。そして、数名の履修者に質問に対する自分の考えを発表してもらうことで、全体で共有（Share）したいと思います。		
ナンバリング	OBc-203		

講義科目名称： 地域ボランティア活動論

授業コード： 4N014

英文科目名称： Volunteer Activities in a Community

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
一柳 大輔			

授業形態	講義8回、ボランティアに関する実習レポート1回	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス、ボランティアの現状、ボランティアの歴史について 本講義の目的、授業の流れ等ガイダンスの説明。日本におけるボランティアの現状、ボランティアの定義、日本・欧米におけるボランティアの歴史について説明する。 また「民生委員・児童委員」「NPO」といった多様なボランティアの歴史を説明する。</p> <p>第2回 ボランティアに関する情報収集、ボランティアセンターの役割について ボランティア活動をスタートするにあたり、必要となる情報収集の方法について説明する。ボランティアセンターの組織や活動内容について説明し、各市区町村に設置されているボランティアセンターの活用方法を理解する。また、申請までのロールプレイングを行い、ボランティア参加までの流れを理解する。</p> <p>第3回 寄付と還元について 共同募金(赤い羽根共同募金)を例に寄付文化とその還元について説明する。寄付がどのようなかたちで使われているか、実際の事業を紹介し理解を深める。</p> <p>第4回 性的マイノリティとボランティア活動について 性的マイノリティに関連する団体の事業を紹介する。また、居場所事業・相談支援事業・啓発活動に関する紹介を通してボランティアとしてどう関わられるかを考察する。また、「アライ(支援者)」として性的マイノリティの方との交流を支援的側面に特化して説明する。</p> <p>第5回 生活課題を抱えた方への支援とボランティア活動について “複合的な課題”、“重層的な課題”等の生活課題を抱えている地域住民の事例紹介、そういった住民を対象とした居場所事業やコーディネート実践の紹介を通してボランティアとしてどう関わられるかを考察する。</p> <p>第6回 “ごみ屋敷”とボランティアについて ごみ屋敷の住人の多くは複合的な課題を抱えており、支援のあり方は非常に複雑であり、様々な専門職やボランティアが関わるケースが多い。ごみ屋敷の住人の支援において、ボランティアがどのように関わるかという視点で実際の事例をもとに説明をする。</p> <p>第7回 災害現場における災害ボランティアセンターの役割、災害ボランティアの活動について 我が国では、毎年、各地で自然災害が発生しておりこれらにより多くの人命や財産等が失われている。災害が発生した際に設置される災害ボランティアセンターの役割と災害ボランティアの活動について説明し、医療専門職としてのかかわり方を考察する。</p> <p>第8回 ボランティア体験の実践紹介、ボランティアに関する企業の取り組みの紹介 講義をとおした学びとボランティア体験レポートの発表を行う。様々な背景を持つ学生同士で知見を共有、考察する。また、民間企業の社会貢献活動の取り組みを紹介し、卒後の専門職キャリアを歩むうえでのボランティア活動の捉え方を考察する。</p>	<p>一柳</p> <p>一柳</p> <p>一柳</p> <p>一柳</p> <p>一柳</p> <p>一柳</p> <p>一柳</p> <p>一柳</p>
科目の目的	<p>1. ボランティア活動の多様なあり方を理解する 2. ボランティアに関連するステークホルダーを知り、他者を尊重し、自身のかかわり方を考察する 3. 専門職として地域社会に主体的かつ創造的に貢献できる人材の育成 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>1. ボランティア活動の基本概念、歴史、現在の多様なニーズを理解し、ボランティアの意義を説明できる状態 2. 実践、体験を通して、地域社会のニーズやボランティア活動について説明できる状態 3. ボランティア・市民活動の実践を振り返り、専門職としての職業観の確立の基礎作りに寄与できる状態</p>	
関連科目	なし	
成績評価方法・基準	ボランティア体験レポート(40%)・授業内レポート(40%)・出席点(20%※2.5点×8回)	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	個人、専門職としてどのようにボランティアと関わるかを自身なりに整理し、言語化できるようにしておくこと。テーマに沿って自身の気になるトピックスを学習おくこと。準備学習に必要な時間の目安：1コマあたり2時間
教科書	使用しない
参考書	なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、教室内での演習
ナンバリング	OBc-205

講義科目名称： 経済学

授業コード： 4N015

英文科目名称： Economics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。	飯島 正義
	第2回 経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの歩みを概略的に説明します。	飯島 正義
	第3回 市場メカニズムと政府の役割 市場メカニズムとは何か、市場の失敗とその是正について説明します。	飯島 正義
	第4回 財政政策と金融政策 政府の行う財政政策、日本銀行が行う金融政策について説明します。	飯島 正義
	第5回 国内総生産（GDP） 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。	飯島 正義
	第6回 経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。	飯島 正義
	第7回 貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支表」で確認します。	飯島 正義
	第8回 為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。	飯島 正義
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。【看護職としての態度】	
到達目標	1. 経済学の基礎知識を身につけることができます。 2. 経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における復習プリント40%（3～4回、授業資料参照可）、授業内試験60%で総合的に評価します。 なお、復習プリントのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業資料で前回の授業内容を復習するとともに、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して2時間復習・予習にあてて下さい。	
教科書	教科書は使用しません。授業ではWebに添付する授業資料を使います。	
参考書	必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。授業内試験時には印刷された授業資料のみを持ち込み可とします。なお、資料の添付期間は添付してから1か月間です。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。	
ナンバリング		

講義科目名称： 環境学

授業コード： 4N016

英文科目名称： Environmental Studies

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西菌 大実			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 環境とは 環境問題の範囲と背景、SDGs 第2回 地球の環境の構造 地球の自然の成り立ち 第3回 生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは 第4回 環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ 第5回 典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉍毒、四大公害病 第6回 有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として 第7回 水質汚濁（Ⅰ） 水質汚濁の原因、生活排水、BOD 第8回 水質汚濁（Ⅱ） 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり 第9回 気候変動（Ⅰ） 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加 第10回 気候変動（Ⅱ） 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測 第11回 気候変動（Ⅲ） 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定 第12回 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー 第13回 廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物と3R 第14回 低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり 第15回 持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西菌 大実 西菌 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。 <b>【看護職としての態度】 【対象の理解】</b>	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習（自筆ノートの整備）を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。	
教科書	使用しない（プリント配布）	
参考書	新版 新しい環境科学 鈴木孝弘 駿河台出版社 ISBN978-4-411-04039-8C3040	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	教室内でのグループ・ディスカッション	
ナンバリング	NBd-101	



講義科目名称： 生物学

授業コード： 4N017

英文科目名称： Biology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ヒトへの進化 生命を支える物質（1） ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質</p> <p>第2回 生命を支える物質（2） 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物（糖質） ・脂質 ・核酸 ・無機質（無機塩類）</p> <p>第3回～4回 生命の単位 ①ウイルス、原核細胞（細菌類を含む）、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割</p> <p>第5回 DNA ①DNA複製のしくみ ②DNAの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ</p> <p>第6回 受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖、減数分裂 ②受精 ③初期発生と分化のしくみ ④形態形成とアポトーシス</p> <p>第7回 生体防御と免疫 ①免疫細胞 ②サイトカイン</p> <p>第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③遺伝病の原因—遺伝子変異</p>	<p>嶋田 淳子</p>
科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に基礎生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【看護職としての態度】</p>	
到達目標	<p>ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する ④体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。</p>	
関連科目	化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績（90%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（10%）により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。	

教科書	「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄 (医歯薬出版株式会社)
参考書	1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳 (南工堂) 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルー-バックス (講談社) 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 (羊土社)
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	基礎生物学分野の研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、教科書、講義資料等で予習後、履修することが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。
ナンバリング	NBd-102

講義科目名称： 数学

授業コード： 4N018

英文科目名称： Mathematics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 数と式 展開・因数分解を復習する。	井上 浩一
	第2回 方程式と不等式 1次不等式，2次方程式の復習をする。	井上 浩一
	第3回 2次関数 2次関数とそのグラフ，2次関数の最大・最小， 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係性を復習する。	井上 浩一
	第4回 図形と計量 三角比，正弦定理と余弦定理，図形の計量を復習する。	井上 浩一
	第5回 個数の処理 順列，組合せを復習する。	井上 浩一
	第6回 確率 事象と確率，確率の性質，反復試行の確率，条件つき確率を復習する。	井上 浩一
	第7回 論理と命題 集合とその要素の個数，命題と条件，逆，裏，対偶を復習する。	井上 浩一
	第8回 データの分析 データの整理と特徴的な値(平均，分散，相関係数など)を復習する。	井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と軽量、場合の数と確率、論理と命題、データの分析について学ぶ。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	化学，情報処理	
成績評価方法・基準	筆記試験(90%) + 小テスト(10%) なお，社会情勢に応じて，筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度)	
教科書	教科書：特になし 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
参考書	高校数学IAの教科書	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	NBd-103	

講義科目名称： 化学

授業コード： 4N019

英文科目名称： Chemistry

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて、化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える。</p> <p>第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造、原子軌道、分子軌道について解説する。</p> <p>第3回 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか、元素の分類と周期表の読み方について解説する。</p> <p>第4回 イオン イオンとイオン結合の原理、生体内でのイオンの役割について解説する。</p> <p>第5回 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である。有機分子の結合様式、特異な形、一般的な性質について解説する。</p> <p>第6回 水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体、液体、固体）について解説する。</p> <p>第7回 物質の変化における速度論と平衡論 物質の変化は、速度論と平衡論の両面から考察する必要がある。これらについて概説する。</p> <p>第8回 放射線と放射能 放射性崩壊と半減期、医療における放射性同位体の利用について解説する。</p>	<p>日置 英彰</p>
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると言われる化学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門課程で学修する内容を体系的に理解するための基礎的知識を身につけることを目的とする。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	専門課程で学習する内容を体系的に理解するために、化学分野の基礎的知識を習得する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（75%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（25%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ありませんが、毎回の講義の理解度を確認するために、講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください。また、講義の中で疑問に感じて自分で調べたこと、講義に関連する内容についてさらに深く学習したことについて、毎講義ごとにリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）を提出してもらいます。講義を通して30時間分の学習が必要です。	
教科書	看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人	
参考書	特に指定なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特にありません。	
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってください。各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください。	
ナンバリング	NBd-104	

講義科目名称： 英語リーディング

授業コード： 4N020 4N147 4N148

英文科目名称： General English Reading

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction、Self Introduction 授業の説明、英語で自己紹介をする (Lesson 1のExpress Yourself)	徳永慎也
	第2回 Lesson 1 Communication コミュニケーションの持つ力についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永慎也
	第3回 Lesson 1 Communication コミュニケーションの持つ力についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永慎也
	第4回 Lesson 1 Communication extensive readingの説明。 コミュニケーションの持つ力についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永慎也
	第5回 Lesson 3 Health and Environment SDGsの目標6「すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する」についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永慎也
	第6回 Lesson 3 Health and Environment SDGsの目標6「すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する」についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永慎也
	第7回 Lesson 4 Gender Equality SDGsの目標5「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永慎也
	第8回 Lesson 4 Gender Equality SDGsの目標5「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try 課題①：SDGsの17の目標の中から1つ選び、①状況、②問題、③解決、④結果・コメントの構造に沿って、自分の意見を英語で書く。(Lesson 4のExpress Yourselfを参照)	徳永慎也
	第9回 Lesson 5 Fashion*課題提出あり 日本の着物の歴史についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永慎也
	第10回 Lesson 5 Fashion 日本の着物の歴史についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try 課題のフィードバック	徳永慎也
	第11回 Lesson 7 The HHistory of YouTube YouTubeの歴史に関する英文読解。 Conversation、Reading	徳永慎也
	第12回 Lesson 7 The HHistory of YouTube YouTubeの歴史に関する英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永慎也

	第13回	Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する英文読解。 Conversation、Reading 課題②：「～したほうが良い」と思われる理由について、パラグラフの構造 (Introduction、Body、Conclusion) に注意して、英語で論じる。(Lesson 14の Express Yourselfを参照)	徳永慎也
	第14回	Lesson 11 Volunteer Work*課題提出あり ボランティア活動の意義に関する英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永慎也
	第15回	第2回から第14回講義の復習(重要事項の確認) 第2回から第14回目(Unit 1、Unit 3、Unit 4、Unit 5、Unit 7、Unit 11)の講義 を振り返り、重要事項の確認を行う。 課題のフィードバック	徳永慎也
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための総合的な英語基礎力、リーディング力、リスニング力、スピーキング力、ライティング力を身につける。特にリーディング力を養成する。英語を学ぶことを通して、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現することができるようにする。【看護職としての態度】【国際的な視野】		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。</li> <li>・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。</li> <li>・テキスト教材の音声を聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。</li> <li>・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。</li> </ul>		
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング		
成績評価方法・基準	定期試験(60%) 課題(30%) extensive reading(10%) *定期試験は100点満点で実施するが、60点満点に換算。課題は2回実施して各15点満点で採点して合計で30点とする。extensive readingは10,000語を達成して10点。extensive readingは登録作業が必要なため、5月の連休明けから開始し、授業期間最終日まで読んで語数をカウントする。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。練習問題等はあらかじめやっておく。</p> <p>復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。</p> <p>予習復習合わせて1時間。</p> <p>extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。</p>		
教科書	教科書：『グローバル社会へのコミュニケーション英語——Journeys: Communication for the Global Age』 阿野幸一他(朝日出版社)		
参考書	指定なし		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。わからない単語や表現は必ず辞書を引いて調べること。 座席は出席番号順に固定(初回授業で指定)。出席はパスワードを用いて登録してもらいますが、その場で教員も確認します。		
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク、ペアワーク		
ナンバリング	NBe-101		

講義科目名称： 医療英語リーディング

授業コード： 4N021

英文科目名称： Medical English Reading

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction—Pretest Test Your Reading Skill: Team Medicine 授業の説明、各自のreading abilityのチェック、単語力のチェック。	徳永慎也
	第2回 Unit 2 Coping with Cancer: Five Stages of Grief topicの英文読解、内容の把握。がんと共に生きるための5つのステージとは何か。 医療英単語①（人体の部位）の説明（次回、テストを行う）	徳永慎也
	第3回 Unit 2 Coping with Cancer: Five Stages of Grief topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。 医療英単語テスト①（人体の部位） 医療英単語②（人体の部位）の説明（次回、テストを行う）	徳永慎也
	第4回 Unit 3 Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。医療と宗教の関わり方と解決策を考える。単語テスト返却。 医療英単語テスト②（人体の部位） 医療英単語③（人体の部位）の説明（次回、テストを行う）	徳永慎也
	第5回 Unit 3 Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト③（人体の部位） 医療英単語④（骨格各部位）の説明（次回、テストを行う） 課題①：医療現場における宗教的配慮について調べ、英語でまとめる。	徳永慎也
	第6回 Unit 6 What Comes First When Helping Others topicの英文読解、内容の把握。医療従事者自身の身体的、精神的ケアを考える。単語テスト返却。 医療英単語テスト④（骨格各部位） 医療英単語⑤（骨格各部位）の説明（次回、テストを行う）	徳永慎也
	第7回 Unit 6 What Comes First When Helping Others topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑤（骨格各部位） 医療英単語⑥（主な人体の器官）の説明（次回、テストを行う） 課題のフィードバック	徳永慎也
	第8回 Unit 8 What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解、内容の把握。upstream thinkingとは何かを理解する。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑥（主な人体の器官） 医療英単語⑦（接頭辞と接尾辞）の説明（次回、テストを行う）	徳永慎也
	第9回 Unit 8 What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑦（接頭辞と接尾辞） 医療英単語⑧（接頭辞と接尾辞）の説明（次回、テストを行う）	徳永慎也
	第10回 Unit 9 Actions Speak Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。非言語コミュニケーションとは何かを理解する。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑧（接頭辞と接尾辞） 医療英単語⑨（接頭辞と接尾辞）の説明（次回、テストを行う）	徳永慎也
	第11回 Unit 9 Actions Speak Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension、課題の説明。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑨（接頭辞と接尾辞） 医療英単語⑩（接頭辞と接尾辞）の説明（次回、テストを行う） 課題②：日本以外の国の非言語コミュニケーションについて調べ、英語でまとめる。	徳永慎也

	第12回	Unit 9 Actions Speak Louder than Words、Unit 4 Before Calling It Malpractice*課題提出あり 課題をグループ内で発表する。 Unit 9: Practice Conversation Unit 4: topicの英文読解、内容の把握。医療ミスについて理解する。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑩ (接頭辞と接尾辞) 医療英単語⑩ (接頭辞と接尾辞) の説明 (次回、テストを行う)	徳永慎也
	第13回	Reading Skillのチェックと第1回から第12回講義の復習 第1回から第12回講義の復習。 医療英単語テスト⑪ (接頭辞と接尾辞) 医療英単語⑪ (接頭辞と接尾辞) の説明 (次回、テストを行う)	徳永慎也
	第14回	Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑫ (接頭辞と接尾辞) 課題のフィードバック	徳永慎也
	第15回	Unit 4 Before Calling It Malpractice、Reading Skillのチェックと第1回から第14回講義の復習 topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 各自のreading skillの再チェック。単語テスト返却。 第1回から第14回講義の復習	徳永慎也
科目の目的	専門分野の英語に取り組むためのリーディング力、表現力の養成と強化。 医療系の基本的英語語彙力と英語表現力の強化。【看護職としての態度】 【国際的な視野】		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療全般に関するトピックを読み、構文を正しくとらえ、内容を理解することができる。</li> <li>・トピックの内容をまとめ、関連する事柄について、自分の意見・考えを表現できる。</li> <li>・テキストの音声聞いて単語や文章を正しく聴き取ることができる。</li> <li>・医療の基本的英単語、英語表現を覚え、声に出して読んで正しく書くことができる。</li> </ul>		
関連科目	英語リーディング 医療英語会話 英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング		
成績評価方法・基準	定期試験(70%) 課題(20%) 医療英単語テスト(10%) *定期試験は70点満点で実施する。課題は2回実施して各10点満点で採点して合計で20点とする。医療英単語テストは、第3回～第14回に毎回10点のテストを行い、平均して10点とする(不正行為厳禁)。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>予習：次回に学習する範囲の英文、英単語の音声を聴く。英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。予習用プリントを配布する。</p> <p>復習：その日に学習したことを整理し、英語構文を理解する。英単語、英語表現は覚え、正しく発音できるように音声教材をよく聴き、また、正しく書けるまで練習する。課題を行う。</p> <p>予習復習合わせて約1時間。</p>		
教科書	教科書：Medical World Walkabout 大野直子&ダンシルヴァ石田牧子 (成美堂)		
参考書	指定なし		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	<p>高校までの基本的英文法は理解しておいてください。わからない単語、表現などは必ず自分で辞書を引いて調べることを。</p> <p>座席は出席番号順に固定(初回授業で指定)。出席はパスワードを用いて登録してもらいますが、その場で教員も確認します。</p> <p>単語テストでの不正行為は厳禁。</p>		
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク		
ナンバリング	NBe-102		

講義科目名称： 英語会話

授業コード： 4N022 4N155 4N156

英文科目名称： General English Conversation

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Course introduction/Icebreaking Explanation of the syllabus and grading. Introduction of phrases that will commonly be used in the class.	David Andrews
	第2回 Unit 1: I'm sorry. What's your name again? Talking about yourself, your hobbies, and your interests.	David Andrews
	第3回 小テストU1 および Unit 2: Where would you like to visit? Talking about countries and places that interest you.	David Andrews
	第4回 小テストU2 および Unit 3: Let's talk about money Expressing money amounts, dealing with currency exchange, and using an ATM.	David Andrews
	第5回 小テストU3 および Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 1) + 第1回目のプレゼンテーション準備 Making reservations and checking in to a hotel + プレゼンテーションの準備。	David Andrews
	第6回 第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 2) 第1回目のプレゼンテーション + Making reservations and checking in to a hotel (continued)	David Andrews
	第7回 小テストU4 および Unit 5: Let's do this! Talking about resort activities and making plans.	David Andrews
	第8回 小テストU5 および Unit 6: How do I get to the Koi Pond? Asking and giving directions.	David Andrews
	第9回 小テストU6 および Unit 7: Where are you headed? Asking for a taxi and making small talk.	David Andrews
	第10回 小テストU7 および Unit 8: Let's take a tour! (part 1) + 第2回目のプレゼンテーション準備 Talking about various island tours and activities + プレゼンテーションの準備	David Andrews
	第11回 第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Let's take a tour! (part 2) 第2回目のプレゼンテーション + Talking about various island tours and activities (continued)	David Andrews
	第12回 小テストU8 および Unit 9: How much is this T-shirt? Going shopping and buying things.	David Andrews
	第13回 小テストU9 および Unit 10: Let's go out to eat! Ordering food at a restaurant.	David Andrews
	第14回 小テストU10 および Unit 11: Lost and Found + 第3回目のプレゼンテーション準備 Describing an item you have lost + プレゼンテーションの準備。	David Andrews
	第15回 第3回目のプレゼンテーション + Unit 12: How was your vacation? 第3回目のプレゼンテーション + Talking about your experiences	David Andrews
科目の目的	本授業では、英語でコミュニケーションをとる際に役立つ用語や表現、異文化に対する寛容さを身に付け、様々な状況や場面で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。【キーワード：【看護職としての態度】【国際的な視野】】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことや身の回りのことについて英語で伝えることができる。</li> <li>・様々な場面において実用的なコミュニケーションスキル(要求、指示など)を習得する。</li> <li>・英語圏の文化や風習を理解する。</li> </ul>	
関連科目	医療英語会話、英語リーディング、医療英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	授業中の課題 (5%)、小テスト (30%)、第1回目のプレゼンテーション (15%)、第2回目のプレゼンテーション (20%)、第3回目のプレゼンテーション (30%) 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。学習時間は1.5時間程度。また、プレゼンテーションの準備時間は合わせて6時間程度。	
教科書	教科書：使用せず 適宜、教材用資料を配布	

参考書	なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中のスマホ使用は原則禁止。予習は必ずすること。積極的に参加すること。定期試験無し。
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション
ナンバリング	NBe-201

講義科目名称： 医療英語会話

授業コード： 4N023

英文科目名称： Medical English Conversation

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction/Icebreaking イントロダクション、本授業について（シラバスや成績評価方法等）。 初対面で使う表現および授業中よく使われる表現の紹介、練習。	David Andrews
	第2回 Unit 1: Meeting patients	David Andrews
	第3回 Body Partsの小テスト（1） + Unit 2: Taking a medical history	David Andrews
	第4回 Unit 2の小テスト + Unit 3: Assessing symptoms	David Andrews
	第5回 Unit 3の小テスト + Unit 4: Taking vital signs および第1回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第6回 第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Taking vital signs	David Andrews
	第7回 Unit 4の小テスト + Unit 5: Taking a specimen	David Andrews
	第8回 Unit 5の小テスト + Unit 6: Conducting a medical examination	David Andrews
	第9回 Body Partsの小テスト（2） + Unit 7: Assessing pain	David Andrews
	第10回 Unit 7の小テスト + Unit 8: Advising about medication および第2回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第11回 第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Advising about medication	David Andrews
	第12回 Unit 8の小テスト + Unit 9: Improving Patients' mobility	David Andrews
	第13回 Unit 9の小テスト + Unit 10: Maintaining a good diet	David Andrews
	第14回 Body Partsの小テスト（3） + Unit 12: Coping with emergenciesおよび第3回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第15回 第3回目のプレゼンテーション + Unit 12: Coping with emergencies	David Andrews
科目の目的	現在、医療は、間違いなくグローバルな分野であり、「国際語」である英語を通じて様々なアイデアが世界中に共有されている。本授業では、医療分野において必要な医療用語や表現を知識として身に付け、実際の場で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。【キーワード：【看護職としての態度】【国際的な視野】】	
到達目標	医療業界において様々なシチュエーションに対応できるようになる。また、医療業界でよく使われている専門用語や表現等を聞き取り、言えるようになる。	
関連科目	英語会話、医療英語リーディング、英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	授業中の課題（5%）、小テスト（30%）、第1回目のプレゼンテーション（15%）、第2回目のプレゼンテーション（20%）、第3回目のプレゼンテーション（30%） 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。予習：テキストに目を通して、オーディオを聞き、練習問題をやる。学習時間は合わせて1.5時間程度。また、プレゼンテーションの準備時間は合わせて6時間程度。	
教科書	教科書：Caring For People	
参考書	なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	授業中のシマホ使用は原則禁止。予習は必ずすること。積極的に参加すること。定期試験無し。	
アクティブ・ラー	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション	

ニングの実施	
ナンバリング	NBe-202

講義科目名称： 英語アカデミックリーディング・ライティング 授業コード： 4N024

英文科目名称： Academic Reading and Writing in English

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Writing: Paragraphとは何か、一文を書いてみる (Unit 1・Lesson 1, Lesson 2) パラグラフとは何か。よいパラグラフの条件 英語における語順の重要性。Writing Exercise	David Andrews
	第2回 Writing: Narrative Paragraph (Unit 2・Lesson 1) 課題のフィードバック。Narrative Paragraphの特徴、特有の表現。Writing Exercise	David Andrews
	第3回 Writing: Descriptive Paragraph (Unit 2・Lesson 2, Lesson 3) 課題のフィードバック。Descriptive Paragraphの特徴、特有の表現。 Writing Exercise	David Andrews
	第4回 Writing: Comparison/Contrast Paragraph (1) (Unit 3・Lesson 1) 課題のフィードバック。Comparison/Contrast Paragraphの特徴、特有の表現。 Writing Exercise	David Andrews
	第5回 Writing: Comparison/Contrast Paragraph (2) (Unit 3・Lesson 2, Lesson 3) 課題のフィードバック。Comparison/Contrast Paragraphの特徴、特有の表現。 Writing Exercise	David Andrews
	第6回 Writing: Cause/Effect Paragraph (1) (Unit 4・Lesson 1) 課題のフィードバック。Cause/Effect Paragraphの特徴、特有の表現。 Writing Exercise	David Andrews
	第7回 Writing: Cause/Effect Paragraph (2) (Unit 4・Lesson 2, Lesson 3) 課題のフィードバック。Cause/Effect Paragraphの特徴、特有の表現。 Writing Exercise	David Andrews
	第8回 Writing: Opinion Paragraph (1) (Unit 5・Lesson 1) 課題のフィードバック。Opinion Paragraphの特徴、特有の表現。 Writing Exercise	David Andrews
	第9回 Writing: Opinion Paragraph (2) (Unit 5・Lesson 2, Lesson 3) 課題のフィードバック。Opinion Paragraphの特徴、特有の表現。 Writing Exercise	David Andrews
	第10回 Writing: ParagraphからEssayへ (Unit 6) 課題のフィードバック。パラグラフからエッセイへの展開。	David Andrews
	第11回 Reading: アカデミック系の文献を読む (1) パラグラフ・ライティングを意識しながら読む。	David Andrews
	第12回 Reading: アカデミック系の文献を読む (2) Topic sentence, supporting sentences, concluding sentenceなどを意識しながら読む。	David Andrews
	第13回 Reading: アカデミック系の文献を読む (3) パラグラフ間の関係を意識しながら読む。	David Andrews
	愛14回 Reading: アカデミック系の文献を読む (4) パラグラフ間の関係を意識しながら読む。	David Andrews
	第15回 Reading: アカデミック系の文献を読む (5) パラグラフ間の関係を意識しながら読む。	David Andrews
科目の目的	本授業では、学術文献における英文の基本構成や展開の仕方を理解した上で、様々な形式の文章を読み、実際に書くことでリーディング・ライティングスキルを身に付ける。【キーワード：【国際的な視野】】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラグラフライティングの基礎を学び、短い英文や数パラグラフの文章を書くことができる。</li> <li>・パラグラフライティングの基礎をもとに、専門分野の英語文献をパラグラフライティングの観点から分析的に読むことができる。</li> <li>・パラグラフライティングの観点から、専門分野の英語文献の書き方が理解できる。</li> </ul>	
関連科目	英語リーディング、医療英語リーディング、英語会話、医療英語会話	
成績評価方法・基準	授業中の課題 (100%) 課題を採点し、返却する。	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：テキストに目を通し、練習問題をやる。 復習：課題を通じて、学んだことを定着させる。学習時間は合わせて1時間。
教科書	教科書：A Guide to English Academic Writing for Beginners 田地野 彰 （朝日出版社） その他：プリント
参考書	なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中のスマホ使用は原則禁止。予習は必ずすること。積極的に参加すること。定期試験無し。
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク
ナンバリング	NBe-401

講義科目名称： 中国語

授業コード： 4N025

英文科目名称： Chinese

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回 第1課の学習 第1課 自己紹介 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 教室で 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 キャンパスで 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 友達と 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 ファストフード店で 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 待ち合わせ 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 旅行 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 アルバイト 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 風邪 単語 本文 ポイント 練習 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【看護職としての態度】【国際的な視野】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1コマあたり60分程度必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書	教科書：キャンパスで始める中国語（白帝社）
参考書	参考書：なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	NBf-101

講義科目名称： コリア語

授業コード： 4N026

英文科目名称： Korean

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として「混ぜる食文化」を紹介する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶、伝統服を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として韓国の包む文化～「サム料理」を紹介する。	青木 順
	第6回 ハングルの読み方 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	グローバルな視点を養い、限定的な場面でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。 【看護職としての態度】【国際的な視野】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。</li> <li>・正確な発音をマスターする。</li> <li>・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。</li> </ul>	
関連科目	特になし。	

成績評価方法・基準	課題への取り組み (40%) ・期末テスト (60%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、1コマ当たり1時間を目安に積極的に取り組むこと。
教科書	講師作成教材使用予定(コピー)
参考書	特になし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。
アクティブ・ラーニングの実施	二人一組で、与えられた課題に取り組む方法をとる。
ナンバリング	NBf-102

講義科目名称： ドイツ語

授業コード： 4N027

英文科目名称： German

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
伊藤 貴康			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 動詞の現在人称変化 1	伊藤 貴康
	第2回 名詞と冠詞の格変化	伊藤 貴康
	第3回 名詞の複数形・人称代名詞	伊藤 貴康
	第4回 動詞の現在人称変化 2・命令法	伊藤 貴康
	第5回 定冠詞類・不定冠詞類	伊藤 貴康
	第6回 前置詞	伊藤 貴康
	第7回 話法の助動詞・未来形・非人称動詞	伊藤 貴康
	第8回 分離動詞と非分離動詞・接続詞	伊藤 貴康
	第9回 動詞の三基本形・過去人称変化	伊藤 貴康
	第10回 現在完了・再帰表現	伊藤 貴康
	第11回 形容詞の格変化	伊藤 貴康
	第12回 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞	伊藤 貴康
	第13回 関係代名詞・指示代名詞	伊藤 貴康
	第14回 受動態	伊藤 貴康
	第15回 接続法	伊藤 貴康
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。【看護職としての態度】【国際的な視野】	
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。	
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理	
成績評価方法・基準	期末試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間	
教科書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01272-9を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。	
参考書	CD付き オールカラー超入門! 書いて覚えるドイツ語ドリル (ナツメ社) 978-4816362538	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング	NBf-103	

講義科目名称：ポルトガル語

授業コード：4N028

英文科目名称：Portuguese

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.	Hilda Harumi Handa
	第2回 Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese	Hilda Harumi Handa
	第3回 Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se	Hilda Harumi Handa
	第4回 Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet	Hilda Harumi Handa
	第5回 Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.	Hilda Harumi Handa
	第6回 Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.	Hilda Harumi Handa
	第7回 Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.	Hilda Harumi Handa
	第8回 Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.	Hilda Harumi Handa
	第9回 Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.	Hilda Harumi Handa
	第10回 Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.	Hilda Harumi Handa
	第11回 Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.	Hilda Harumi Handa
	第12回 Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.	Hilda Harumi Handa
	第13回 Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.	Hilda Harumi Handa
	第14回 Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.	Hilda Harumi Handa

	第15回 Exam Let's see how much you learned from the previous classes.	Hilda Harumi Handa
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会が多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【看護職としての態度】 【国際的な視野】</p>	
到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it's a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.	
教科書	Teacher will provide handouts.	
参考書	Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	discussion , conversation and pair work	
ナンバリング	NBf-104	

講義科目名称： 情報処理

授業コード： 4N029 4N149 4N150

英文科目名称： Information Processing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要とパーソナルコンピュータの利用について	星野 修平
	第2回 パーソナルコンピュータの基本操作 パーソナルコンピュータの種類と起動 マウスの操作 キーボードの操作 タッチタイピング	星野 修平
	第3回 パーソナルコンピュータのファイル操作 ウィンドウの操作 フォルダーによる情報管理	星野 修平
	第4回～第6回 ワードプロセッサ Wordの基本操作 入力操作の基本 書式設定 表の作成 グラフィック・図	星野 修平
	第7回～第10回 スプレッドシート スプレッドシートとは Excelの基本 セル操作の基本 表の作成と編集 数式と参照 グラフ作成 素材の利用 関数	星野 修平
	第11回～第13回 プレゼンテーション プレゼンテーションの利用 PowerPointの基本 素材の利用 メディアの利用とアニメーション効果	星野 修平
	第14回～第15回 総合演習とまとめ パーソナルコンピュータの操作と活用 オフィスアプリケーションを用いた情報表現	星野 修平
科目の目的	<p>現代社会には情報があふれており、私たちは様々なメディアから情報を取得し活用する。情報活用や情報操作を行うスキルを身につけるため、コンピュータやコンピュータネットワークの基本的概念と構成、仕組みを理解し、情報社会における情報の意味を理解することが求められる。本科目では大学での学び（学習と研究や臨床実践）をより充実させるため、パーソナルコンピュータやマルチメディアの基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成・編集の基本技術、Excelの基本、計算機能、ビジュアルな文書作成、インターネットの活用、ワークシートの活用などについて学び、合計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、グラフ作成、データベースの基本事項、データのソート、検索、集計、Power Point、プレゼンテーションなどについての演習を行う。</p> <p><b>【看護職としての態度】</b></p>	
到達目標	<p>情報社会におけるコンピュータやインターネットの仕組み理解し、情報の活用、意味、伝達の意義について学習する。</p> <p>個別目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報の基本的概念について説明できる。</li> <li>2. コンピュータの基本操作について説明できる。</li> <li>3. ワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報表現、情報操作が行える。</li> </ol>	

関連科目	情報リテラシー
成績評価方法・基準	演習課題 (50%) ミニテスト (50%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業 (90分)、事前自己学習 (60分)、関連項目の事後学習 (60分)
教科書	学生のためのかんたんWord/Excel/PowerPoint入門 松下孝太郎, 山本光, 榎村麻里子著 技術評論社
参考書	[演習] アカデミックスキルとしてのICT活用 第2版 木野富士男 著, 高橋尚子 監修 技術評論社
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint)、ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。
ナンバリング	NBg-101

講義科目名称： 情報リテラシー

授業コード： 4N030

英文科目名称： Information Literacy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
米持 圭太	米持 圭太		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ Windowsへのサインイン、基本操作 Macの基本操作	米持 圭太
	第2回 文字入力 メモ帳、テキストエディットによるテキスト処理 日本語の入力	米持 圭太
	第3回 インターネットの利用 Web、メールの利用、アカウント連携について ビジネスメールのマナー	米持 圭太
	第4回 お絵かきソフトとファイル操作 ペイント、GIMPによるグラフィック処理 ファイル操作、フォルダーによるファイル管理 クラウドストレージの利用 USBメモリの賢い使い方	米持 圭太
	第5回 アプリケーションソフト（文章作成） ワープロの利用 ワープロによるレポート作成	米持 圭太
	第6回 アプリケーションソフト（表計算） 表計算ソフトの利用 グラフ作成 計算、集計、並べ替え オープンデータの利用	米持 圭太
	第7回 アプリケーション（プレゼンテーション） プレゼンテーションソフトウェアによる情報表現 良いプレゼンテーションの仕方	米持 圭太
	第8回 情報の探索とまとめ方 サーチエンジンの利用 インターネットによる情報収集 図書館の利用 レポート・論文作成	米持 圭太
	第9回 コンピュータとネットワーク コンピュータの仕組み コンピュータネットワークの構成	米持 圭太
	第10回 情報とセキュリティ セキュリティ 脆弱性と対策 コンピュータウイルス、マルウェアによる驚異 USBメモリの危険性 パソコン、スマホのセキュリティ対策	米持 圭太
	第11回 情報と法律 著作権法 個人情報保護法 不正アクセス禁止法	米持 圭太
	第12回 データ処理 Rとは Rによるデータ処理 Rによるグラフ処理	米持 圭太
	第13回 プログラミング Pythonとは Pythonによるプログラミング	米持 圭太

	<p>第14回 データサイエンス データサイエンスとは 医療とデータサイエンス AIと情報科学</p> <p>第15回 情報リテラシーのまとめ 情報リテラシーのまとめ この科目を通して、学んだこと習得した知識、技術を確認しよう。</p>	<p>米持 圭太</p> <p>米持 圭太</p>
科目の目的	<p>情報通信技術の発展に伴い、その技術に通じることは現代社会で生きていくためには不可欠な要素となっている。情報通信技術は便利で欠かせないものではあるが、その使い方を一歩誤ると、他者を傷つけたり、犯罪となったり、あるいは犯罪に巻き込まれたりすることになる。大きな社会問題に発展するケースも少なくない。</p> <p>本科目では、情報通信機器にあふれた現代社会を生きる一員として、情報通信技術を使う際の基本的なルールやモラルについて学ぶ。また学生各自が自らの学習や研究、将来医療専門職として仕事に利用するための情報セキュリティの考え方を学ぶ。</p> <p>【看護職としての態度】【国際的な視野】性理解【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>情報と意思決定の関係やメディアリテラシーの重要性を理解する。</p> <p>個別目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. さまざまな情報メディアを通して情報を活用する能力を身につける。</li> <li>2. マルチメディアによる情報表現の手法を理解し、基本的ルールやモラルを説明できる。</li> <li>3. 情報表現における倫理を理解し、情報セキュリティを実践できる。</li> </ol>	
関連科目	情報処理、データサイエンス入門	
成績評価方法・基準	<p>演習課題50%</p> <p>ミニテスト50%</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>事前学習 (45分)</p> <p>事後学習 (45分)</p>	
教科書	<p>改訂第5版 基礎からわかる情報リテラシー コンピュータ・インターネットと付き合う基礎知識 奥村晴彦・森本尚之 技術評論社</p>	
参考書	<p>標準教科書 改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏雄 監修 技術評論社 2022</p>	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	<p>MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。</p>	
ナンバリング	NBg-102	

講義科目名称： 大学の学び入門

授業コード： 4N031

英文科目名称： Introduction to College Learning

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平	峯村 優一	伊藤 栞	

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 大学の学び入門とは ・科目の目的・目標・進め方 ・高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い ・アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは	星野修平
	第2回 学ぶスキル（1） ・ノートの取る ・講義に参加する	星野修平
	第3回 学ぶスキル（2） ・本を読む ・文献を探索する ・図書館を活用する	星野修平
	第4回 学ぶスキル（3） ・オンラインコミュニケーション ・メールの活用、SNSの活用と課題 ・クラウドサービスの利用	星野修平
	第5回 学ぶスキル（4） ・大学の理念、教育の理念 ・群馬パース大学の教育の理念を聞き、大学の学びを考える	星野修平
	第6回 学ぶスキル（5） ・保健・医療・福祉の理念 ・医療専門職を目指す入学動機を検証し、学習、生活両面の自分自身の目標を見つける 特別講義：國元文生群馬パース病院長	星野修平
	第7回 書くスキル（1） レポートの書き方1 ・レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは	峯村優一
	第8回 書くスキル（2） レポートの書き方2 ・論文作法	峯村優一
	第9回 書くスキル（3） レポートの書き方3 ・講義レポートの形式	峯村優一
	第10回 リサーチスキル（1） ・リサーチスキルの意味 ・インターネットの利用とデータ収集	星野修平
	第11回 リサーチスキル（2） ・データを集めて集計する ・データから基本統計量を計算する	星野修平
	第12回 生きるスキル（1） ・相手の話を聴く ・ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する	伊藤栞
	第13回 生きるスキル（2） ・自分の気持ちや考えを伝える ・グループワークを通し、自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする	伊藤栞
	第14回 生きるスキル（3） ・協力して作業する ・これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し、周囲と協力して課題を達成する	伊藤栞

	第15回 生きるスキル（4） ・自身の人生とライフスタイルを考える ・他者の意見を聞き、自ら考える 特別講義：樋口建介理事長	星野修平
科目の目的	大学での学習形態や学問に対する姿勢、大人としての生活態度を認識、理解し、高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行することができるように、基本的なスキル、姿勢を学ぶ。 1. 与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習のためのスキルの習得、姿勢の理解 2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活のためのスキルと姿勢の理解。 【専門性の探究】	
到達目標	1. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル、情報処理に関するスキル、ルール、マナー）を理解し、授業やレポートで実践できる。 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生生活で実践できる。 （スケジュール・スキル、コミュニケーションスキル）	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	星野担当課題（50%、課題に対するフィードバックはAAにて掲示を行う） 峯村担当分課題（25%、課題はコメントと共に後日返却する） 伊藤担当意見文・感想文（25%、意見文・感想文の内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回授業の重要事項を見直しておくこと。約45分間。	
教科書	18歳からの「大学の学び」基礎講座、向後千春 著 北大路書房	
参考書	参考書：講義等で随時紹介いたします。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academy上で配布しますので、各自プリントアウトして授業に持ってきてください。配布期間は授業の前後1週間。	
アクティブ・ラーニングの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提出に際し、発見学習を取り入れて実施。</li> <li>・ロールプレイ、グループワークを取り入れて実施。</li> </ul>	
ナンバリング	NBh-101	

講義科目名称： 解剖学 I

授業コード： 4N032

英文科目名称： Anatomy I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 序論 1 解剖学とは何か 器官とその系統 上皮組織 支持組織 第2回 序論 2 筋組織 神経組織 人体の外形と方向用語 第3回 骨格系 1 骨格とは何か 骨の形 骨の構造 骨の発生と成長 骨の連結・関節 第4回 骨格系 2 頭部の骨 脳頭蓋 顔面頭蓋 鼻腔・副鼻腔 第5回 骨格系 3 脊柱 胸郭 上肢帯の骨 上腕の骨 第6回 骨格系 4 前腕の骨 手の骨 下肢帯の骨 骨盤 大腿の骨 下腿の骨 足の骨 第7回 筋系 1 筋の構造と機能 頭頸部の筋 第8回 筋系 2 胸腹部の筋 上肢帯の筋 上腕の筋 前腕の筋 手の筋 第9回 筋系 3 下肢帯の筋 大腿の筋 下腿の筋 足の筋 第10回 神経系 1 神経系の構成 中枢神経系 (脊髄 延髄 橋 小脳) 第11回 神経系 2 中枢神経系 (中脳 間脳 大脳) 第12回 神経系 3 脳の血管 脳室 脳脊髄膜 脳脊髄液 第13回 神経系 4 末梢神経 (脳神経) 第14回 神経系 5 末梢神経 (脊髄神経) 第15回 神経系 6 自律神経 (交感神経 副交感神経) 伝導路 (反射路 求心性伝導路 遠心性伝導路)	浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎
科目の目的	看護職としての基本知識となる運動器・神経系の肉眼解剖学的構造を習得する。【対象の理解】	
到達目標	骨格・筋・神経系の基本的な構造を説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅱ 生理学Ⅰ・Ⅱ 臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1週間前に配布する講義資料に関して1コマ当たり2時間の準備学習を要する。	
教科書	「入門人体解剖学(改訂第6版)」藤田恒夫著 藤田信也改訂 (南江堂)	
参考書	特に無し	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング	NF-i-101	

講義科目名称： 解剖学Ⅱ

授業コード： 4N033

英文科目名称： AnatomyⅡ

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 脈管系1 血管系総論 心臓 刺激伝導系 心臓の血管(冠状動脈) 第2回 脈管系2 肺循環と体循環 動脈系 静脈系 第3回 脈管系3 胎生時の循環系 リンパ系(リンパ節 リンパ本幹) 脾臓 胸腺 第4回 脈管系4 消化器系1 血液 血球 造血器官 内臓学総論(粘膜 腺) 口腔(歯) 第5回 消化器系2 口腔(口蓋 舌 唾液腺) 咽頭 食道 第6回 消化器系3 胃 小腸(十二指腸 空腸 回腸) 第7回 消化器系4 大腸(盲腸 結腸 直腸) 肝臓 胆嚢 膵臓 第8回 呼吸器系1 鼻腔 副鼻腔 喉頭 気管 気管支 第9回 呼吸器系2 泌尿器系 呼吸器(肺 胸膜) 泌尿器(腎臓 尿管 膀胱 尿道) 第10回 生殖器系 男性生殖器(精巣 精巣上体 精管 精嚢 前立腺 陰茎 精液 精子) 女性生殖器(卵巣 卵管 子宮 膣 外陰部 胎盤) 腹膜 第11回 内分泌系 内分泌器(下垂体 松果体 甲状腺 上皮小体 副腎 膵島) 第12回 感覚器系1 視覚器(眼球 眼球の付属器) 第13回 感覚器系2 平衡聴覚器(外耳 中耳 内耳) 皮膚(表皮 真皮 皮下組織 角質器 皮膚の腺) 第14回 人体の発生のあらし1 受精～胎生第3週 第15回 人体の発生のあらし2 胎生第4週～出生	浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎
科目の目的	看護職としての基本知識となる脈管・内臓・発生の肉眼解剖学的構造を習得する。【対象の理解】	
到達目標	脈管・内臓の基本的な構造と発生学について説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ 生理学Ⅰ・Ⅱ 臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1週間前に配布する講義資料に関して1コマ当たり2時間の準備学修を要する。	
教科書	「入門人体解剖学(改訂第6版)」藤田恒夫著 藤田信也改訂(南江堂)	
参考書	特に無し	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。	

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	NFi-102

講義科目名称： 臨床解剖学

授業コード： 4N034

英文科目名称： Clinical Anatomy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 運動器系 骨格系の構造と疾患、10問程度の到達度確認	浅見知市郎
	第2回 運動器系 筋系の構造と疾患、10問程度の到達度確認	浅見知市郎
	第3回 循環器系 心臓、動脈、静脈、リンパ系の構造と疾患、10問程度の到達度確認	浅見知市郎
	第4回 内臓系 内臓学総論、呼吸器系の構造と疾患、消化器系（口腔～食道）の構造と疾患、10問程度の到達度確認	浅見知市郎
	第5回 内臓系 消化器系（胃～肛門・肝臓・胆嚢・膵臓）、泌尿器系、生殖器系の構造と疾患、10問程度の到達度確認	浅見知市郎
	第6回 内分泌系 内分泌器官（下垂体・松果体・甲状腺・上皮小体・副腎・膵島）の構造と疾患、10問程度の到達度確認	浅見知市郎
	第7回 神経系 中枢神経系（脳・脊髄）、末梢神経系（脳神経・脊髄神経）の構造と疾患、10問程度の到達度確認	浅見知市郎
	第8回 神経系・感覚器系 自律神経系（交感神経・副交感神経）、感覚器系（視覚器、聴覚器、皮膚）の構造と疾患、10問程度の到達度確認	浅見知市郎
科目の目的	1年次に学習した解剖学を復習し、各種疾患との関係を学習する。 【思考・判断】	
到達目標	各種疾患が解剖学的構造と、どのように関係しているか説明できる。	
関連科目	基礎看護学特論・成人看護学特論・老年看護学特論・小児看護学特論・母性看護学特論・精神看護学特論	
成績評価方法・基準	授業内試験100%（毎回授業終了前にその回の学習内容に関して10問程度の小テストを行い、その合計で評価する）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	シラバスをもとに授業該当箇所の予習と復習を合計4時間行う必要がある。	
教科書	教科書：使用しない 参考書：「入門人体解剖学」藤田恒夫（南江堂）	
参考書	特に無し。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング	NF-i-401	

講義科目名称： 生理学 I

授業コード： 4N035

英文科目名称： Physiology I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官 第2・3回 神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達 第4・5回 筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮 第6-8回 神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節 第9-12回 感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム 第13-15回 睡眠・記憶・情動 脳の高次機能	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【対象の理解】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学 I・II、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) $\text{課題の平均点} \times 0.2 (20\%) + \text{期末テストの点数} \times 0.8 (80\%)$ で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約1時間)	
教科書	教科書：「シンプル生理学 第8版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂)	
参考書	「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	NF-i-103	

講義科目名称： 生理学Ⅱ

授業コード： 4N036

英文科目名称： Physiology II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1・2回 内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能 第3-5回 循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節 第6・7回 呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節 第8・9回 尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み 第10・11回 消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節 第12・13回 血液の生理学 血液の組成とその機能 第14・15回 体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【対象の理解】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) 課題の平均点×0.2(20%)＋期末テストの点数×0.8(80%) で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約1時間)	
教科書	「シンプル生理学 第8版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂)	
参考書	「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	NF-i-104	

講義科目名称： 臨床生理学

授業コード： 4N037

英文科目名称： Clinical Physiology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 臨床生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官 神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達</p> <p>第2回 筋肉の基本的機能 神経系の機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節</p> <p>第3回 感覚の生理学 睡眠・記憶・情動 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム 脳の高次機能</p> <p>第4回 内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能</p> <p>第5回 循環の生理学 呼吸の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節 呼吸器系基本構造と機能、調節</p> <p>第6回 尿の生成と排泄および体液とその調節 消化と吸収 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み 消化管の基本構造と機能、調節</p> <p>第7回 血液の生理学 血液の組成とその機能</p> <p>第8回 体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム</p>	<p>洞口 貴弘</p>
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【対象の理解】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、解剖学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	講義内容に関する期末テスト(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	AAまたは前週までに配布される配布資料の熟読(1時間)	
教科書	特に指定しない(あえて挙げるとすれば、1年時の生理学Ⅰ、Ⅱで使用したシンプル生理学)	
参考書	参考書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	8回の講義となるため、3回の欠席で履修放棄となるので注意。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング		

講義科目名称： 生化学

授業コード： 4N038

英文科目名称： Biochemistry

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 生化学を学ぶための基礎 生化学で基礎となる生体構成成分，単位，臨床化学への応用</p> <p>第2回 糖質 糖質の基礎（構造，異性体），糖質の分類（二糖類，多糖類，複合糖質）</p> <p>第3回 脂質 脂質の基礎，脂質の分類（単純脂質，複合脂質，誘導脂質，その他の脂質）</p> <p>第4回 タンパク質とアミノ酸 アミノ酸（構造と種類，特徴），ペプチド結合，タンパク質（分類，構造，性状）</p> <p>第5回 酵素 酵素の分類と性質，酵素反応速度論，酵素活性の調節</p> <p>第6回 核酸 核酸の基礎（構造等），核酸の種類，遺伝子</p> <p>第7回 ビタミン ビタミンの分類（脂溶性ビタミン，水溶性ビタミン），ビタミン欠乏症</p> <p>第8回 ホルモン ホルモンの分類とその機能，各種ホルモンによる生体調節，ホルモンと疾患との関係</p> <p>第9回 ミネラル ミネラルの生理的意義，多量ミネラル（Na, K, Cl等），微量ミネラル（Fe, Zn等）</p> <p>第10回 糖質代謝（1） 糖代謝の概要，糖の消化と吸収，解糖系，TCA回路</p> <p>第11回 糖質代謝（2） 糖新生，グリコーゲン合成と分解，ペントースリン酸回路，糖代謝異常と疾患</p> <p>第12回 脂質代謝 脂肪酸の生合成と酸化，ケトン体，各脂肪酸の代謝，コレステロールの合成・輸送・蓄積，代謝異常</p> <p>第13回 タンパク質の分解とアミノ酸代謝 タンパク質の分解とアミノ酸プール，アミノ酸代謝（エネルギー源，尿素生成），代謝異常</p> <p>第14回 核酸代謝 核酸の生合成と分解</p> <p>第15回 生体エネルギー、中間代謝とまとめ 高エネルギーリン酸化合物，呼吸鎖と酸化的リン酸化，3大栄養素の代謝の相互関係とまとめ</p>	<p>木村 鮎子</p>
科目の目的	生体物質の構造，機能とその代謝を学び，病態に対する生化学の基礎知識を習得する。【対象の理解】	
到達目標	<p>1. 糖質とその代謝，脂質とその代謝，タンパク質とその分解，アミノ酸代謝，核酸とその代謝，生体エネルギーについて，生合成や代謝の過程が理解できること。</p> <p>2. 生体内でのビタミン，ホルモン，ミネラルの役割が理解できること。</p>	
関連科目	化学, 生物学, 生理学I, 生理学II, 薬理学	
成績評価方法・基準	筆記試験（70%），ミニテスト（30%）により評価する。ミニテスト実施後の問題は各自持ち帰ってもらい，正答と解説を別途提示する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容が理解できるよう，講義前後に1時間程度，予習・復習を行う。	
教科書	菌田 勝 編；栄養科学イラストレイテッド生化学 改定第3版（羊土社）	
参考書	<p>加藤 秀夫・中坊 幸弘；栄養科学シリーズNEXT生化学（講談社サイエンティフィク）</p> <p>中元 伊知郎；自分で作る生化学ワークノート（MCメディカ出版）</p> <p>宮澤 恵二；ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能② 臨床生化学（MCメディカ出版）</p>	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	

国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	なし
ナンバリング	NFi-105

講義科目名称： 病理学

授業コード： 4N039

英文科目名称： General Pathology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
柳田 絵美衣			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病理学序論・組織細胞障害と修復機構1 病理学とは、変性 第2回 組織細胞障害と修復機構2 アポトーシス、壊死 第3回 組織細胞障害と修復機構3 再生、化生、瘢痕治癒 第4回 物質代謝異常1 糖質代謝異常 第5回 物質代謝異常2 脂質代謝異常 第6回 物質代謝異常3 核酸代謝異常、生体内色素代謝異常、無機物代謝異常 第7回 循環障害1 循環血液量の異常 第8回 循環障害2 閉塞性の循環障害 第9回 循環障害3 傍側循環、全身性の循環障害 第10回 炎症1 炎症とは、炎症の分類、炎症の経過 第11回 炎症2 炎症の各型、自己免疫性疾患 第12回 先天異常 遺伝子・染色体異常と発生発達異常 第13回 腫瘍1 定義、分類、良性腫瘍と悪性腫瘍 第14回 腫瘍2 腫瘍の発生、発育、分化度 第15回 腫瘍3 腫瘍の発生要因、腫瘍の種類	柳田 絵美衣 柳田 絵美衣
科目の目的	病理学とは疾病の原因、発生メカニズムなど、疾病の本態を解明する学問である。病理学総論として代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について疾病で生じる変化、経過、疾病の予後を捉え、理解ができるようにする。【対象の理解】	
到達目標	1. 疾病の原因、経過、治療法、予後を説明できる。 2. 疾病の検査事項を説明できる。 3. 疾病の病理所見を説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ，解剖学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験100%により成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。	
教科書	教科書：講師が配布する資料（授業ごとに配布する）	
参考書	参考書：なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 小林正伸著 南山堂	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	なし	
ナンバリング	NF-i-106	

講義科目名称： 薬理学

授業コード： 4N040

英文科目名称： Pharmacology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 薬理学とは 薬理学の基本知識。薬物治療に影響を与える因子。	栗田昌裕
	第2回 薬物動態 投与経路と薬の吸収。分布、代謝、排泄。	栗田昌裕
	第3回 麻酔薬と中枢興奮薬 全身麻酔薬。局所麻酔薬。中枢興奮薬。	栗田昌裕
	第4回 解熱鎮痛薬・抗炎症薬と麻薬 解熱鎮痛薬・抗炎症薬。麻薬性鎮痛薬・麻薬拮抗性鎮痛薬。	栗田昌裕
	第5回 向精神薬と抗痙攣薬 向精神薬。抗痙攣薬（抗てんかん薬）。 筋弛緩薬と抗パーキンソン薬 筋弛緩薬の作用と応用。パーキンソン症候群の理解と抗パーキンソン薬の作用。	栗田昌裕 栗田昌裕
	第6回 自律神経薬 自律神経の基礎知識。 コリン作動薬とコリン作動性効果遮断薬。 アドレナリン作動薬とアドレナリン遮断薬。	栗田昌裕
	第7回 オータコイド オータコイドの種類とその作用。プロスタグランディンの臨床応用。	栗田昌裕
	第8回 強心薬 強心薬（ジギタリス）の投与方法。ジギタリスの副作用とその対策。 抗狭心症薬と抗不整脈薬 狭心症治療薬の作用と投与方法。不整脈の分類と治療。抗不整脈薬の種類。	栗田昌裕 栗田昌裕
	第9回 利尿薬と降圧薬 利尿薬。利尿薬の臨床的応用。降圧薬。抗動脈硬化薬。	栗田昌裕
	第10回 消化器病薬と駆虫薬 消化性潰瘍治療薬。健胃・消化薬。消化管運動促進薬。 制吐薬。下痢と止痢薬。潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬。駆虫薬。	栗田昌裕
	第11回 呼吸器病薬 呼吸器病薬。抗結核薬。	栗田昌裕
	第12回 内分泌薬 下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン・糖尿病治療薬。 副腎皮質ホルモン・男性ホルモン・生殖系内分泌薬。	栗田昌裕
	第13回 血液病薬と抗癌薬 貧血の薬。止血薬。抗血栓療法薬。 抗癌薬の開発と化学療法。抗癌薬の副作用と組み合わせ。	栗田昌裕
	第14回 化学療法薬と免疫療法薬 化学療法薬。抗ウイルス剤。免疫について。免疫療法。	栗田昌裕
	第15回 消毒薬 滅菌・消毒法。消毒薬の濃度と殺菌速度。	栗田昌裕
科目の目的	ディプロマ・ポリシーとの関連では、「社会人としての教養と人の健康にかかわる幅広い知識に裏打ちされた、看護実践に必要な基本的知識」を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬（服薬、注射、輸液、外用など）の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。1) 薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。2) 薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。3) 薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。4) 薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。【対象の理解】	
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、看護の実践に必要なとされるレベルに到達することを目標とする。	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	試験（100％）。	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の間に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておこう。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約1時間。
教科書	教科書：使用しない。
参考書	参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3」（医学書院）。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。
アクティブ・ラーニングの実施	施行せず。
ナンバリング	NFi-107

講義科目名称： 臨床薬理学

授業コード： 4N041

英文科目名称： Clinical Pharmacology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 薬理学の総論1。 薬理学の総論の基本概念を復習する（1回目）：用量と薬理作用、受容体と作用、薬物動態、薬物に影響を与える因子、など。	栗田昌裕
	第2回 薬理学の総論2。 薬理学の総論の基本概念を復習する（2回目）：ライフサイクルと薬物、薬物の働く仕組み、麻酔薬・睡眠薬の効く仕組み。薬物の相互作用、副作用・中毒、麻薬、毒薬、薬物の保管・管理、臨床検査、など。	栗田昌裕
	第3回 薬物治療の各論1：①炎症、②腫瘍。 ① 副腎皮質ステロイド、細菌感染症、真菌症、ウイルス感染症、消毒薬、ワクチン、自己免疫疾患の治療、など。② 悪性腫瘍の治療、抗がん剤、ホルモン治療、など。	栗田昌裕
	第4回 薬物治療の各論2：③代謝・内分泌疾患、④脳・神経疾患。 ③ 糖尿病、甲状腺機能異常症、脂質異常症、痛風、卵巣機能低下症、骨粗鬆症など。④ てんかん、頭痛、パーキンソン病、アルツハイマー病、脳血管障害など。	栗田昌裕
	第5回 薬物治療の各論3：⑤精神疾患、⑥血液疾患。 ⑤ 認知症、統合失調症、躁うつ病、不安神経症、など。⑥ 貧血、血栓症など。	栗田昌裕
	第6回 薬物治療の各論4：⑦循環器疾患、⑧腎臓・泌尿器疾患。 ⑦ 高血圧、心不全、種々の不整脈、狭心症、など。⑧ 浮腫、蓄尿障害、排尿障害、前立腺肥大、など。	栗田昌裕
	第7回 薬物治療の各論5：⑨消化器疾患、⑩呼吸器疾患。 ⑨ 胃・十二指腸潰瘍、胆石症、胆道疾患治療薬、など。⑩ 慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、アレルギー、など。	栗田昌裕
	第8回 薬物治療の各論6 ⑪感覚器の疾患 ⑪ めまい、緑内障、皮膚疾患、など。	栗田昌裕
科目の目的	ディプロマ・ポリシーとの関連では、「知識・理解」の項目の「保健医療専門職としての基本的知識」を得ることを目的とする。具体的には、薬理学の知識を臨床実践に活用する考え方を学ぶ。主要な傷病に対する薬物療法について、臨床症状と薬効、薬物の分布・代謝・排泄の関係、副作用の機序について説明でき、状況に応じて患者の安全、安楽を保持しながら薬物療法の効果を高める看護を考える力を養う。【対象の理解】	
到達目標	① 重要な疾患や重要な病態に対して、どのような薬物を用いるかが分かること。 ② 副作用や、相互作用、禁忌などの看護上で重要な知識を整理して明確に理解できること。	
関連科目	薬理学	
成績評価方法・基準	典型的な過去の国家試験問題などによる試験（100％）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に関しては、特に必要はない。毎回の講義に関して、4時間ほどの復習をすること。	
教科書	教科書：特に用いない。	
参考書	参考書：「疾病の成り立ちと回復の促進 薬理学」（医歯薬出版株式会社）。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	毎回、資料を配布します。	
アクティブ・ラーニングの実施	施行せず	
ナンバリング	NFi-403	

講義科目名称： 栄養学(含食品学)

授業コード： 4N042

英文科目名称： Nutrition (inc. Food Science)

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
後藤 香織			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 栄養学の目的 栄養と健康 食と私たち 食育を忘れないで 食育の必要性	後藤 香織
	第2回 人類の進化と食事 自分たちの今の状況を把握せよ	後藤 香織
	第3回 献立とはどういうもの 献立とはなにか どうして重要なのか	後藤 香織
	第4回 主食と糖質 糖質についての詳細	後藤 香織
	第5回 タンパク質 たんぱく質についての詳細	後藤 香織
	第6回 脂質について 脂質についての詳細	後藤 香織
	第7回 ビタミンについて ビタミンの種類と詳細	後藤 香織
	第8回 ミネラルについて ミネラルについての詳細	後藤 香織
	第9回 美味しさの秘密 美味しいとはどういうこと	後藤 香織
	第10回 計算をしてみよう～エネルギー必要量の計算 自分の使ったエネルギーの計算をします	後藤 香織
	第11回 計算をしてみよう～ その2 食べるもののエネルギーを計算します	後藤 香織
	第12回 食物繊維、サプリは必要か、色 今までの講義での補足	後藤 香織
	第13回 時間栄養学 摂取する時間で変わる代謝	後藤 香織
	第14回 スポーツ栄養学と病気と栄養 スポーツと献立 嚥下障害 病気の時はどうしたらいいのか	後藤 香織
	第15回 1回から14回までの内容の確認と復習	後藤 香織
科目の目的	捕食という行動は全てを中心であることを深く理解し、人が食べるという行為をどれだけ重要に考えなくてはならないかを知り、人体が必要とする栄養素を学ぶ。さらに自身の摂取エネルギーと消費エネルギーから必要な栄養量、栄養素、運動、休養を求め、よりよい健康状態を保つことを身に付ける方法を学ぶ。国の施策である「食育」が大学生には危機的な状況であることを知り改善する為に、栄養・休養・運動の三要素を含めて解説する。本学のディプロマポリシーに沿い、保健医療専門職としての栄養学の基礎的知識と、社会人としての食に関する教養を身につけ、食に関する多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解し、保健医療分野と栄養学との関係を見出し、科学的洞察による的確な判断ができ、先進・高度化する栄養分野の基本的知識と技術を提供することや、栄養補給に関わるコミュニケーション能力を身につけ、生涯にわたって栄養に関する知識を身に付けて、自身が健康に過ごすことを身に付け、それを社会に貢献させる。【対象の理解】	
到達目標	基礎医学（解剖学、生理学、生化学）に関連した栄養学の基礎を学ぶ。また日々の食品摂取の判断ができるようにする。 栄養素と消化、吸収、代謝に関わる知識の習得、一日の消費カロリーの計算、一日の摂取エネルギーの計算、運動時の代謝、和食の伝統文化、美味しく感じる為の脳科学的方法を身につけます。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養学の基礎的知識と教養を身につけている。</li> <li>・栄養に関わる多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。</li> <li>・栄養分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる。</li> <li>・栄養学分野の基本的技術を提供することができる。</li> <li>・NSTを実践するための、コミュニケーション能力を身につけている。</li> <li>・生涯にわたって栄養分野を探索し、その発展に貢献する意欲を持っている。</li> <li>・人と社会に深い関心を持って、地域の栄養保健医療に寄与できる。</li> <li>・人権を尊重し、高い倫理観を持って社会に貢献する姿勢を身につけている。</li> </ul>	
関連科目	①解剖学Ⅰ・Ⅱ ②生化学 ③生理学Ⅰ・Ⅱ ④病理学	
成績評価方法・基準	定期試験100%	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	解剖学、生理学とを見直しておく。 成分表の後半のページを読んでおく。 1コマあたり1時間程度の自己学習が必要。
教科書	オールガイド食品成分表2025（実教出版）
参考書	新体系看護学 人体の構造と機能2 栄養生化学（メヂカルフレンド社） 看護栄養学（医歯薬出版） リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第2版 栢下淳・若林秀隆 編著 （医歯薬出版）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の 注意	特になし
アクティブ・ラー ニングの実施	適宜グループディスカッションを加えます
ナンバリング	NFi-108

講義科目名称： 病態栄養学

授業コード： 4N043

英文科目名称： Clinical Nutrition

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 香織			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 臨床栄養学とは 1) 食生活の変遷について戦前から平成の栄養学の考え方の移り変わりについて説明する 2) 栄養学の基礎の復習 3) 臨床調理の基本について簡単に紹介する	後藤 香織
	第2回 栄養の評価法 1) 臨床栄養学が医学に応用され、適正な栄養管理がなされているかを判断するには栄養評価が必要である。生化学的、生理学的、人体計測などの評価法について講義する。 2) 栄養学に関する研究について	後藤 香織
	第3回 疾病と栄養 (1) 肥満とやせ、摂食障害について 肥満および肥満の合併症、治療法について解説する。一方、やせをしめす症状も増えてきている。これらの摂食障害について学ぶ。	後藤 香織
	第4回 疾病と栄養 (2) 糖尿病と栄養学 近年増加している糖尿病の病態とその診断、食事療法、薬物療法について講義する。	後藤 香織
	第5回 疾病と栄養 (3) 糖尿病食事療法のための食品交換表の使い方 食品成分表や食育の教材も合わせて紹介する	後藤 香織
	第6回 疾病と栄養 (4) 動脈硬化と高脂血症 食品中の脂質の種類とその消化、代謝過程を復習する。動脈硬化症は脳卒中、心筋梗塞などの成人病の原因因子として重要な症状である。その因子として高脂血症があり、その症状、食事療法について講義する。	後藤 香織
	第7回 疾病と栄養 (5) 高血圧、循環器疾患 高血圧症は、成人病のなかで20%を占める循環器疾患である。心疾患および高血圧症の成因、治療、病態、食事療法について講義する。	後藤 香織
	第8回 疾病と栄養 (6) 骨粗しょう症、ミネラル摂取異常 老人疾患に多い大腿骨頸部骨折は、骨粗しょう症が原因となりやすく、高齢者のQOLの観点からも重要な疾患である。骨粗しょう症の発症のメカニズム、食事療法、薬物療法について説明する。	後藤 香織
	第9回 疾病と栄養 (7) 消化器疾患その1 消化器では、栄養素の消化、吸収がおこなわれる重要な臓器である。この消化吸収のメカニズムを整理しなおし、消化器のそれぞれの病態と食事療法の基本を説明する。	後藤 香織
	第10回 疾病と栄養 (8) 消化器疾患その2 肝臓、胆嚢、膵臓における病態とその治療に関わる栄養法について説明する。	後藤 香織
	第11回 疾病と栄養 (9) 腎疾患と電解質 腎臓は有害な代謝物を排出し、有用なものは再吸収する臓器であり、体液成分、電解質、PHの調節もおこなっている。腎臓の機能と疾病との関係、食事療法について説明する。	後藤 香織
	第12回 疾病と栄養(10) がん栄養 がんは食生活との関連があるのだろうか。発がんのメカニズムに食事はどのように関与しているのか。さらに、終末期のがん治療と栄養についても説明する。	後藤 香織

	<p>第13回 疾病と栄養(11) 血液疾患、アレルギーと栄養 貧血は小児、成人、老人を問わず罹患率が高い疾患である。また、アレルギーは近年増加が顕著である。生活環境の変化と新しい抗原因子の増大、ストレスなどによる免疫適応機構の破綻が原因といわれる。それらの栄養学的対策について説明する。 2) 嚥下障害について</p> <p>第14回 疾病と栄養(12) 小児、高齢者の栄養 成長過程にある小児に対してはその特殊性を理解した適切な栄養法が必要である。また加齢に伴い生理機能は低下し、栄養素の代謝機能も低下してくる。これらを理解することは栄養指導に必要なこととなる。 2) 栄養法の実践 経口栄養、経腸栄養、経静脈栄養法がある。最近の栄養補給方法の進歩はめざましい。これらの栄養法に最近の知見を加えて説明をする。また、検査前栄養法についても説明する。</p> <p>第15回 1回から15回までの栄養法の振り返り・注意点の確認</p>	<p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p>
科目の目的	<p>病態栄養学は栄養学の一分野で、特に疾病と栄養の関わりについて学ぶものである。栄養学が、健康な状態での栄養学であるのに対し、病態栄養学は、各種疾患に伴う内部環境の変化、これを媒介する血液循環、肝臓や腎臓における老廃物の処理、排泄等を理解し、疾患に対してどのような栄養学的な対策が必要か、またさらに健康維持し増進させるためには、どのような栄養学的な配慮が必要であるかまでに及ぶ。栄養学が基礎医学の上に成り立っているのに対し、病態栄養学は、栄養学の臨床医学への応用であり、代表的疾患、病態を例に挙げて(糖尿病、高脂血症、肥満、循環器疾患、など)説明する。献立の立て方、調理の方法、食事指導、生活指導法についても触れる。本学のディプロマポリシーに沿って、生涯にわたって栄養に関する知識を身に付けて、自身が健康に過ごす術を身に付け、それを社会に貢献することが目的です。【対象の理解】 【看護の実践】</p>	
到達目標	<p>基礎医学(解剖学、生理学)に基づいて栄養学の基礎を復習する。 代表的疾患、病態についての症状について理解し、それにあつた栄養学的対策を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療専門職としての病態栄養学の知識と教養を身につけている。</li> <li>・栄養学における多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。</li> <li>・栄養学分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる。</li> <li>・先進・高度化する栄養学分野の基本的技術を提供することができる。</li> <li>・NSTを実践するための能力を身につける。</li> <li>・生涯にわたって栄養学の分野を探究し、その発展に貢献する意欲を持てる。</li> <li>・人と社会に深い関心を持って、地域の栄養推進に寄与できる。</li> <li>・人権を尊重し、高い倫理観を持って社会に貢献する姿勢を身につける。</li> </ul>	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、栄養学、公衆衛生学	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>基本的な栄養学、生理学、解剖学を見直すことが予習になる。 ぜひとも授業前日には30分程度でよいので見直してほしい。 なお、1コマあたりトータルで1時間程度の自己学習が必要。</p>	
教科書	糖尿病食事療法のための食品交換表 日本糖尿病学会	
参考書	スタンダード栄養・食物シリーズ 「臨床栄養学各論」(東京化学同人)	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特になし。	
アクティブ・ラーニングの実施	栄養学的手法を展開する模擬プレゼンを数回実施します	
ナンバリング	NFi-201	

講義科目名称： 臨床病態学 I

授業コード： 4N044

英文科目名称： Clinical Pathophysiology I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義または演習	担当者
授業計画	第1回 呼吸器疾患1 肺の解剖学 呼吸機能検査 呼吸器疾患の病態生理 上気道の疾患：風邪症候群 インフルエンザ	田村遵一
	第2回 呼吸器疾患2 下気道の疾患 市中肺炎 医療施設感染肺炎 誤嚥性肺炎 慢性呼吸不全 間質性 肺炎 肺がん	田村遵一
	第3回 循環器疾患1 心臓の解剖学 心不全 虚血性心疾患	田村遵一
	第4回 循環器疾患2 心電図 不整脈 心房細動 致死性不整脈 大動脈解離 肺塞栓	田村遵一
	第5回 消化器疾患1 消化器の解剖学 食道の疾患 胃・十二指腸の疾患 小腸・大腸の疾患	田村遵一
	第6回 消化器疾患2 肝臓の疾患 膵臓の疾患	田村遵一
	第7回 神経疾患1 意識障害の分類 頭蓋内圧亢進 脳血管障害 髄膜炎	田村遵一
	第8回 神経疾患2 パーキンソン病 パーキンソン症候群 認知症 介護度 頭痛	田村遵一
	第9回 内分泌疾患 内分泌臓器とは 下垂体ホルモンと異常 甲状腺ホルモンと異常 副腎ホルモンと 異常	田村遵一
	第10回 糖尿病・代謝疾患 1型糖尿病 2型糖尿病 糖尿病による合併症 糖尿病治療と指導、高脂血症、痛 風	田村遵一
	第11回 血液疾患1 血球の種類と働き 血液凝固作用 血液疾患；貧血の鑑別	田村遵一
	第12回 血液疾患2 血液型 輸血 造血器腫瘍：白血病／悪性リンパ腫 血液型と輸血	田村遵一
	第13回 腎疾患 糸球体腎炎 ネフローゼ症候群	田村遵一
	第14回 免疫疾患 自己免疫疾患、HIV感染症	田村遵一
	第15回 遺伝疾患 鎌状赤血球症、慢性骨髄性白血病	田村遵一
科目の目的	成人の罹患する（罹る：かかる）代表的な疾患（疾病、病気）について、その自覚症状、身体所見、臨床検査所見、診断、病態、成因、治療方法などの概要を学び、すでに履修した関連科目（後記）の知識をもとに、疾患、病気に関わる臨床的基礎を修得する。【対象の理解】 【看護の実践】	
到達目標	消化器疾患（消化管：食道・胃・小腸・大腸、肝臓、胆のう、膵臓）、呼吸器疾患（肺炎、気管支喘息、気胸、肺気腫、肺がん）、循環器疾患（心臓・大血管・末梢動脈・静脈疾患）、血液・造血器疾患（貧血、白血病）などの概要について理解し、説明が出来る（患者さん、患者家族への説明を想定している）。	
関連科目	履修習得した関連科目、基礎科目、専門科目、看護学専門科目。 生化学 薬理学 解剖学I II 生理学I II 病理学	
成績評価方法・基準	筆記試験 80%、中間レポート等を20%として総合的に評価	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1コマあたり準備学習として30分、さらに30分の復習が望ましい。	
教科書	使用しない。授業ごとに資料を配布します。	
参考書	看護のための臨床病態学、改訂5版、南山堂	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	

国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	特になし
ナンバリング	NFi-202

講義科目名称： 臨床病態学Ⅱ

授業コード： 4N045

英文科目名称： Clinical Pathophysiology II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 呼吸器疾患（応用編） 呼吸機能検査、血液ガス分析、画像診断 第2回 呼吸器疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習 第3回 循環器疾患（応用編） 心電図、不整脈、心エコー 第4回 循環器疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習 第5回 消化器疾患（応用編） 胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査、超音波検査、CT画像 第6回 消化器疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習 第7回 神経疾患（応用編） CT画像、MRI、脳細胞病理所見 第8回 神経疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習 第9回 内分泌・代謝疾患（応用編） 内分泌のネットワーク、ホルモンの変動 第10回 内分泌・代謝疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習 第11回 血液疾患（応用編） 血液像、染色体分析、遺伝子解析、凝固検査 第12回 血液疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習 第13回 免疫疾患・遺伝疾患（演習） 看護師国家試験等の関連問題の演習 第14回 臨床病態学総まとめ1 看護師国家試験（特に複合問題）の演習 細菌感染：菌血症/敗血症 尿路感染 第15回 臨床病態学総まとめ2 小論文作成	田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一
科目の目的	主に臨床病態学Ⅰで取り上げて解説した疾患について、その検査法や治療法などさらに進んだ内容を概説し、看護師国家試験等の関連問題を演習として解答、知識の定着とさらなる学習意欲の涵養をはかる。【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	内分泌代謝疾患（糖尿病、甲状腺疾患：バセドウ病、クッシング病、副腎疾患）、脳神経疾患（脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、神経変性疾患）、腎泌尿器疾患（腎不全、尿路感染症、膀胱炎、急性腎炎、慢性腎炎、腎細胞がん、膀胱癌）、アレルギー・膠原病：自己免疫疾患、感染性疾患、アナフィラキシーショック、薬剤性肝障害、関節リウマチ、SLE、不明熱、結核、コレラ、マラリア、運動器疾患、皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、女性生殖器疾患、婦人科の炎症性疾患、性感染症（STI）の概要について理解し、説明が出来る（患者さん、患者家族への説明を想定している）。	
関連科目	すでに履修習得した、基礎科目、専門科目、看護学専門科目。 生化学 薬理学 解剖学ⅠⅡ 生理学ⅠⅡ 病理学	
成績評価方法・基準	筆記試験 80%、中間レポートを20%として総合的に評価する。 到達度は試験により判定する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1コマあたり準備学習として30分、さらに30分の復習が望ましい。	
教科書	使用しない。授業ごとに資料を配布します。	
参考書	看護のための臨床病態学、改訂5版、南山堂	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		

アクティブ・ラーニングの実施	特になし
ナンバリング	NFi-203

講義科目名称： 臨床病態学Ⅲ

授業コード： 4N046

英文科目名称： Clinical Pathophysiology III

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 腎／尿路／体液系 1 腎臓の解剖と機能 前立腺の解剖 膀胱の解剖と機能	田村遵一
	第2回 腎／尿路／体液系 2 腎／尿路系の疾患	田村遵一
	第3回 老年医学 老年医学とは 老年期に多い疾患とその対応	田村遵一
	第4回 運動器 筋肉の種類と機能 関節可動域 骨折：脊椎圧迫骨折 大腿骨頸部骨折 前腕骨折 上腕骨折	田村遵一
	第5回 リウマチ・膠原病 膠原病とは 関節リウマチ SLE 皮膚筋炎 強皮症 成人スティル病 混合結合組織病	田村遵一
	第6回 アレルギー アレルギーの分類 アナフィラキシーとその対応 アトピー性皮膚炎	田村遵一
	第7回 耳鼻咽喉科関連 耳の構造と機能 耳の疾患 鼻の疾患 咽頭と喉頭 頸部疾患	田村遵一
	第8回 皮膚科領域 蕁麻疹 接触性皮膚炎 真菌症（水虫） 帯状疱疹 溶連菌性皮膚炎（飛び火） 丹毒／蜂窩織炎 円形脱毛症	田村遵一
	第9回 眼科関連 眼の解剖学 眼球運動 近視 老眼 白内障 緑内障 糖尿病性網膜症	田村遵一
	第10回 産婦人科関連 1 月経前症候群（PMS） 不正出血 子宮内膜症 性行為感染症（STD） 骨盤内感染症（PID）	田村遵一
	第11回 産婦人科関連 2 子宮筋腫 卵巣嚢腫 子宮がん 卵巣癌	田村遵一
	第12回 感染症 1 ウイルス感染：EB, 尿路感染ウイルス インフルエンザ 新型コロナウイルス	田村遵一
	第13回 感染症 2 細菌感染：菌血症/敗血症、真菌、寄生虫感染症	田村遵一
	第14回 総合演習 看護師国家試験等の関連問題について演習として解答、内容を検討する。 看護師国家試験等の医療系専門職の国家試験に演習として取り組むことにより、将来期待される知識レベルを実感し、次の学習に備える心構えを形成する。	田村遵一
	第15回 臨床病態学Ⅲのまとめ：小論文作成 臨床病態学Ⅲで学んだ内容について課題を提示する。時間内に自分の学んだ知識をもとに考えをまとめる。	田村遵一
科目の目的	成人の罹患する代表的な疾患について、自覚症状、身体所見、臨床検査所見、診断、病態、成因、治療方法などの概要を学び、すでに履修した関連科目（後記）の知識をもとに、疾患、病気に関わる臨床的基礎を修得する。【対象の理解】 【看護の実践】	
到達目標	、腎泌尿器疾患（腎不全、尿路感染症、膀胱炎、急性腎炎、慢性腎炎、腎細胞がん、膀胱癌）、アレルギー・膠原病：自己免疫疾患、感染性疾患、アナフィラキシーショック、薬剤性肝障害、関節リウマチ、SLE、不明熱、結核、コレラ、マラリア、運動器疾患、皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、女性生殖器疾患、婦人科の炎症性疾患、性感染症（STI）の概要について理解し、説明が出来る（患者さん、患者家族への説明を想定している）。	
関連科目	すでに履修習得した、基礎科目、専門科目、看護学専門科目。 生化学 薬理学 解剖学I II 生理学I II 病理学	
成績評価方法・基準	筆記試験 80%、中間レポートの評価を20%として総合的に評価する。 到達度は試験により判定する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1コマあたり準備学習として30分、さらに30分の復習が望ましい。	

教科書	教科書：使用しない。授業ごとに資料を配布します。
参考書	看護のための臨床病態学、改訂5版、南山堂
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	特になし
ナンバリング	NFi-204

講義科目名称： 臨床病態学IV

授業コード： 4N047

英文科目名称： Clinical Pathophysiology IV

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
秋元 かつみ	秋元 かつみ	矢崎 聡	根岸 広明

授業形態	講義 (15コマ)	担当者
授業計画	<p>第1回 性と生殖器の構造・機能・発生、生殖周期とホルモン                      ・女性生殖器、男性生殖器                      ・生殖器の発生と異常、生殖器系の異常(遺伝子・精子・卵子)女性生殖器の機能                      ・月経周期、調節機序、卵巣・子宮内膜の周期的変化                      ・生殖周期に関わるホルモン 受胎のメカニズム 人の発生と遺伝的要因、性周期とホルモン</p> <p>第2回 女性のライフサイクル各期の疾患、生殖器の感染症                      ・思春期の疾患(月経異常 性器奇形 子宮頸がんの予防等)                      ・成熟期疾患(子宮内膜症 生殖器の疾患 感染症等)                      ・更年期疾患(月経異常 更年期障害 更年期うつ病等)                      ・老年期疾患(萎縮性膀胱 排尿障害 骨盤臓器脱等)</p> <p>第3回 生殖補助医療、出生前診断                      ・不妊治療の実際                      ・出生前診断</p> <p>第4回 妊娠期の健康問題 (1)                      ・ハイリスク妊娠                      ・妊娠期の感染症</p> <p>第5回 妊娠期の健康問題 (2)                      ・妊娠疾患 (妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、血液型不適合妊娠) など                      ・多胎妊娠                      ・妊娠持続期間の異常 (流産、早産)                      ・異所性妊娠 など</p> <p>第6回 分娩期の健康問題、異常分娩                      ・産道の異常                      ・娩出力の異常 (微弱陣痛、過強陣痛)                      ・胎児の異常による分娩障害 (胎位の異常、回旋の異常)                      ・胎児の付属物の異常 (前置胎盤、常位胎盤早期剥離)                      ・胎児機能不全</p> <p>第7回 分娩時合併症と新生児の問題                      ・分娩時の損傷 (頸管裂傷、会陰裂傷)                      ・分娩時異常出血 (弛緩出血、参加ショック、DIC)                      ・産科処置と産科手術 (帝王切開術、吸引・鉗子分娩、無痛分娩)                      ・分娩外傷                      ・新生児仮死</p> <p>第8回 小児科学概論、新生児総合論                      ・小児の成長発達                      ・小児期疾患の概要                      ・新生児 (低出生体重児と早産児の生理と合併症、ビタミンK欠乏性出血症、高ビリルビン血症、マスキリーニング、母児感染)</p> <p>第9回 先天異常、神経、筋、骨疾患                      染色体異常や遺伝子異常、てんかん、筋疾患などの診断と治療</p> <p>第10回 循環器、感染症                      先天性心臓構造異常、川崎病、不整脈の診断、小児が罹患しやすい感染症の特徴と治療、ワクチン</p> <p>第11回 血液、腫瘍、自己免疫疾患、アレルギー                      白血病や脳腫瘍など小児の罹患しやすい疾患概要、アトピー性皮膚炎や食物アレルギーなどの診断と治療、小児の自己免疫疾患の診断</p> <p>第12回 消化器、外科疾患                      先天性構造異常の診断と治療、炎症性疾患の診断と治療、整形外科疾患の診断と治療</p>	<p>根岸</p> <p>根岸</p> <p>根岸</p> <p>矢崎</p> <p>矢崎</p> <p>矢崎</p> <p>矢崎</p> <p>矢崎</p> <p>秋元</p> <p>秋元</p> <p>秋元</p> <p>秋元</p>

	第13回 呼吸器疾患、腎、泌尿器疾患 感染やアレルギーを病因とした呼吸器疾患の診断と治療、腎臓泌尿器の先天性構造異常やネフローゼ症候群などの後天性疾患の診断と治療	秋元
	第14回 代謝、内分泌、精神疾患 低身長や糖尿病、性分解異常などの内分泌異常やウイルソン病などの代謝異常の診断、自閉症スペクトラム、神経性やせ症などの精神疾患の診断	秋元
	第15回 重症心身障害児、医療的ケア児、在宅医療 脳性麻痺の診断と治療、在宅医療を含めた医療的ケア児の治療	秋元
科目の目的	生殖周期とホルモン、女性のライフサイクル各期の疾患、生殖器の感染症、生殖補助医療の実際、出生前診断について学び、性と生殖及びウイメンズヘルスに関する基礎を理解する。妊娠・分娩期、早期新生児期における健康問題の特徴について学び、産科医療の臨床的基礎を理解する。 新生児の外部環境適応からその後の発達における生理学的変化及び代表的な小児期特有の疾患について、身体所見、臨床検査、病態、診断、治療方法などの概要を学び、小児医療の臨床的基礎を理解する。【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	1. 生殖周期とホルモン、女性のライフサイクル各期の疾患、生殖器の感染症について理解できる。 2. 妊娠期の健康問題の特徴とその治療法、分娩の生理と生殖補助医療の実際、出生前診断について理解できる。 3. 経過、異常分娩、新生児の健康問題の特徴を理解できる。 4. 現代における小児科学の在り方と課題について概要を説明できる 5. 新生児から学童期までの解剖生理学的特徴の概要を説明できる。 6. 小児期特有の代表的疾患の病体生理・症状から臨床検査・診断までの経緯及び治療方法を理解できる。 7. 重症心身障害児の特性と代表的な疾患について説明できる。	
関連科目	専門基礎科目群：解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生化学、薬理学、病理学、免疫・感染症学 専門科目群：母性看護学総論、母性看護学方法論、小児看護学総論、小児看護学方法論	
成績評価方法・基準	定期試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前日までに資料と教科書に目を通し、疑問点を整理して授業に臨むこと。1コマ1時間の準備時間で要点をつかむ訓練をする。	
教科書	【教科書】 秋元担当回：教科書使用せず 根岸担当回：系統看護学講座 母性看護学概論 母性看護学① 医学書院 矢崎担当回：系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院	
参考書	秋元担当回： 系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学② 第14版 医学書院 病気が見えるvoi.15 小児科 第1版 看護のための臨床病態学 改訂4版 浅野嘉延、吉山直樹	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	Active academyに授業前に授業の資料を配布（講義前数日から1週間ほど）各自で印刷もしくはPDFで持参のこと。予習をして授業に臨むこと 秋元担当回：授業開始5分過ぎから遅刻とみなす。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施予定なし（ただし時間の余裕がある場合は症例について討議する時間を設ける）	
ナンバリング	NF-i-205	





講義科目名称： 臨床検査学

授業コード： 4N049

英文科目名称： Clinical Laboratory Medicine

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介	古田島 伸雄		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 臨床検査とその役割、臨床検査の流れと看護師の役割（1） 診断及び治療における臨床検査の重要性を述べる。臨床検査がどのようにして行われるか、医療チームの役割や看護師の役割について解説する。	三浦 佑介
	第2回 臨床検査の流れと看護師の役割（2） 臨床検査がどのようにして行われるか、医療チームの役割や看護師の役割について解説する。	三浦 佑介
	第3回 一般検査 尿検査、便検査、体液貯留液（胸水、腹水など）検査、脳脊髄液検査、関節液検査について解説する。	三浦 佑介
	第4回 血液検査（1） 血沈（赤沈）、血球算定、血液像について解説する。	三浦 佑介
	第5回 血液検査（2） 出血・凝固検査、溶血性貧血の検査、骨髄穿刺検査について解説する。	三浦 佑介
	第6回 化学検査（1） 血清タンパク、酵素、糖代謝検査、脂質代謝検査について解説する。	古田島 伸雄
	第7回 化学検査（2） 窒素化合物検査、腎機能検査、電解質の検査、血液ガス分析について解説する。	古田島 伸雄
	第8回 内分泌学的検査 下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン、副腎ホルモンの等の検査について解説する。	古田島 伸雄
	第9回 病理学的検査 細胞診、病理組織検査について解説する。	三浦 佑介
	第10回 免疫血清検査（1） 炎症マーカー、液性免疫、細胞性免疫およびアレルギーの検査について解説する。	三浦 佑介
	第11回 免疫血清検査（2） 免疫グロブリン検査、腫瘍マーカー検査、輸血に関する検査について解説する。	三浦 佑介
	第12回 微生物検査・寄生虫検査 主な微生物および寄生虫の特徴と病気との関連について解説する。	三浦 佑介
	第13回 生体検査（1） 心電図検査について解説する。	三浦 佑介
	第14回 生体検査（2） 呼吸機能検査、神経機能検査、脳波検査について解説する。	三浦 佑介
	第15回 生体検査（3） 画像検査、内視鏡検査について解説する。	三浦 佑介
科目の目的	ディプロマ・ポリシーの【対象の理解】、【看護の実践】を修得することを目的とする科目である。病気の正確な診断や治療方針の決定には、臨床検査は欠かせないものとなっている。本科目を学ぶことで、看護師として必要な臨床検査の基礎知識を学び、科学的根拠に基づいた看護ができることを目指す。	
到達目標	1) 国家試験の出題基準を参考に、各種疾病の診断・治療を行うための臨床検査の概略を把握する。 2) 各種検査の基準値、臨床的意義を理解する。 3) 看護ケアの実践に役立てることができる。	
関連科目	解剖学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱを含む各臨床科目	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）により成績を評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておくこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。	
教科書	系統看護学講座 別巻 臨床検査 第9版 医学書院	
参考書	なるほどなっとく！臨床検査 南山堂 臨床検査法提要 改訂第35版 金原出版	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	

履修条件・履修上の注意	Active Academy Advanceにより資料を事前配付する。PCにダウンロードして授業に持参すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	NFi-207



	第14回 神経発達症群（発達障害）① 神経発達症と発達障害の概念・とらえ方について整理し、神経発達症群のうち、自閉スペクトラム症の特性と支援について学ぶ。	井上 暁子
	第15回 神経発達症群（発達障害）② 前回に続き、神経発達症群のうち、注意欠如多動症と限局性学習症、そして知的発達症の特性と支援について学ぶ。	井上 暁子
科目の目的	年齢によって人の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野を発達心理学とよぶ。本科目では、人は生涯にわたって発達し続ける存在ととらえ、受胎から死に至るまでの全生涯を対象として、人間の心と身体・行動がどのように変化していくのかを学習する。人間の成長発達を理解する基礎として、各発達段階における知的、心理的、社会的発達、人格の発達等を理解することを目的とする。また、神経発達症（発達障害）の基礎的な知識を学ぶ  ディプロマポリシー：【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	1. エリクソンが区分した8つの発達段階の特徴と、それぞれの段階における発達課題を理解する。 2. 各発達段階の知覚、感情と情動の発達、認知の発達、パーソナリティと自我形成、行動の発達の変化についての基礎的な知識を理解し、説明することができる。 3. 発達障害（神経発達症）に対する基礎的な知識と支援のポイントについて理解し、発達障害（傾向）を持つ患者への看護に活用する視点を獲得する。	
関連科目	【教養・共通基盤科目群】心理学、教育学、教育心理学、生命倫理、哲学、人間と宗教、社会学、生活文化と医療、大学の学び入門、大学の学び—専門への誘い—、多職種理解と連携 【専門基礎科目群】臨床心理学、カウンセリング	
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・55%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（45%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各単元について、教科書や講義資料をもとに、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。	
教科書	【教科書】 渡辺弥生監修（2021）「完全カラー図解 よくわかる発達心理学」 ナツメ社	
参考書	なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	Active Academy Advanceにより講義資料を配布します。各自、PCにダウンロードして授業に持参してください。	
アクティブ・ラーニングの実施	小演習を一部実施	
ナンバリング	NFi-208	

講義科目名称： 臨床心理学

授業コード： 4N051

英文科目名称： Clinical Psychology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
梅沢 智陽			

授業形態	講義（一部ワークやグループワークを行う）	担当者
授業計画	<p>第1回 臨床心理学とは何か 臨床心理学とは、こころをよりよい状態にすることを旨とし、心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な分野である。本講義では、臨床心理学の歴史や構造について学ぶ。（教科書第1章）</p>	梅沢 智陽
	<p>第2回 心理アセスメントとは 臨床心理アセスメントは、対象となる事例の心理的側面に関する情報（データ）を収集し、その情報を統合し、事例の心理的問題についての総合的な査定を行う作業である。臨床心理アセスメントが精神医学的診断と同一のものとして混同されることがあるが、本質的には臨床心理アセスメントは精神医学的診断とは異なる特徴を持っている。本講義では、臨床心理アセスメントの技法について学び、精神医学的診断との違いについて理解を深める。（教科書第2章）</p>	梅沢 智陽
	<p>第3回 心理検査 心理アセスメントの一つである心理検査とは何か、どんな検査があるのかについて知る。また、臨床場面での心理検査の実際について事例を通じて理解するとともに、被検者体験をし（予定）、理解を深める。（教科書第3章）</p>	梅沢 智陽
	<p>第4回 心理カウンセリング 臨床心理において面接は心理アセスメントと不可分の基本的な専門行為であり、カウンセリングまたは心理療法と称されることが多い。本講義では、心理カウンセリングを面接の基本と位置づけてその要諦を概説する。（教科書第4章）</p>	梅沢 智陽
	<p>第5回 心理療法1 心理療法は精神分析の開祖フロイト（Freud, S.）を出発点としている。本講義では、三大心理療法の一つである、精神分析療法の概要を説明する。精神分析療法における理論や基本的な考え方について理解する。（教科書第4章）</p>	梅沢 智陽
	<p>第6回 心理療法2 三大心理療法の一つである、行動療法および認知・行動療法の概要を説明する。行動療法および認知・行動療法における理論や基本的な考え方について理解する。（教科書第5章）</p>	梅沢 智陽
	<p>第7回 心理療法3 三大心理療法の一つである、来談者中心療法の概要を説明する。来談者中心療法における理論や基本的な考え方について理解する。（教科書第5章）</p>	梅沢 智陽
	<p>第8回 日本が発祥の心理療法 日本発祥の独自の心理療法である、内観療法、森田療法、臨床動作法について、それぞれの技法の特徴と、その治療機序について知る。（教科書第6章）</p>	梅沢 智陽
	<p>第9回 家族療法、集団心理療法、臨床心理的地域援助 個別ではなく集団を対象とした介入について知る。家族や地域への介入では、その対象が2人以上の集団であり、社会心理学の知見に見られるように、集団のなかの個人は集団の影響を重層的に受ける。そこでクライエントを生活者としてみる際には、集団を社会システムととらえてクライエントを理解しようとする方法について学ぶ。（教科書第7章）</p>	梅沢 智陽
	<p>第10回 臨床心理学をとりまく概念 臨床心理学の取り扱う範囲は広がりをもってきている。そのような状況ではあるが、臨床心理学の基本的なところは、大きくは異ならないといえよう。本講義では、臨床心理学での基本的なテーマを具体的なエピソードを混じえながら、取りあげ、臨床心理学への理解を深めることを目的とする。（教科書第8章）</p>	梅沢 智陽
	<p>第11回 子どもをとりまく問題 子どもをとりまく問題として、発達障害、不登校などを取りあげ、これらの問題が乳幼児期・児童期という発達段階にどのように関連しながら現れてくるのか、さらにその対応について理解を深める。（教科書第9章）</p>	梅沢 智陽
	<p>第12回 思春期・青年期をとりまく問題 思春期・青年期をとりまく問題として、摂食障害、非行などを取りあげ、これらの問題が思春期・青年期という発達段階にどのように関連しながら現れてくるのか、さらにその対応について理解を深める。（教科書第10章）</p>	梅沢 智陽

	<p>第13回 成人期をとりまく問題 成人期は自分と他者のために、居場所を安定して維持することに取り組まねばならない時期であり、この時期におけるこころの問題について理解を深める。(教科書第11章)</p> <p>第14回 高齢期をとりまく問題 高齢期の身体・心理・社会的特徴について生物・心理・社会モデルに基づいて理解する。そのうえで、この時期におけるこころの問題について知るとともに、どのような心理支援が行われているのか理解を深める。(教科書第12章)</p> <p>第15回 臨床心理学の学習と倫理・法律、今後に向けて これまでの講義を通して学んだ知識や身につけた技法について振り返り、自らの専門にどのように活かしていくかを検討する。(教科書第13章)</p>	<p>梅沢 智陽</p> <p>梅沢 智陽</p> <p>梅沢 智陽</p>
科目の目的	<p>臨床心理学とは、心の不健康な人々を健康へと導くために、心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な一分野である。本講義では、臨床心理学の基礎について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する。</p> <p>ディプロマポリシー：【看護の理解】【対象の実践】</p>	
到達目標	<p>1. 臨床心理学で用いられる基本的な心理支援の理論と方法を説明することができる。</p> <p>2. 臨床心理学で対象となる悩みや障害について、その特徴や心理支援について説明することができる。</p> <p>3. 保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得し、対人支援に活用することができる。</p>	
関連科目	<p>【教養・共通基盤科目群】心理学、教育学、教育心理学、生命倫理、哲学、人間と宗教、社会学、生活文化と医療、大学の学び入門</p> <p>【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生学、保健統計</p> <p>【専門科目群】全科目</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験（レポート形式・50%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（50%）を加味して評価する。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>教科書の該当章を読み、どのような内容について学ぶのか事前に抑えておく。不明な点や気になる点があれば、授業時に理解がすすむようにノートなどにまとめるなど準備しておく。1時間程度の予習時間・復習を行うことを目安とする。</p>	
教科書	<p>横田正夫編著（2016）「ポテンシャル臨床心理学」サイエンス社</p>	
参考書	<p>なし</p>	
オフィス・アワー	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照</p>	
国家試験出題基準	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照</p>	
履修条件・履修上の注意	<p>講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>実施する。講義中、随時10分程度の小演習も取り入れる。</p>	
ナンバリング	<p>NFi-209</p>	

講義科目名称： 緩和医療学

授業コード： 4N052

英文科目名称： Palliative Medicine

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
斎藤 龍生	小林 剛	本多 昌子	

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 緩和医療学総論 緩和医療の歴史と緩和医療の基本的考え方を講義すると共に、がん患者さんが抱えている問題点を提示します。その中で、「末期がンの患者さんと如何に話すか?」、「患者さんが人間らしく生きるために何ができるか?」について、一緒に考えていく講義を予定しています。患者さんとのコミュニケーションスキルの向上を目指し、基本的な技術を紹介します。</p> <p>第2回 緩和医学各論 疼痛緩和 疼痛の考え方 鎮痛剤の使い方・副作用対策</p> <p>第3回 緩和医学各論 疼痛緩和 オピオイドローテーションについて 事例を提示し疼痛緩和について考える。</p> <p>第4回 緩和ケアにおける看護①疼痛マネジメント、その他症状マネジメント 疼痛マネジメント・その他症状マネジメントにおける看護の役割について 効果的な疼痛マネジメント・その他症状マネジメントのためのアセスメントと援助方法について事例を提示し考える。</p> <p>第5回 緩和ケアにおける看護②スピリチュアルケア、全人的苦痛の緩和 精神的苦痛と霊的苦痛（スピリチュアルペイン）のケアについて</p> <p>第6回 緩和ケアにおける看護③看取りのケア、家族ケア、グリーフケア 終末期患者の家族ケアと遺族ケアの実践について</p> <p>第7回 緩和的リハビリテーション、緩和医療におけるチームアプローチ 緩和ケア病棟における終末期患者のリハビリテーション 緩和ケア病棟におけるチーム医療 チームにおける看護の役割、多職種の役割と機能</p> <p>第8回 緩和医療に関する振り返り</p>	<p>斎藤 龍生</p> <p>小林 剛</p> <p>小林 剛</p> <p>本多 昌子</p> <p>本多 昌子</p> <p>本多 昌子</p> <p>本多 昌子</p> <p>本多 昌子</p>
科目の目的	緩和医療（ケア）とは、終末期に限らず医療のさまざまな分野で必要であることが認識され、癌医療における早期導入、慢性疾患への対応など応用範囲が広がりつつある。がん患者への積極的な全人的医療として身体的・精神的・社会的・霊的苦痛の緩和、家族・遺族への支援についての理論や援助方法を学習する。また、チーム医療の必要性、緩和ケア・ホスピスケアの実践、チームにおける多職種の役割や機能について学習する。【看護の実践】【専門性の探究】	
到達目標	緩和医療（ケア）の歴史と緩和医療（ケア）の基本的考えを知る。 緩和医療を取り巻くシステムと問題点を知る。 緩和医療における治療理念と倫理的問題を含め治療方法および援助方法を理解する。 緩和医療（ケア）が患者・家族のQOL向上に大きな役割を果たすことを理解する。 終末期における家族ケア、遺族ケアの重要性を理解する。 緩和ケアにおけるチーム医療の必要性とチームにおける多職種の役割や機能について理解する。	
関連科目	生命倫理・社会学・解剖学ⅠⅡ・生理学ⅠⅡ・病理学・薬理学・大学の学び-専門への誘い-・臨床心理学・栄養学・カウンセリング・看護学概論ⅠⅡ・看護過程論・成人・老年看護学総論・在宅看護論	
成績評価方法・基準	授業毎のミニッツペーパーの提出（30%）、試験（70%） 試験欠席及び追試はレポートで評価を行う	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1コマあたりの学習時間の目安：4時間	
教科書	教科書は使用しない	
参考書	1. 「成人看護学⑦緩和ケア」メディカ出版 2. 「緩和・ターミナルケア看護論」鈴木志津枝／内布敦子（ヌーヴェルヒロカワ） 3. 「がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2010年度版」（金原出版株式会社）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	

履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	実施無し
ナンバリング	

講義科目名称： 公衆衛生学

授業コード： 4N053

英文科目名称： Public Health

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
一戸 真子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 公衆衛生の理解 公衆衛生学の特徴 健康の概念の変遷、予防の概念、ヘルスプロモーション、プライマリヘルスケア	一戸 真子
	第2回 人口と公衆衛生 世界人口の動向、日本の少子高齢化の進行、WHO	一戸 真子
	第3回 健康指標と保健統計 人口静態・人口動態、年齢調整死亡率、平均寿命、健康寿命	一戸 真子
	第4回 疫学1 疫学の概念、記述疫学、分析疫学、臨床疫学、EBM	一戸 真子
	第5回 疫学2 系統誤差、バイアスとその除去、相対危険度、寄与危険度、因果関係論、スクリーニングの意義	一戸 真子
	第6回 感染症総論 感染症発生の3要因と予防の原則、新興・再興感染症、1類感染症、予防接種	一戸 真子
	第7回 感染症各論 結核、エイズ、エボラ出血熱、インフルエンザ、新型コロナウイルス	一戸 真子
	第8回 母子保健 成人保健 乳児死亡率・妊産婦死亡率 がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病等生活習慣病	一戸 真子
	第9回 老人保健福祉 学校保健 健康増進法、後期高齢者医療制度、介護保険法、医療介護総合確保推進法、学校保健安全法	一戸 真子
	第10回 精神保健 精神保健のあゆみ、精神障害の種類、入院治療の形式、精神保健福祉対策、アルコール・薬物依存、自殺予防	一戸 真子
	第11回 生活環境、環境と健康、環境基準、地球環境問題 公害と防止対策、公害健康被害補償の原則、地球温暖化対策、循環型社会	一戸 真子
	第12回 栄養と食品衛生 食中毒発生の状況の変遷、食中毒の種類と予防法、HACCP、健康日本21	一戸 真子
	第13回 産業保健 労働環境、職業病の種類と予防法、労働安全衛生	一戸 真子
	第14回 衛生行政と社会保障 保健所と区市町村保健センター、社会保障概要	一戸 真子
	第15回 医療行政概要 医療法改正の動向、医療計画、地域医療連携の推進、救急医療体制の整備、医療人材・医療資源の国際比較	一戸 真子
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。タテ系である各種疾患対策、環境対策とヨコ系である統計、疫学、健康教育、試験検査などが織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。 【対象の理解】	
到達目標	1. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解している。 2. 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野をもって いる。 3. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等について理解できる。 4. ヘルスプロモーションの重要性について説明できる。	
関連科目	生命倫理、環境学、疫学、保健統計、社会学、情報処理、免疫・感染症学	
成績評価方法・基準	試験70%、提出物30%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	「国民衛生の動向」は特に公衆衛生の現実社会を写している最も重要なテキストである。 講義前に該当する事項に眼を通しておくことが望ましい。 準備学習に必要な学習時間の目安 1コマあたり4時間	
教科書	【教科書】 「公衆衛生」神馬征峰他(医学書院)(最新版) 「国民衛生の動向 2024/2025 版」(一般財団法人 厚生労働統計協会)	

参考書	特になし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	地球温暖化と健康課題など、近年、公衆衛生の重要性がより高まっているので、しっかり学んで欲しい。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	NFj-101

講義科目名称： 疫学

授業コード： 4N054

英文科目名称： Epidemiology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
宮崎 有紀子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 疫学概念・歴史 疫学の目的、対象、方法、歴史的考察、医学的根拠への寄与	宮崎有紀子
	第2回 記述疫学と仮説設定	宮崎有紀子
	第3回 横断研究・生態学的研究	宮崎有紀子
	第4回 疾病頻度の測定：割合・率・比	宮崎有紀子
	第5回 コホート研究	宮崎有紀子
	第6回 症例対照研究 系統誤差、バイアスの種類と除去	宮崎有紀子
	第7回 疫学的手法を用いた問題解決	宮崎有紀子
	第8回 介入研究	宮崎有紀子
	第9回 疫学研究における倫理	宮崎有紀子
	第10回 疫学的因果関係の推定 交絡、バイアス、因果関係の条件	宮崎有紀子
	第11回 スクリーニング① 偽陽性と偽陰性、感受度・特異度、的中度	宮崎有紀子
	第12回 スクリーニング② スクリーニング検査の評価とバイアス	宮崎有紀子
	第13回 疾病登録 全国がん登録、感染症の疾病登録	宮崎有紀子
	第14回 年齢調整の方法	宮崎有紀子
	第15回 社会と疫学	宮崎有紀子
科目の目的	人間の健康に関する諸現象を集団の立場からとらえ、健康に関する問題の解決をはかる学問である。集団の健康問題に関する基礎的方法であり、公衆衛生にとって必須の技法でもある。【対象の理解】 【看護の実践】	
到達目標	1. 疫学研究方法の基本及び疫学指標が理解できる。 2. 感染症をはじめ、集団におけるさまざまな健康現象について疫学的手法を応用する力を養う。	
関連科目	生命倫理、情報処理、公衆衛生学、社会学、免疫・感染症学、環境学	
成績評価方法・基準	試験80%、提出物20%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義前に、配布資料と該当する教科書の事項に目を通しておくことが望ましい。 準備学習に必要な時間の目安 1コマあたり1時間	
教科書	「はじめて学ぶやさしい疫学」日本疫学会監修（南江堂）	
参考書	「国民衛生の動向」（一般財団法人 厚生労働統計協会）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	保健師国家試験受験資格取得のための要件科目	
アクティブ・ラーニングの実施	教室内でのグループワーク	
ナンバリング	NFj-201	

講義科目名称：保健統計

授業コード：4N055

英文科目名称：Statistics

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
豊田 修一			

授業形態	講義（13回）、演習（2回）		担当者
授業計画	第1回	保健医療と統計・データの性質と収集	豊田 修一
	第2回	代表値とばらつき(1)（平均値、中央値等）	豊田 修一
	第3回	代表値とばらつき(2)（分散、標準偏差等）	豊田 修一
	第4回	標本抽出と確率	豊田 修一
	第5回	正規分布	豊田 修一
	第6回	統計で用いられるその他の分布	豊田 修一
	第7回	演習(1) データの整理・分析	豊田 修一
	第8回	推定	豊田 修一
	第9回	検定	豊田 修一
	第10回	さまざまな検定手法	豊田 修一
	第11回	2変数の分析	豊田 修一
	第12回	クロス表と検定	豊田 修一
	第13回	データヘルス	豊田 修一
	第14回	データの視覚化	豊田 修一
	第15回	演習(2) データの整理・分析	豊田 修一
科目の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計学の基礎知識および簡単な推定法・検定法を習得し、既存研究の内容等を統計学の視点から理解することが出来ることを目指す。</li> <li>・また、看護・保健活動に必要な情報を、既存保健統計調査から入手し、適切な手法で利活用することができることを目指す。</li> </ul> <b>【看護の実践】 【地域社会への貢献】</b>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計学の基礎知識を習得し、既存の研究内容などを理解することができる。</li> <li>・データに適した推定・検定を理解することができる。</li> <li>・データに適した図表を用いて表現することができる。</li> <li>・代表的な保健統計調査を知り、利活用することができる。</li> </ul>		
関連科目	疫学		
成績評価方法・基準	試験80%、講義中の発言・演習の提出物20%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容：授業時に課題を提示する。 ・授業外学習：各時1時間程度		
教科書	豊田修一、星山佳治、宮崎有紀子、 看護師・保健師をめざす人のやさしい統計処理(改訂版)．実教出版(978-4407364743)．		
参考書	厚生労働統計協会編． 国民衛生の動向 2024/2025 高木廣文，ナースのための統計学．医学書院．		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		

履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academyにて事前に配布します。印刷またはPCなどにダウンロードして持参してください。 保健師国家試験受験資格取得のための要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	グループワークやディベートを実施している
ナンバリング	NFj-301

講義科目名称： 社会福祉・社会保障制度論

授業コード： 4N056

英文科目名称： Social Welfare and Social Insurance System

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄	一場美根子		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 社会保障制度と社会福祉 社会保障制度、社会福祉の概念、行財政の仕組み	矢島 正栄
	第2回 社会福祉の歴史 我が国における社会保障制度、社会福祉の歴史の変遷	矢島 正栄
	第3回 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 戦後の我が国の社会保障制度の展開と課題	矢島 正栄
	第4回 医療保障1 ・社会保障制度と医療保険制度 ・医療保障制度の沿革・構造と体系 ・健康保険と国民健康保険	一場美根子
	第5回 医療保障2 ・後期高齢者医療制度 ・保険診療の仕組み ・公費負担医療制度 ・国民医療費	一場美根子
	第6回 高齢者福祉1 高齢者福祉の課題	矢島 正栄
	第7回 高齢者福祉2 高齢者福祉に関する法令、制度 高齢者福祉施策のしくみ	矢島 正栄
	第8回 介護保障1 ・介護保険制度創設の背景と介護保障の歴史 ・介護保険制度のしくみ	一場美根子
	第9回 介護保障2 ・介護保険制度のしくみ ・介護保険サービス利用の手続きと保険給付	一場美根子
	第10回 介護保障3 ・介護保険制度のサービスの種類・内容と主なサービス料金・介護報酬 ・介護保険制度と地域支援事業	一場美根子
	第11回 障害者福祉1 知的・身体・精神障害者、発達障害者、難病療養者の福祉に関する課題	矢島 正栄
	第12回 障害者福祉2 知的・身体・精神障害者、発達障害者、難病療養者の福祉に関する法令・制度、支援施策のしくみ	矢島 正栄
	第13回 所得保障 ・年金保険制度の歴史と仕組み ・労働保険制度（雇用保険・労働者災害補償保険） ・社会手当	一場美根子
	第14回 公的扶助 低所得者対策と生活保護制度の仕組み	一場美根子
	第15回 児童・家庭福祉 児童・家庭福祉に関する法令・制度、児童・家庭福祉施策	矢島 正栄
科目の目的	看護師・保健師・助産師の業務と関連の深い社会福祉、社会保障の法令、制度を理解し、変化する社会情勢の中で人々の健康と生活を支援するため社会資源の公平な利用と配分を促進する方法を学ぶ。【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】	
到達目標	1. 社会保障制度、社会福祉の理念と歴史の変遷を説明できる。 2. 医療保障、所得保障、介護保障、公的扶助、障害者福祉に関する主な法令、諸制度の概要を説明できる。 3. 社会資源の公平な利用と配分を促進する看護職の役割を考えることができる。	
関連科目	法学、地域社会学、経済学、地域保健行政、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動展開論、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ	
成績評価方法・基	試験（100%）	

準	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義に臨む前にテキスト、配付資料を精読しておいてください。1コマにつき60分程度の準備学習を求めます。
教科書	教科書 1. 「系統看護学講座 専門基礎 社会福祉 健康支援と社会保障制度③」23版（医学書院） 2. 「国民衛生の動向2023/2024」（厚生労働統計協会）
参考書	1. 「医療六法」（中央法規） 2. 「福祉省六法」（中央法規） 3. 「国民の福祉と介護の動向」（厚生労働統計協会）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講義資料は原則として講義日の2日前から1週間の間Active Academyにより配布します。印刷して持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	なし
ナンバリング	NFj-202

講義科目名称： 地域保健行政

授業コード： 4N057

英文科目名称： Community Health Administration

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
小林 亜由美	一場 美根子		

授業形態	講義(オムニバス方式) 15回		担当者
授業計画	第1回	公衆衛生政策の変遷①(講義) 日本国憲法、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションの理念	小林亜由美
	第2回	公衆衛生政策の変遷②(講義) 諸外国における公衆衛生政策の基盤形成	小林亜由美
	第3回	公衆衛生政策の変遷③(講義) 健康増進対策、がん対策	小林亜由美
	第4回	公衆衛生政策の変遷④(講義) 高齢者対策【授業内試験：第1回～第3回】授業内試験のフィードバック	小林亜由美
	第5回	公衆衛生政策の変遷⑤(講義) 母子保健対策	小林亜由美
	第6回	保健医療行政①(講義) 国、都道府県、市町村の行政の仕組み	小林亜由美
	第7回	保健医療行政②(講義) 財政、国民医療費【授業内試験：第4回～第7回】授業内試験のフィードバック	小林亜由美
	第8回	地域保健の体系(講義) ライフステージから見た地域保健・医療・福祉を支える制度：地域保健法と都道府県と市町村の役割分担	一場美根子
	第9回	保健所の機能(講義) 精神保健福祉法・精神保健福祉センター・難病法・感染症法等	一場美根子
	第10回	市町村の機能(講義) 母子保健法・精神保健法と障害者総合支援法等	一場美根子
	第11回	医療提供体制①(講義) 医療従事者～保健師助産師看護師を中心に【授業内試験：第8回～第10回】授業内試験のフィードバック	一場美根子
	第12回	医療提供体制②(講義) 病院等の整備、看護・医療安全対策、在宅医療と訪問看護ステーション等	一場美根子
	第13回	社会保障制度①(講義) 医療保険制度と介護保険制度	一場美根子
	第14回	社会保障制度②(講義) 年金保険・雇用保険と労働者災害補償保険、公的扶助等【授業内試験：第11回～第14回】授業内試験のフィードバック	一場美根子
	第15回	国際保健活動(講義) 国際保健に関する協力のしくみ、主な国際機関の役割	小林亜由美
科目の目的	保健医療行政の基本および行政・財政の仕組み、各分野の制度の仕組みと機能、対策の実際について、基本的な理解を得る【看護の実践】【地域社会への貢献】		
到達目標	1. 保健医療行政の理念と仕組みを説明できる。 2. 社会情勢の変化に伴う保健医療行政の考え方の変遷を説明できる。 3. 現代の我が国における保健医療行政の実際と保健師活動の関係を説明できる。		
関連科目	公衆衛生学、健康管理論、社会福祉・社会保障制度論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学方法論、公衆衛生看護活動展開論、対象別公衆衛生活動論Ⅰ、対象別公衆衛生活動論Ⅱ、公衆衛生看護管理		
成績評価方法・基準	授業内試験(30%：小林16%、一場14%) 定期試験(70%：小林38%、一場32%)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義に臨む前にテキスト、配付資料を精読しておいてください。1コマにつき1時間程度の準備学習を求めます。		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生 (医学書院)		
参考書	1. 「国民衛生の動向2024/2025」 (厚生統計協会)		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		

履修条件・履修上の注意	保健師国家試験受験資格取得のための要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	NFj-302

講義科目名称： リハビリテーション概論

授業コード： 4N058

英文科目名称： Introduction to Rehabilitation Science

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
村田 和香	村田 和香	佐藤 満	白坂 康俊

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 リハビリテーションとは（講義オリエンテーション含） リハビリテーションの定義、理念、歴史、ICF	村田和香
	第2回 作業療法概論 作業療法の歴史、理論・哲学を学ぶ	村田和香
	第3回 作業療法の実際 事例を通して作業療法を理解する	村田和香
	第4回 理学療法概論、理学療法の実際 理学療法の歴史、理論を学ぶ	佐藤 満
	第5回 医学的リハビリテーションとリハビリテーションチームにおける看護への役割期待	佐藤 満
	第6回 言語聴覚療法概論、言語聴覚療法の実際 言語聴覚療法の歴史、理論を学ぶ	白坂康俊
	第7回 コミュニケーション障害のリハビリテーションとリハビリテーションチームにおける看護への役割期待	白坂康俊
	第8回 地域リハビリテーションとリハビリテーションチームにおける看護への役割期待	村田和香
科目の目的	リハビリテーションを幅広い視野から理解する。障害を持つ人の現状と保健医療福祉における課題を理解する。リハビリテーションにおける看護の役割を説明することができる。【対象の理解】 【看護の実践】	
到達目標	①リハビリテーションの定義について、説明できる。 ②国際生活機能分類（ICF）について、具体的例を示し説明できる。 ③リハビリテーションで果たす看護の役割を説明できる。	
関連科目	看護学概論Ⅰ・Ⅱ、多職種理解と連携	
成績評価方法・基準	試験100%（レポートを課す場合もある）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1. 障害や福祉に関する用語を調べ、学習する。 2. できれば障害福祉施設でのボランティア活動をする。 1コマあたりの準備及び復習時間の目安：4時間	
教科書	使用しない（資料はActiveAcademyに登録するので、各自準備すること）	
参考書	「入門リハビリテーション概論」中村隆一（医歯薬出版）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	講義資料はActiveAcademyで3日前から講義翌日まで配布する。	
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習を中心に展開する	
ナンバリング	NFj-203	

講義科目名称： カウンセリング

授業コード： 4N059

英文科目名称： Counseling

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
大石 武信			

授業形態	講義中、随時10分程度の小演習も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	<p>カウンセリングの定義                      カウンセリング・心理療法とはどのような領域で必要であるか、どのような関連があるのかを理解する。併せて、倫理規定についても学ぶ。</p>	大石 武信
	第2回	<p>代表的なカウンセリング・心理療法1                      一口にカウンセリングといっても膨大な数のカウンセリングが存在する。まずは、どのようなものがあるのかを概説していく。</p>	大石 武信
	第3回	<p>代表的なカウンセリング・心理療法2                      前回到引き続き、代表的なカウンセリングについての概説を行う。対象者や技法のコンセプトの違いと共通点を理解できるようにする。</p>	大石 武信
	第4回	<p>来談者中心療法（パーソンセンタードセラピー）                      現在のカウンセリングに多大な影響を与えた、ロジャースが提唱した来談者中心療法（パーソンセンタードセラピー）を学ぶ。その基本理念や他のカウンセリングにも関係するコンセプトを理解する。</p>	大石 武信
	第5回	<p>精神分析                      フロイトによって開発された精神分家期について学ぶ。理論の根幹となっている無意識をリビドー含め、洞察や解釈への留意点なども併せて理解することを目的とする。</p>	大石 武信
	第6回	<p>行動療法                      学習理論を利用した行動療法では、精神現象を刺激—反応の連鎖でとらえる。そのとらえられた精神活動の単位を「行動」と呼ぶ。学習理論と紐づけをして、体系化した行動療法の技法を学ぶ。</p>	大石 武信
	第7回	<p>認知療法と認知行動療法                      認知行動療法は、わが国では保険点数化されたことにより、医療現場においてはもっとも使われているカウンセリング・心理療法である。その発生にはそれまでの他のカウンセリング・心理療法の理論の蓄積があつてのものである。その背景と具体的な技法について学ぶ。</p>	大石 武信
	第8回	<p>集団療法                      他者を鏡にして自分を知り、ひとりで体験すること以上の知恵を得ることができる集団療法について、どのようなメカニズムが作用しているのかについて理解する。また、精神科領域において広く使用されているSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）についても理解を深める。</p>	大石 武信
	第9回	<p>リクリエーション療法・芸術療法・音楽療法                      様々なレクリエーション活動の中で情緒を解放させ、心の安定を図ろうとするものをリクリエーション療法という。その中で特に芸術療法、音楽療法について説明する。</p>	大石 武信
	第10回	<p>催眠療法・自律訓練法、バイオフィードバック                      心身相関の観点から、身体的変化を明とするカウンセリング・心理療法もある。その理論を学び、セルフマネジメントに貸せるように体験をする。</p>	大石 武信
	第11回	<p>トラウマと喪失の心理療法の概説                      トラウマ心理療法を適用するには「今は安全である」ことが必須条件である。二次災害の危険性がある、という状況下では、いかなるトラウマ心理療法も適用できない。そうした状況では、まず生命の安全を確保する。次に、様々な行政機関の協力を得る等が整備される必要がある。それを前提として、ストレス障害に陥ったときに、様々なトラウマ心理療法が適用される。こうした各種心理療法について概説する。</p>	大石 武信
	第12回	<p>良好な人間関係を築くためのコミュニケーションとしてのアサーション                      基本的人権でもあるアサーションについて学ぶ。自己表現の種類や特徴を理解し、実践できるようにする。                      また、カウンセリングでよく言われる「傾聴」の「きく」は、「聴く」であって「聞く」ではない。このことを認知心理学の知見によって説明する。</p>	大石 武信

	第13回 コミュニティ・アプローチ 医療や介護で使用される、「訪問」や「在宅」などは、要支援者の生活場面における援助となる。この観点を重視するコミュニティ心理学的観点を説明する。アプローチには大きな差異がある点も多いので、そのあたりも十分に理解する必要がある。	大石 武信
	第14回 災害時における心理援助 自然災害や事故などに遭遇した人に対するカ心理援助としてのウンセリングや心理療法について、主にPFA（サイコロジカル・ファースト・エイド）について学ぶ。心理援助の専門家以外の人を実施するための留意点も身に付けていく。	大石 武信
	第15回 まとめとこれからのについて これまでの14回を振り返るとともにこれからのカウンセリングに必要なことをディスカッションを行う。	大石 武信
科目の目的	医療にかかわらず、日常生活においてもよく見かけるカウンセリングについて、正しい知識と観点を身に付ける。そのことによって、対象者にとってどのようなことが必要であるか、またどのような援助が適切であるかを実践できるようにすることを目的とする。 ディプロマポリシー：【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	1. 基本的なコミュニケーションにおける姿勢やスキルについて学び、実践することができる。 2. 患者やその家族の抱える問題について、適切に把握・対処するためのカウンセリングに関する知識・技術・観点を身につける。	
関連科目	臨床心理学、心理学、教育心理学	
成績評価方法・基準	定期試験（定期試験・70%）に毎回の講義後に作成する小レポート等の評価（30%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で取り上げる専門用語について、または授業テーマに関連しそうな専門用語について調べておく。（約1時間程度）	
教科書	無し	
参考書	適宜紹介する	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	1) 授業計画は受講学生数と受講学生の希望で一部変更することがあります。変更の場合は事前に周知します。 2) 原則として初回授業に出席していない学生の履修は認めません。履修希望者は必ず初回授業に出席してください。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施する。講義中、随時10分程度の小演習も取り入れる。	
ナンバリング	NFj-204	

講義科目名称： 看護学概論 I

授業コード： 4N060

英文科目名称： Introduction to Nursing I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美			

授業形態	講義（8回＋演習 発問シート）		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス・看護とは（1） 発問シート 看護の定義、特徴と社会的責任について学ぶ。	萩原 一美
	第2回	看護とは（2） 発問シート 看護の歴史の変遷について学ぶ。 *課題レポートあり	萩原 一美
	第3回	看護の対象（1） 発問シート 看護の対象である人間の心と身体の間を学ぶ。	萩原 一美
	第4回	看護の対象（2） 発問シート 看護の対象である人間の健康の捉え方を学ぶ。	萩原 一美
	第5回	看護の対象（3） 発問シート 看護の対象の人間としての生涯発達と「暮らし」を学ぶ。	萩原 一美
	第6回	看護の提供者（1） 発問シート 看護の役割と機能を学ぶ。 *課題レポートあり	萩原 一美
	第7回	看護の提供者（2） 発問シート 看護職の養成制度を学ぶ。	萩原 一美
	第8回	看護とは（3） 発問シート 看護における倫理を学ぶ。	萩原 一美
科目の目的	看護の歴史の変遷を踏まえ、看護学の主要概念である「人間」「環境」「健康」「看護」を掘り下げて学ぶことにより、看護とは何かを考察する。また、看護の対象を理解した上で、看護提供者としての役割と責務を看護に関連する法律と関連づけて理解する。【対象の理解】 【国際的な視野】		
到達目標	1. 看護の主要概念（健康・環境・人間・看護）について説明できる。 2. 看護の歴史と変遷について説明できる。 3. 看護提供者としての役割と責務を説明できる。 4. 看護とは何かについて自己の考えを表現できる。		
関連科目	基礎看護技術演習、看護学概論Ⅱ、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション論、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、看護過程論入門、看護過程展開論、治療援助学演習をはじめとする看護学全般の基盤となる		
成績評価方法・基準	筆記試験（60％）、課題レポート（8％） 発問シート（24％）＋ミニツツペーパー（8％）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿って、教科書の該当ページを読み、理解できない内容を明確にして授業に臨むこと。1コマあたり4時間の事前学習と事後学習が必要。		
教科書	教科書：系統看護学講座 専門分野 看護学概論 基礎看護学1 茂野 香おる 吉岡 京子 他 医学書院		
参考書	授業の都度提示する。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
履修条件・履修上の注意	発問シートの記入は、授業時間内に10分～20分程度の時間を確保する。但し、シートの提出が評価点ではなく、内容で評価する。したがって、日常的に限られた時間の中で自己の考えを整理して、論理的に表現できるような習慣を心掛けて、授業に臨むことが必要である。		
アクティブ・ラーニングの実施	演習は、各回で提示される発問に対する意見を、発問シートに時間内に記述する。		
ナンバリング	NSk-101		

講義科目名称： 看護学概論Ⅱ

授業コード： 4N061

英文科目名称： Introduction to NursingⅡ

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美	長嶺 めぐみ		

授業形態	講義（8回＋演習：発問シート）		担当者
授業計画	第1回	看護理論（1）講義 発問シート 看護学の特徴や看護実践の方法を理解するために、根拠となる看護理論を適用する。	萩原一美
	第2回	看護提供のしくみ（1）講義 発問シート 看護ケアをサービスとして提供するための、看護提供方式の考え方を説明する。	萩原一美
	第3回	看護提供のしくみ（2）講義 発問シート 看護・医療を提供するためのチーム医療の一員となることを自覚するために、医療安全・多職種連携に関する概念を説明する。	萩原一美
	第4回	看護における倫理（1）講義 発問シート 前期の看護倫理をさらに発展させて、看護倫理に対する理解を深める。 *課題 レポートあり 自分の日常生活の中で生じる倫理的ジレンマを説明する。	萩原一美
	第5回	看護における倫理（2）講義 発問シート 看護倫理とは何か、看護における倫理の必要性を考察する。	萩原一美
	第6回	広がる看護の活動領域（国際看護・災害看護）講義 発問シート 国際看護、災害看護の基礎知識および看護の役割・活動に関心をもつ。	長嶺 めぐみ
	第7回	看護職のキャリア・看護政策：講義 発問シート 看護職のキャリア形成の必要性を理解するために、看護職の歴史的変遷と継続教育を関連付けて説明する。*課題緒レポートあり	萩原一美
	第8回	看護提供の仕組み（3）（看護管理・制度と政策）講義 発問シート 社会のニーズに対応できる看護職となるために、看護実践と看護政策・看護管理を関連付ける説明する。	萩原一美
科目の目的	「看護学概論Ⅰ」の学習を踏まえ、看護の基盤になる理論、方法について学習する。看護の見方・考え方の基盤として看護理論について学習し、看護学の特徴や看護実践への活用方法を理解する。また、倫理上の課題、医療事故の問題等について考え、看護師を目指すものとして現実の課題について関心をもつ。国際看護・災害看護の基礎知識および活動について理解する。 【対象の理解】 【国際的な視野】		
到達目標	1. 看護理論家の理論を構成する主要概念や特長について説明できる。 2. 看護の倫理原則及び倫理的概念について説明できる。 3. 医療現場で生じる倫理的課題を考察できる。 4. 看護の倫理的課題、医療安全の側面から社会における看護の役割について説明できる。 5. 国際看護・災害看護の基礎知識をふまえて看護の役割、機能について説明できる。 6. 看護職のキャリア形成と継続教育を関連付けて説明できる。 7. 社会のニーズに対処できる看護職となるために、看護実践と看護政策・看護管理を関連付けて理解する。		
関連科目	既習学習の基礎看護技術演習、看護学概論Ⅰ、同時進行の日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、2年次以降の看護過程入門、看護過程展開論演習、治療援助学演習をはじめとする看護学全般の基盤となる。		
成績評価方法・基準	筆記試験（60%） ミニツペーパー（4%） 発問シート（8回 24%） 課題レポート（2回 12%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿って、教科書の該当ページを読み、理解できない内容を明確にして授業に臨むこと 1コマあたり4時間の事前学習・事後学習を必要とする。		
教科書	教科書：系統看護学講座 専門分野 看護学概論 基礎看護学① 茂野香おる，吉岡京子，他 医学書院		
参考書	授業の都度提示する。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	発問シートの記入は、授業時間内に10分～20分程度の時間を確保する。但し、記述内容を評価するので、発問シートの提出がそのまま得点となるわけではない。したがって日常的に限られた時間内に、自己の考えを整理して、論理的に表現できるような習慣を心掛けて、授業に臨むことが必要である。		

アクティブ・ラーニングの実施	演習では、発問シートにより発問に対する自己の考えを表現する。
ナンバリング	NSk-102

講義科目名称： 基礎看護技術演習

授業コード： 4N062

英文科目名称： Practise in Basicaly Nursing Skills

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
千葉 今日子	萩原 一美	堀込 由紀	長嶺 めぐみ
	村田亜夕美	森田 綾子	

授業形態	講義6回、演習9回		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス 看護技術と看護技術の基本原則（講義） 看護技術と看護技術の基本原則を学ぶ。	千葉今日子
	第2回	看護に共通の基本技術：観察 感染予防（講義） 看護援助に共通する看護技術としての観察の意義・目的・方法を理解する。 看護援助に共通する看護技術としての感染予防（標準予防策）の意義・目的・方法を理解する。	千葉今日子
	第3・4回	看護に共通の基本技術の実際：標準予防策（スタンダードプリコーション）（演習） 看護援助に共通する看護技術としての感染予防（標準予防策）を実施できる。	千葉今日子、萩原一美、堀込由紀、長嶺めぐみ、村田亜夕美、森田綾子
	第5回	看護に共通の看護技術：ボディメカニクス・体位と体位変換（講義） 看護援助のためのボディメカニクスの意義・方法・留意点を理解する。 対象の体位調整と体位変換の意義・方法を理解する。 対象の体位調整と体位変換の援助を理解する。	千葉今日子
	第6・7回	看護に共通する看護技術の実際：ボディメカニクス・体位変換（演習） 看護援助に共通する看護技術としてのボディメカニクスを実施できる。 対象の体位調整および体位変換を実施できる。	千葉今日子、萩原一美、堀込由紀、長嶺めぐみ、村田亜夕美、森田綾子
	第8・9回	療養環境を整える看護援助（講義） 看護の対象と取り巻く環境を理解する。 療養環境を整える意義・方法・留意点を理解する。 療養環境を整える援助を理解する。	千葉今日子
	第10回	療養環境を整える看護援助の実際；療養環境と療養環境の整備（演習） 療養環境を整備する援助を実施できる。	千葉今日子、萩原一美、堀込由紀、長嶺めぐみ、村田亜夕美、森田綾子
	第11・12回	療養環境を整える看護援助の実際；ベッドメイキング（演習） ベッドメイキングの援助を実施できる。	千葉今日子、萩原一美、堀込由紀、長嶺めぐみ、村田亜夕美、森田綾子
	第13・14回	療養環境を整える看護援助の実際；臥床患者のシーツ交換（演習） 臥床患者のシーツ交換の援助を実施できる。	千葉今日子、萩原一美、堀込由紀、長嶺めぐみ、村田亜夕美、森田綾子
	第15回	療養環境を整える看護援助における看護の専門性／看護技術習得のプロセス（講義） 療養生活を整える援助が看護の専門性であることを学習する。 看護技術習得のプロセスを学ぶ。	千葉今日子
科目の目的	人間を対象とする専門技術である看護技術の基本的概念や特徴を学習する。看護の専門知識に基づき、対象者への目的意識的な直接的行為である看護技術の原理・原則を学習する。【看護の実践】		

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護技術の特徴を説明できる。</li> <li>2. 看護技術の基本原理・原則と看護技術習得のプロセスを説明できる。</li> <li>3. 看護に共通の基本的な技術（観察・感染予防/標準予防策・ボディメカニクス・体位変換）を実施できる。</li> <li>4. 療養生活の場である入院環境について説明できる。</li> <li>6. 療養環境を整える援助（療養環境の整備・ベッドメイキング・臥床患者のシーツ交換）を実施できる。</li> <li>7. 療養環境を整える援助を受ける対象を尊重した態度で援助が実施できる。</li> </ol>
関連科目	関連する教養科目－心理学、教育心理学、社会学、生活文化と医療、環境学、 関連する専門基礎科目－解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、発達心理学、栄養学、 関連する専門科目－看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、治療援助学演習、 ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、コミュニケーション論 その他各看護学
成績評価方法・基準	筆記試験（60％）提出課題（40％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、理解できない内容を明確にして授業に臨む。 授業内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、課題に取り組む。 基礎的知識、看護技術の習得に向けて、主体的、積極的に学習に取り組む。  <b>【学習に必要な自己時間の目安】</b> ・予習・復習を合わせ、1コマ当たり60分程度。
教科書	教科書：系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえるVol.1 基礎看護技術 メディックメディア出版
参考書	特になし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業内で配布される「演習の手引き」を熟読し、準備を行い演習に臨む。 演習の際、特に指示がない場合は、ユニフォーム・ナースシューズ・名札を着用する。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習
ナンバリング	NSk-103
実務経験のある教員による授業	
実務経験	千葉 今日子（看護師）、萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、長嶺 めぐみ（看護師）、村田 亜夕美（看護師）、森田 綾子（看護師）
授業の概要	看護の対象へ提供するための具体的な看護活動に共通する技術を学ぶ。看護活動の始まりである看護の対象を「よく観る」ための観察の重要性を学ぶ。その上で1年次後期・2年次で学ぶ援助方法、さらには対象のライフステージに合わせた臨床での援助方法の基盤となる共通の看護技術を習得する。

講義科目名称： コミュニケーション論

授業コード： 4N063

英文科目名称： Communication Theory

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美	堀込由紀	長嶺めぐみ	千葉今日子
	村田亜夕美	森田綾子	佐藤美保

授業形態	講義：4回 演習：4回		担当者
授業計画	第1回	コミュニケーションの意義と目的・構成要素と成立過程：講義 発問シート 1. コミュニケーションの意義と人間のコミュニケーションの特徴を学ぶ。 1) 医療・看護におけるコミュニケーション 2) コミュニケーションと観察 2. コミュニケーションにおける構成要素と成立過程を理解する。	萩原一美
	第2回	看護におけるコミュニケーションの実際（カンファレンス）：講義 発問シート 1. カンファレンスにおける基本的な知識を理解する。	萩原一美
	第3回	看護におけるカンファレンスの実際：演習（カンファレンス） 日常生活援助学演習Ⅰでの体験に基づくテーマカンファレンスを行う。 カンファレンスにおける役割（司会・参加者）の役割を体験する。 カンファレンスの体験をとおして、自己のコミュニケーションの課題を分析・考察する。	萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 千葉今日子 村田亜夕美 森田綾子 佐藤美保
	第4回	看護における対人関係を振り返る方法（プロセスレコード、ロールプレイ、リフレクション）：講義 発問シート 1) プロセスレコード 2) ロールプレイ 3) リフレクション	萩原一美
	第5回	コミュニケーションの方法：演習（ロールプレイ） 事例のロールプレイをグループで実践する。 ロールプレイ終了後にテーマカンファレンスを行う。	萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 千葉今日子 村田亜夕美 森田綾子 佐藤美保
	第6回	コミュニケーションを振り返る方法：演習（プロセスレコード①） 自身の日常会話の中から、気がかりなこと、違和感を感じた場面を再構成し、プロセスレコードの構成要素を理解する。	萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 千葉今日子 村田亜夕美 森田綾子 佐藤美保
	第7回	コミュニケーションを振り返る方法：演習（プロセスレコード②） 看護における傾聴・受容・共感について考える 日常生活援助学演習Ⅱでの体験をプロセスレコードを用いての再構成し、自己のコミュニケーションを振り返る。	萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 千葉今日子 村田亜夕美 森田綾子 佐藤美保
	第8回	看護におけるコミュニケーションの意義と援助関係に必要なコミュニケーション：講義 発問シート	萩原一美
科目の目的	患者―看護者関係を成立するためのコミュニケーションの意義と目的、方法を学習する。その上で、人間関係コミュニケーションにおける、相互作用の重要性に気づき、看護職に求められるコミュニケーションを考察する。【対象の理解】		
到達目標	1. 患者―看護者関係を成立するためのコミュニケーションの構成要素と過程を説明する。 2. 患者―看護者関係を成立するためのコミュニケーションの方法を説明する。 3. 他者とのコミュニケーションをとおして、自己のコミュニケーションの課題に気づく。 4. 看護職に求められるコミュニケーション力を考え、説明する。		
関連科目	教養科目群：社会学、教育学、 専門科目群：看護学概論Ⅰ・Ⅱ、看護基礎技術論 日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ		
成績評価方法・基準	筆記試験（60%） ミニツツペーパー（4%） 演習ワークシート（4回 20%） 発問シート（4回 16%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容に合わせて課題を提示する。 本科目に必要な自己学習時間は30時間である。従って1コマあたり4時間の事前・事後学習が必要である。		

教科書	教科書：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I 医学書院
参考書	授業の都度 提示する。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	コミュニケーション技術は看護職にとって重要なスキルであり、コミュニケーションスキルを磨くことは看護学生にとって大きな課題である。また、看護基礎実習の履修に関連する重要な科目となるため、自己のコミュニケーション力を分析して授業に臨むことが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	第3・5・6・7回は、体験学習・グループディスカッション等を行う。
ナンバリング	NSk-104

講義科目名称： 日常生活援助学演習 I （活動・食事・排泄）

授業コード： 4N064

英文科目名称： Practice in Daily Life Care I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
村田 亜夕美	萩原一美	堀込由紀	千葉今日子
	長嶺めぐみ	森田綾子	伊藤順子

授業形態	講義 (8回)、演習 (7回)	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 1.人間の基本的ニーズを満たすための看護援助：講義 1) 日常生活行動と基本的ニーズ 2) 日常生活行動とその意義 3) 日常生活援助と日常生活援助技術 4) 日常生活援助における看護の役割	村田亜夕美
	第2回 2.活動と運動に関する看護援助：講義 1) 活動と運動の意義 2) 活動と運動に影響する要因 3) 活動と運動の援助の必要性を判断するための視点 4) 活動と運動を促す看護援助	村田亜夕美
	第3.4回 3.活動に関する看護援助の実際：演習 1) 床上での移動 2) 車いす、ストレッチャーへの移乗 3) 車いす、ストレッチャーでの移送	村田亜夕美 萩原一美 堀込由紀 千葉今日子 長嶺めぐみ 森田綾子
	第5回 4.安楽の確保に関する看護援助：講義 1) 安楽の意義 2) 安楽に影響する要因 3) 安楽の確保に関する看護援助 電法・安楽な体位 ほか	村田亜夕美
	第6回 5.安楽確保のための援助の実際：演習 安楽な体位：体位保持・ポジショニング	村田亜夕美 萩原一美 堀込由紀 千葉今日子 長嶺めぐみ 森田綾子
	第7回 6.食事と栄養に関する看護援助①：講義 1) 食事と栄養の意義 2) 食事に関するメカニズム 3) 栄養と食事摂取のアセスメント 4) 栄養と食事摂取に影響する要因	千葉今日子
	第8回 6.食事と栄養に関する看護援助②：講義 5) 食事援助の必要性 6) 食事援助の方法と留意点 7) 食事援助時の看護	伊藤順子 千葉今日子
	第9.10回 7.食事に関する看護援助の実際：演習 食事の援助	村田亜夕美 萩原一美 堀込由紀 千葉今日子 長嶺めぐみ 森田綾子 伊藤順子
	第11回 8.排泄に関する看護援助①：講義 1) 排泄の意義 2) 排泄に関するメカニズム 3) 排泄状態（尿・便）のアセスメント 4) 排泄（尿・便）に影響する要因	村田亜夕美
	第12回 8.排泄に関する看護援助②：講義 5) 排泄援助の必要性 6) 排泄援助の方法と留意点 7) 排泄援助時の看護	村田亜夕美

	<p>第13.14回 9.排泄に関する看護援助の実際：演習 1) 便器・尿器による床上排泄の援助 2) 尿失禁・便失禁のある患者のおむつを用いた排泄の援助</p> <p>第15回 10.休息に関する看護援助：講義 1) 休息と睡眠の意義 2) 休息と睡眠に影響する要因 3) 休息と睡眠を促す看護援助</p> <p>11.患者の基本的ニーズを満たすための看護援助 1) 日常生活援助の必要性を判断するための視点 2) 日常生活援助方法の選択と留意点 3) 日常生活援助（活動・休息・食事・排泄）における看護の専門性 4) 日常生活援助技術の習得のプロセス</p>	<p>村田亜夕美 萩原一美 堀込由紀 千葉今日子 長嶺めぐみ 森田綾子</p> <p>村田亜夕美</p>
科目の目的	対象者のニーズに応じた日常生活援助（食生活と栄養、排泄、活動と休息）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では、看護の対象の日常生活行動の活動・休息、休息と睡眠、食生活と栄養、排泄に関する援助の目的と方法を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、対象の心情の理解や看護者の役割を、体験をとおして学ぶ。【看護の実践】	
到達目標	<p>1. 日常生活上の生理的ニーズ(食生活と栄養、排泄、活動と休息)を満たすための意義と方法を説明できる。</p> <p>2. 日常生活上の生理的ニーズ(食生活と栄養、排泄、活動と休息)を満たすための援助を実施できる。</p> <p>3. 日常生活上の生理的ニーズ(食生活と栄養、排泄、活動と休息)を満たすための援助を受ける対象の気持ちに気づくことができる。</p>	
関連科目	<p>教養科目 : 心理学、社会学</p> <p>専門基礎科目 : 解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、薬理学、病理学、生化学</p> <p>専門科目 : 看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、基礎看護技術論演習、コミュニケーション論</p>	
成績評価方法・基準	筆記試験(70%)、提出課題(30%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>【準備学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：授業内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、理解できない内容を明確にする。演習の予習課題を授業時に提示する。演習内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、課題に取り組む。</li> <li>・復習：予習課題の解説を演習時に行う。解説を参考にし、提出課題を完成させる。</li> </ul> <p>【学習に必要な時間の目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習・復習を合わせ、1コマあたり60分程度</li> </ul>	
教科書	<p>教科書1：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 医学書院</p> <p>教科書2：看護がみえるVol.1 基礎看護技術 メディックメディア出版</p>	
参考書	指定なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	演習時は、実習用ユニフォーム(ナースウェア、ナースシューズ、名札)を着用して臨む。予習課題と提出課題に取り組み、期日までに提出する。	
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習	
ナンバリング	NSk-105	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	村田 亜夕美（看護師）、萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、千葉 今日子（看護師）、長嶺 めぐみ（看護師）、森田 綾子（看護師）、伊藤 順子（看護師）	
授業の概要	「基礎看護技術論」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活援助（食生活と栄養、排泄、活動と休息）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では、看護の対象の日常生活行動の活動・休息、安楽と休息、食生活と栄養、排泄に関する援助の目的と方法を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験をとおして学ぶ。	

講義科目名称： 日常生活援助学演習Ⅱ（清潔・安楽）

授業コード： 4N065

英文科目名称： Practice in Daily Life CareⅡ

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀込 由紀	萩原一美	長嶺めぐみ	千葉今日子
	村田亜夕美	森田綾子	

授業形態	講義3回、演習12回		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス・清潔保持と衣生活1/講義 清潔保持に関する生理的メカニズム、清潔のニーズのアセスメントについて学ぶ。	堀込由紀
	第2回	清潔保持と衣生活2/講義 清潔の保持や衣生活の援助の意義、療養生活で用いる衣類の種類と取り扱いについて学ぶ。	堀込由紀
	第3回	清潔保持と衣生活3/講義 清潔保持に関する援助方法を学ぶ。熱布を体験して温熱刺激を行うことによる安楽の促進技術を学ぶ。	堀込由紀
	第4回	整容・寝衣交換1/演習 整容の方法について習得する。 様々なタイプの寝衣と、その着脱に関する援助方法を習得する。	堀込由紀・ 森田綾子・ 萩原一美・ 千葉今日子・ 長嶺めぐみ・ 村田亜夕美
	第5回	寝衣交換2/演習 臥床患者の寝衣交換（浴衣タイプからセパレートタイプの病衣等）の援助方法を習得する。	堀込由紀・ 森田綾子・ 萩原一美・ 千葉今日子・ 長嶺めぐみ・ 村田亜夕美
	第6～8回	部分浴/演習  部分浴（洗髪）の援助方法を習得する。 ケリーパッド及び洗髪車を使用した洗髪の援助方法を習得する。	堀込由紀・ 森田綾子・ 萩原一美・ 千葉今日子・ 長嶺めぐみ・ 村田亜夕美
	第9～10回	部分浴/演習 部分浴（足浴）の援助方法を習得する。 臥位での足浴及び座位での足浴の援助方法を習得する。	堀込由紀・ 森田綾子・ 萩原一美・ 千葉今日子・ 長嶺めぐみ・ 村田亜夕美
	第11～14回	全身清拭＋寝衣交換 ・ 陰部洗浄/演習 臥床患者の全身清拭及び陰部洗浄の援助方法を習得する。一部講義時間を取る。	堀込由紀・ 森田綾子・ 萩原一美・ 千葉今日子・ 長嶺めぐみ・ 村田亜夕美
	第15回	筋力低下した臥床患者の寝衣交換について検討する。 まとめ 筋力低下のある臥床患者の寝衣交換の援助方法を検討する。グループワークを実施し、ロールプレイを行い、個別性に配慮した、より適切なケアの提供についてを討議する。	堀込由紀・ 萩原一美・ 千葉今日子・ 長嶺めぐみ・ 村田亜夕美・ 森田綾子
科目の目的	「基礎看護技術論」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活援助（清潔の保持、衣生活）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では看護の対象の清潔を保つ意義、目的、方法の知識を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、安全・安楽な清潔への援助方法を実施する。その上で、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験を通して学ぶ。【看護の実践】		
到達目標	1. 清潔保持に関する生理的メカニズム、清潔のニーズのアセスメントについて説明できる。 2. 清潔の保持や衣生活の援助の意義とその援助方法について説明できる。		

	3. 患者のニーズに応じ、かつ、安全で根拠のある清潔の援助を実施することができる。 4. 援助を受ける対象者に関心を持ち、患者のニーズに配慮した安心・安楽なケアの必要性に気付き表現することができる。
関連科目	教養科目：心理学・社会学 専門基礎科目：解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学 専門科目：看護学概論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習、日常生活援助学演習Ⅰ、コミュニケーション論
成績評価方法・基準	筆記試験（50%）：講義内容を踏まえ、ケアに関する基本的知識が理解できているかを測る筆記試験を行う。 提出課題（50%）：演習等で指定する事前・事後学習内容について評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	【予習】講義予定の該当ページを熟読する。演習の場合には事前課題に取り組む。1コマ当り30分目安 【復習】講義・演習終了後、該当ページを熟読する。演習後は事後課題に取り組み技術を振り返り、技術の根拠や手順について理解を深める。1コマ当り事前学習と復習を含めて約45分の自己学習を行う。
教科書	教科書1：系統看護学講座専門分野 基礎看護学技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 教科書2：看護が見える Vol.1 医療情報科学研究所
参考書	指定しない。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	予習、復習し、主体的に講義・演習に臨むこと。演習では身だしなみを整え参加すること。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目は基本的看護技術を習得するために必要な知識、技術、態度を学習するため、教室または主として基礎・臨床看護学実習室にて学生間で技術練習を行う。
ナンバリング	NSk-106
実務経験のある教員による授業	
実務経験	堀込 由紀（看護師）、萩原 一美（看護師）、千葉 今日子（看護師）、長嶺 めぐみ（看護師）、村田 亜夕美（看護師）、森田 綾子（看護師）
授業の概要	「基礎看護技術論」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活援助（清潔の保持、衣生活）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では看護の対象の清潔を保つ意義、目的、方法の知識を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、安全・安楽な清潔への援助方法を実施する。その上で、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験をとおして学ぶ。

講義科目名称：ヘルスアセスメント

授業コード：4N066

英文科目名称：Health Assessment

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
森田 綾子	長嶺 めぐみ		

授業形態	講義（8回）	担当者
授業計画	<p>第1回     ヘルスアセスメントの目的と意義について ・ガイダンス ・ヘルスアセスメントはなにか ・ヘルスアセスメントの目的とその意義について学習する。 ・健康歴を聴取するために必要な問診の技術について学習する。</p> <p>第2回     心理・社会的側面のアセスメント ・心理・社会的側面のアセスメントの目的と実際について学習する</p> <p>第3回     フィジカルアセスメント① バイタルサイン（体温・脈拍） ・バイタルサインとはなにか ・バイタルサインのうち、体温・脈拍の測定方法とアセスメントについて学習する。</p> <p>第4回     フィジカルアセスメント② バイタルサイン（呼吸） ・バイタルサインのうち、呼吸の測定方法とアセスメントについて学習する。</p> <p>第5回     フィジカルアセスメント③ バイタルサイン（血圧・意識） ・バイタルサインのうち、血圧の測定方法とアセスメントについて学習する。 ・バイタルサインのうち、意識に関する基礎知識と評価方法を学習する。</p> <p>第6回     フィジカルアセスメント④系統別（呼吸器・循環器） ・呼吸器・循環器のフィジカルアセスメントの目的と実際について学習する。</p> <p>第7回     フィジカルアセスメント⑤系統別（消化器・筋骨格系） ・消化器・筋骨格系のフィジカルアセスメントの目的と実際について学習する。</p> <p>第8回     フィジカルアセスメント⑥ 系統別（神経系・感覚器系・外皮系） ・神経系・感覚器系・外皮系のフィジカルアセスメントの目的と実際について学習する。</p>	<p>森田 綾子</p> <p>森田 綾子</p> <p>森田 綾子</p> <p>森田 綾子</p> <p>森田 綾子</p> <p>長嶺めぐみ</p> <p>長嶺めぐみ</p> <p>長嶺めぐみ</p>
科目の目的	対象者の健康状態を把握するための基礎知識を理解する。【対象の理解】 【看護の実践】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>ヘルスアセスメントの目的と意義を理解する。</li> <li>ヘルスアセスメントの方法とその根拠を理解する。</li> <li>1. 2に基づき、看護におけるヘルスアセスメントの重要性を説明する。</li> </ol>	
関連科目	<p>関連する教養科目：心理学、生命倫理、環境学</p> <p>関連する専門基礎科目：解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、栄養学、病態栄養学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、臨床心理学</p> <p>関連する専門科目：看護学概論Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション論、基礎看護学技術演習、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、看護過程論入門、看護過程展開論演習、治療援助学演習、その他各看護学総論</p>	
成績評価方法・基準	筆記試験（80%）確認テスト（12%）ミニッツペーパー（8%） *確認テストは、前回の講義内容を出題範囲とし、講義前に実施する。（全3回）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>講義内容に沿った教科書該当ページを熟読して講義に臨むこと。 計画的に提出課題に取り組むこと。</p> <p>【準備学習に必要な学習時間の目安】 1コマあたり4時間の予習と復習が必要。</p>	
教科書	<p>教科書1：「系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2」茂野香おる他編 （医学書院）</p> <p>教科書2：「看護がみえるVol. 3 フィジカルアセスメント第1版」（メディックメディア出版）</p>	
参考書	特になし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	予習および復習を行い、主体的に講義に臨むこと。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

ナンバリング

NSk-201

講義科目名称：ヘルスアセスメント演習

授業コード：4N067

英文科目名称：Practice in Health Assessment

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
森田 綾子	萩原 一美	堀込 由紀	千葉今日子
	長嶺めぐみ	村田 亜夕美	

授業形態	演習（15回）	担当者
授業計画	<p>第1・2回 問診・体温・脈拍・呼吸の測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問診を実施する。</li> <li>体温・脈拍・呼吸の測定方法を習得する。</li> <li>測定した値をアセスメントし、報告する方法を習得する。</li> </ul> <p>第3・4回 血圧測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>血圧の測定方法を習得する。</li> <li>測定した値をアセスメントし、報告する方法を習得する。</li> </ul> <p>第5・6回 バイタルサイン測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイタルサインの測定方法を習得する。</li> <li>測定した内容をアセスメントし、報告する方法を習得する。</li> </ul> <p>第7・8回 フィジカルアセスメント①（呼吸器系・循環器系）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸器・循環器系のフィジカルアセスメント技術を習得する。</li> <li>観察、測定した内容をアセスメントし、報告する方法を習得する。</li> </ul> <p>第9・10回 フィジカルアセスメント②（神経系・感覚器系・筋骨格系）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神経系・感覚器系・筋骨格系のフィジカルアセスメント技術を習得する。</li> <li>観察、測定した内容をアセスメントし、報告する方法を習得する。</li> </ul> <p>第11・12回 フィジカルアセスメント③（消化器系）・ガイダンス（技術習得度チェック）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消化器系のフィジカルアセスメント技術を習得する。</li> <li>観察、測定した内容をアセスメントし、報告する方法を習得する。</li> <li>技術習得度チェックの留意点についての説明をうける。</li> <li>正確な測定に向け、手技の確認を行う。</li> </ul> <p>第13～15回 技術習得度チェック（バイタルサイン測定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイタルサイン測定を実施する。</li> <li>測定結果を報告する。</li> </ul>	<p>森田綾子・萩原一美・堀込由紀・長嶺めぐみ・千葉今日子・村田亜夕美</p> <p>森田綾子・萩原一美・堀込由紀・長嶺めぐみ・千葉今日子・村田亜夕美</p> <p>森田綾子・萩原一美・堀込由紀・村田亜夕美・森田綾子</p> <p>長嶺めぐみ・萩原一美・堀込由紀・千葉今日子・村田亜夕美・森田綾子</p> <p>長嶺めぐみ・萩原一美・堀込由紀・千葉今日子・村田亜夕美・森田綾子</p> <p>長嶺めぐみ・森田綾子・萩原一美・堀込由紀・千葉今日子・村田亜夕美</p> <p>森田綾子・萩原一美・堀込由紀・長嶺めぐみ・千葉今日子・村田亜夕美</p>
科目の目的	<p>対象者の健康状態を把握するための基礎知識を理解する【対象の理解】</p> <p>対象者の健康状態を把握するための基礎知識に基づき、技術を習得する【看護の実践】</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>既習の知識（ヘルスアセスメント）に基づき、正確にバイタルサイン測定を実施する。</li> <li>既習の知識（ヘルスアセスメント）に基づき、各系統別の観察・測定を実施する。</li> <li>1. 2.に基づき、対象の健康状態をアセスメントする。</li> </ol>	
関連科目	<p>関連する教養科目：心理学、生命倫理、環境学</p> <p>関連する専門基礎科目：解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、栄養学、</p>	

	病態栄養学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、臨床心理学 関連する専門科目：看護学概論Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション論、基礎看護学技術演習、 日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、看護過程論入門、看護過程展開論演習、 治療援助学演習、その他各看護学総論、ヘルスアセスメント
成績評価方法・基準	実技試験（50%） ワークシート（50%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	演習内容に沿った教科書の該当ページ、動画（指示があった場合）、配布資料を熟読したうえで臨むこと。提出課題に計画的に取り組むこと。 【準備学習に必要な学習時間の目安】 1コマあたり1時間の予習・復習が必要。
教科書	教科書1：「系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2」茂野香おる他編 （医学書院） 教科書2：「看護がみえるVol. 3 フィジカルアセスメント第1版」（メディックメディア出版）
参考書	特になし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	演習では、実習用ユニフォーム、ナースシューズ、名札を着用し、身だしなみを整えること。 演習の内容を復習し、臨むこと。 課題提出に計画的に取り組む、提示された期日までに提出すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施あり（体験学習）
ナンバリング	NSk-202
実務経験のある教員による授業	
実務経験	森田 綾子（看護師）、萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、千葉今日子（看護師）、長嶺めぐみ（看護師）村田 亜夕美（看護師）
授業の概要	授業科目「ヘルスアセスメント」の学習をふまえ、対象者の健康と生活の情報を把握し、人間の身体的・心理的・社会的側面をアセスメントするために必要な技術・プロセス・態度を習得する。また、解剖生理学、病態生理学の基本的知識に基づき、看護に必要な対象者の身体的な情報について、五感を駆使して収集する方法を系統別に学び、アセスメントに必要な技術・プロセス・態度を習得する。バイタルサイン測定、器官系統別ヘルスアセスメントの技術を演習により修得する。

講義科目名称： 看護過程論入門

授業コード： 4N068

英文科目名称： Introduction to Nursing Process Theory

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀込 由紀			

授業形態	講義8回	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス 看護過程とは、看護過程の定義や看護実践における意義を学ぶ。また、看護と情報という視点から捉えた看護過程について学ぶ。問題解決に必要なクリティカルシンキングについて学ぶ。</p> <p>第2回 看護過程における情報の捉え方 人間の反応を捉えるための看護理論と看護過程の関係性について学ぶ。</p> <p>第3回 看護過程の各段階（アセスメント1） 情報の具体的な収集方法（データベース）や情報に関する倫理的配慮について学ぶ。</p> <p>第4回 看護過程の各段階（アセスメント2） 対象者の情報を解釈・分析・推論・判断する方法について学ぶ。</p> <p>第5回 看護過程の各段階（看護問題の明確化） 収集した情報及びアセスメント結果を関連図として図式化し、関連性を含めた全体像を捉える。看護問題の抽出について学ぶ。看護問題の優先順位付けについて学ぶ。看護診断についても学ぶ。</p> <p>第6回 看護過程の各段階（看護計画1 期待される結果とケアプラン） 看護上の問題に関する看護目標の設定や個別性を踏まえた具体的な看護計画を立案する方法を学ぶ。立案した看護計画の評価方法について学ぶ。</p> <p>第7回 看護過程の各段階（看護計画2 実施・評価） 立案した看護計画の評価方法について学ぶ。</p> <p>第8回 看護記録 看護記録の意義、様式、具体的な書き方と留意点について学ぶ。電子カルテの実際について、実際に教育用電子カルテを操作して学習する。また、電子カルテを扱う上での個人情報保護の対応についても学習する。</p>	堀込由紀 堀込由紀 堀込由紀 堀込由紀 堀込由紀 堀込由紀 堀込由紀 堀込由紀
科目の目的	看護過程は、看護を実践するものが独自の知識体系に基づき、看護により解決できる問題を効果的に取り上げ、解決していくために系統的、組織的に行う活動である。ここでは看護過程の構成要素とその展開の方法を理解する。【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護過程の定義や構成要素について説明できる。</li> <li>2. 看護が扱う情報の種類と情報収集について説明できる。</li> <li>3. 患者を理解するためのアセスメントの方法について説明できる。</li> <li>4. アセスメント結果から看護問題を抽出し、優先順位を決定する方法が説明できる。</li> <li>5. 患者の個別性を反映した看護計画を立案する方法を説明できる。</li> <li>6. 立案した看護計画の評価方法について説明できる。</li> <li>7. 看護記録の意義や様式、具体的な記載方法、取り扱う上での留意点について説明できる。</li> </ol>	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、基礎看護技術、コミュニケーション論、看護基礎実習、日常生活援助学演習Ⅰ、日常生活援助学演習Ⅱ	
成績評価方法・基準	筆記試験（60％）：看護過程の展開に関する基本的知識が理解できているかを測る筆記テストを行う。 課題（40％）：講義内で指定する看護過程に関する記録をまとめ、理解できているかを評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	【予習】講義予定の該当ページを熟読する。 【復習】講義終了後、該当ページを熟読する。配布した資料があれば、それを熟読する。 1コマ当り予習・復習を含め45分程度の自己学習が必要である。	
教科書	【教科書】有田清子他「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ」第18版第2刷、医学書院、2022。 【教科書】医療情報学研究所「看護がみえる Vol.4 看護過程の展開」第1版第1刷、医療情報学研究所、2020。	
参考書	指定しない。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	予習及び復習を行い、主体的に講義に臨むこと。	
アクティブ・ラー	特になし	

ニングの実施	
ナンバリング	NSk-203

講義科目名称： 看護過程展開論演習

授業コード： 4N069

英文科目名称： Nursing Process Development Theory Exercise

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
千葉 今日子	萩原 一美	堀込 由紀	長嶺 めぐみ
	村田亜夕美	森田 綾子	

授業形態	講義(8回)、演習(7回)		担当者	
授業計画	第1回	ガイダンス、紙上患者紹介(A氏)、情報収集/講義 紙上患者(A氏)の紹介と情報収集について学ぶ。	千葉今日子	
	第2回	情報の整理、アセスメント①/講義 紙上患者(A氏)の情報の整理について学ぶ。 事例患者(A氏)のアセスメントについて学ぶ。	千葉今日子	
	第3回	アセスメント②/講義 紙上患者(A氏)のアセスメントについて学ぶ。	千葉今日子	
	第4回	看護問題/講義 紙上患者(A氏)の看護問題について学ぶ。	千葉今日子	
	第5回	関連図・問題リスト/講義 紙上患者(A氏)の全体像を捉え、関連図を作成する方法について学ぶ。 紙上患者(A氏)の問題リストを作成し、看護問題の優先順位の考え方について学ぶ。	千葉今日子	
	第6回	看護計画・評価/講義 紙上患者(A氏)の看護問題の計画立案(目標設定・実施計画)について学ぶ。 紙上患者(A氏)の看護援助計画・経過記録の記載方法について学ぶ。	千葉今日子	
	第7回	紙上患者A氏の看護過程の展開の一連/講義 紙上患者(A氏)を通して、看護過程の展開の一連を学ぶ。	千葉今日子	
	第8回	紙上患者の展開①(個人ワーク)/演習 紙上患者(B氏)の看護過程を個人ワークにて展開する。 情報を整理し、アセスメントする。	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 村田亜夕美 森田綾子	
	第9回	紙上患者の展開②(個人ワーク)/演習 紙上患者(B氏)の看護過程を個人ワークにて展開する。 アセスメントから、関連図を描き、看護問題を導く。	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 村田亜夕美 森田綾子	
	第10回	紙上患者の展開③(個人ワーク・グループワーク)/演習 紙上患者(B氏)の看護過程を個人ワークにて展開する。 看護問題から、期待される結果、看護計画を導く。	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 村田亜夕美 森田綾子	
	第11・12回	紙上患者の展開④⑤(グループワーク)/演習 個人で抽出した看護問題をグループワークで検討し、期待される結果と実施計画を立案する。 プレゼンテーションの準備をおこなう。	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 村田亜夕美 森田綾子	
	第13・14回	プレゼンテーション/演習 紙上患者(B氏)の看護問題、期待される結果、看護計画、実施について発表し、個性のある看護過程の展開について、共有・討議する。	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 村田亜夕美 森田綾子	
	第15回	看護過程展開の実際 振り返りとまとめ/講義 プレゼンテーションを行い、共有・討議した看護実践の結果を評価・修正する。 看護過程の展開における知識を確認し、自己の課題を明確にする。	千葉今日子	
	科目の目的	看護過程は、看護を実践する者が独自の知識体系に基づき、看護により解決できる問題を効果的に取り上げ、解決していくために系統的、組織的に行う活動である。ここでは講義・演習を繰り返しながら科学的思考、問題解決思考をもとに看護過程における思考の方法を学習し、対象者のニーズに応じた看護援助を意図的、科学的に行っていく技術を修得する。 また理論的枠組みを活用した対象者の情報の整理・記録の方法を修得する。		

	<b>【対象の理解】 【看護の実践】 【専門性の探究】</b>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 紙上患者の情報の整理を行い、得られた事実に関するアセスメント（解釈・判断）ができる。</li> <li>2. 紙上患者のアセスメント結果から看護問題を導き、優先順位が設定できる。</li> <li>3. 紙上患者の患者目標を設定し、個別性のある看護計画が立案できる。</li> <li>4. 立案した紙上患者の看護計画を発表できる。</li> <li>5. 発表した看護計画の評価・修正ができる。</li> </ol>
関連科目	<p>専門基礎科目群：解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、病態栄養学、臨床病態学Ⅰ、臨床病態学Ⅱ、免疫・感染症学、臨床検査学、発達心理学、</p> <p>専門科目群：看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、基礎看護技術演習、コミュニケーション論、日常生活援助学演習Ⅰ、日常生活援助学演習Ⅱ、看護過程論入門、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、治療援助学演習 成人看護学総論、老年看護学総論</p>
成績評価方法・基準	紙上患者の課題(A氏15%、B氏60%)、グループワークプレゼンテーションの課題 (25%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p><b>【準備学習の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：次回の講義内容に沿った教科書の該当ページを熟読する。 予習課題を前回の講義時に提示する。予習課題の解説は講義冒頭に実施する。</li> <li>・復習：解説を参考に予習課題の修正をし、提出課題を完成させていく。</li> </ul> <p><b>【学習に必要な時間の目安】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習・復習を合わせ、1コマあたり60分程度</li> </ul>
教科書	<p>教科書1：「系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅰ基礎看護学②」茂野香おるほか(医学書院)</p> <p>教科書2：「看護技術がみえるvol.4 看護過程の展開」医療情報科学研究所編(メディックメディア)</p>
参考書	<p>参考書1：「系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ基礎看護学③」任和子ほか(医学書院)</p> <p>参考書2：看護がみえるvol.1 基礎看護技術 (メディックメディア)</p>
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	各回で提示される予習課題および提出課題に主体的に取り組み、準備を整えて授業に臨む。グループワークで得られた内容を活用・反映させ、課題に取り組む。
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習 グループワーク
ナンバリング	NSk-204
実務経験のある教員による授業	
実務経験	千葉今日子（看護師）、萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、長嶺めぐみ（看護師）、村田 亜夕美（看護師）、森田 綾子（看護師）
授業の概要	本科目では、看護の対象者のニーズに応じた看護援助を意図的・科学的に行っていくための、紙上患者を教材として活用し授業を進めていく。講義では科目名「看護過程入門」の知識をもとに、紙上患者の対象理解をするための情報の整理・分析を行う。演習では、アセスメント、看護問題の抽出、看護援助計画立案、看護援助実施、評価までの過程を、対象者の状況に合わせ個別性を踏まえた看護過程展開を行う。

講義科目名称： 治療援助学演習

授業コード： 4N070

英文科目名称： Practice in Therapeutical Nusing Care

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長嶺 めぐみ	萩原 一美	堀込 由紀	千葉 今日子
	村田 亜夕美	森田 綾子	佐藤 美保

授業形態	講義（9回）、演習（14回）		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス、診療に伴う看護援助（講義） 診療（診療・検査・治療）のプロセス及び診療における看護の意義と役割を学習する。	長嶺めぐみ、千葉今日子
	第2回	治療を受ける患者の創傷管理と感染予防（講義） 創傷管理の方法と根拠について理解する。基本的な感染予防対策について学習する。	千葉今日子
	第3回	治療を受ける患者の創傷管理と感染予防（演習） 創傷管理及び感染予防技術に関する技術（包帯法・滅菌物の取り扱い等）を習得する。	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、村田亜夕美、森田綾子、佐藤美保、林真由美
	第4回	検査を受ける患者の看護1：生体検査（講義） 検査における看護師の役割について学ぶ。検査の分類と留意事項について学ぶ。 内視鏡検査、呼吸機能検査、心電図検査、各種画像検査の目的と看護について学習する。	長嶺めぐみ
	第5回	検査を受ける患者の看護2：検体検査（尿・便・喀痰等）（講義） 尿・便・喀痰検査、血液検査及び穿刺の目的と概要・看護について学習する。	長嶺めぐみ
	第6・7回	検査を受ける患者の看護の実際：静脈血採血（演習） 安全で正確な静脈血採血の実施方法を習得する。	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、村田亜夕美、森田綾子、佐藤美保、林真由美
	第8回	薬物療法を受ける患者の看護1：経口薬・外用薬・静脈内注射（講義） 薬物に関する法律や安全管理（麻薬の管理も含む）、薬物動態、投与方法について学習する。 経口薬・外用薬の種類、静脈内注射の根拠と手順・管理について学習する。	千葉今日子
	第9回	薬物療法を受ける患者の看護2：筋肉内注射、皮内注射、皮下注射（講義） 筋肉内注射、皮内注射、皮下注射について投与方法と根拠について学ぶ。	千葉今日子
	第10・11回	検査を受ける患者の看護の実際：静脈血採血（演習） 安全で正確な静脈血採血の実施方法を習得する。	長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、村田亜夕美、森田綾子、佐藤美保、林真由美
	第12回	呼吸療法を受ける患者の看護（講義） 呼吸調整法（ネブライザーの使い方、酸素吸入、体位ドレナージ等）と呼吸療法を受ける患者の看護について学習する。	千葉今日子

	<p>第13回 呼吸療法を受ける患者の看護（演習） 呼吸調整法（ボンベの取り扱い・酸素吸入等）の技術を習得する。</p> <p>第14回 排泄に伴う治療援助技術を受ける患者の看護（導尿・浣腸）（講義） 排泄に関連した治療援助技術（導尿・浣腸）についての根拠と手順、管理について学ぶ。</p> <p>第15・16・17回 排泄に伴う治療援助技術を受ける患者の看護（導尿・浣腸）（演習） 排泄に関連した治療援助技術（導尿・浣腸）についての技術を習得する。</p> <p>第18回 治療・処置を伴う患者の看護①：事例展開① 治療を受ける患者の看護援助計画立案（講義） 治療を受ける患者の看護について既習の知識・技術を振り返る。グループワークにて、設定された事例から、患者の状態をアセスメントし、安全・安楽・を考慮した看護援助実施計画書を作成する。</p> <p>第19・20回 治療・処置を伴う患者の看護②：事例展開②③ GW 援助計画立案～援助計画の修正（演習） グループワークにて看護援助計画を立案し、演習を通して計画の見直し、ロールプレイング形式の発表準備を行う。</p> <p>第21回 治療・処置を伴う患者の看護③：事例展開③ ロールプレイ発表（演習） 事例に適し、安全・安楽・自立を考慮した援助に関するロールプレイを発表し、評価を受けることで学習を深める。</p> <p>第22回 治療・処置を伴う患者の看護④：事例展開④ GW：援助計画の修正（演習） 教員や模擬患者などからフィードバックを受け、立案した計画の修正を行う。</p> <p>第23回 治療・処置を伴う患者の看護⑤：事例展開⑤ GW：演習の振り返り・ディスカッション（演習） 修正した計画をもとに、再度安全・安楽・自立を考慮した援助を行うために必要なことや自身の課題について学習を深める。</p>	<p>長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、村田亜夕美、森田綾子、佐藤美保、林真由美</p> <p>長嶺めぐみ</p> <p>長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、村田亜夕美、森田綾子、佐藤美保、林真由美</p> <p>長嶺めぐみ</p> <p>長嶺めぐみ</p> <p>長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保、林真由美</p> <p>長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保、林真由美</p> <p>長嶺めぐみ、萩原一美、堀込由紀、千葉今日子、森田綾子、佐藤美保、林真由美</p>
科目の目的	対象者のニーズに応じた診療に伴う看護援助の方法とその根拠を理解する。 設定された看護援助場面で、これまで学習してきた知識・技術を統合し、安全安楽を考慮した適切な援助を考え、実践することができる。【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 診療に伴う看護援助の方法とその根拠を説明することができる</li> <li>2. 治療・検査を受ける人の心理を推察し、必要な援助を考えることができる。</li> <li>3. 治療を受ける患者の状況を適切にアセスメントすることができる。</li> <li>4. 治療を受ける患者に対して、患者の状況に応じた適切な援助を安全・安楽・自立に考慮し、実施することができる。</li> <li>5. 患者の状況に応じた適切な援助を安全・安楽・自立に考慮して実施するために、身につけるべき能力と改善すべき自己の課題について考察することができる。</li> </ol>	
関連科目	<p>関連する教養科目…心理学、生命倫理、環境学          関連する専門基礎科目…解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学、生化学、疾病の成り立ち、免疫・感染症学、薬理学、栄養学、病態栄養学、臨床心理学          関連する専門科目…看護学概論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、看護過程論、コミュニケーション論、その他各看護学総論</p>	
成績評価方法・基準	1. 筆記試験(40%)：与薬管理、呼吸管理、検査・処置時の援助など、治療・処置に伴う看護援助を安全かつ正確に提供するために必要な知識を理解できているかを測る筆記試験（定期試験：期間	

	<p>内)を行う。</p> <p>2. ロールプレイ(30%)：事例を読み、治療を受ける患者の状況のアセスメント及び患者の状況に応じた適切な援助を安全・安楽・自立に考慮しながら実施する。また一連の学習を振り返り、患者の状況に応じた適切な援助を安全・安楽・自立に考慮して実施するために、身につけるべき能力と改善すべき自己の課題について考察できているかについて評価を行う。</p> <p>3. 演習ワークシート；事前事後(22%)：演習時に課される事前・事後学習課題において、指定された課題に対する記述内容を評価する。</p> <p>4. ミニツッペーパー(8%)：講義時終了時に、指定された問いに対する回答内容や学習到達状況を評価する。</p> <p>成績評価は、上記1.-4.を合算し、60点以上を合格(単位認定)とする。</p>
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>講義内容に沿った教科書該当ページを熟読して講義に臨むこと。</p> <p>演習内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、演習内容を把握してイメージトレーニングの上、授業に臨むこと。</p> <p>提出課題に取り組むこと。</p> <p>【準備学習に必要な学習時間の目安】</p> <p>1コマ当たり30分の復習が必要。</p>
教科書	教科書：1) 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ(医学書院) 2) 看護がみえる Vol.2 臨床看護技術(MEDIC MEDIA) 第1版
参考書	看護がみえる Vol.1 基礎看護技術(MEDIC MEDIA)
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>Active Academy Advanceにより授業の事前配信があった場合は、当該日までにダウンロードし、手元に準備する。</li> <li>配信期間：前回授業翌日～当該授業日まで(遅くとも当該授業日3日目までには配信を行う)</li> <li>演習では、実習用ユニフォーム(ナースウェア、ナースシューズ、名札)を着用して臨むこと。</li> <li>身だしなみを整えること。</li> <li>事前に演習内容について把握し該当講義内容を復習して臨むこと。</li> </ul> <p>提出課題に取り組み、提示された期日までに提出すること。</p>
アクティブ・ラーニングの実施	演習では、積極的に事前学習や発表に向けた自己練習に取り組むことで、自身の課題に気づき、それを改善するための方法を考えることを期待する。
ナンバリング	NSk-205
実務経験のある教員による授業	
実務経験	長嶺めぐみ(看護師)、萩原一美(看護師)、掘込由紀(看護師)、千葉今日子(看護師)、村田亜夕美(看護師)、森田綾子(看護師)
授業の概要	医療現場において治療・処置に伴う看護援助は、安全かつ正確であることが求められる。また、治療・処置を必要とする対象者の身体状況や療養生活・療養行動をアセスメントし、対象者に応じた援助を計画、実施することは看護師が日々実施する主な看護業務である。本科目では与薬管理、呼吸管理、検査・処置時の援助といった基本的な治療・処置に伴う看護援助を安全かつ正確に提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

講義科目名称： 基礎看護学特論

授業コード： 4N071

英文科目名称： Advanced Fundamental Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀込 由紀	萩原一美	長嶺めぐみ	

授業形態	講義（6回）・演習（2回）		担当者
授業計画	1	医療安全からみる看護の現状と課題（1）（講義） ガイドランス 医療安全に関する現状と課題を概観し、医療事故防止のためのトレーニング方法（KYT）について学ぶ。（講義）	堀込由紀
	2	医療安全からみる看護の現状と課題（2）（講義） 医療事故分析（RCA）を体験し、医療事故防止のための効果的な対策の導出と評価について学ぶ。	堀込由紀
	3	看護倫理（講義） 看護師の倫理綱領と倫理的ジレンマについて学ぶ。	萩原一美
	4	看護倫理（講義） 事例の検討を通して、倫理的意思決定やそれを支えるシステムについて検討する。	萩原一美
	5	看護の課題と展望 国際看護（講義） 国際看護に関する現状を概観し、外国人患者のケアに関する現状と課題について学ぶ。	長嶺めぐみ
	6	看護の課題と展望 国際看護（講義） 国際看護に関する現状を概観し、異文化コミュニケーションについて学ぶ。	長嶺めぐみ
	7	看護の課題と展望（1）（演習） 基礎看護学・国際看護学領域に関して関心のあるトピックスについて先行研究等を用いてまとめ、課題や問題解決方法に関して検討する。	堀込由紀、 萩原一美・ 長嶺めぐみ
	8	看護の課題と展望（2）プレゼンテーション（演習） 基礎看護学・国際看護学領域に関して関心のあるトピックスについての課題を共有し、解決方法を討議する。	堀込由紀、 萩原一美・ 長嶺めぐみ
科目の目的	基礎看護学の視点から看護学の専門性、現状、展望について、先行研究や講義・演習の学びから考察する。 【専門性の探求】		
到達目標	1. 医療安全に関する具体的なトレーニング方法や分析方法を体験し、医療事故防止に関して必要な知識を知る。 2. 看護倫理に関する事例の検討を通して、倫理的課題を検討し、倫理的意思決定やシステムについて考察できる。 3. 国際看護に関する学びを通して、異文化理解や異文化コミュニケーションに関する理解を深め、看護の役割について考察できる。 4. 講義、演習において学びを基に、看護の専門性や展望について自己の考えを説明できる。		
関連科目	看護学概論Ⅰ・Ⅱ、看護援助学概論、日常生活援助学演習、治療援助学演習、看護援助学総合演習、看護過程論、看護過程論演習をはじめとする看護学全般の科目		
成績評価方法・基準	プレゼンテーション（40%）、課題レポート（医療安全20%、看護倫理20%、国際看護20%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	基礎看護学領域に関する課題および最近の話題に関するプレゼンテーションの準備（文献検索、発表資料作成） 1コマあたり事前学習と復習を含めて約4時間の自己学習を行う。		
教科書	特に指定しない。 講義に必要な資料は講義当日に配布する。		
参考書	指定しない。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	主体的に取り組むこと。		
アクティブ・ラーニングの実施	第7～8回は、これまでの講義を受けて関心のあるテーマについて調査学習をグループワークで行い、それを発表することにより主体的な探究姿勢、協調性、表現力を養う。		
ナンバリング	NSk-401		

講義科目名称： 地域・在宅看護学概論

授業コード： 4N072

英文科目名称： Introduce to Commnity and Home Care Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 基			

授業形態	講義（5回）、演習（3回）		担当者
授業計画	第1回	人々の暮らしと地域・在宅看護（講義） 地域・在宅看護の社会的背景・現状、人々の暮らしの理解、地域・在宅看護の基盤となる考え方、地域・在宅看護に求められる役割	齋藤 基
	第2回	暮らしの基盤としての地域の理解（講義） 暮らしと地域を理解するための考え方、地域ケアシステムと地域共生社会	齋藤 基
	第3回	地域・在宅看護の対象者（講義） 看護の対象者としての家族の理解、家族のライフステージの理解と看護	齋藤 基
	第4回	地域における暮らしを支える看護（講義） 地域における対象者への看護、地域における家族への看護、地域におけるライフステージに応じた看護	齋藤 基
	第5回	地域・在宅看護に関わる制度（講義） 介護保険制度の概要、訪問看護制度の概要	齋藤 基
	第6回	地域・在宅看護の事例検討①（演習） 「対象者・家族の事例」に関するグループワーク	齋藤 基
	第7回	地域・在宅看護の事例検討②（演習） 「対象者・家族の事例」に関するグループワーク	齋藤 基
	第8回	地域・在宅看護の事例検討③（演習） グループワーク結果発表・まとめ	齋藤 基
科目の目的	地域・在宅看護が求められている社会的背景・現状を踏まえ、地域・在宅看護の対象者である療養者及びその家族の「生活の場」における地域・在宅看護の目的、役割を思考し、地域・在宅看護の展開方法を理解する。また、地域・在宅看護の提供における法的根拠を理解する。【対象の理解】【国際的な視野】		
到達目標	1. 地域・在宅看護の基盤となる考え方及び役割について説明できる。 2. 地域・在宅看護の対象である人々の暮らし及び地域について説明できる。 3. 地域・在宅看護の対象である療養者とその家族について説明できる。 4. 地域における暮らしを支える看護について説明できる。 5. 地域・在宅看護に関わる制度について説明できる。		
関連科目	看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、看護学への誘い、成人看護学総論、老年看護学総論、精神保健、多職種理解と連携		
成績評価方法・基準	定期試験（50%）、ワークシート評価（20%）、グループワーク評価（30%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	人口構造の変化、国民の健康意識、保健・医療・福祉の現状、ライフサイクル上の発達課題などから、地域・在宅看護の必要性との関連性について事前学修し知識を得ておく。授業終了後は講義資料やテキストを確認し理解を深める。1コマにつき4時間程度の学修が必要である。		
教科書	系統看護学講座 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤 河原加代子（医学書院）		
参考書	ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第7版 臺有桂（メディカ出版）		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	授業資料は、前回授業翌日から当該授業日までの間にActive Academy Advanceにアップロードするので、各自印刷して授業に臨んでください。		
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク、プレゼンテーション		

ナンバリング

NS1-101

講義科目名称： 地域・在宅看護方法論

授業コード： 4N073

英文科目名称： Home and Community-based Care Nursing Methods

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 基	反町 真由		

授業形態	講義（11回） 演習（4回）	担当者
授業計画	<p>第1回 地域・在宅看護に関わる制度1（講義） 介護保険制度①</p> <p>第2回 地域・在宅看護に関わる制度2（講義） 介護保険制度②</p> <p>第3回 地域・在宅看護に関わる制度3（講義） 介護保険制度③</p> <p>第4回 地域包括ケアシステム1（講義） 地域包括ケアシステム、地域包括支援センター</p> <p>第5回 地域包括ケアシステム2（講義） 地域包括支援センターの実際、暮らしの保健室</p> <p>第6回 地域包括ケアシステム3（演習） グループワーク 地域包括ケアシステムにおける高齢者の健康維持について考える 「※レポート提出あり」</p> <p>第7回 地域・在宅看護に関わる制度4（講義） 医療保険制度、医療提供体制、権利保障に関する法制度</p> <p>第8回 地域・在宅看護を支える制度5（講義） 障がい者・難病・公費負担医療に関する法制度</p> <p>第9回 地域・在宅看護を支える制度6（講義） 訪問看護制度①</p> <p>第10回 地域・在宅看護に関わる制度7（講義） 訪問看護制度②</p> <p>第11回 地域・在宅看護マネジメント1（講義） 療養の場の移行に伴う看護、入退院時の連携</p> <p>第12回 地域・在宅看護マネジメント2（講義） 地域・在宅看護実践のおもな場、多職種連携・多職種チームでの協働</p> <p>第13回 事例から学ぶ社会資源のマネジメントの実際1（演習） グループワーク 模擬事例から考える社会資源のマネジメントと訪問看護師の役割</p> <p>第14回 事例から学ぶ社会資源のマネジメントの実際2（演習） グループワーク 模擬事例から考える社会資源のマネジメントと訪問看護師の役割</p> <p>第15回 事例から学ぶ社会資源のマネジメントの実際3（演習） グループ発表、まとめ</p>	<p>齋藤 基</p> <p>齋藤 基</p> <p>齋藤 基</p> <p>齋藤 基</p> <p>反町 真由</p> <p>齋藤 基・ 反町 真由</p> <p>反町 真由</p> <p>齋藤 基</p> <p>齋藤 基</p> <p>反町 真由</p> <p>反町 真由</p> <p>齋藤 基・ 反町 真由</p> <p>齋藤 基・ 反町 真由</p> <p>齋藤 基・ 反町 真由</p>
科目の目的	在宅看護の対象である療養者と家族について理解を深め、在宅看護活動の特質について学ぶ。また、在宅療養継続のために、退院調整、療養環境整備、在宅療養を支える社会資源の活用についてその方法を学び、それらを有効に機能させるためのケアマネジメント及び多職種連携の方法、地域で療養者・家族を支えるケアシステムについて学ぶ。 ディプロマポリシー【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅ケアを支える制度や社会資源を知り、その活用方法を説明できる。（医療保険制度、介護保険制度、障害者総合支援法、難病施策、小児慢性疾患施策など）</li> <li>2. 在宅ケアにおけるケアマネジメントや関係機関・関係職種間の連携を説明できる。</li> <li>3. 現在の訪問看護制度の基本を説明できる。</li> <li>4. 退院支援・調整における訪問看護師の役割を学び、訪問看護師が行う在宅療養移行支援について説明できる。</li> </ol>	
関連科目	地域・在宅看護学概論、成人看護学総論、老年看護学総論、精神保健	
成績評価方法・基準	筆記試験（80％）グループワーク評価（20％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習はテキストの該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習は講義資料、参考図書などを用いて学習内容を整理し理解を深める。予習および復習として、1コマにつき1時間程度の学習が必要である。	
教科書	「系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤」河原加代子（医学書院） 「系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実際」河原加代子（医学書院）	
参考書	「ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア」臺有桂（メディカ出版）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	

履修条件・履修上の注意	講義資料は、概ね講義の1週間前～数日前までにActive Academy Advanceにて配布するので、適宜ダウンロードまたは印刷して講義に臨んでください。
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ワーク、ケーススタディ、プレゼンテーション
ナンバリング	NS1-201

講義科目名称： 地域・在宅看護展開論

授業コード： 4N074

英文科目名称： Development Theory in Home and Community-based Care Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 基	反町 真由	林 恵	
授業形態	講義 (10回) 演習 (5回)		担当者
授業計画	第1回	在宅看護過程演習1 (講義) 地域・在宅看護の看護展開について、暮らしの場で看護をするための心がまえ	反町 真由
	第2回	在宅療養者の状態別看護1 (講義) 呼吸器疾患療養者の事例展開	反町 真由
	第3回	在宅療養者の状態別看護2 (講義) 心不全・糖尿病療養者の事例展開	反町 真由
	第4回	在宅療養者の状態別看護3 (講義) ALS・パーキンソン療養者の事例展開	林 恵
	第5回	在宅療養者の状態別看護4 (講義) 精神疾患療養者の事例展開	齋藤 基
	第6回	在宅療養者の状態別看護5 (講義) 認知症療養者の事例展開	齋藤 基
	第7回	在宅療養者の状態別看護6 (講義) 医療的ケア児の事例展開	林 恵
	第8回	在宅療養者の状態別看護7 (講義) 褥瘡ケア・スキンケアの予防【ゲストスピーカー：皮膚排泄ケア認定看護師1名】	齋藤 基
	第9回	在宅療養者の状態別看護8 (講義) 地域・在宅における時期別の看護	林 恵
	第10回	在宅療養者の状態別看護9 (講義) がん・終末期療養者の事例展開、11回・12回の演習についてオリエンテーション、事前課題について説明、配付	反町 真由
	第11回	在宅看護過程演習2 (演習) [シミュレーション]脳梗塞療養者の情報収集①	齋藤 基・ 反町 真由・林 恵
	第12回	在宅看護過程演習3 (演習) [シミュレーション]脳梗塞療養者の情報収集② [個人ワーク]アセスメント	齋藤 基・ 反町 真由・林 恵
	第13回	在宅看護過程演習4 (演習) [個人ワーク]問題抽出、計画立案 「※後日記録ファイル一式提出あり」	齋藤 基・ 反町 真由・林 恵
	第14回	在宅看護過程演習5 (演習) [グループワーク]問題抽出、関連図作成	齋藤 基・ 反町 真由・林 恵
	第15回	在宅看護過程演習6 (演習) 関連図発表会、まとめ	齋藤 基・ 反町 真由・林 恵
科目の目的	特殊な看護技術を伴う各種事例を通して、在宅の場の特徴をふまえ、在宅療養者と家族の個別性に配慮した支援の方法について学ぶ。また、療養者・家族の自律性、セルフケア能力を高めるための教育的支援方法を学ぶ。さらに、在宅看護の対象者を「生活者」としてとらえた看護計画の立案など在宅看護の特性を生かした看護過程の展開を演習を通して学ぶ。 ディプロマポリシー【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】		
到達目標	1. 対象特性に応じたアセスメントができる。 2. 在宅における療養者とその家族の生活上の課題を検討できる。 3. 在宅療養者とその家族の状況に応じた生活支援や医療管理の方法を検討できる。 4. 生活の場における特徴をふまえ、療養者とその家族が望む在宅療養における看護過程を展開し、看護計画の立案ができる。		
関連科目	地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護方法論、看護過程論入門、看護過程展開論演習、成人看護方法論、高齢者の健康と障害		
成績評価方法・基準	筆記試験 (70%)、看護過程ワークシート (30%)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習はテキストの該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習は講義資料、参考図書などを用いて学習内容を整理し理解を深める。予習および復習として、1コマにつき1時間程度の学習が必要である。		

教科書	「系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤」河原加代子（医学書院） 「系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践」河原加代子（医学書院）
参考書	「看護診断ハンドブック」（医学書院）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講義資料は、概ね講義の1週間前から数日前までにActive Academy Advanceに配信するので、適宜ダウンロードまたは印刷して講義に臨んでください。
アクティブ・ラーニングの実施	シミュレーション、グループ・ワーク、ケーススタディ、グループディスカッション
ナンバリング	NS1-202

講義科目名称： 地域・在宅看護学演習

授業コード： 4N075

英文科目名称： Practice in Home and Community-based Care Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
反町 真由	齋藤 基	林 恵	

授業形態	講義7 演習8		担当者
授業計画	第1回	在宅看護における安全と健康危機管理(講義) 在宅療養で起こりうるリスク、日常生活における安全管理	齋藤 基
	第2回	日常生活を支える看護技術1(講義) 肢位の保持と移動の実際、在宅療養の場での清潔の援助 家族への支援 感染予防、災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理	反町 真由
	第3回	日常生活を支える看護技術2(講義) 在宅療養の場における食生活援助の技術と実際	林 恵
	第4回	日常生活を支える看護技術3(演習) 嚥下訓練・口腔ケア 「※ワークシート提出あり」	反町 真由 齋藤 基 林 恵
	第5回	在宅療養を支える医療管理と看護ケア1(講義) HOT(在宅酸素療法)、HMV(在宅人工呼吸療法)	反町 真由
	第6回	在宅療養を支える医療管理と看護ケア2(講義) HOT(在宅酸素療法)、HMV(在宅人工呼吸療法)、排痰ケア【ゲストスピーカー：医療 機器メーカー2名】「※ワークシート提出あり」	反町 真由 齋藤 基 林 恵
	第7回	在宅療養を支える看護技術1(講義) 在宅療養の場における排泄のアセスメント、援助の実際	反町 真由
	第8回	在宅療養を支える看護技術2(講義) HEN(在宅経管栄養法)、輸液管理(在宅中心静脈栄養法、末梢静脈栄養法)	林 恵
	第9・10回	在宅療養を支える看護技術3(演習) 座薬・摘便、経管栄養・胃瘻・半固形栄養剤、中心静脈栄養法・CVポート・カフ ティポンプ 「※ワークシート×3提出あり」	反町 真由 齋藤 基 林 恵
	第11回	日常生活を支える看護技術4(演習) (グループワーク) 事例をもとに療養者にとって安全安楽なケアについて考える	反町 真由 齋藤 基 林 恵
	第12・13回	日常生活を支える看護技術4(演習) (グループワーク・発表練習) 事例をもとに療養者にとって安全安楽なケアについて 考え実施する	反町 真由 齋藤 基 林 恵
	第14・15回	日常生活を支える看護技術4(演習) (グループ発表会) 事例をもとに療養者にとって安全安楽なケアについて考え実施 する	反町 真由 齋藤 基 林 恵
科目の目的	在宅療養者と家族の日常生活を支援するための、在宅の環境や生活様式を踏まえた看護技術を習得 する。 医療機関や施設とは異なる療養者の生活の場に入って看護を提供することを理解し、看護者としての 留意すべき態度、行動について学ぶ。 ディプロマポリシー【対象の理解】【看護の実践】		
到達目標	1. 療養者の状況に応じた在宅看護の特徴的なケアを実践する上での留意点・方法を説明し、実施で きる。 2. 在宅生活の場における在宅療養者とその家族の状況に応じた医療管理の方法を検討できる。 3. 療養者の生活の場に入り看護を提供するうえでの看護者としての態度、行動について説明し、実 施できる。		
関連科目	地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護方法論、地域・在宅看護展開論		
成績評価方法・基 準	定期試験：筆記(50%)、ワークシート(40% 8点×5回分)、グループ発表(10%)		
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	予習はテキストの該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習は講義資 料、参考図書などを用いて学習した内容を整理し理解を深める。予習および復習として、1コマにつ き1時間程度の学習が必要である。		
教科書	「系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実際」河原加代子(医学書院)		
参考書	特になし		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		

国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講義資料は概ね講義の1週間前から数日前までにActive Academy Advanceにて配信するので、適宜ダウンロードまたは印刷して講義に望む。
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ワーク、ロールプレイ
ナンバリング	NS1-301
実務経験のある教員による授業	
実務経験	反町 真由（看護師）、齋藤 基（看護師）、林 恵（看護師）
授業の概要	在宅療養者と家族の日常生活を支援するための、在宅の環境や生活様式を踏まえた看護技術を習得する。在宅で特徴的な看護技術として、在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法 of 呼吸管理、皮膚・排泄管理、栄養管理について医療処置と看護ケアを学ぶ。また、医療機関や施設とは異なる療養者の生活の場に入って看護を提供することを理解し、看護者としての留意すべき態度、行動について学ぶ。

講義科目名称： 地域・在宅看護学特論

授業コード： 4N076

英文科目名称： Advance Home and Community-based Care Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
齋藤 基			

授業形態	講義（3回）、演習（5回）		担当者
授業計画	第1回	地域包括ケアシステムにおける地域・在宅看護の役割（講義） 地域包括ケアシステムと地域共生社会、地域・在宅看護に求められる役割	齋藤 基
	第2回	近年の地域・在宅看護の現状（講義） 地域・在宅看護の動向、地域・在宅看護に関する実践の状況	齋藤 基
	第3回	地域・在宅看護の先駆的な取り組み①（演習） 国内の先駆的な取り組みに関する情報収集を行う。	齋藤 基
	第4回	地域・在宅看護の先駆的な取り組み②（演習） 海外の先駆的な取り組みに関する情報収集を行う。	齋藤 基
	第5回	地域・在宅看護の先駆的な取り組み③（演習） 国内および海外の先駆的な取り組みの情報収集の結果を集約する。	齋藤 基
	第6回	地域・在宅看護の先駆的な取り組み④（演習） 国内および海外の先駆的な取り組みに関するプレゼンテーションを準備する。	齋藤 基
	第7回	地域・在宅看護の先駆的な取り組み⑤（演習） 国内および海外の先駆的な取り組みに関するプレゼンテーションおよびディスカッションを行う。	齋藤 基
	第8回	地域・在宅看護の課題と展望（講義） 地域・在宅看護の課題の把握および今後のあり方の探究	齋藤 基
科目の目的	地域包括ケアシステムにおける在宅看護の役割と方法に関する近年のトピックスから、これからの在宅看護の課題と解決策への洞察を深める。また、在宅看護の先駆的な取り組みとして海外の在宅ケアの特徴を知り、各国の在宅看護の知恵とニーズの変化に応じて発展した経緯から、今後の少子高齢化が進行する日本の在宅看護のあり方に関する方向性を探る。【専門性の探究】【国際的な視野】		
到達目標	1. 地域包括ケアシステムにおける地域・在宅看護の役割について説明できる。 2. 地域・在宅看護の実践に関する動向について説明できる。 3. 国内および海外の地域・在宅看護の先駆的な取り組みについて説明できる。 4. 地域・在宅看護の課題と展望について説明できる。		
関連科目	地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護方法論、地域・在宅看護展開論、地域・在宅看護学演習、地域・在宅看護学実習		
成績評価方法・基準	グループワークによる討議と発表（60%）、課題レポート（40%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料や地域・在宅看護の先駆的な取り組みに関する関連資料を確認し、理解を深める。1コマにつき4時間程度の学修が必要である。		
教科書	特に指定しない。		
参考書	必要に応じて授業において提示する。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	講義資料は、前回授業翌日から当該授業日までの間にActive Academy Advanceにアップロードするので、各自準備すること。		
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク、プレゼンテーション		

ナンバリング

NS1-401

講義科目名称： 成人看護学総論

授業コード： 4N077

英文科目名称： Introduction to Adult Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 英子	金子 吉美		

授業形態	講義 (8回)		担当者
授業計画	第1回	成人と生活 成人看護の対象となる大人の生活の特徴について学習する。 keywords：生活様式、家族形態と機能、社会状況の変化、成人の健康の特徴、諸外国における成人の健康の特徴	萩原英子
	第2回	成人各期の特徴と健康問題 成人各期（青年期、壮年期・中年期、向老期）における発達課題と身体的・心理的・社会的特徴について学習する。また、成人の健康の状況について学習する。 keywords：成人各期の身体的・心理的・社会的特徴、就労と疾病の関連、諸外国における成人の健康問題の特徴	萩原英子
	第3回	成人の健康と保健・医療・福祉システム 成人の健康を守る保健・医療・福祉システムの概要について学習する。 keywords：保健・医療・福祉システム、健康増進と生活習慣病の予防	萩原英子
	第4回	健康をおびやかす要因と看護 生活行動がもたらす健康問題とその予防方法について学習する。 keywords：生活習慣と健康、ストレスと健康、職業性疾病	金子吉美
	第5回	成人への看護アプローチの基本 チームアプローチにおける看護師の役割、看護実践における倫理的判断、意思決定支援、家族支援について学習する。 keywords：倫理的判断、意思決定支援、家族支援	金子吉美
	第6回	ヘルスプロモーションと看護 成人期にある人のヘルスプロモーションを促進する方法について学習する。 keywords：ヘルスプロモーション、健康増進、WHOの予防のレベル	萩原英子
	第7回	成人の健康障害と看護① がんとともに生活する人の講義を受けて、急激な健康破綻に陥った患者に対する看護について考える。 [guest speaker:がん患者] keywords：治療の意思決定、抗がん剤治療、ピアサポート	萩原英子
	第8回	成人の健康障害と看護② 難病とともに生活する人の講義を受けて、慢性的な健康状態の揺らぎを持つ患者に対する看護について考える。 [guest speaker:難病患者] keywords：生活の再構築、セルフケア、患者会	萩原英子
科目の目的	成人看護の対象である成人期にある人々の特徴と健康問題を理解し、健康の保持・増進および健康障害を持った人々への看護のあり方を考察する。 (ディプロマポリシー；【対象の理解】 【国際的な視野】)		
到達目標	1. 成人期にある人々の身体的・心理的・社会的特徴と健康問題について説明できる。 2. 成人保健の動向と保健・医療・福祉システムについて説明できる。 3. 成人期にある人々への基本的な看護アプローチの方法を説明できる。 4. 健康障害を持ちながら生活する成人に対する看護アプローチについて、自分の考えを述べることができる。		
関連科目	成人看護方法論、慢性期看護論、周術期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学演習、成人看護学実習、成人看護学特論、救急看護、看護学概論Ⅰ、老年看護学総論、公衆衛生学、臨床看護基盤実習		
成績評価方法・基準	定期試験(期間外/筆記試験)90%、期末レポート10%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習として、授業計画欄に記載しているキーワードに基づき、教科書を事前に読んでくること。 また復習として、講義終了後(ゲストスピーカーの講義以外)は、教科書や配布した資料をよく読み、理解できたか確認をすること。(30時間分相当)		
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学① 医学書院		

参考書	国民衛生の動向 厚生指標 2024/2025年版
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業(他の科目の学習等)は禁止する。 ゲストスピーカーの方に対しての礼節を忘れずに講義に臨むこと。 講義に必要な資料は、各講義中に配布する。
アクティブ・ラーニングの実施	Minute Paper(双方向)
ナンバリング	NSm-101

講義科目名称： 成人看護方法論

授業コード： 4N078

英文科目名称： Adult Nursing Methods

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 政孝	萩原英子	金子吉美	

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 慢性期にある人の特徴と看護 慢性的な健康状態の揺らぎを持つ患者とその家族の特徴と看護について学ぶ。 〔キーワード〕 慢性疾患、セルフケア、セルフマネジメント、就労・社会参加支援	堀越政孝
	第2回 人生の最後のときを過ごしている人の特徴と看護 人生の最後のときを過ごしている人の特徴とその看護について学ぶ。 〔キーワード〕 がん患者、慢性疾患患者、全人的苦痛、エンド・オブ・ライフ・ケア、家族ケア、意思決定支援、代理意思決定、予期的悲嘆、脳死	堀越政孝
	第3回 リハビリテーション期にある人の特徴と看護 障害を持ちながら生活する人の特徴とその看護支援と看護について学ぶ。 〔キーワード〕 リハビリテーション、ADL、補助具・自助具	萩原英子
	第4回 急性期にある人の特徴と看護 急激な健康破綻に陥った人とその家族の特徴と看護について学ぶ。 〔キーワード〕 急性疾患、急性増悪、手術療法	萩原英子
	第5回 退院支援・退院調整 退院支援・退院調整の必要性と具体的な支援方法について学ぶ。 〔キーワード〕 退院支援、退院調整、多職種連携、社会資源、居住環境	堀越政孝
	第6回 治療と看護① 薬物療法を受ける患者の看護 〔キーワード〕 がん、化学療法、内分泌療法、分子標的療法、有害事象	萩原英子
	第7回 治療と看護② 放射線療法を受ける患者の看護 〔キーワード〕 がん、放射線療法、有害事象	堀越政孝
	第8回 治療と看護③ 食事療法・運動療法を受ける患者の看護 〔キーワード〕 食事療法、運動療法	萩原英子
	第9回 症状マネジメント 症状体験とその理解、症状マネジメントにおける看護師の役割、 症状マネジメントの考え方 〔キーワード〕 症状アセスメント・マネジメント	堀越政孝
	第10回 症状とその看護①（全身症状） 貧血、出血傾向、易感染のある対象の症状マネジメント （発生のメカニズム、アセスメント、看護支援） 〔キーワード〕 貧血、出血傾向、易感染	萩原英子
	第11回 症状とその看護②（疼痛） 疼痛のある対象の症状マネジメント （発生のメカニズム、アセスメント、看護支援（補完代替療法を含む）） 〔キーワード〕 疼痛、集学的治療	堀越政孝
	第12回 症状とその看護③（消化器症状） 悪心/嘔吐、下痢/便秘、腹部膨満感のある対象の症状マネジメント （発生のメカニズム、アセスメント、看護支援） 〔キーワード〕 悪心/嘔吐、下痢/便秘、腹部膨満感	金子吉美
	第13回 症状とその看護④（呼吸器症状） 呼吸困難、喘鳴、咳、痰のある対象の症状マネジメント （発生のメカニズム、アセスメント、看護支援） 〔キーワード〕 呼吸困難、喘鳴、咳、痰、動脈血液ガス分析	堀越政孝
	第14回 症状とその看護⑤（脳・神経症状） 意識障害、頭痛、めまいのある対象の症状マネジメント （発生のメカニズム、アセスメント、看護支援） 〔キーワード〕 意識障害、頭痛、めまい	金子吉美

	第15回 症状とその看護⑥（腎・泌尿器症状） 浮腫、脱水のある対象の症状マネジメント （発生のメカニズム、アセスメント、看護支援） 【キーワード】浮腫、脱水	堀越政孝
科目の目的	様々な健康レベルにある成人の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、健康レベルに応じた看護支援のあり方を考察する。 【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】	
到達目標	1. 様々な健康レベルにある成人の身体的・精神的・社会的特徴を説明できる。 2. 様々な健康レベルにある成人に対する特徴的な看護支援について説明できる。 3. 健康障害に伴い生じる様々な症状や健康障害に対する治療を理解し、その看護について説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、病態栄養学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、免疫・感染症学、臨床検査学、発達心理学、臨床心理学、成人看護学総論、慢性期看護論、周術期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学演習、成人看護学実習、統合実習	
成績評価方法・基準	筆記試験100%：中間試験50%、期末試験50%を合算した結果で合否を判定する。 中間試験および期末試験の合算で、60%に満たない学生は再試験の対象とする。 ※中間試験は第1～8回を試験範囲とし、定期試験は第9～15回を試験範囲とする。 中間試験の日程は、後日連絡する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1年次に学習した内容の復習及び、本科目講義内容に該当する部分の指定教科書を読んでおく。授業後は、必ず復習を行う。（各授業回1時間）	
教科書	『系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論』（医学書院） 『系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論』（医学書院）	
参考書	『緊急度・重症度からみた 症状別看護過程+病態関連図』（医学書院） 『わかる！検査値とケアのポイント』（医学書院） 解剖学、生理学、薬理学、病態生理学、疾病の理解等において使用した教科書および参考書	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	準備学習や自己学習を行った上で講義に参加すること。 尚、講義において必要な資料は当日配布する。	
アクティブ・ラーニングの実施	該当なし	
ナンバリング	NSm-201	

講義科目名称： 慢性期看護論

授業コード： 4N079

英文科目名称： Chronic Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
金子 吉美	萩原 英子	堀越 政孝	湯澤香緒里
	日下田那美		

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 慢性期看護総論 慢性期にある患者とその家族の特徴と看護の役割 <keyword>慢性疾患の特徴、意思決定支援、セルフケア・自己管理、社会的支援	金子吉美
	第2回 呼吸器疾患患者の看護1 炎症性疾患（肺炎、気管支炎、胸膜炎）患者の特徴と看護 <keyword>肺炎、気管支炎、胸膜炎、胸腔穿刺、薬物療法	堀越政孝
	第3回 呼吸器疾患患者の看護2 慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者の特徴と看護 <keyword>COPD、呼吸機能検査、動脈血液ガス分析、酸素療法	堀越政孝
	第4回 循環器疾患患者の看護 心不全をもつ患者の特徴と看護 <keyword>心不全、心電図、心血管超音波、血管造影	湯澤香緒里
	第5回 消化器疾患患者の看護1 潰瘍性大腸炎、クローン病患者の特徴と看護 <keyword>潰瘍性大腸炎、クローン病、上部消化管内視鏡、大腸内視鏡	金子吉美
	第6回 消化器疾患患者の看護2 急性膵炎、慢性膵炎患者の特徴と看護 <keyword>膵炎、造影CT・MRI、ERCP	金子吉美
	第7回 消化器疾患患者の看護3 肝炎、肝硬変患者の特徴と看護 <keyword>肝炎、肝硬変、肝生検、腹部超音波、腹腔鏡、肝庇護療法、インターフェロン療法、食道静脈瘤内視鏡治療	金子吉美
	第8回 内分泌代謝疾患患者の看護 糖尿病患者の特徴と看護 <keyword>1・2型糖尿病、OGTT、SMBG、インスリン補充療法、糖尿病経口薬、食事・運動療法	日下田那美
	第9回 血液・造血器疾患患者の看護 血液悪性疾患（悪性リンパ腫、多発性骨髄腫）患者の特徴と看護 <keyword>悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄穿刺	萩原英子
	第10回 感染症患者の看護 ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症患者の特徴と看護 <keyword>HIV感染症、HIV療法	萩原英子
	第11回 脳神経疾患患者の看護1 重症筋無力症患者の特徴と看護 <keyword>重症筋無力症、薬物療法	金子吉美
	第12回 脳神経疾患患者の看護2 ギランバレー症候群、ALS患者の特徴と看護 <keyword>ギランバレー症候群、ALS、免疫グロブリン療法、在宅療養支援	金子吉美
	第13回 膠原病患者の看護1 自己免疫疾患（SLE）患者の特徴と看護 <keyword>SLE、ステロイド療法、免疫抑制薬	金子吉美
	第14回 膠原病患者の看護2 関節リウマチ患者の特徴と看護 <keyword>関節リウマチ、薬物療法	金子吉美
	第15回 感覚器疾患患者の看護 突発性難聴、メニエール病患者の特徴と看護 <keyword>突発性難聴、メニエール病、聴力検査、薬物療法	金子吉美

科目の目的	慢性期にある患者とその家族の身体的・精神的・社会的特徴を理解するとともに、病と共に生きる人の生活を支援するための看護を習得する。 【対象の理解】 【看護の実践】 【専門性の探究】
到達目標	1. 慢性期にある患者とその家族の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。 2. 慢性期にある患者の病態に応じた看護について説明できる。 3. 慢性期にある患者のセルフケア・自己管理能力を高めるための看護支援方法について説明できる。
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、薬理学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護学総論、成人看護方法論、周術期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学演習、成人看護学実習
成績評価方法・基準	筆記試験100%：中間試験50%、期末試験50%を合算した結果で可否を判定する。 中間試験および期末試験の合算で、60%に満たない学生は再試験の対象とする。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習及び復習に必要な学習時間は約60分である。準備学習は「成人看護学 事前・事後学習シート」を活用し、学習を行った上で講義に参加すること。尚、「成人看護学 事前・事後学習シート」に該当がない場合は、講義内容に該当する部分の指定教科書を読んでおくこと。また、各講義終了後には復習として、教科書や講義中に配付された資料を見ながら、確実に理解できたか確認すること。
教科書	「系統看護学講座 成人看護学①成人看護学総論」(医学書院) 「系統看護学講座 成人看護学②呼吸器」(医学書院) 「系統看護学講座 成人看護学③循環器」(医学書院) 「系統看護学講座 成人看護学④血液・造血器」(医学書院) 「系統看護学講座 成人看護学⑤消化器」(医学書院) 「系統看護学講座 成人看護学⑥内分泌・代謝」(医学書院) 「系統看護学講座 成人看護学⑦脳・神経」(医学書院) 「系統看護学講座 成人看護学⑪アレルギー 膠原病 感染症」(医学書院) 「系統看護学講座 成人看護学⑭耳鼻咽喉」(医学書院)
参考書	解剖学、生理学、薬理学、臨床病態学等において使用したテキスト。 必要時、図書館の本を活用する。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォンの使用、講義と関係のない作業は禁止とする。 関連する専門基礎科目(解剖学、生理学、疾病の成り立ち)の理解が必須であるため、準備学習や自己学習を行った上で講義に参加すること。尚、講義において必要な資料は当日配付する。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	NSm-202

講義科目名称： 周術期看護論

授業コード： 4N080

英文科目名称： Perioperative Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 英子	堀越政孝	湯澤香緒里	日下田那美

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	第1回 周術期看護総論 周術期にある患者・家族の特徴及び周術期看護の役割について学習する。 <keyword>手術療法、手術侵襲に対する生体反応と回復過程、意思決定支援、不安	萩原英子
	第2回 術前・術中の患者とその家族の看護 術前・術中の患者・家族の特徴と看護支援方法について学習する。 <keyword>術前オリエンテーション、術前準備、手術室の環境、手術体位、麻酔、安全管理、手術室看護師の役割	湯澤香緒里
	第3回 術後の患者とその家族の看護 術後の患者・家族の特徴とその看護支援方法について学習する。 <keyword>術後の回復促進、創傷管理、輸液管理、疼痛管理、感染管理、ドレーン管理	日下田那美
	第4回 術後合併症と看護 術後の患者に発生するリスクの高い術後合併症の予防と発症時の看護について学習する。 <keyword>呼吸器合併症(無気肺)、循環器合併症(深部静脈血栓症・肺塞栓症)、消化器合併症(イレウス)、術後出血、術後感染、縫合不全、術後せん妄、廃用症候群	日下田那美
	第5回 回復期にある患者とその家族の看護 術後回復期にある患者・家族の特徴とその看護支援方法について学習する。 <keyword>リハビリテーション、ボディ・イメージ、セルフケア、セルフヘルプグループ、退院指導、退院調整	湯澤香緒里
	第6回 周術期看護各論1(消化器) 胃がんで手術を受ける患者の術前・術後・回復期におけるアセスメント及び看護支援方法について学習する。 <keyword>胃がん、胃切除術	萩原英子
	第7回 周術期看護各論2(消化器) 大腸がんで手術を受ける患者の術前・術後・回復期におけるアセスメント及び看護支援方法について学習する。 <keyword>大腸がん、結腸がん、大腸切除術、人工肛門造設術	萩原英子
	第8回 周術期看護各論3(消化器) 肝臓がん、胆石症で手術を受ける患者の術前・術後・回復期におけるアセスメント及び看護支援方法について学習する。 <keyword>肝臓がん、肝切除術、肝動脈塞栓術、胆石症、腹腔鏡下手術	萩原英子
	第9回 周術期看護各論4(呼吸器) 肺がんで手術を受ける患者の術前・術後・回復期におけるアセスメント及び看護支援方法について学習する。 <keyword>肺がん、肺切除術、肺生検、胸腔ドレナージ、中皮腫	堀越政孝
	第10回 周術期看護各論5(腎・泌尿器) 腎がん、膀胱がんで手術を受ける患者の術前・術後・回復期におけるアセスメント及び看護支援方法について学習する。 <keyword>腎がん、膀胱鏡検査、膀胱切除術	堀越政孝
	第11回 周手術期看護各論6(腎・泌尿器) 前立腺がん、前立腺肥大で手術を受ける患者の術前・術後・回復期におけるアセスメント及び看護支援方法について学習する。 <keyword>前立腺がん、前立腺切除術、ホルモン療法、前立腺肥大	堀越政孝
	第12回 周手術期看護各論7(内分泌) 甲状腺がんで手術を受ける患者の術前・術後・回復期におけるアセスメント及び看護支援方法について学習する。 <keyword>甲状腺がん、甲状腺切除術、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺ホルモン療法	堀越政孝

	第13回	周手術期看護各論8 (女性生殖器) 乳がんで手術を受ける患者の術前・術後・回復期におけるアセスメント及び看護支援方法について学習する。 <keyword>乳がん、乳房超音波検査、マンモグラフィー、乳がん手術、ホルモン療法	萩原英子
	第14回	周手術期看護各論9 (女性生殖器) 子宮体がん、子宮頸がんで手術を受ける患者の術前・術後・回復期におけるアセスメント及び看護支援方法について学習する。 <keyword>子宮頸がん、子宮体がん、女性生殖器手術、ホルモン欠落症状、HPV検査	萩原英子
	第15回	周手術期看護各論10 (運動器) 椎間板ヘルニアで手術を受ける患者の術前・術後・回復期におけるアセスメント及び看護支援方法について学習する。 <keyword>椎間板ヘルニア、椎間板造影、ギプス固定法、牽引法、筋生検、ROM検査、MMT	萩原英子
科目の目的	周術期にある患者とその家族の身体的・精神的・社会的特徴を理解するとともに、術前・術中・術後・回復期における看護を習得する。 (ディプロマポリシー;【対象の理解】【看護の実践】)		
到達目標	1. 周術期にある患者とその家族の身体的・精神的・社会的特徴を説明できる。 2. 周術期にある患者とその家族に対する看護の特徴について説明できる。 3. 術式に応じたアセスメント及び看護支援方法について説明できる。		
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、免疫・感染症学、臨床検査学、成人看護学総論、成人看護方法論、慢性期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学演習、成人看護学実習、成人看護学特論、救急看護、統合実習		
成績評価方法・基準	中間試験(筆記試験)50%、定期試験(筆記試験)50% ※中間試験は第1～8回を試験範囲とし、定期試験は第9～15回を試験範囲とする。 中間試験の日程は第1回講義の際に連絡する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習・復習に必要な学習時間の目安は1コマあたり1時間である。準備学習の内容は、授業計画欄に記載しているキーワードを参考に「成人看護学 事前・事後学習課題シート」の該当ページを確認し、学習課題シートに取り組むこと。また、講義終了後には復習として、教科書や配布された資料を見ながら、確実に理解できたかを確認すること。		
教科書	1. 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 2. 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 3. 系統看護学講座 成人看護学②③⑤⑥⑧⑨⑩⑭ 医学書院		
参考書	講義中に適宜紹介する。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォンの使用、講義と関係のない作業は禁止とする。また、関連する専門基礎科目の理解が必須であるため、準備学習をしっかりと行った上で授業に参加すること。尚、講義で必要な資料は各講義中に配布する。		
アクティブ・ラーニングの実施	Minute Paper (双方向)		
ナンバリング	NSm-301		

講義科目名称：クリティカルケア看護論

授業コード：4N081

英文科目名称：Critical Care Nursing

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 政孝	萩原英子	金子吉美	湯澤香緒里

授業形態	講義14回、演習1回		担当者
授業計画	第1回	クリティカルケア看護総論 クリティカルケアにおける看護専門職と役割、および患者・家族の身体的・心理社会的特徴と問題 〔キーワード〕クリティカルケア、急性期(クリティカル)にある患者と家族の身体・心理社会的特徴	堀越政孝
	第2回	救急看護 我が国における救急医療体制、及び主な疾患の救急処置と看護 〔キーワード〕救急医療・看護、救急医療体制、心肺停止状態・救急処置	萩原英子
	第3回	心肺蘇生法(演習) 一次救命処置(BLS)演習 〔キーワード〕一次救命処置(BLS)、意識レベル、心肺蘇生法	萩原英子
	第4回	ICU・CCU看護 ICU・CCUにおける看護 〔キーワード〕集中治療・看護、集中治療体制、人工呼吸器、危機的状態への精神的支援、治療の緊急性と優先度、治療選択・意思決定への支援、意識レベル、神経学的所見	堀越政孝
	第5回	クリティカルケア看護各論1 虚血性心疾患の病態と治療および看護 〔キーワード〕虚血性心疾患、循環器障害(ポンプ機能・刺激伝導・血管・リンパ管障害)、経皮的冠動脈形成術(PCI)、冠動脈バイパス術(CABG)	湯澤香緒里
	第6回	クリティカルケア看護各論2 弁膜症の病態と治療および看護 〔キーワード〕弁膜症、不整脈、閉塞性動脈硬化症、弁置換・形成術、大動脈バルーンパンピング(IABP)、ペースメーカー、植え込み式除細動器、血栓溶解療法、血栓除去術	湯澤香緒里
	第7回	クリティカルケア看護各論3 アレルギー疾患の病態と治療および看護 〔キーワード〕アレルギー性疾患、皮膚粘膜障害、スキントテスト、減感作療法	金子吉美
	第8回	クリティカルケア看護各論4 腎不全の病態と治療および看護 腎移植 〔キーワード〕急性・慢性腎不全、慢性腎臓病、透析療法、腎移植、拒絶反応	堀越政孝
	第9回	クリティカルケア看護各論5 脊髄損傷、四肢切断の病態と治療および看護 〔キーワード〕脊髄損傷、四肢切断、運動機能障害、脊髄造影	萩原英子
	第10回	クリティカルケア看護各論6 白血病の病態と治療および看護 〔キーワード〕白血病、免疫・骨髄機能障害、造血幹細胞移植、感染管理	萩原英子
	第11回	クリティカルケア看護各論7 播種性血管内凝固症候群の病態と治療および看護 〔キーワード〕播種性血管内凝固症候群、敗血症、抗凝固療法	萩原英子
	第12回	クリティカルケア看護各論8 食道がんの病態と治療および看護 〔キーワード〕食道がん、食道切除術、消化管機能障害、手術後ドレナージ、食事療法	堀越政孝
	第13回	クリティカルケア看護各論9 咽頭がん、喉頭がんの病態と治療および看護 〔キーワード〕咽頭がん、喉頭がん、咽頭・喉頭摘出術、咀嚼・嚥下障害、嚥下リハビリテーション	萩原英子

	<p>第14回 クリティカルケア看護各論10 脳腫瘍の病態と治療および看護 〔キーワード〕脳腫瘍、脳・神経機能障害、高次脳機能障害、脳血管造影、脳波検査、開頭術、脳室ドレナージ術、脳室-腹腔(V-P)シャント術</p> <p>第15回 クリティカルケア看護各論11 脳血管障害(脳梗塞、クモ膜下出血)の病態と治療および看護 〔キーワード〕脳梗塞、クモ膜下出血、穿頭術、血管バイパス術、血管内治療</p>	金子吉美
科目の目的	<p>生命の危機状態にある患者とその家族の身体的・精神的・社会的特徴を理解するとともに、生命及び生活の質の維持・向上を図るための看護を習得する。 【対象の理解】 【看護の実践】</p>	
到達目標	<p>1. 生命の危機状態にある患者とその家族の身体的・精神的・社会的特徴を説明できる。 2. 生命維持と全身状態の改善、二次障害の予防に向けた看護について説明できる。 3. 病態や治療に応じたアセスメント及び看護支援方法について説明・実施できる。</p>	
関連科目	<p>解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、病態栄養学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、免疫・感染症学、臨床検査学、発達心理学、臨床心理学、成人看護学総論、成人看護方法論、慢性期看護論、周手術期看護論、成人看護学演習、成人看護学実習、統合実習</p>	
成績評価方法・基準	<p>筆記試験100%：中間試験50%、期末試験50%を合算した結果で合否を判定する。 中間試験および期末試験の合算で、60%に満たない学生は再試験の対象とする。 ※中間試験は第1～7回を試験範囲とし、定期試験は第8～15回を試験範囲とする。 中間試験の日程は、後日連絡する。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>成人看護学総論で学習した内容の復習及び、指定教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習復習を行うこと。また、授業計画にある「成人看護学 事前・事後学習課題シート」の該当箇所に取り組むこと。準備学習に必要な学習時間の目安は、1コマあたり1時間である。</p>	
教科書	<p>『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論』（医学書院） 『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論』（医学書院） 『系統看護学講座 成人看護学2～14』（医学書院）</p>	
参考書	<p>『系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学』（医学書院） 解剖学、生理学、薬理学、病態生理学、疾病の理解等において使用した教科書および参考書</p>	
オフィス・アワー	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照</p>	
国家試験出題基準	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照</p>	
履修条件・履修上の注意	<p>準備学習や自己学習を行った上で講義に参加すること。 尚、講義において必要な資料は当日配布する。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>体験学習（演習を通して一次救命処置（BLS）について学ぶ）</p>	
ナンバリング	<p>NSm-302</p>	

講義科目名称： 成人看護学演習

授業コード： 4N082

英文科目名称： Practice in Adult Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
金子 吉美	萩原 英子	堀越 政孝	湯澤香緒里
	日下田那美		

授業形態	講義(6回)、演習(グループワークを含む)(17回)		担当者
授業計画	第1・2回	看護過程演習1 看護過程総論、アセスメントシート・関連図・ケアプランの作成方法(講義) 情報整理とアセスメント・関連図・ケアプランの作成方法について学習する。 事例に基づき、アセスメントシートを個人で作成する。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
	第3・4回	看護過程演習2 アセスメントシートの作成(演習) 事例に基づき、アセスメントシートをグループで作成する。 〔準備学習〕アセスメントシートを個人で作成する。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
	第5・6回	看護過程演習3 関連図の作成(演習) 事例に基づき、関連図をグループで作成する。 〔準備学習〕関連図を個人で作成する。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
	第7・8回	看護過程演習4 アセスメントシート、関連図の作成(追加・修正)(演習) 事例に基づき、関連図をグループで作成(追加・修正)する。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
	第9・10回	看護過程演習5 ケアプランの作成(演習) 事例に基づき、ケアプランをグループで作成する。 ケアプラン(E-plan)の実践の方法について説明を行う。 看護記録(S.O.A.P.)の記載方法について説明を行う。 〔準備学習〕ケアプランを個人で作成する。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
	第11・12回	看護過程演習6 ケアプランの実践の準備(演習) ケアプラン(E-plan)実践の準備を行う。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
	第13・14回	看護技術演習1 ケアプランの実践・評価(演習) 立案したケアプラン(E-plan)をロールプレイングし、実践する。 ケアプラン(E-plan)を実践しての看護記録(S.O.A.P.)を記載する。 〔準備学習〕ケアプラン(E-plan)実践の準備を行う。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
	第15回	看護技術演習2 術後患者の観察・アセスメント(演習) 術後患者の観察項目・根拠・方法・留意点を個人で作成する。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
	第16・17回	看護技術演習3 術後患者の観察・アセスメントの実践(演習) 術後患者の観察を実践する。 観察したことを個人でアセスメントする。 〔準備学習〕術後患者の観察項目・根拠・方法・留意点を個人で作成する。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
	第18回	看護技術演習4 口腔・鼻腔内吸引、気管吸引、ストーマ管理、簡易血糖測定、輸液管理(講義) 口腔・鼻腔内吸引、気管吸引、ストーマ管理、簡易血糖測定、輸液管理(輸液ポンプ・シリンジポンプ)の目的・必要物品・方法・根拠について学習する。 〔準備学習〕事前に配付される資料をよく読み、分からないことを調べる。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
	第19・20回	看護技術演習5 口腔・鼻腔内吸引、気管吸引、ストーマ管理、簡易血糖測定、輸液管理の実践(演習) 口腔・鼻腔内吸引、気管吸引、ストーマ管理、簡易血糖測定、輸液管理(輸液ポンプ・シリンジポンプ)を実践する。 〔準備学習〕技術実践のための準備(観察項目・根拠・方法・留意点の確認)をする。 イメージトレーニングをする。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
	第21回	看護技術演習6 創傷・ドレーン管理、吸入、12誘導心電図、患者監視装置(講義) 創傷・ドレーン管理、吸入、12誘導心電図、患者監視装置の目的・必要物品・方法・根拠について学習する。 〔準備学習〕事前に配付される資料をよく読み、分からないことを調べる。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田

	第22・23回 看護過程演習・看護技術演習の振り返り（講義） 看護過程演習に関する筆記試験を行い、解説する。また、看護技術演習で学んだ技術について、実技練習を行う。 〔準備学習〕成人看護学演習で学んだことを振り返り、復習をしておくこと。	萩原、堀越、金子、湯澤、日下田
科目の目的	健康問題を持つ成人期にある対象の看護上の問題を明確にし、適切な看護を提供するための思考過程及び看護技術を習得する。 【対象の理解】 【看護の実践】	
到達目標	1. 対象の看護問題を捉え、科学的根拠に基づいた、個別性のある看護過程を展開できる。 2. 対象の治療や回復過程を支援するために必要な看護技術を個別性に配慮しながら安全・安楽に実施できる。 3. 対象へ看護する上で求められる必要な態度で演習に臨むことができる。	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護学概論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習、コミュニケーション論、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、看護過程論入門、看護過程展開論演習、治療援助学演習、成人看護学総論、成人看護方法論、慢性期看護論、周術期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学実習	
成績評価方法・基準	下記の1～3の合計(100%)で評価する。合計(100%)のうち、60%に満たなかった学生を再試験の対象とする。 1. 知識：看護過程課題（15%）、筆記試験（40%） 2. 技術：実技試験（口頭試験含む）(30%) 3. 態度：学習態度（積極性・協調性）・実習室での身だしなみについて、成人看護学演習評価表に基づき評価する。（15%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目では単位認定上の準備学習時間は設けていないが、準備学習課題として授業計画欄に記載してあるため、各自確認し、準備学習を行った上で演習に参加すること。	
教科書	「系統看護学講座 成人看護学①～④」 医学書院 「看護診断ハンドブック 第12版」 医学書院 「看護がみえる vol.4 看護過程の展開 第1版」 メディックメディア 「根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術」 医学書院	
参考書	必要時、図書館の本を活用する。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」 参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」 参照	
履修条件・履修上の注意	限られた授業時間を有効に活用できるよう、積極的に演習に取り組むこと。	
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ワーク、全体ディスカッション、プレゼンテーション、ロールプレイング、技術演習	
ナンバリング	NSm-303	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	金子 吉美（看護師）、萩原 英子（看護師）、堀越 政孝（看護師）、湯澤 香緒里（看護師）、日下田那美（看護師）	
授業の概要	成人期にある患者に対する個別性のある看護を考察するために、成人期に特有の健康問題を有する人の紙上事例を用いて、一連の看護過程を展開し、成人期にある患者を捉える視点を養う。また、この紙上事例に基づいて立案した看護計画を実践し、患者の健康回復の支援に必要な看護技術を習得する。さらに、健康問題をかかえる成人期にある人の治療や回復過程を支援するために必要な基本的看護技術を習得する。	

講義科目名称： 救急看護

授業コード： 4N083

英文科目名称： Paramedic Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
萩原 英子	堀越 政孝	金子 吉美	

授業形態	講義(2回)・演習(6回)		担当者
授業計画	第1回	救急看護の概念〔講義〕 救急看護の定義と役割、救急医療体制について学習する。	萩原英子
	第2回	救急看護体制と看護〔講義〕 初期・2次・3次救急医療における対応、院内急変時における対応について学習する。	金子吉美
	第3回	救急患者のアセスメントと看護〔演習〕 救急患者の情報収集、全身状態の観察とアセスメントについて学習する。	金子吉美
	第4回	救急処置と看護1(心肺停止)〔演習〕 心肺停止患者に対する一次救命処置(BLS)の方法について学習する。	萩原英子
	第5回	救急処置と看護2(呼吸障害)〔演習〕 呼吸障害のある患者への対応と看護について学習する。	堀越政孝
	第6回	救急処置と看護3(ショック・循環障害)〔演習〕 ショック・循環障害がある患者への対応と看護について学習する。	堀越政孝
	第7回	救急処置と看護4(意識障害)〔演習〕 意識障害がある患者への対応と看護について学習する。	金子吉美
	第8回	救急処置と看護5(外傷)〔演習〕 外傷患者への対応と看護について学習する。	萩原英子
科目の目的	救急看護の役割を理解し、傷病者や急変患者を救命するために必要な看護を習得する。 (ディプロマポリシー：【看護の実践】【専門性の探究】)		
到達目標	1. 救急看護の概念と役割、特徴を説明することができる。 2. 傷病者や急変患者の呼吸障害・循環障害・意識障害・外傷の特徴について説明することができる。 3. 一次救命処置(BLS)及び呼吸障害・循環障害・意識障害・外傷発生時のアセスメント及び看護を実践することができる。		
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、臨床生理学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護方法論、慢性期看護論、周術期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学演習、災害看護論		
成績評価方法・基準	筆記試験80%・実技試験20%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書や配布された資料を基に授業該当箇所の予習・復習を行うこと。(30時間分相当)		
教科書	「系統看護学講座 別巻 救急看護学」(医学書院)		
参考書	授業の中で適宜紹介する。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	講義・演習時は、携帯電話・スマートフォン・パソコン等の通信機器の使用を原則禁止する。		
アクティブ・ラーニングの実施	技術演習、グループワーク		
ナンバリング	NSm-401		

講義科目名称： 成人看護学特論

授業コード： 4N084

英文科目名称： Advanced Adult Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
萩原 英子	堀越政孝	金子吉美	川尻洋美

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回      がん患者のQOLと看護 がん患者の意思決定支援について事例をもとに検討し、理解を深める。 [キーワード]意思決定支援</p> <p>第2回      成人に対する健康教育支援 アンドラゴジー、自己効力、セルフマネジメント教育の概念を理解し、看護の課題を考える。 [キーワード]アンドラゴジー</p> <p>第3回      看護の専門性 看護師という職業における専門性と、看護の専門分化について理解を深める。 [キーワード]認定看護師、専門看護師</p> <p>第4回      専門的な看護の実践1 専門的な知識を持って活動している看護師の実際を理解し、成人看護のあり方について考える。 &lt;guest speaker:糖尿病看護認定看護師&gt; [キーワード]認定看護師、糖尿病、フットケア</p> <p>第5回      専門的な看護の実践2 専門的な知識を持って活動している看護師の実際を理解し、成人看護のあり方について考える。 &lt;guest speaker:がん看護専門看護師&gt; [キーワード]専門看護師、がん患者</p> <p>第6回      専門的な看護の実践3 専門的な知識を持って活動している看護師の実際を理解し、成人看護のあり方について考える。 [キーワード]難病患者、難病相談支援センター、ケアシステム</p> <p>第7回      専門的な看護の実践4 専門的な知識を持って活動している看護師の実際を理解し、成人看護のあり方について考える。 &lt;guest speaker:フライトナース&gt; [キーワード]フライトナース、救急看護、ドクターヘリ</p> <p>第8回      成人期にある人に特徴的な健康問題 成人期にある人に特徴的な健康問題を取り上げ、理解を深めるとともに、看護のあり方及びその課題について考える。 [キーワード]安楽死、尊厳死、鎮静、DNAR、看護師の役割</p>	<p>萩原英子</p> <p>金子吉美</p> <p>堀越政孝</p> <p>萩原英子</p> <p>萩原英子</p> <p>川尻洋美</p> <p>萩原英子</p> <p>萩原英子</p>
科目の目的	成人期にある人々の健康問題や患者のおかれている状況について理解を深め、看護支援のあり方と看護職の果たす役割、看護の課題について考察する。 (ディプロマ・ポリシー【専門性の探究】【国際的な視野】)	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人期にある人々の健康問題について説明できる。</li> <li>2. 様々な健康問題を抱える患者に対する看護支援について、自己の考えを述べることができる。</li> <li>3. 自己の看護師としての将来像をイメージし、キャリアプランを構築できる。</li> </ol>	
関連科目	成人看護学総論、成人看護方法論、慢性期看護論、周術期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学実習、救急看護、臨床看護管理学、統合実習	
成績評価方法・基準	各回のコメントペーパー(40%)、期末レポート(60%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習として、授業計画に記載されたキーワードについて復習をした上で講義に参加すること。また、各講義終了後には復習として、講義中に配布された資料を見ながら、しっかり理解できたかを確認し、看護に対する自分の考えを整理しておくこと。(計30時間分相当)	

教科書	特に指定しない。
参考書	講義内で適宜紹介する。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	非常勤講師及びゲストスピーカーの先生方に対し、礼節を忘れずに授業に臨むこと。 講義に必要な資料は、各講義の中で配布する。
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク (Think Pair Share)
ナンバリング	NS1-401

講義科目名称： 老年看護学総論

授業コード： 4N085

英文科目名称： Introduction to Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
関 妙子	東泉貴子		

授業形態	講義（6回）、演習（2回）	担当者
授業計画	<p>第1回 講義ガイダンス、ライフサイクルにおける老年期の特徴（講義） 老いるということ、ライフサイクルにおける老年期について学習する キーワード：高齢者イメージ、老い、言葉の定義、ライフサイクル、発達理論・発達課題  ※事前課題「老いに対するイメージと高齢者に対するイメージ」について 初回講義2週間前にアクティブアカデミーアドバンスを通して課題を提示する。 初回講義1週間前までにアクティブアカデミーアドバンスにて課題提出。 初回講義時に学生発表。全体的な内容について解説・講評をする。</p> <p>第2回 高齢社会および高齢者の健康と生活（講義） 統計からみる高齢社会、高齢者の健康、高齢者の生活について学習する。 キーワード：高齢社会、高齢化国際比較、健康に関わる言葉（健康寿命・受療率）、世帯構成・経済・雇用</p> <p>第3回 加齢とからだ、こころ（講義） 加齢による身体的変化、心理・社会的変化の特徴について学習する。 キーワード：加齢変化、恒常性維持機能、生理的老化・病的老化、心理的機能、社会的機能</p> <p>第4回 社会学的視点から見た高齢者（講義） 老年期の役割機能、社会参加、経済的基盤について学習する。 キーワード：家族システム、社会問題、ウェルビーイング、社会参加、QOL  ※第7回演習の「ライフストーリーインタビュー」について概要を説明する。</p> <p>第5回 高齢者の健康を支援する制度・システム（講義） 高齢者の保健・医療・福祉システム・高齢者医療の仕組みについて学習する。 キーワード：老人保健医療福祉政策、介護保険制度・地域包括ケアシステム、高齢者医療制度</p> <p>第6回 高齢者の倫理的課題（講義） 高齢者の権利擁護、高齢者虐待、身体拘束について学習する。 キーワード：権利擁護、意思決定支援、成年後見制度、高齢者虐待、身体拘束</p> <p>第7回 高齢者理解と老年看護の役割（演習） 1. 高齢者のライフストーリーインタビューをとおして高齢者理解を深める。 「身近な高齢者のライフストーリーインタビュー」発表と全体的な内容の解説・講評。 ※事前課題「身近な高齢者のライフストーリー」について第4回講義時に課題を提示する。 本講義5日前までにアクティブアカデミーアドバンスにて課題提出。  2. 老年看護の機能と役割について学習する。 キーワード：老年看護学、老年看護の目標・役割・機能、看護理論  ※第8回演習の「高齢者疑似体験」について概要を説明する。</p> <p>第8回 高齢者疑似体験（演習） 老化・高齢者疑似体験をとおして高齢者理解を深める。 ※「演習を通じた学びについて」レポート課題 レポートのフィードバックは提出期限後にアクティブアカデミーアドバンスにて行う。</p>	<p>関 妙子</p> <p>関 妙子・東泉貴子</p>
科目の目的	<p>ライフサイクルにおける老年期の特徴を身体的・心理的・社会的側面から理解し、老年期にある人々の健康問題の特徴、国内外の高齢者保健および看護の機能・特性を学ぶ。 （ディプロマポリシー：【対象の理解】 【国際的な視野】）</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフサイクルにおける老年期の位置づけおよびからだ・こころ・生活の特徴を説明できる。</li> <li>2. 老年期における健康問題の特徴、国内外の高齢者医療ならびに看護の機能・特性を説明できる。</li> <li>3. 高齢者に関わる倫理課題、高齢者の尊厳について説明できる。</li> <li>4. 老年期にある人々の健康を支援する制度、システムについて説明できる。</li> <li>5. 老年看護の目標および、機能・役割について説明できる。</li> </ol>	

関連科目	高齢者の健康と障害、老年看護方法論、老年看護学演習、老年看護学特論、老年看護学実習
成績評価方法・基準	<p>期末試験（80％）、課題レポート（20％）</p> <p>※定期試験は100点満点で実施するが、80点満点に換算する。</p> <p>評価対象レポート課題は2回：「ライフヒストリーインタビュー」、「疑似体験を通じた高齢者理解」とする。</p> <p>※各10点満点で採点して、合計で20点満点とする。</p>
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>授業計画に沿って、講義4日前までにアクティブアカデミーアドバンスにて資料を配付する。各自印刷するか、PCにダウンロードして授業に持参すること。</p> <p>予習として、配付資料の内容確認と資料にある空欄を所定の教科書の内容を確認しながら事前に埋めて授業に臨むこと。復習として、配付資料・教科書をよく読み返し、理解できたか確認すること。</p> <p>【授業外学習時間の目安について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各回（全8回）の授業外学習時間として1コマあたり4時間程度は予習・復習に要することが見込まれる。</li> </ul>
教科書	教科書：ナーシング・グラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害 メディカ出版
参考書	参考書：「国民衛生の動向2024/2025」（厚生統計協会）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	<p>※講義3日前までにアクティブアカデミーアドバンスにて資料を配付する。配信期間は配信してから2週間とする。</p> <p>毎回の授業の予習・復習に活用し、意欲的に授業に臨むこと。</p> <p>※講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、本講義と関係のない作業は禁止する。</p>
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、グループディスカッション、グループワーク
ナンバリング	NSn-101

講義科目名称： 高齢者の健康と障害

授業コード： 4N086

英文科目名称： Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
東泉 貴子			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 高齢者の生理的特徴 (講義) 身体機能・心理機能の加齢変化、廃用症候群、老年症候群</p> <p>第2回 高齢者の症候 (講義) 発熱、痛み・しびれ、脱水、不眠、浮腫</p> <p>第3回 高齢者の疾患①精神・神経疾患 (講義) 脳卒中：脳出血・脳梗塞と看護</p> <p>第4回 高齢者の疾患②精神・神経疾患 (講義) 変性疾患 (パーキンソン病・ALS)、せん妄、うつ病と看護</p> <p>第5回 高齢者の疾患③認知症 1 (講義) 認知症の原因と特徴 (4大認知症) ・治療と看護</p> <p>第6回 高齢者の疾患④認知症2 (講義) 家族に対する支援方法・軽度認知障害と認知症予防</p> <p>第7回 高齢者の疾患⑤循環器疾患 (講義) 高血圧、不整脈、虚血性心疾患、心不全と看護</p> <p>第8回 高齢者の疾患⑥呼吸器疾患 (講義) (講義) 肺炎、閉塞性肺疾患と看護</p> <p>第9回 高齢者の疾患⑦代謝機能障害、腎・泌尿器疾患 (講義) 糖尿病、腎不全、前立腺肥大症と看護</p> <p>第10回 高齢者の疾患⑧運動器疾患 (講義) 骨粗鬆症、大腿骨頸部骨折、変形性膝関節症と看護</p> <p>第11回 高齢者の疾患⑨皮膚・感覚器疾患 (講義) 皮膚掻痒症、带状疱疹、視覚・聴覚障害、睡眠障害と看護</p> <p>第12回 高齢者の疾患⑩感染性疾患 (講義) 疥癬、ノロウイルス感染症、結核、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、院内感染と看護</p> <p>第13回 高齢者の疾患⑪その他高齢者に特徴的な疾患 (講義) がん、貧血、めまい、熱中症と看護</p> <p>第14回 高齢者と治療①高齢者と薬物療法 (講義) 薬物動態・高齢者に特徴的な薬物有害反応・薬物療法を受ける高齢者の看護</p> <p>第15回 高齢者と治療②高齢者の周手術期看護 (講義) 手術を受ける高齢者の特徴・手術侵襲の影響・看護</p>	<p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>泉泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p> <p>東泉貴子</p>
科目の目的	<p>加齢による機能の変化と高齢者の疾患の特徴を理解し、高齢者の主な疾患、治療を受ける高齢者の看護、治療の場における具体的援助方法を学ぶ。 ディプロマポリシー【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】</p>	
到達目標	<p>1. 高齢者の生理的特徴、加齢による身体・精神機能の変化を説明できる。 2. 老年期の主要な症候、起こりやすい健康問題を説明できる。 3. 高齢者に特徴的な疾患とその看護を説明できる。 4. 治療を受ける高齢者の看護の特徴と看護を説明できる。</p>	
関連科目	<p>老年看護学総論、老年看護学方法論、老年看護学演習、老年看護学実習</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験 (100%) : 高齢者の徴候、主な疾患と看護、治療を受ける高齢者の看護について理解できているかを測る筆記試験を行う。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>【準備学習に必要な時間の目安】 1コマあたり準備学習30分、講義終了後30分の復習が必要。 講義内容に沿った教科書の該当ページを熟読して講義に臨むこと。 講義終了後、教科書と講義資料を確認し、理解ができているか確認すること。</p>	
教科書	<p>教科書1 ナーシング・グラフィカ 老年看護学①「高齢者の健康と障害」 (堀内ふき編：メディカ出版) 教科書2 ナーシング・グラフィカ 老年看護学②「高齢者看護の実践」 (堀内ふき編：メディカ出版)</p>	
参考書	<p>解剖学、生理学等で使用したテキスト</p>	
オフィス・アワー	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照</p>	
国家試験出題基準	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照</p>	

履修条件・履修上の注意	※講義に必要な資料は、各講義毎に配付する。授業終了後は学習強化する箇所を教科書および配付資料の内容を各自で確認、整理すること。 ※講義中、携帯電話・スマートフォンの使用、講義に関係のない作業は禁止とする。
アクティブ・ラーニングの実施	講義中の発問等により知識確認を行う。
ナンバリング	NSn-201

講義科目名称： 老年看護方法論

授業コード： 4N087

英文科目名称： Gerontological Nursing Methods

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中西 陽子			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 <b>【高齢者の生活を支える看護】</b> 高齢者の日常生活を支えること (活動、食事、排泄、睡眠、清潔等)	中西 陽子
	第2回 <b>【高齢者のヘルスアセスメント】</b> 高齢者の健康歴・病歴・症状の聴取とポイント ヘルスアセスメントの特徴	中西 陽子
	第3回 <b>【高齢者のヘルスアセスメント】</b> フィジカルアセスメント 認知機能アセスメント	中西 陽子
	第4回 <b>【高齢者に特徴的な看護問題と看護】</b> 老年症候群、サルコペニア、廃用症候群の予防 基本的なADL指標の特徴	中西 陽子
	第5回 <b>【高齢者に特徴的な看護問題と看護】</b> 高齢者の起立・歩行障害と看護 高齢者の転倒・転落の予防と看護	中西 陽子
	第6回 <b>【高齢者に特徴的な看護問題と看護】</b> 高齢者の睡眠の特徴 高齢者の睡眠障害と看護	中西 陽子
	第7回 <b>【高齢者に特徴的な看護問題と看護】</b> 高齢者の食生活の特徴 高齢者の脱水予防	中西 陽子
	第8回 <b>【高齢者に特徴的な看護問題と看護】</b> 高齢者の摂食・嚥下障害と看護 高齢者の低栄養と看護	中西 陽子
	第9回 <b>【老年期に特有の看護問題と看護】</b> 高齢者の排泄機能障害 (排尿障害・排便障害)	中西 陽子
	第10回 <b>【老年期に特有の看護問題と看護】</b> 高齢者のスキンケア 褥瘡予防と看護	中西 陽子
	第11回 <b>【老年期に特有の看護問題と看護】</b> 認知機能障害のある高齢者のケア (環境調整・薬物療法)	中西 陽子
	第12回 <b>【老年期に特有の看護問題と看護】</b> 認知機能障害のある高齢者の看護 (非薬物療法) 認知機能障害を支える家族の看護	中西 陽子
	第13回 <b>【終末期にある高齢者と家族への看護】</b> エンド・オブ・ライフ・ケア アドバンス・ケア・プランニング (ACP) 終末段階の看護 家族への支援	中西 陽子
	第14回 <b>【治療を受ける高齢者の看護】</b> 入院、検査、手術、リハビリテーション時の看護	中西 陽子

	第15回 【高齢者のリスクマネジメント】 医療安全と事故予防 救急時の対応 災害看護	中西 陽子
科目の目的	高齢者の健康の維持・増進における問題、老年期に特徴的な看護問題を取り上げ、アセスメント、具体的援助方法を学習する。また、老年期に発生しやすい事故、救急問題の理解と対応、終末期にある高齢者と家族のエンド・オブ・ライフケアの考え方や看取りへの援助について学習する。さらに、高齢者のアセスメント方法を学習を通して、多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法の理解を目的とする。本科目ではディプロマ・ポリシーである看護の対象を多角的にとらえ科学的根拠に基づいた看護実践ができる能力を養う。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の健康維持・増進に向けての支援策および具体的方法について説明できる。</li> <li>2. 健康問題を有する高齢者の疾患・症状をアセスメントし、対象に応じた生活を営むための日常生活援助について説明できる。</li> <li>3. 老年期の特徴的な看護問題の理解を深め、多様な場に応じた高齢者のリスクマネジメント方法を列挙することができる。</li> <li>4. 高齢患者および家族のエンド・オブ・ライフケアにおける看護師の役割、看取り看護のあり方について述べることができる。</li> <li>5. 高齢者を支える家族介護者への具体的な看護支援について述べることができる。</li> </ol>	
関連科目	老年看護学総論 高齢者の健康と障害	
成績評価方法・基準	定期試験（100%） 高齢者に特徴的な健康上の問題とその看護について理解できているかを測る筆記試験を行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1コマあたりの準備学習30分、講義終了後30分の復習が必要。 講義内容に沿った教科書の該当ページを熟読して講義に臨むこと。 講義終了後、教科書と講義資料を確認し、理解ができているか確認すること。	
教科書	教科書1：「老年看護学① 高齢者の健康と障害」、堀内ふき 他（メディカ出版） 教科書2：「老年看護学② 高齢者看護の実践」、堀内ふき 他（メディカ出版） 教科書3：「カラー写真で学ぶ 高齢者の看護技術第2版」、大野真理子（医歯薬出版株式会社）	
参考書	参考書1：「生活機能からみた老年看護過程」、山田律子（医学書院） 参考書2：「根拠と事故防止からみた老年看護技術」亀井智子（医学書院）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	講義中の発問等により知識確認を行う。	
ナンバリング	NSn-202	

講義科目名称： 老年看護学演習

授業コード： 4N088

英文科目名称： Practice in Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
関 妙子	関妙子	東泉貴子	

授業形態	講義（1回）・演習（14回）	担当者
授業計画	<p>第1回 科目ガイダンス、老年看護技術の特徴、看護過程の特徴説明（講義） 老年看護技術の特徴および看護過程の特徴について学習する。</p> <p>第2回 高齢者への援助技術1（演習） 食事援助：高齢者の嚥下機能の特徴に合わせた食事援助方法について学習する。</p> <p>第3回 高齢者への援助技術2（演習） 経管栄養法：経鼻経管栄養カテーテルおよび胃瘻の管理方法について学習する。</p> <p>第4回 高齢者への援助技術3（演習） 口腔ケア：口腔ケア・義歯脱着・義歯洗浄の技術について学習する。</p> <p>第5回 高齢者への援助技術4（演習） 体位・褥瘡予防：ポジショニングおよび褥瘡予防の援助について学習する。</p> <p>第6回 高齢者への援助技術5（演習） 移動援助：高齢者の安全な車椅子移乗・移動援助について学習する。</p> <p>第7回 高齢者への援助技術6（演習） 排泄支援：高齢者の排泄ケア（おむつ交換）援助について学習する。</p> <p>第8回 高齢者の看護過程展開1（グループワーク） 加齢の変化および病態を踏まえ、高齢者の全体像を捉えた情報整理とアセスメント・関連図・ケアプランの作成方法について学習する。 下記について、個人ワークでまとめたことを基にグループで討議する。 ①加齢変化と健康障害、生活行動への影響を踏まえたアセスメント  【準備学習】事前に記録用紙と事例を配布するので、個人で情報の整理とアセスメントシートの作成を進めておくこと。</p> <p>第9回 高齢者の看護過程展開2（グループワーク） 下記について、個人ワークでまとめたことを基にグループで討議する。 ②仮診断の抽出</p> <p>第10回 高齢者の看護過程展開3（グループワーク） 下記についてグループワークを行う。 ③関連図の作成と全体像の把握</p> <p>第11回 高齢者の看護過程展開4（グループワーク） 下記についてグループワークを行う。 ④高齢患者の健康問題・課題の明確化（看護診断） ⑤優先順位の検討</p> <p>第12回 高齢者の看護過程展開5（グループワーク） 下記についてグループワークを行う。 ⑥看護目標立案 ⑦看護計画立案</p> <p>第13回 高齢者の看護過程展開6（グループワーク） 下記についてグループワークを行う。 ①発表資料の作成 ②プレゼンテーションの準備（役割決め・発表練習）</p> <p>第14回 高齢者の看護過程展開7（発表・ディスカッション） 下記についてグループ毎に発表およびディスカッションを行い、高齢者の看護の方向性について学びを共有する。 ①看護診断 ②看護目標 ③看護計画</p> <p>第15回 高齢者の看護過程展開7（発表・ディスカッション） 下記についてグループ毎に発表およびディスカッションを行い、高齢者の看護の方向性について学びを共有する。 ①看護診断 ②看護目標 ③看護計画</p>	<p>関</p> <p>関・東泉</p>
科目の目的	<p>技術演習を通して高齢者への援助技術を学習する。また、老年期に特徴的な疾患を持つ高齢者の看護過程の展開方法を学習する。 ディプロマポリシー：【対象の理解】【看護の実践】</p>	

到達目標	1. 高齢患者の健康状態・価値観・個別性を踏まえ潜在的な課題を明らかにし、実践可能な援助計画に基づいた老年看護技術を実施できる。 2. 老年期に特徴的な疾患をもつ高齢者の事例を用いて、ゴードンの11の機能的健康パターンを参考にし、情報の整理・アセスメント・看護診断・計画立案ができる。
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護学総論、高齢者の健康と障害、老年看護方法論、基礎看護学領域各科目
成績評価方法・基準	下記の1～3の合計(100%)で評価する。 1. 定期試験：筆記試験：50% 2. 実技試験：老年看護学演習評価基準に基づき評価する：20% 3. 看護過程記録：老年看護学看護過程評価基準に基づき評価する：30%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	老年看護学総論、高齢者の健康と障害、老年看護方法論の既習内容を復習して授業に臨むこと。準備学習に必要な学習時間として、1コマあたり4時間程度を目安とする。
教科書	教科書1：「老年看護学② 高齢者看護の実践」、堀内ふき 他（メディカ出版） 教科書2：「カラー写真で学ぶ 高齢者の看護技術第2版」、大野真理子（医歯薬出版株式会社）
参考書	参考書1：「看護診断ハンドブック 第12版」、リンダ J. カルペニート（医学書院） 参考書2：「生活機能からみた老年看護過程」、山田律子（医学書院） 参考書3：「根拠と事故防止からみた老年看護技術」亀井智子（医学書院）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	高齢者に対する尊厳の態度をもって演習に臨むこと。 グループメンバーと協調・協力し、積極的に演習に参加すること。
アクティブ・ラーニングの実施	技術演習、グループワーク・プレゼンテーション
ナンバリング	NSn-301
実務経験のある教員による授業	
実務経験	関 妙子（看護師）、東泉 貴子（看護師）
授業の概要	老年期特有の障害を有する対象者に対する看護過程の展開方法について学ぶ。また、高齢者に特徴的な疾患である骨関節機能障害・循環機能障害・認知機能障害をもつ高齢者の事例展開を通して、アセスメントと看護過程の具体的な展開方法を演習により学習する。さらに、老年期にある対象とのコミュニケーション、活動、食事・栄養、清潔、安全を守る技術等、高齢者への基本的援助技術について演習を通して習得する。

講義科目名称： 老年看護学特論

授業コード： 4N089

英文科目名称： Advanced Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
関 妙子			

授業形態	講義1回、演習7回		担当者
授業計画	<p>第1回 科目のコースガイダンスと高齢者の健康段階と発達課題（講義） 全8回講義のコースガイダンス 高齢者の健康段階と発達課題（講義） 高齢者の健康や障害、倫理的課題など老年看護に関する課題の提示 グループ編成 課題レポートあり：「高齢者看護における自身の考えと課題」</p> <p>第2回 老年期における健康と障害および倫理的課題等の理解（演習） 第1回の課題レポートについてフィードバックする。  下記に示すことについてグループワークを実施する。 ①発表用資料の構想・作成、文献・資料検索 ②討議内容の検討</p> <p>第3回 課題の発表と討議①「治療を受ける高齢者の早期回復のための支援」（演習） 治療を受ける高齢者の早期回復のための支援について討議する。 ①手術を受けた高齢者の看護について ②リハビリテーション看護について ③補足講義</p> <p>第4回 課題の発表と討議②「高齢者虐待の現状と身体拘束」（演習） 高齢者虐待の現状と身体拘束について討議する。 ①高齢者の虐待の現状と看護の役割 ②身体拘束廃止に向けた看護支援 ③補足講義</p> <p>第5回 課題の発表と討議③「認知症高齢者の看護と家族への支援」（演習） 認知症高齢者の看護と家族への支援について討議する。 ①認知症高齢者の看護 ②認知症高齢者を抱えた家族への支援 ③補足講義</p> <p>第6回 課題の発表と討議④「高齢者の摂食嚥下障害と胃瘻の問題」（演習） 高齢者の摂食嚥下障害と胃瘻の問題について討議する。 ①摂食嚥下障害看護 ②胃瘻について</p> <p>第7回 課題の発表と討議⑤「高齢者の終末期医療に係わる意思決定支援」（演習） 高齢者の終末期医療に係わる意思決定支援について討議する。 ①高齢者の終末期医療に関わる意思決定支援（ACP） ②高齢者とその家族に対する看取り支援 ③補足講義</p> <p>第8回 課題の発表と討議⑥「サクセスフルエイジング：輝く高齢者」（演習） 自身の考える「サクセスフルエイジング：輝く高齢者」について全体発表を行い、 学びを共有する。</p>	<p>関 妙子</p>	
科目の目的	<p>さまざまな健康段階にある高齢者に応じた看護学的課題の現状と問題解決のための方向性を幅広い視点から学習する。 また課題についての文献学習・事例検討・討議をとおして、看護職が果たす役割と今後の課題を考察する。 (ディプロマポリシー：【専門性の探求】、【国際的な視野】)</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の健康段階に応じた看護学的課題について説明することができる。</li> <li>2. 治療を受ける高齢者の早期回復のための支援のあり方について考えることができる。</li> <li>3. 認知症高齢者と家族の支援のあり方について考えることができる。</li> <li>4. 高齢者ケアにおける倫理的課題について考えることができる。</li> <li>5. 健康寿命の概念と高齢者におけるヘルスプロモーションのあり方について考えることができる。</li> </ol>		
関連科目	老年看護学総論、高齢者の健康と障害、老年看護学方法論、老年看護学演習、老年看護学実習		
成績評価方法・基準	<p>発表内容・態度(60%)、レポート(30%)、リフレクションシート(10%)の配分で評価する。 配点については以下の通りとする ・発表内容・態度：グループ発表(40点)、個人発表(20点) ・レポート：第1回課題(10点)、最終レポート：(20点)</p>		

	・リフレクションシート：(10点)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義に臨む前に配付資料を精読しておくこと。授業外学習時間として1コマあたり4時間程度は予習・復習に要することが見込まれる。
教科書	使用しない
参考書	随時紹介する
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	<p>※講義3日前までにアクティブアカデミーアドバンスにて資料を配付する。各自印刷するかPCにダウンロードして授業に持参すること。効果的かつ活発なディスカッションができるよう準備すること。</p> <p>※発表・討議資料については、発表担当講義日の4日前までに作成し、関メールアドレス (seki@paz.ac.jp)宛に提出すること。</p> <p>※資料の配信期間は配信日から2週間とする。</p>
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク、グループディスカッション
ナンバリング	NSm-401

講義科目名称： 小児看護学総論

授業コード： 4N090

英文科目名称： Introduction to Child Health Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション 小児看護で用いられる概念と理論① 小児看護の対象、小児看護の変遷、子どもの権利と擁護 子どもの権利と擁護	中下 富子
	第2回 小児看護で用いられる概念と理論② 小児看護と法律・施策、小児看護で用いられる理論	中下 富子
	第3回 乳児期の成長・発達と看護 乳児期の特徴と発達課題、形態的成長発達・機能的発達・心理社会的発達、 乳児期の発育・発達評価、親子関係、栄養と睡眠、健康問題と対策	中下 富子
	第4回 幼児期の成長・発達と看護① 幼児期の特徴と発達課題、形態的成長発達・機能的発達・心理社会的発達	中下 富子
	第5回 幼児期の成長・発達と看護② 遊びについて、幼児の発育・発達評価、家族関係、栄養と睡眠、健康問題と対策	中下 富子
	第6回 学童期の成長・発達と看護 学童期の特徴と発達課題、形態的成長発達・機能的発達・心理社会的発達 学習について（特別支援学校含む）、学童期のセルフケアの発達、健康問題と対策	中下 富子
	第7回 思春期の成長・発達と看護 思春期の特徴と発達課題、形態的成長発達・機能的発達・心理社会的発達、セルフ ケアの自立と課題 家族関係、健康問題と対策	中下 富子
	第8回 虐待児と家族への看護 虐待が子どもに与える影響、虐待のサイン、虐待児と家族への看護	中下 富子
科目の目的	子どもの成長発達過程の特徴を生涯発達の視点で総合的に理解し、それらを育む家族や地域社会・環境を含めて子どもの健やかな成長・発達を援助する小児看護について学習する。 ディプロマポリシーとの関連【対象の理解】【看護の実践】	
到達目標	1. 小児看護の理念、子どもの権利と擁護する小児看護の考え方を説明することができる。 2. 子どもの成長・発達の特徴を発達段階別に理解し、それぞれの特徴を説明することができる。 3. 子どもを育む親・家族の役割を学び、支援のポイントを説明することができる。 4. 子どもを取り巻く環境の特性と健康に及ぼす影響について学び、必要な支援について説明することができる。 5. 子どもの健やかな成長・発達を支援する看護職の役割を説明することができる。	
関連科目	小児看護学（小児看護学方法論、小児看護過程・技術論、小児看護学演習、小児看護学特論、小児看護学実習）、母性看護学各科目、基礎看護学各科目、精神看護学各科目、公衆衛生看護学各科目、共通基礎科目群、教養科目群（心理学、生命倫理、教育学、社会学、環境学ほか）、専門基礎科目群（解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、発達心理学、病理学、免疫・感染症学、薬理学、公衆衛生学、保健統計、栄養学(含む食品学)、臨床病態学Ⅳ)	
成績評価方法・基準	課題レポート（2課題）（各10%）、定期テスト（70%）、小テスト（10%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義に臨む前に、教科書・配布資料を精読して下さい。1コマ当たり1時間の準備学習を要する。 講義ノート（資料含む）は、小児看護学方法論、小児看護過程・技術論、小児看護学演習、小児看護学実習で活用できるよう工夫して作成して下さい。	
教科書	1. ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 中野綾美他著（メディカ出版）	
参考書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 奈良間美保他著（医学書院）。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
履修条件・履修上の注意	日常生活において周囲の子どもに関心を持ち、子どもの関連グッズを含めて観察を深めるよう心掛けましょう。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子	高野 直美		

授業形態	講義15回	担当者
授業計画	<p>第1回 科目ガイダンス 健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護 子どもの病気の理解、子どものプレパレーション、健康障害に伴う子どものストレス、子どものストレス対処への支援、子どもの健康障害に伴う家族のストレス、家族のストレス対処への支援</p> <p>第2回 急性期にある子どもと家族への看護① 主要症状（発熱・脱水・けいれん）のアセスメントと看護</p> <p>第3回 急性期にある子どもと家族への看護② 主要症状（呼吸困難・嘔吐・下痢）のアセスメントと看護</p> <p>第4回 急性期にある子どもと家族への看護③ 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護、急性期にある子どもの家族への援助</p> <p>第5回 手術を受ける子どもと家族への看護① 手術をうける子どもの特徴、手術の時期と種類、手術を受ける子どもと家族の反応、手術をうける子</p> <p>第6回 手術を受ける子どもと家族への看護② 事例にみる手術前後の子どもと家族への看護（先天性疾患・骨折等）</p> <p>第7回 外来における子どもと家族への看護、成人への移行期にある子どもと家族への看護 外来看護の果たす役割、小児外来の環境調整、外来における子どもと家族への援助、移行支援</p> <p>第8回 先天的な健康問題をもつ子どもと家族への看護① 先天的な健康問題を持つ子どもと家族、先天的な健康問題をもつ子どものセルフケア、障がいの捉え方、障がいのある子どもと家族の特徴、障がいのある子どもと家族の看護</p> <p>第9回 先天的な健康問題をもつ子どもと家族への看護② 先天的な健康問題のある子どもをもつ家族（ゲストスピーカー）の体験談</p> <p>第10回 重度の心身障害をもつ子どもと家族への看護 重症心身障害児の看護、重症心身障害児の概念、障害をもつ子どもの成長・発達（ゲストスピーカー） 実習施設の看護師（ゲストスピーカー）から、施設の機能や役割、看護の実際について聴講する</p> <p>第11回 災害を受けた子どもと家族への看護 災害を受けた子どもへの心身の影響、災害時の子どもと家族への看護、看護する者への支援</p> <p>第12回 検査や処置を受ける子どもと家族への看護 子どもへの説明と同意、子どもの安全・安楽の援助、検査や処置を受ける子どもと家族への看護</p> <p>第13回 慢性期にある子どもと家族への看護① 慢性期の特徴、慢性期にある子どもと家族、慢性期にある子どもと家族を支援する看護</p> <p>第14回 慢性期にある子どもと家族への看護② 事例にみる慢性期にある子どもと家族への看護（腎疾患、糖尿病等）</p> <p>第15回 終末期にある子どもと家族への看護 子どもの死の概念発達、終末期にある子どもと家族の心理、身体的特徴、緩和ケア</p>	<p>中下富子</p> <p>高野直美</p> <p>高野直美</p> <p>高野直美</p> <p>高野直美</p> <p>高野直美</p> <p>高野直美</p> <p>中下富子</p> <p>中下富子</p> <p>中下富子</p> <p>中下富子</p> <p>中下富子</p> <p>中下富子</p> <p>中下富子</p> <p>高野直美</p> <p>高野直美</p> <p>高野直美</p>
科目の目的	<p>成長発達過程にある子どもにおこる代表的な健康障害やそれに付随した環境の変化によって及ぼされる子どもや家族への影響を理解し、子どもの健康回復の促進及び成長発達の阻害を最小限にする看護方法を修得する。</p> <p>ディプロマポリシーとの関連【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】</p>	
到達目標	<p>1. 子どもの健康障害や治療環境が子どもや家族に与える影響について説明できる。</p> <p>2. 健康障害をもつ子どもの健康回復に向けた子どもと家族への基礎的看護方法について説明できる。</p> <p>3. 健康障害をもつ子どもの治療環境によって及ぼされる成長発達への阻害を最小限にする看護方法について説明できる。</p>	

関連科目	小児看護学（小児看護学総論、小児看護総論、小児看護演習、小児看護学特論、小児看護学実習）、母性看護学各科目、基礎看護学各科目、精神看護学各科目、公衆衛生看護学各科目、統合分野各科目、教養科目群（心理学、生命倫理、教育学、家族学、環境学）、専門基礎臨床科目群（解剖学、生理学、発達心理学、臨床病態学Ⅲ、免疫・感染症学、薬理学）、専門基礎地域科目群（公衆衛生学、保健統計、栄養学（含む食品学））
成績評価方法・基準	定期試験 50% ミニテスト（15回分）40% 期末レポート10%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義に臨む前に、講義前日に配布する資料を精読して講義日に持参する。 小児看護学総論、小児看護総論を復習する。 1コマにつき、1時間程度の準備時間を求めます。
教科書	1. ナーシング／グラフィカ小児看護学① 小児の発達と看護 中野綾美他著（メデイカ出版） 2. ナーシング／グラフィカ小児看護学③ 小児の疾患と看護 中村友彦他著（メデイカ出版） 3. 写真でわかる小児看護技術アドバンス 山元恵子編集 インターメディカ
参考書	1. 「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論」奈良間美保他著（医学書院）2017. 2. 「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論」奈良間美保他著（医学書院）2017.
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ディスカッション
ナンバリング	NSo-202

講義科目名称： 小児看護過程・技術論

授業コード： 4N092

英文科目名称： Nursing Process & Technical Theory of Pediatric Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高野 直美	中下 富子	中村由美子	
授業形態	講義（10回）、演習（5回）		担当者
授業計画	<p>第1回 本科目のガイダンス 講義 1. 小児看護における看護過程展開 アセスメントの枠組み ゴードンの11の機能的健康パターン 2. 小児看護におけるコミュニケーション技術</p> <p>第2回 小児看護過程① 講義 子どもの成長発達段階を考慮し、子どもにとって大きな存在である家族を含めた看護過程について</p> <p>第3回 小児看護過程② 講義 乳幼児、重症児の特徴及び乳幼児、重症児の看護計画立案時の留意点等について</p> <p>第4回 小児看護過程③ 講義 1. 乳幼児、重症児の特徴及び子どもの成長発達に影響を及ぼす入院・治療環境について 2. 内科疾患をもつ子どもと家族の看護過程の考え方と展開方法 3. 外科疾患をもつ子どもと家族の看護過程の考え方と展開方法</p> <p>第5回 小児看護過程④ 講義 内科疾患A事例を用いた看護過程の考え方と展開方法について</p> <p>第6回 小児看護過程⑤ 講義 内科疾患A事例の初期アセスメント、看護過程の明確化から看護計画の立案、看護介入のポイント、関連図</p> <p>第7回 小児看護過程⑥ 演習 内科疾患A事例の看護過程の展開 個人作業</p> <p>第8回 小児看護過程⑦ 演習 内科疾患A事例の看護過程の展開 個人作業</p> <p>第9回 小児看護過程⑧ 演習 内科疾患A事例の看護過程の展開 グループワーク</p> <p>第10回 小児看護過程⑨ 演習 内科疾患A事例の看護過程の展開 グループワーク</p> <p>第11回 小児看護過程⑩ 演習 内科疾患A事例の看護過程の展開 グループ発表</p> <p>第12回 小児看護技術① 講義 ハイリスク新生児の看護</p> <p>第13回 小児看護技術② 講義 重症心身障害児の看護</p> <p>第14回 小児看護技術③ 講義 子どもの基本的なフィジカルアセスメント</p> <p>第15回 小児看護技術④ 講義 子どもの基本的なフィジカルアセスメント</p>		<p>高野直美</p> <p>中村由美子</p> <p>高野直美</p> <p>高野直美</p> <p>高野直美・中下富子</p> <p>高野直美・中下富子</p> <p>高野直美・中下富子</p> <p>高野直美・中下富子</p> <p>高野直美・中下富子</p> <p>高野直美・中下富子</p> <p>中下富子</p> <p>高野直美</p> <p>高野直美</p>
科目の目的	<p>疾患や障がいをもつ子どもの健康問題を病態生理・症状・検査・治療から理解し、成長発達を考慮した看護過程の展開方法と子どもの権利を擁護した安全・安楽な小児看護技術を習得する。内科疾患及び外科疾患をもつ事例をゴードンの11の機能的健康パターンを用いて、子どもと家族の看護上の問題を明確にし、問題解決に向けた看護過程を展開する。また、小児看護における主な看護援助の基本的な知識や技術を習得する。 【対象の理解】 【看護の実践】</p>		
到達目標	<p>1. 疾患や障がいをもつ子どもと家族の看護を説明できる。 2. 内科疾患及び外科疾患をもつ子どもの事例をゴードンの11の機能的健康パターンを用いて看護過程の展開ができる。 3. 小児看護技術の方法と留意点を説明することができる。</p>		
関連科目	看護過程論入門、小児看護学総論、臨床病態学Ⅳ、解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、薬理学、栄養学、発達心理学、小児看護方法論、精神看護学概論		
成績評価方法・基準	課題レポート（看護過程）50% 定期試験50%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1. 小児看護総論、小児看護方法論、臨床病態学Ⅳの復習 *各講義予習復習として1時間を目安とする。		

教科書	1. 「ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護」中野綾美（メディカ出版） 2. 「新版 写真で分かる 小児看護技術アドバンス」山本恵子監修（インターメディカ） 3. 「発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程 第2版」荃津智子（医歯薬出版）
参考書	1. 「発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図」浅野みどり他（医学書院）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	小児看護では、子どもと家族を包括的にとらえ看護実践を行います。「発達」「健康」「生活」といった視点をもち学習していきましょう。
アクティブ・ラーニングの実施	小児看護における代表的な子どもの内科事例及び外科事例を用いて看護過程を展開することで、アセスメント能力や問題解決能力を習得し看護実践能力を獲得する。さらに、グループ編成することによって、学生同士のディスカッション、共同作業を通して主体的かつ積極的な学習活動を促し学習を深め、看護に必要なコミュニケーション能力、リーダーシップ能力、協力性といった幅広い能力を身につける。
ナンバリング	NSo-301

講義科目名称： 小児看護学演習

授業コード： 4N093

英文科目名称： Practice in Child Health Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子	高野 直美		

授業形態	演習	担当者
授業計画	<p>第1回 本科目のガイダンス 講義 授業の概要 1)小児看護で留意すべき子どもの権利 2)小児の安全と起こりやすい事故予防</p> <p>第2回 小児看護過程① 演習 小児内科疾患A事例の看護展開場面におけるグループ別ロールプレイによる発表準備</p> <p>第3回 小児看護過程② 演習 小児内科疾患A事例の看護展開場面におけるグループ別ロールプレイによる発表準備</p> <p>第4回 小児看護過程③ 演習 小児内科疾患A事例の看護展開場面におけるグループ別ロールプレイによる発表</p> <p>第5回 小児看護過程④ 演習 小児内科疾患A事例の看護展開場面におけるグループ別ロールプレイによる発表</p> <p>第6回 小児看護過程⑤ 演習 小児外科疾患B事例の初期アセスメント、看護問題の明確化から看護計画の立案</p> <p>第7回 小児看護過程⑥ 演習 小児外科疾患B事例の初期アセスメント、看護問題の明確化から看護計画の立案</p> <p>第8回 小児看護技術① 演習 小児外科疾患B事例の看護過程フィードバック 小児看護技術演習 バイタルサイン測定（体温・心音・肺音・脈拍・血圧）、</p> <p>第9回 小児看護技術② 演習 小児看護技術演習 バイタルサイン測定（体温・心音・肺音・脈拍・血圧）</p> <p>第10回 小児看護技術③ 演習 小児看護技術演習 身体測定（身長・体重・頭囲・腹囲）、サークルベッドの取り扱い、車椅子の移乗</p> <p>第11回 小児看護技術④ 演習 小児看護技術演習 身体測定（身長・体重・頭囲・腹囲）、サークルベッドの取り扱い、車椅子の移乗</p> <p>第12回 小児看護技術⑤ 演習 小児看護技術演習 検査処置時の抑制、点滴シーネの固定・観察ポイント、陰部洗浄・オムツ交換</p> <p>第13回 小児看護技術⑥ 演習 小児看護技術演習 検査処置時の抑制、点滴シーネの固定・観察ポイント、陰部洗浄・オムツ交換</p> <p>第14回 小児看護技術⑦ 演習 小児疾患事例の基本的看護技術</p> <p>第15回 小児看護技術⑧ 演習 小児疾患事例の基本的看護技術</p>	<p>中下富子</p> <p>高野直美、 中下富子</p> <p>高野直美、 中下富子</p> <p>高野直美、 中下富子</p> <p>高野直美、 中下富子</p> <p>中下富子、 高野直美</p> <p>中下富子、 高野直美、 中下富子、 高野直美、</p> <p>中下富子、 高野直美、</p> <p>中下富子、 高野直美、</p> <p>中下富子、 高野直美、</p> <p>中下富子、 高野直美、</p> <p>中下富子、 高野直美、</p> <p>中下富子、 高野直美、</p>
科目の目的	<p>子どもの権利を擁護し、子どもに安全・安楽なケアを提供するために、科学的根拠に基づいた小児看護における看護過程の展開方法と基礎的な小児看護技術を習得する。</p> <p>ディプロマポリシーとの関連【対象の理解】【看護の実践】</p>	
到達目標	<p>1. 疾病や障害のある事例から子どもと家族の健康問題を抽出し、健康回復に向けた看護計画をもとにロールプレイを実践することができる。</p> <p>2. 小児看護技術の方法と留意点について説明することができる。</p> <p>3. 小児看護に必要な基礎的看護技術を習得することができる。</p>	
関連科目	<p>臨床病態学Ⅳ、生化学、解剖生理学、病理学、薬理学、栄養学、小児看護学総論、発達心理学、小児看護学方法論、小児看護学実習、精神看護学総論</p>	
成績評価方法・基準	<p>看護過程課題レポート（小児看護過程）50%、実技演習（小児看護技術）50%、</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>1. 看護過程：基礎看護学の「看護過程」講義の復習・小児看護学総論の復習（特に発達段階）</p> <p>2. 小児看護技術：基礎看護学で習得した技術の復習から小児技術への応用を思考し実践できるよう準備する</p> <p>*各講義予習復習として2時間を目安とする</p>	

教科書	発達段階を考えたアセスメントに基づく小児看護過程第2版 荃津智子編著 医歯薬出版株式会社
参考書	発達段階から見た小児看護過程+病態関連図 浅野みどり他編集 医学書院
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ワーク グループ・ディスカッション ロールプレイ
ナンバリング	NSo-302
実務経験のある教員による授業	
実務経験	中下 富子（看護師）、高野 直美（看護師）
授業の概要	様々な発達段階にある子どもの健康問題の病態生理や治療過程を理解し、子どもとその家族の特徴及び子どもの精神的・身体的・社会的諸問題を理解するために、複数の事例（内科・外科・重症心身障害児など疾病をもつ乳児期から思春期までの患児）を用いて、情報の整理・アセスメント・看護問題の抽出・看護援助計画の一連の看護展開方法を習得する。また、看護実践において必要不可欠となる小児看護特有の基礎的技術（バイタルサイン測定、検査時の抑制方法、プレパレーションなど）を新生児・乳幼児モデルを使用して習得する。

講義科目名称： 小児看護学特論

授業コード： 4N094

英文科目名称： Advanced Pediatric Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態	講義1回、演習7回		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション、各自テーマの選定 講義 データや資料、テキスト等を用いて小児にかかわる様々な課題を幅広い視点から検討し、自身の興味あるテーマを選定する。 例えば、 ・子どもの健康に関する課題 ・日本における子どもを取り巻く社会、保健、医療の動向 ・国際連合で採択された「子どもの権利条約」の特徴 ・子どもに関する法律 ・小児医療の場における保健、福祉、教育との連携とあり方 ・小児医療の場で子どもの権利を守るための必要な考え方 等	中下 富子
	第2回	テーマ（課題）に関する情報収集① 演習 個人または同様の健康に関する課題の場合、グループ編成も可能とする。 テーマを決めて情報収集、プレゼンテーションの準備を行う。 主なテーマ：「LGBTQ+の現状」、「ヤングケアラーを支えるために私たちができること」、「子どもたちの薬物乱用から守るために」、「児童虐待が生じる背景とその防止」、「子どもの肥満と痩せ」、「世界三大感染症」、「子どもの食物アレルギー」、「子どもの性教育」など	中下 富子
	第3回	テーマに関する情報収集② 演習 個人またはグループでテーマについて情報収集と意見交換をして理解を深め、プレゼンテーションの準備をする。	中下 富子
	第4回	発表と協議①学生（個人またはグループ）のテーマ発表をもとに、全体で討議し各学生がテーマに関して理解を深める。 演習 健康にかかわるテーマについて学生によるプレゼンテーションと全体協議 <テーマA・テーマB> 学生が個人またはグループで第3回から第8回まで順番にテーマ発表を行う。 時間設定は、準備・発表20分、協議15分、まとめレポート10分とする。	中下 富子
	第5回	発表と協議②学生のテーマ発表をもとに、全体で討議し各学生がテーマに関して理解を深める。 演習 健康にかかわるテーマについて学生によるプレゼンテーションと全体協議 <テーマC・テーマD>	中下 富子
	第6回	発表と協議③学生のテーマ発表をもとに、全体で討議し各学生がテーマに関して理解を深める。 演習 健康にかかわるテーマについて学生によるプレゼンテーションと全体協議 <テーマE・テーマF>	中下 富子
	第7回	発表と協議④学生のテーマ発表をもとに、全体で討議し各学生がテーマに関して理解を深める。 演習 健康にかかわるテーマについて学生によるプレゼンテーションと全体協議 <テーマG・テーマH>	中下 富子
	第8回	発表と協議⑤学生のテーマ発表をもとに、全体で討議し各学生がテーマに関して理解を深める。 演習 健康にかかわるテーマについて学生によるプレゼンテーションと全体協議 <テーマJ・テーマK>	中下 富子
科目の目的	子どもを取り巻く社会、保健、医療、福祉、教育に関する法律、政策、制度の現状への理解を深め、子どもが置かれている状況や問題を考察し、今後の小児看護について展望することを目的とする。 【専門性の探究】		
到達目標	1. 子どもの健康にかかわる課題について社会、保健、医療等の動向や法律、政策、制度等、様々な視点から説明することができる。 2. 子どもの健康にかかわる課題について説明することができる。 3. 子どもの健康にかかわる課題の解決に向けて看護職に求められることを説明することができる。		
関連科目	小児看護学（小児看護学総論、小児看護学方法論、小児看護過程・技術論、小児看護学演習、小児看護学実習）、母性看護学各科目、基礎看護学各科目、精神看護学各科目、公衆衛生看護学各科目、共通基礎科目群、教養科目群（心理学、生命倫理、教育学、社会学、環境学ほか）、専門基礎科目群（解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、発達心理学、臨床病態学Ⅳ、免疫・感染症学、薬理学、公衆衛生学、保健統計、栄養学（含む食品学）ほか）		

成績評価方法・基準	テーマについてプレゼンテーション（20%）、発表・協議した内容に関するミニレポート（50%）、追及したテーマについてのレポート（30%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	自身の興味ある健康にかかわる課題に関するプレゼンテーションの準備を行う。プレゼンテーションのための情報収集の時間を授業時間内に90分以上設定する。小児看護学総論、小児看護学方法論、小児看護過程・技術論、小児看護学実習を復習する。授業毎に1時間の準備学習を求めます。
教科書	使用しない
参考書	使用しない
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	プレゼンテーション ディスカッション
ナンバリング	

講義科目名称： 母性看護学総論

授業コード： 4N095

英文科目名称： Introduction to Maternity Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中島 久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 母性看護の概念 性と性行動1 ・母性看護学総論オリエンテーション(学習の範囲、学習の視点、基本的知識) ・母性(女性)とは、	中島久美子
	第2回 母性看護の概念 性と性行動2 ・リプロダクティブヘルス/ライツ、ヘルスプロモーション、プレコンセプションケア セクシュアリティの概念	中島久美子
	第3回 母性看護の機能と役割 母子保健の現状と動向 ・母性の健康と社会 母子保健統計からみた母性の健康	中島久美子
	第4回 母性看護の変遷と諸施策 ・母性看護の歴史と役割、母性看護の変遷、女性をめぐる諸施策・母子保健施策(法律)	中島久美子
	第5回 性と生殖に関する健康問題と援助1:【思春期女性への支援】 ・思春期のセクシュアリティ発達支援(二次性徴の早発・遅発ケースへの対応と支援、) ・子宮頸がん予防、DV予防と支援、性感染症(STD)予防(予防に関する啓発)人工妊娠中絶の予防と支援 ・性感染症STI(性器ヘルペス 尖圭コンジローマ AIDS クラミジア感染他)その他の感染症	中島久美子
	第6回 性と生殖に関する健康問題と援助2:【成熟期・更年期・老年期女性への支援】 ・不定愁訴・閉経への指導、乳がん・子宮頸がん検診、DV予防と支援	中島久美子
	第7回 母性看護の課題と展望1 ・女性のライフサイクルの変化 高齢化・少子化 母性看護の倫理的課題 ・多様化する女性のライフスタイル 高学歴化及び晩婚化・労働力率 ・在日外国人の母子保健など	中島久美子
	第8回 母性看護の課題と展望2 ・現代社会における母性の健康と課題(子ども虐待の背景、親子関係、子育て支援)	中島久美子
科目の目的	国内外の母性看護の歴史の変遷と母性看護の現状について学ぶ。 ライフサイクルを通して母性看護の諸施策と役割を学ぶ。性と生殖に関する理解をする。 【対象の理解/看護の実践】	
到達目標	母性看護の対象となる人々の置かれた状況が説明できる。 母性看護の基盤となる知識が説明できる。 女性の性の周期性の変化について説明ができる。	
関連科目	教養科目群：生命倫理 家族学 専門基礎科目群：解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 生理学 栄養学 免疫・感染症学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習内容：母性関連の解剖生理について復習して講義に臨むこと。 ライフサイクル各期の健康問題を身近な人を例に考え、自分の意見として述べられること。 準備学習時間の目安：1コマ当たり45分	
教科書	教科書：「母性看護学Ⅰ、母性看護学概論」森恵美他(医学書院)	
参考書	参考書：必要時に授業中に案内する	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	助産師課程資格取得のための要件科目	
アクティブ・ラーニングの実施	ディスカッション	
ナンバリング	NSp=201	

講義科目名称： 母性看護方法論

授業コード： 4N096

英文科目名称： Maternity Nursing Methods

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
橋爪 由紀子			

授業形態	講義 (15コマ)	担当者
授業計画	第1回 妊娠の始まりと胎児の成長、妊娠経過 ・妊娠の成立、胎児の発育 ・妊娠の診断 ・妊娠の経過 (妊婦のからだと心の変化)	橋爪由紀子
	第2回 妊婦と胎児のアセスメントと看護 ・在胎週数に応じた胎児の発育と健康状態の評価 ・妊婦健康診査の目的と内容 ・妊娠各期における妊婦の健康状態のアセスメント ・妊婦の看護 (日常生活における健康管理・保健指導)	橋爪由紀子
	第3回 妊婦の心理社会的側面と看護 ・妊婦の心理社会的側面のアセスメント ・パースプラン作成とそれに対する支援 ・出産・育児の準備	橋爪由紀子
	第4回 妊娠期の健康問題に対する看護 ・ハイリスク妊娠に対する看護 ・切迫流・早産、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、前置胎盤・常位胎盤早期剥離などの疾患を持つ妊婦に対する看護	橋爪由紀子
	第5回 分娩の生理と経過 ・正常分娩の生理と経過	橋爪由紀子
	第6回 産婦と胎児のアセスメント ・産婦と胎児の健康状態のアセスメント ・胎児心拍モニタリング図の判読方法	橋爪由紀子
	第7回 ・産婦の看護 ・産婦の看護 (分娩経過に伴う看護、産痛緩和、無痛分娩の看護、産婦とその家族への支援) ・産婦の心理社会的側面のアセスメントと看護	橋爪由紀子
	第8回 異常分娩時の看護 ・帝王切開術を受ける産婦の看護 ・急速遂娩を受ける産婦の看護 ・分娩時異常出血のある産婦の看護	橋爪由紀子
	第9回 産褥期の身体的変化と適応、褥婦のアセスメント ・既出事項 (妊娠期・分娩期) のまとめ (中間試験15分) ・生殖器の変化と適応 ・産褥期に起こる全身の変化 ・褥婦の健康状態のアセスメント	橋爪由紀子
	第10回 褥婦の心理社会的側面と看護 ・中間試験の解説 ・褥婦の心理社会的側面のアセスメント ・出産体験の振り返り ・児との関係確立への看護	橋爪由紀子
	第11回 褥婦と家族の看護 ・産褥期にある女性とその家族への日常生活の支援 ・育児にかかわる看護 ・家族計画 ・健康問題のある褥婦の看護	橋爪由紀子
	第12回 新生児の生理 ・胎児から新生児への生理的变化 ・新生児の身体的な特徴	橋爪由紀子
	第13回 新生児の健康状態のアセスメント ・新生児の診断、発育の評価 ・新生児の健康状態のアセスメント	橋爪由紀子

	<p>第14回 新生児の看護  ・出生直後の看護、出生後から退院時までの看護  ・健康障害のある新生児の看護</p> <p>第15回 生殖医療を受ける女性に対する看護  ・生殖医療を受ける女性の心理社会的背景  ・不妊治療を受ける女性の心理社会的側面のアセスメントと看護  ・生殖医療をめぐる倫理</p>	<p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p>
科目の目的	妊娠・分娩・産褥期、及び新生児に起こる身体的・心理的・社会的変化を理解し、母性看護の特徴と看護の役割について考える。母性看護の対象への看護を展開するための基礎的知識・技術を学ぶ。【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正常な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦及び新生児の経過とその看護について説明できる。</li> <li>・ハイリスク状況にある妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護が説明できる。</li> <li>・生殖医療を受ける女性の看護について説明できる。</li> <li>・母子とその家族への支援について説明できる。</li> </ul>	
関連科目	基礎科目群：生命倫理 環境学 生物学 生活文化と医療 専門基礎科目群：生理学Ⅰ・Ⅱ 生化学 臨床病態学Ⅳ 発達心理学 免疫・感染症学 社会福祉・社会保障制度論 専門科目群：母性看護学演習および、この科目の基盤となる専門科目の全て（主に小児看護学・公衆衛生看護学など）	
成績評価方法・基準	中間試験（20％） 定期試験（80％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母性看護に関する既習の講義内容の復習が重要となる。</li> <li>・特に周産期医療とその看護について、課題を持って講義に臨んでほしい。</li> </ul> 【準備学習に必要な学習時間の目安】1コマにつき1時間の授業時間外における学習（予習・復習など自己学習）が必要となる。	
教科書	「系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学2」森恵美（医学書院）	
参考書	「母性の心理社会的側面と看護ケア」新道幸恵/和田サヨ子（医学書院） 「病気がみえる⑩産科 第4版」（メディックメディア） 「ウェルネスからみた母性看護過程 第4版」佐世正勝/石村由利子（医学書院）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより、資料を事前配布（配布期間：講義4日前～講義2日後）する。各自印刷して授業に持参すること。	
アクティブ・ラーニングの実施	なし	
ナンバリング	NSp-202	

講義科目名称： 母子の健康支援

授業コード： 4N097

英文科目名称： Health Supports for Mother and Child

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
早川 有子	山本伊佐夫		

授業形態	講義10回 演習 5回	担当者
授業計画	<p>第1回 母子保健の現況 講義 1 諸統計と現況(国内外) レポート提出</p> <p>第2-4回 母子の健康に影響を与える因子(討議・発表・レポートまとめ) 演習1-3 ・精神的要因：家族、サポートシステムなど ・社会的要因：職場環境 友人関係 親族関係、核家族など ・環境的要因：自然環境 人為的環境 インターネット環境など ・身体的要因：高齢・若年妊娠 栄養 喫煙 飲酒など ・生活環境要因：夫婦関係 家族関係 社会的支援 子育て支援など 2回母子保健に影響を与える因子について関心があるテーマで各自でまとめる 3回2回に決めた各自のテーマを継続し発表に向けて準備する。 4回各自がまとめた中から数名の代表の学生が発表し全員で共有する</p> <p>第5回 母子感染と看護 講義 2 妊娠・分娩・産褥期及び新生児期に問題となる感染症</p> <p>第6-10回 母子の健康問題とその看護 講義3-7 妊・産・褥婦によくみられる健康問題(便秘 痔核 貧血 体重管理 乳房トラブル)</p> <p>第11-12回 母子の健康問題とその看護 演習4-5 保健指導の実際(各自テーマに沿って指導案を作成・共有) レポート提出</p> <p>第13回 母親への育児支援 講義 8 乳幼児虐待予防</p> <p>第14回 周産期医療システム 講義 9 母体搬送 新生児搬送 チーム医療 周産期医療ネットワーク</p> <p>第15回 生殖に関わる問題と看護 講義10 性暴力 DV 性別不合 ゲスト：石塚</p>	<p>早川</p> <p>早川</p> <p>早川</p> <p>早川</p> <p>山本</p> <p>早川</p> <p>早川</p>
科目の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護の対象を身体的・心理的・社会的側面からとらえることができる。</li> <li>・対象の健康問題を適切にとらえ、科学的根拠(知識・技術)に基づいた看護が実践できる。</li> </ul> <b>【対象の理解】 【看護の実践】</b>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健に関する国内外の動向について理解する。</li> <li>・母子の健康に影響を与える因子について説明できる。</li> <li>・母子の健康問題とその看護について、科学的根拠に基づいて分析・計画・実践できる。</li> <li>・母子感染とその看護の必要性を理解する。</li> <li>・母親への育児支援について、特に乳幼児虐待の視点から理解する。</li> <li>・性と生殖に関わる問題について、特に性別不合について説明できる。</li> <li>・周産期医療システムについての特徴を理解する。</li> </ul>	
関連科目	教養科目群：生命倫理 環境学 専門基礎科目群：免疫 感染症学 地域保健行政 栄養学 発達心理学 基礎科目群：母性看護学総論 小児看護学総論 地域保健行政論	
成績評価方法・基準	レポート：国内外の諸統計と現況(5%) 保健指導の実際分析から資料作成まで(10%) レポート評価：A(内容が具体的で大変よい+自分の意見) B(内容が具体的でよい) C(内容が具体的でないもう一步) 定期試験(85%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容：母性看護学総論を復習し講義に臨むこと 授業計画にあげた内容について、課題を持って授業に臨むこと。 準備学習時間の目安：準備学習に必要な学習の目安は1コマあたり1時間である。	
教科書	教科書：妊・産・褥婦のよくあるトラブル 早川有子他(医学書院) 在留外国人&日本人の母乳育児支援 早川有子(国際医療研究所)	
参考書	産婦人科診療ガイドライン 産科編	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前に配布(1週間前位)する。その時は各自印刷し講義に出席すること。	
アクティブ・ラー	方法：テーマを提示しthink-pair-share 各自気になるテーマの調査学習・プレゼン・討議	

ニングの実施	
ナンバリング	NSp-301

講義科目名称： 母性看護学演習

授業コード： 4N098

英文科目名称： Practice in Maternal Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
橋爪 由紀子	廣瀬 文乃	吉野 めぐみ	

授業形態	講義 (4コマ) 演習 (11コマ)	担当者
授業計画	第1回 【看護過程の展開1】 母性看護におけるウェルネス看護診断の考え方 (講義) ・母性看護におけるウェルネス看護診断の考え方 ・事例紹介	橋爪由紀子
	第2回 【看護過程の展開2】 情報収集とアセスメント (演習) ・事例による看護過程の展開① 情報収集、事例の妊娠期・分娩期のアセスメントと健康課題の抽出	橋爪由紀子
	第3回 【看護技術演習1】 妊娠期・分娩期にある対象のフィジカルアセスメントと看護 (講義) ・妊婦と胎児の健康状態をアセスメントするための観察項目とその方法 ・分娩経過のアセスメントと産婦及び家族に対する支援	橋爪由紀子
	第4回 【看護技術演習2】 妊婦への看護援助 (演習) ・妊娠期のフィジカルアセスメント (レオポルド触診、腹囲・子宮底測定)	橋爪由紀子 廣瀬文乃 吉野めぐみ
	第5回 【看護技術演習3】 産婦への看護技術 (演習) ・産痛緩和へのケア	橋爪由紀子 廣瀬文乃 吉野めぐみ
	第6回 母乳分泌の生理学的メカニズムと母乳育児支援 (講義) ・乳房の解剖生理及び乳汁分泌のメカニズム ・母乳育児の観察とアセスメント ・母乳育児支援	橋爪由紀子
	第7回 【看護過程の展開3】 ウェルネス看護診断による看護過程の展開 (演習) ・事例による看護過程の展開② 事例の産褥期・新生児期のアセスメントと健康課題の抽出	橋爪由紀子
	第8回 【看護過程の展開4】 ウェルネス看護診断による看護過程の展開 (演習) ・事例による看護過程の展開③ 関連図の作成	橋爪由紀子
	第9回 【看護過程の展開5】 ウェルネス看護診断による看護過程の展開 (演習) ・事例による看護過程の展開④ 看護目標と看護計画立案	橋爪由紀子
	第10回 【看護過程の展開6】 ウェルネス看護診断による看護過程の展開 (演習) ・事例による看護過程の展開⑤ グループにおける事例に基づいた関連図の作成	橋爪由紀子
	第11回 【看護過程の展開7】 ウェルネス看護診断による看護過程の展開 (演習) ・事例による看護過程の展開⑥ グループにおける事例に基づいたケアプランの作成	橋爪由紀子
	第12回 【看護過程の展開8】 ウェルネス看護診断による看護過程の展開 (演習) ・事例による看護過程の展開⑦ グループで作成した関連図、ケアプランの発表	橋爪由紀子 廣瀬文乃 吉野めぐみ
	第13回 【看護技術演習4】 産褥期・新生児期にある対象のフィジカルアセスメント (講義) ・褥婦と新生児の健康状態をアセスメントするための観察項目とその方法	橋爪由紀子
	第14回 【看護技術演習5】 褥婦への看護技術 (演習) ・褥婦のフィジカルアセスメント (子宮復古状態、全身の状態の観察)	橋爪由紀子 廣瀬文乃 吉野めぐみ
	第15回 【看護技術演習6】 新生児への看護技術 (演習) ・新生児のフィジカルアセスメント (バイタルサイン測定、身体計測) ・沐浴	橋爪由紀子 廣瀬文乃 吉野めぐみ
科目の目的	妊娠・分娩・産褥期の女性、及び新生児に起こる身体的・心理的・社会的変化を理解し、看護を展開するための思考過程及び援助技術を学ぶ。 【対象の理解】 【看護の実践】	

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正常な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦及び新生児の事例を用いて、ウェルネスの看護診断を基に、情報の整理・アセスメント・看護診断・計画立案ができる。</li> <li>・妊産褥婦及び新生児に対する基礎的技術を正しい方法で実施できる。</li> <li>・対象の安全・安楽に配慮した看護援助を実施することができる。</li> <li>・事前課題学習と個人学習の成果をグループメンバーに説明し、議論を通じた学びをチームメンバーと共有し、チームメンバーへフィードバックして、母性看護における看護展開を表現できる。</li> </ul>
関連科目	教養科目群：生命倫理 環境学 生物学 生活文化と医療 専門基礎科目群：生理学Ⅰ・Ⅱ 生化学 発達心理学 免疫・感染症学 社会福祉・社会保障制度論 専門科目群：母性看護方法論、この科目の基盤となる専門科目の全て（主に母性看護学・小児看護学・公衆衛生看護学など）
成績評価方法・基準	下記の1～2の合計（100％）で評価する。 1. レポート評価（看護過程の記録・グループワークの記録・演習ノート）（70％） 2. 定期試験（30％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母性看護に関する既習の講義内容の復習が重要となる。</li> <li>・特に周産期医療とその看護について、課題を持って講義に臨んでほしい。</li> </ul> <b>【準備学習に必要な学習時間の目安】</b> 1コマにつき1時間の授業時間外における学習（予習・復習などの自己学習）が必要となる。
教科書	「系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学2」森恵美（医学書院）
参考書	「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程 第4版」太田操（医歯薬出版株式会社） 「根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画」中村幸代（南江堂）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク
ナンバリング	NSp-302
実務経験のある教員による授業	
実務経験	橘爪 由紀子（看護師）、廣瀬 文乃（看護師）、吉野 めぐみ（看護師）
授業の概要	これまでの既習知識に基づき、妊娠期・分娩期・産褥期にある女性と胎児及び新生児の看護に必要な基本技術（フィジカルアセスメントも含む）を習得する。また、事例を通して妊娠期・分娩期・産褥期の女性と胎児及び新生児における看護過程を展開し、必要な看護援助について理解する。

講義科目名称： 母性看護学特論

授業コード： 4N099

英文科目名称： Advanced Maternity Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島 久美子			

授業形態	講義1回・演習7回		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション、各自テーマの選定 【講義】 母子保健に関わる様々な課題を幅広い視点から検討し、自身の興味関心のあるテーマを選定する 例えば ・若年妊産婦・高齢妊産婦・外国人妊産婦・虐待/DV・不妊治療・被災を受けた妊産婦	中島久美子
	第2回	テーマに関する情報収集① 【演習】 テーマに関する情報収集、プレゼンテーション準備を行う	中島久美子
	第3回	テーマに関する情報収集② 【演習】 テーマに関する情報収集、プレゼンテーション準備を行う	中島久美子
	第4回	発表と討議① 学生のテーマ発表をもとに全体討議し各学生がテーマに関して理解を深める 1テーマにつき45分（発表20分、討議15分、まとめレポート10分）	中島久美子
	第5回	発表と討議② 学生のテーマ発表をもとに全体討議し各学生がテーマに関して理解を深める 1テーマにつき45分（発表20分、討議15分、まとめレポート10分）	中島久美子
	第6回	発表と討議③ 学生のテーマ発表をもとに全体討議し各学生がテーマに関して理解を深める 1テーマにつき45分（発表20分、討議15分、まとめレポート10分）	中島久美子
	第7回	発表と討議④ 学生のテーマ発表をもとに全体討議し各学生がテーマに関して理解を深める 1テーマにつき45分（発表20分、討議15分、まとめレポート10分）	中島久美子
	第8回	発表と討議⑤ 学生のテーマ発表をもとに全体討議し各学生がテーマに関して理解を深める 1テーマにつき45分（発表20分、討議15分、まとめレポート10分）	中島久美子
科目の目的	最近の母性看護の動向について学ぶことを通して、発展的視野で母性看護の役割と今後の課題を学ぶ。また、国内外の母子保健に関する最新情報を学習の素材として、母子と家族に関する健康問題を取り上げ、看護が果たす役割について探求する。		
到達目標	1. 母性看護に関する動向や法律、政策、制度の現状について説明できる。 2. 母子と家族を取り巻く健康問題について考察することができる。 3. 母性看護が果たすべき役割について考察することができる。		
関連科目	母性看護学総論、母性看護学方法論、母子と家族の心理社会学		
成績評価方法・基準	授業毎のミニレポート30%、最終レポート20%、プレゼンテーション50%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	90分		
教科書	指定なし		
参考書	看護協会出版会 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア 小林康江		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク、個人課題、プレゼンテーション		
ナンバリング	NSp-401		

講義科目名称： 精神保健

授業コード： 4N100

英文科目名称： Mental Health

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川 薫			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 現代社会における精神保健医療の課題 精神保健の目的、日本及び国外の精神保健医療の現状と課題	西川 薫
	第2回 精神的健康の保持・増進 精神的健康の概念、マズローの欲求階層図、精神保健活動における予防概念	西川 薫
	第3回 精神の構造と働き (1) フロイトの精神力動理論－構造論・局所論・発達論	西川 薫
	第4回 精神の構造と働き (2) フロイトの精神力動理論－適応論 (防衛機制)、対象関係論	西川 薫
	第5回 精神の発達とその過程 マラーの分離個体化理論、エリクソンの漸成的発達理論	西川 薫
	第6回 精神的な危機 アギュララの危機理論、ラザルスらのストレス理論	西川 薫
	第7回 現代社会と精神的な危機 (1) 現代社会の特徴、家庭における危機	西川 薫
	第8回 現代社会と精神的な危機 (2) 学校における危機、職場における危機、トラウマインフォームドケア	西川 薫
科目の目的	精神 (こころ) の健康を維持・増進・回復するために必要な基礎理論及び支援体制の概要について学習し、看護専門職に必要とされる専門知識の基盤とする。精神の健康、精神の発達と機能、ストレス (危機) とその反応、現代社会における精神保健の課題とその対策について理解できることを目指す。ディプロマポリシーである【対象の理解】の修得をめざす。	
到達目標	1. 現代社会における精神保健医療の課題を説明できる。 2. 精神的健康の概念を説明できる。 3. 精神の構造と働きを説明できる。 4. 精神の発達とその過程を説明できる。 5. 精神的な危機の過程を説明できる。	
関連科目	精神看護学概論、精神看護方法論、精神看護学演習、精神看護学実習、精神看護学特論、心理学、発達心理学	
成績評価方法・基準	定期試験 (70%)、各回のリフレクションシート (30%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。(30時間分相当)	
教科書	新体系 看護学全書 精神看護学概論／精神保健 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 精神障害をもつ人の看護 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社	
参考書	末安民生著者代表、別巻 精神保健福祉 第4版、医学書院	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	履修条件は特にないが、不明な点は積極的に質問をしてほしい。 配布資料は、前日までにActive Academyで配布する。配布資料は各自が印刷し持参する。	
アクティブ・ラーニングの実施	リフレクションシートを用いた発見学習、調査学習、Think Pair Share (シンク・ペア・シェア)	
ナンバリング	NSq-101	

講義科目名称： 精神看護学概論

授業コード： 4N101

英文科目名称： Introduction to Psychiatric Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 和也	西川 薫		

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 精神看護の対象者と看護の特徴 精神看護の対象者の特徴、精神看護の概念・目的</p> <p>第2回 精神保健医療福祉の変遷と法律 (1) 日本及び諸外国における精神医療の変遷、対象者の権利擁護</p> <p>第3回 精神保健医療福祉の変遷と法律 (2) 精神保健福祉法の運用、安全管理</p> <p>第4回 精神保健医療福祉における多職種連携 多職種連携と看護の役割、リエゾン精神看護、災害時の精神看護</p> <p>第5回 精神看護を構成する基礎理論 (1) リカバリー、ストレングスモデル、コプロダクション</p> <p>第6回 精神看護を構成する基礎理論 (2) 人間関係の看護論、Bio-Psycho-Socialモデル、オレム-アンダーウッドモデル</p> <p>第7回 精神看護の対象者理解-生物学的領域の理解に必要な基礎知識- (1) 脳の構造と機能、脳の情報伝達の仕組み、精神機能</p> <p>第8回 精神看護の対象者理解-生物学的領域の理解に必要な基礎知識- (2) 精神科薬物療法・薬物有害反応、修正型電気けいれん療法</p>	<p>佐藤 和也</p> <p>西川 薫</p> <p>西川 薫</p> <p>西川 薫</p> <p>佐藤 和也</p> <p>佐藤 和也</p> <p>佐藤 和也</p> <p>佐藤 和也</p>
科目の目的	<p>精神看護学を構成する基礎理論及び精神看護学の発展経過を学習する。精神（こころ）の健康問題が個人と社会にもたらす変化とその意味、精神看護を構成する基礎理論（精神力動論、対人関係理論、セルフケア理論など）、精神医学・精神看護学の歴史的背景と課題について深い理解をめざす。</p> <p>ディプロマポリシー：【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】【国際的な視野】</p>	
到達目標	<p>1. 精神看護の概念と目的を説明できる。</p> <p>2. 精神保健医療福祉の変遷と法律に基づく権利擁護と安全管理を説明できる。</p> <p>3. 精神看護を構成する基礎理論の概要とその関連性を説明できる。</p> <p>4. 精神に障害を抱える対象者の生物学的領域とその治療内容を説明できる。</p>	
関連科目	精神保健、精神看護学方法論、精神看護学演習、精神看護学実習、精神看護学特論、心理学、臨床心理学	
成績評価方法・基準	定期試験 70%（期間外/筆記試験）、各回のリフレクションシート 30%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。 学習時間の目安は1コマあたり4時間。	
教科書	<p>新体系 看護学全書 精神看護学概論／精神保健 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社</p> <p>新体系 看護学全書 精神障害をもつ人の看護 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社</p>	
参考書	<p>「看護判断のための気づきとアセスメント 精神看護」吉川隆博（中央法規）</p> <p>「クライアントとともに創る コプロダクション型精神看護過程-基礎知識・事例&amp;計画シートで実践に活かす」木戸芳史（中央法規）</p>	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	<p>・配布資料は、佐藤が担当する回は、講義開始時に配布します。西川が担当する回は、前日までにActive Academy Advanceで配信するので各自が印刷し持参してください。</p> <p>・講義内容への質問がある場合、各回のリフレクションシートに記載してください。質問への回答は、次回の講義やActive Academy Advanceで回答します。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	リフレクションシートを用いた発見学習、調査学習、Think Pair Share（シンク・ペア・シェア）	
ナンバリング	NSq=201	

講義科目名称： 精神看護方法論

授業コード： 4N102

英文科目名称： Psychiatric Nursing Methods

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川 薫	佐藤 和也		

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 患者-看護師関係のプロセス プロセスレコード、看護場面の再構成法、治療的コミュニケーション</p> <p>第2回 精神看護に活かせる心理社会的療法 (1) 心理教育、社会生活スキルトレーニング (SST)</p> <p>第3回 精神看護に活かせる心理社会的療法 (2) WRAP、精神科作業療法</p> <p>第4回 精神看護に活かせる心理社会的療法 (3) 当事者研究 (浦河べてるの家)、オープンダイアログ</p> <p>第5回 地域で暮らす精神障害者とその家族への看護 精神保健医療福祉に関する社会資源、家族看護、精神科訪問看護</p> <p>第6回 精神障害を抱える人の全人的な対象者理解 (1) 統合失調症を抱える人の理解</p> <p>第7回 精神障害を抱える人の全人的な対象者理解 (2) 統合失調症の発症要因・症状・経過・治療</p> <p>第8回 精神障害を抱える人の全人的な対象者理解 (3) 統合失調症を抱える人への看護過程の展開</p> <p>第9回 精神障害を抱える人の全人的な対象者理解 (4) 気分障害の発症要因・症状・経過・治療</p> <p>第10回 精神障害を抱える人の全人的な対象者理解 (5) 気分障害を抱える人の理解、看護過程の展開</p> <p>第11回 精神障害を抱える人の全人的な対象者理解 (6) パーソナリティ障害の発症要因・症状・経過・治療、対象者理解、看護過程の展開</p> <p>第12回 精神障害を抱える人の全人的な対象者理解 (7) アルコール依存症の発症要因・症状・経過・治療、対象者理解、看護過程の展開</p> <p>第13回 精神障害を抱える人の全人的な対象者理解 (8) 摂食障害の発症要因・症状・経過・治療、対象者理解、看護過程の展開</p> <p>第14回 精神障害を抱える人の全人的な対象者理解 (9) 強迫性障害の発症要因・症状・経過・治療、対象者理解、看護過程の展開</p> <p>第15回 精神障害を抱える人の全人的な対象者理解 (10) 発達障害の発症要因・症状・経過・治療、対象者理解、看護過程の展開</p>	<p>西川 薫</p> <p>佐藤 和也</p> <p>佐藤 和也</p> <p>西川 薫</p> <p>西川 薫</p> <p>佐藤 和也</p> <p>佐藤 和也</p> <p>佐藤 和也</p> <p>西川 薫</p>
科目の目的	<p>精神（こころ）の健康問題と強く関係する精神疾患や危機的状況にある人を理解し、患者-看護師関係の発展方法、精神（こころ）の健康問題を持つ人に対し必要となる看護方法について学習する。精神機能と精神症状の理解、代表的な精神疾患の概要、病態、症状、治療方法を理解し、精神障害に対する心理社会的リハビリテーションの概要、地域における精神看護（精神科訪問看護）の目的・機能・実際の展開、及び、実践例を盛り込みながら理解する。ディプロマポリシーである【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】の修得をめざす。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 信頼関係の構築（患者-看護師関係）に基づいた精神看護を説明できる。</li> <li>2. 代表的な精神障害を抱える人への全人的理解に基づいた精神看護を説明できる。</li> <li>3. 精神障害に対する心理社会的療法を活用した精神看護を説明できる。</li> <li>4. 精神障害を抱えながら地域生活を支える精神看護を説明できる。</li> </ol>	
関連科目	精神保健、精神看護学概論、精神看護学演習、精神看護学実習、精神看護学特論、心理学、臨床心理学	
成績評価方法・基準	定期試験（70%）、リフレクションシート（30%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。（1コマあたり1時間）	
教科書	<p>新体系 看護学全書 精神看護学概論／精神保健 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社</p> <p>新体系 看護学全書 精神障害をもつ人の看護 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社</p>	
参考書	落合滋之監修、精神神経疾患ビジュアルブック、学研メディカル秀潤社	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	履修条件は特にないが、不明な点は積極的に質問してほしい。配布資料は、前日までにActive Academyで配布する。配布資料は各自が印刷し持参する。	

アクティブ・ラーニングの実施	リフレクションシートを用いた発見学習、調査学習、Think Pair Share (シンク・ペア・シェア)
ナンバリング	NSq-202

講義科目名称： 精神看護学演習

授業コード： 4N103

英文科目名称： Practice in Psychiatric Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川 薫	佐藤 和也	花田 政之	

授業形態	講義（7回）・演習（8回）		担当者
授業計画	<p>第1回 精神看護における患者－看護師関係の治療的意味（講義） 患者-看護師関係の諸局面と役割の変遷</p> <p>第2回 精神看護における患者－看護師関係の治療的意味（講義） プロセスレコードと看護場面の再構成</p> <p>第3回 プロセスレコードの検討会（演習） 看護場面の再構成-場面を取り上げた理由、学生自身の気がかり、自己一致</p> <p>第4回 プロセスレコードの検討会（演習） 看護場面の再構成-患者のニーズ、患者-看護師関係の分析</p> <p>第5回 精神障害を抱える人のリカバリーに向けた看護過程（講義） 看護過程展開に必要な基礎知識－リカバリーとストレングスモデルの関連－</p> <p>第6回 精神障害を抱える人のリカバリーに向けた看護過程（講義） 看護過程展開に必要な基礎知識－Bio-Psycho-Socialモデルとセルフケアモデル－</p> <p>第7回 精神障害を抱える人のリカバリーに向けた看護過程（演習） 生物学的側面の理解</p> <p>第8回 精神障害を抱える人のリカバリーに向けた看護過程（演習） 心理・社会的側面の理解</p> <p>第9回 精神障害を抱える人のリカバリーに向けた看護過程（演習） 真のニーズと生きづらさの明確化</p> <p>第10回 精神障害を抱える人のリカバリーに向けた看護過程（演習） リカバリーに向けた看護計画立案</p> <p>第11回 精神障害を抱える人のリカバリーに向けた看護過程（演習） 発表を通して対象者理解とケアの関連性の考察</p> <p>第12回 精神障害を抱える人のリカバリーに向けた看護過程（演習） 発表を通してリカバリーに向けたケアの考察</p> <p>第13回 地域精神看護の役割と課題（講義） リカバリーに向けた看護過程の展開を通して考える地域精神看護の役割と課題</p> <p>第14回 司法精神医学・看護（講義） 触法に関わる精神看護</p> <p>第15回 地域精神看護の役割と課題 精神科認定看護師による看護の実際（講義） 精神科長期入院患者の退院促進と地域生活維持に向けた看護</p>	<p>西川 薫</p> <p>西川 薫</p> <p>西川 薫、 佐藤 和也</p> <p>西川 薫、 佐藤 和也</p> <p>西川 薫</p> <p>西川 薫</p> <p>西川 薫、 佐藤 和也</p> <p>西川 薫、 佐藤 和也</p> <p>西川 薫、 佐藤 和也</p> <p>西川 薫、 佐藤 和也</p> <p>西川 薫</p> <p>西川 薫、 佐藤 和也</p> <p>西川 薫、 佐藤 和也</p> <p>西川 薫</p> <p>佐藤 和也</p> <p>花田 政之 (精神科認定看護師)</p>	
科目の目的	精神（こころ）の健康問題を持つ人に対する看護過程の事例展開を通して、患者－看護師関係の発展方法、対象者のセルフケアの再構築、及びストレングス・モデルを活かした看護展開方法を学習する。精神看護における患者－看護師関係の治療的意味を考察し、精神障害を持つ人のセルフケアに着目した看護過程の展開を理解する。ディプロマポリシーである【対象の理解】【看護の実践】の修得をめざす。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神看護における患者－看護師関係の治療的意味を考察できる。</li> <li>2. 精神障害を抱える人のリカバリーに向けた看護過程を展開できる。</li> <li>3. 専門性の高い精神看護の実際を説明できる。</li> </ol>		
関連科目	精神保健、精神看護学概論、精神看護方法論、精神看護学実習、精神看護学特論、心理学、臨床心理学		
成績評価方法・基準	定期試験（30％）、課題（プロセスレコード、事例展開）（50％）、リフレクションシート（20％） *課題未提出の場合は定期試験の対象から除外する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。（1コマあたり1時間）		
教科書	新体系 看護学全書 精神看護学概論／精神保健 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 精神障害をもつ人の看護 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社		
参考書	落合滋之監修、精神神経疾患ビジュアルブック、学研メディカル秀潤社		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		

履修条件・履修上の注意	履修条件は特にないが、不明な点は積極的に質問をしてほしい。 配布資料は、前日までにActive Academyで配布する。配布資料は各自が印刷し持参する。
アクティブ・ラーニングの実施	リフレクションシートを用いた発見学習、調査学習、Think Pair Share (シンク・ペア・シェア)、プロセスレコード検討会、ペーパーペイシエントを用いたグループ・ワーク、発表会およびディスカッション
ナンバリング	NSq-301
実務経験のある教員による授業	
実務経験	西川 薫（看護師）、佐藤 和也（看護師）
授業の概要	精神（こころ）の健康問題を持つ人に対する看護過程の事例展開を通して、患者－看護師関係の発展方法、対象者のセルフケアの再構築、及びストレングス・モデルを活かした看護展開方法を学習する。精神看護の技術としての自己活用、患者－看護師関係の治療的意味と検討方法を理解し、精神看護学における治療的関係性の構築が理解できること、代表的な精神疾患に対する看護が理解できること、精神障害を持つ人のセルフケアの再構築に向けた看護過程の展開が理解できることを目指す。

講義科目名称： 精神看護学特論

授業コード： 4N104

英文科目名称： Advanced Psychiatric Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
西川 薫			

授業形態	講義（6回）・演習（2回）		担当者
授業計画	第1回	国際的な視点から精神保健医療における課題（1）（講義） アメリカの精神保健医療の現状と課題を考察する。	西川 薫
	第2回	国際的な視点から精神保健医療における課題（2）（講義） イギリスの精神保健医療の現状と課題を考察する。	西川 薫
	第3回	国際的な視点から精神保健医療における課題（3）（講義） フィンランドの精神保健医療の現状と課題を考察する。	西川 薫
	第4回	国際的な視点から精神保健医療における課題（4）（講義） イタリアの精神保健医療の現状と課題を考察する。	西川 薫
	第5回	国際的な視点から精神保健医療における課題（5）（講義） ベルギーの精神保健医療の現状と課題を考察する。	西川 薫
	第6回	日本における精神保健医療の課題（1）（演習） グループワークを通して国際比較した精神保健医療の現状と課題、解決策について検討する。	西川 薫
	第7回	日本における精神保健医療の課題（2）（演習） グループワークを通して日本における精神保健医療の現状と課題、解決策を考察する。	西川 薫
	第8回	日本における精神保健医療の課題（6）（講義） 今後の日本の精神保健医療の在り方について考察する。	西川 薫
科目の目的	日本における精神看護及び関連領域に関する近年のトピックスを紹介し、現状と課題を発見し、その解決や対応について考察し、発表や討議を通して自己の考えを発展させる。また、国際比較した精神保健医療福祉の現状と課題について理解を深める。ディプロマポリシーである【協調・協働】【国際的な視野】の修得をめざす。		
到達目標	1. 日本における精神看護及び関連領域に関する近年の課題を抽出し解決策を考察できる。 2. 国際的な視点から精神保健医療福祉の現状と課題を抽出し解決策を考察できる。		
関連科目	精神保健、精神看護学総論、精神看護方法論、精神看護学演習、精神看護学実習、心理学		
成績評価方法・基準	期末レポート（70%）、リフレクションシート（30%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。（30時間分相当）		
教科書	新体系 看護学全書 精神看護学概論／精神保健 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 精神障害をもつ人の看護 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社		
参考書	落合滋之監修、精神神経疾患ビジュアルブック、学研メディカル秀潤社		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	履修条件は特にないが、不明な点は積極的に質問をしてほしい。 配布資料は、前日までにActive Academyで配布する。配布資料は各自が印刷し持参する。		
アクティブ・ラーニングの実施	リフレクションシートを用いた発見学習、調査学習、グループ・ディスカッション		
ナンバリング	NSp-401		

講義科目名称： 看護学への誘い

授業コード： 4N105

英文科目名称： Invitation to nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
小林 亜由美	看護学科教員全員		

授業形態	講義7回 演習8回		担当者
授業計画	第1回	インTRODクシヨン・看護の理解①（講義） 大学で看護学を学ぶにあたって 看護の理解①（講義） 基礎看護学とは	1) 小林亜由美 ①萩原一美
	第2回	看護の理解②（講義） ②老年看護学とは 療養病棟、地域包括ケア病棟で働く看護師の実際（ゲストスピーカー1名）	②関妙子
	第3回	看護の理解③（講義） ③公衆衛生看護学とは 市町村保健センターで働く保健師の実際（ゲストスピーカー1名）	③奥野みどり
	第4回	看護の理解④（講義） ④成人看護学とは 総合病院で働く看護師の実際（ゲストスピーカー1名）	④萩原英子
	第5回	看護の理解⑤（講義） ⑤在宅看護学とは（講義） 訪問看護ステーションで働く看護師の実際（ゲストスピーカー1名）	⑤反町真由
	第6回	看護の理解⑥⑦（講義） ⑥精神看護学とは ⑦小児看護学とは	⑥西川薫 ⑦中下富子
	第7回	看護の理解⑧（講義） GWガイダンス ⑧母性看護学とは、助産学とは 病院で働く助産師の実際（ゲストスピーカー1名）  GWガイダンス	⑧中島久美子
	第8回	課題解決技法の獲得①（演習） ・テーマの決定、今後のGWスケジュールの立案	1) 1年生 担当者 各 グループ担 当教員
	第9回	課題解決技法の獲得②（演習） ・前週のHWについて発表・討議 ・調査内容の分担（HW）、調査	各グループ 担当教員
	第10回	課題解決技法の獲得③（演習） ・前週のHWについて発表・討議 ・追加で調査が必要なことを整理し、分担する	各グループ 担当教員
	第11回	課題解決技法の獲得④（演習） ・前週のHWについて発表・討議 ・追加で調査が必要なことを整理し、分担する ・発表内容、方法の整理	各グループ 担当教員
	第12回	課題解決技法の獲得⑤（演習） ・発表内容、方法の討議 ・発表用媒体の作成 [最終レポート提出]	各グループ 担当教員
	第13回	課題解決技法の獲得⑥（演習） ・発表内容・方法の検討 ・発表用媒体の作成 ・発表の練習	各グループ 担当教員
	第14回	課題解決技法の獲得⑦（演習） ・発表用媒体の完成、提出 ・発表の練習	各グループ 担当教員

	第15回 発表会 プレゼンテーション技法の活用	看護学科全 教員
科目の目的	保健・医療・福祉に携わる看護職の機能と役割について理解を促し、看護に対する興味・関心を深められるよう導く。また、グループワークを通して、看護職として必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題解決能力を育てる。【専門性の探究】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象や活動の場の特性に応じた看護職(看護師・保健師・助産師)の機能と役割を説明できる。</li> <li>2. 自分自身の目指す看護師像と、そこに至るための今後の大学生活における目標を述べることができる。</li> <li>3. グループでテーマを設定し、必要な情報を収集・整理して結論を導くことができる。</li> <li>4. 相手の意見を尊重しながら自分の考えを述べ、グループのメンバーと協働できる。</li> <li>5. グループワークの成果を分かりやすく、説得力をもって発表できる。</li> </ol>	
関連科目	生命倫理、大学の学び入門、多職種理解と連携、看護学概論Ⅰ・Ⅱ	
成績評価方法・基準	グループワーク学生評価(35点)、成果発表会(30点)、看護の理解最終レポート(35点)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義に出席する前に、講義で取り上げる内容について調べた上で出席すること。また、グループワークにおいても担当した内容については、十分に調べ、理解をした上で参加すること。いずれにおいても準備学習時間は1~2時間である。	
教科書	特に指定しない。	
参考書	特に指定しない。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	本科目は学生自身の主体的かつ積極的な学習が必須の科目であることを理解したうえで参加すること。	
アクティブ・ラーニングの実施	課題解決学習、グループワーク	
ナンバリング	NSr-101	

講義科目名称： 多職種理解と連携

授業コード： 4N106

英文科目名称： Multidisciplinary Understanding and Cooperation

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄	田村遵一、佐藤満	石井良和、白坂康俊	松下誠、渡辺浩
	大濱和也、鍵山智樹		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 チーム医療とは チーム医療の背景、目的、意義、看護師とチーム医療	矢島正栄
	第2回 関係職種の理解 1 医師とは、医師からみた看護職とのかかわり、医師とチーム医療	田村遵一
	第3回 関係職種の理解 2 理学療法士とは、理学療法士からみた看護職とのかかわり、理学療法士とチーム医療	佐藤満
	第4回 関係職種の理解 3 作業療法士とは、作業療法士からみた看護職とのかかわり、作業療法士とチーム医療	石井良和
	第5回 関係職種の理解 4 言語聴覚士とは、言語聴覚士からみた看護職とのかかわり、言語聴覚士とチーム医療	白坂康俊
	第6回 関係職種の理解 5 臨床検査技師とは、臨床検査技師からみた看護職とのかかわり、臨床検査技師とチーム医療	松下誠
	第7回 関係職種の理解 6 診療放射線技師とは、診療放射線技師からみた看護職とのかかわり、診療放射線技師とチーム医療	渡辺浩
	第8回 関係職種の理解 7 臨床工学技士とは、臨床工学技士からみた看護職とのかかわり、臨床工学技士とチーム医療 医師とは、医師からみた看護職とのかかわり、医師とチーム医療	大濱和也
	第9回 関係職種の理解 8 薬剤師とは、薬剤師からみた看護職とのかかわり、薬剤師とチーム医療	鍵山智樹
	第10回 関係職種の理解 9 管理栄養士とは、管理栄養士からみた看護職とのかかわり、管理栄養士とチーム医療（ゲストスピーカー：塚越淳） 介護福祉士とは、介護福祉士からみた看護職とのかかわり、介護福祉士とチーム医療（ゲストスピーカー：田口敏治）	矢島正栄
	第11回 関係職種の理解 10 メディカルソーシャルワーカー（MSW）とは、MSWからみた看護職とのかかわり、MSWとチーム医療（ゲストスピーカー：藤井裕哉） 精神保健福祉士とは、精神保健福祉士から見た看護職とのかかわり、精神保健福祉士とチーム医療（ゲストスピーカー：米山恵美子）	矢島正栄
	第12回 関係職種の理解 11 ケアマネジャーとは、ケアマネジャーから見た看護職との関わり、ケアマネジャーとチーム医療（ゲストスピーカー：小林美夕紀） 技師装具士とは、技師装具士から見た看護職との関わり、技師装具士とチーム医療（ゲストスピーカー：平井正利）	矢島正栄
	第13回 チーム医療の実際 1 栄養サポートチームについて（ゲストスピーカー：板垣卓美）	矢島正栄
	第14回 チーム医療の実際 2 摂食嚥下障害看護認定看護師について（ゲストスピーカー：板垣卓美）	矢島正栄
	第15回 地域における多職種連携・カンファレンスについて 地域における多職種連携 カンファレンスについて	矢島正栄
科目の目的	チーム医療、多職種連携の意義と目的、看護職が連携する様々な関係職種の専門性と役割、チーム医療、多職種連携における看護の役割を理解し、自らが、将来、医療チームの一員として役割を果たすこと、今後の大学での学びを関連付ける。【協調・協働】	
到達目標	1. チーム医療の背景、目的、意義を説明できる。 2. 各保健医療福祉専門職の専門性、主たる業務、チーム医療における役割を説明できる。 3. 各保健医療福祉専門職と看護職がどのように連携しているかを説明できる。	

	4. カンファレンスの意義と進め方を説明できる。 5. 将来、医療チームの一員として役割を果たすための自らの課題を述べることができる。
関連科目	看護学への誘い、看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、地域・在宅看護学概論、成人看護学総論、老年看護学総論、精神保健
成績評価方法・基準	ミニレポート（各回）60%、期末レポート40%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習として、各回の職種について事前に下調べを行うこと（30分程度）。復習として、理解し得た事項を箇条書きにしてノートにまとめておくこと（30分程度）。
教科書	特に指定しない。
参考書	特に指定しない。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	なし
ナンバリング	NSr-102

講義科目名称： 国際看護論

授業コード： 4N107

英文科目名称： International Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長嶺 めぐみ	堀込 由紀		

授業形態	講義6回、演習2回		担当者
授業計画	第1回	国際看護の概念と対象・文化とは何か（講義） 1. なぜ国際看護について学ぶのか 2. 日本と海外で異なる国際看護の対象 3. 何が看護に影響を与えるか 4. 国際看護を知る 5. 日本の国際看護の歴史 6. 文化の捉え方	長嶺めぐみ
	第2回	世界の健康課題（講義） 1. 国際協力を必要とする世界の現状 2. 世界の人々の健康にかかわる諸要因	長嶺めぐみ
	第3回	国際看護と異文化看護（講義） 1. 看護と文化 2. 異文化の理解と看護 3. 文化ケアアプローチ 4. 異文化への適応	長嶺めぐみ
	第4回	日本の国際協力と国際協力に関わる国際機関（講義） 1. 国際協力の理念 2. 国際協力に関わる機関	長嶺めぐみ
	第5回	国際協力としての看護の実際（講義） 1. 国際協力としての看護の現状と課題	長嶺めぐみ
	第6回	在留外国人への医療（講義） 1. 在日外国人・訪日外国人への医療と看護の実際	長嶺めぐみ
	第7回	国際協力・看護協力の机上シュミレーション（GW）（演習） 事例内の課題解決に向けてグループごとに話し合う	長嶺めぐみ 堀込由紀
	第8回	発表会（演習） グループごとに話し合った課題解決に向けた取り組みの発表会	長嶺めぐみ 堀込由紀
科目の目的	国際協力や国際看護の概念や意義などを理解し、国際保健医療という視点において国際看護や国際協力などのあり方について考える。【対象の理解】【地域社会への貢献】【国際的な視野】		
到達目標	1. 国際看護の概念や必要性を説明できる。 2. 国際協力の歴史的な経緯と最近の動向が説明できる。 3. 諸外国における健康問題や看護の現状が説明できる。 4. 日本や諸外国で自分ができる国際看護活動とは何かを考えることができる。		
関連科目	専門基礎科目－公衆衛生学、疫学、保健統計 専門科目－災害看護論		
成績評価方法・基準	ミニッツペーパー(16点)、GW・発表会（14点）、試験(70点)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿った教科書該当ページを熟読して講義に臨むこと。 【学習に必要な自己学習の目安】 1コマ当たり30分の準備学習と30分の復習が必要。		
教科書	教科書：国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために（看護学テキストNiCE）（南江堂）		
参考書	参考書：「国際看護学入門」国際看護研究会編（医学書院） 医者のないところで 村のヘルスケア手引書 デビッド・ワーナー（シェア） 世界子供白書（ユニセフ）等		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	なし		
アクティブ・ラーニングの実施	グループごとに興味のあるテーマについて調査し、発表会で発表を行う。		
ナンバリング	NSr-201		



	を説明できる。 6. 地方自治体における災害時の保健師の役割を説明できる。
関連科目	臨床看護管理学、公衆衛生看護管理、地域保健行政
成績評価方法・基準	試験（80％）、演習内容及びレポート（20％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を読み、自分にとって災害と災害看護を学ぶ目的を600-800字程度にまとめ、事前に提出していただきます。詳細はアクティブアカデミーで連絡します。</li> <li>・感染症パンデミックや頻発する気象災害の現状などを積極的に調べ、防災や減災のあり方について考えを整理しておいてください。また、各回の講義に臨む前にテキスト、配付資料を精読しておいてください。1コマにつき4時間程度の準備学習を求めます。</li> </ul>
教科書	教科書 看護の統合と実践③「災害看護」第5版 酒井明子 他 メディカ出版
参考書	「多職種連携で支える災害医療」小井土雄一 他 医学書院 「放射線を怖がらない看護職であるために 看護と放射線」 日本アオソトープ協会 丸善出版
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講義資料は原則として講義2日前からActive Academyにより配布します。印刷して持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッション
ナンバリング	NSr-301

講義科目名称： 臨床看護管理学

授業コード： 4N109

英文科目名称： Clinical Nursing Administration and Policies

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美	堀込 由紀		

授業形態	講義：8回 （発問シートの記述8回を含む）		担当者
授業計画	第1回	看護管理学の基礎知識 講義 1. 看護管理学を学ぶとは 2. 人々の生活と看護の関わり 3. 看護と経営 4. 看護サービス管理 5. 看護管理行動	萩原 一美
	第2回	看護組織と管理 (1) 講義 1. 組織とその構造・機能 2. 他者と共に活動すること 3. 分業と協働のしくみ	萩原 一美
	第3回	看護組織と管理 (2) 講義 1. 人を活かすマネジメント 2. 業務マネジメント 3. セルフマネジメント	萩原 一美
	第4回	看護組織と管理 (3) 講義 1. モノのマネジメント 2. 情報のマネジメント 3. カネのマネジメント	萩原 一美
	第5回	看護管理と医療安全 講義 1. 医療安全 2. 医療・看護の質改善	堀込 由紀
	第6回	看護管理と倫理 講義 1. 看護組織の活動と倫理 2. 意思決定と組織変革	萩原 一美
	第7回	看護現場に影響する制度と法律 講義 1. 保健医療福祉制度政策と今後の動向 2. 看護の関連機関と団体 3. 看護に関わる医療・介護制度	萩原 一美
	第8回	看護専門職とキャリア 講義 1. 専門職とは 2. 日本の看護職の活動の変遷 3. これからの社会と看護の役割・責任	萩原 一美
科目の目的	地域完結型医療にある社会の中で、看護職が、看護の目的を効率的・効果的・創造的に果たすための機能を学ぶ。また、ヘルスケア組織の中で、組織という視点とともに、組織を取り巻く社会への視点と、経営的視点を考慮しつつも、看護専門職としての責任を果たすためのマネジメントを理解する。さらに、看護職としてのセルフマネジメントの重要性を理解し、職業人としてのキャリア形成・発達を探究する。授業は主に講義により行う。【協調・協働】【専門性の探究】		
到達目標	1. 看護管理の概要を説明できる。 2. 病院という組織の中の看護組織の位置づけを説明できる。 3. 看護師の1日の業務の組み立て方と時間管理の重要性に気づくことができる。 4. 病院における医療安全体制を理解できる。 5. 看護職としてのキャリアを考えることができる。		
関連科目	3年次までのすべての講義・演習・実習の全科目		
成績評価方法・基準	筆記試験（70%） 発問シート（20%） 課題レポート（6%） 振り返りシート（4%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容に合わせて課題を提示する。本科目に必要な自己学習時間は30時間である。したがって1コマあたり、4時間の事前・事後学習が必要である。		
教科書	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理 第5版 メディカ出版 2023		
参考書	看護学テキスト 看護管理学 改訂 第3版 南江堂 2023 系統看護学講座 看護の統合と実践 看護管理1 第11版 医学書院 2024		

オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	各回ごとに発問に対する意見を、発問シートの時間内に記述する。提出が得点の要件ではなく、内容により評価する。
アクティブ・ラーニングの実施	卒業後に必要とされる社会人基礎力の「必要な考え抜く力」を向上するために、各回ごとに発問に対する意見を、発問シートの時間内に記述する。
ナンバリング	NSr-401

講義科目名称： 公衆衛生看護学概論

授業コード： 4N110

英文科目名称： Introduction to Public Health Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄	中下富子	廣田幸子	

授業形態	講義 (28回) 、演習 (2回)	担当者	
授業計画	第1回 公衆衛生看護の理念と目的 公衆衛生看護の理念と目的	矢島 正栄	
	第2回 公衆衛生看護の歴史 英国、米国における公衆衛生看護の萌芽 日本の公衆衛生看護の歴史 1	矢島 正栄	
	第3回 公衆衛生看護の歴史 日本の公衆衛生看護の歴史 2	矢島 正栄	
	第4回 公衆衛生看護の対象と場 公衆衛生看護の対象である個人の捉え方、個人に対する公衆衛生看護活動	矢島 正栄	
	第5回 公衆衛生看護の対象と場 公衆衛生看護の対象である家族の捉え方、家族に対する公衆衛生看護活動	矢島 正栄	
	第6回 公衆衛生看護の対象と場 公衆衛生看護の対象である集団・地域の捉え方、集団・地域を対象とする公衆衛生看護活動	矢島 正栄	
	第7回 公衆衛生看護の対象と場 公衆衛生看護活動の場	矢島 正栄	
	第8回 現代の人々の健康課題 現代のわが国の主要な健康課題と対策	矢島 正栄	
	第9回 現代の人々の健康課題 現代のわが国の主要な健康課題と対策	矢島 正栄	
	第10回 公衆衛生看護活動の特質 (演習) 公衆衛生看護活動の実践例を題材に、レポート課題への取り組みとグループワークをとおして公衆衛生看護活動の特質を考える。	矢島 正栄	
	第11回 公衆衛生看護活動の特質 (演習) 公衆衛生看護活動の実践例を題材に、レポート課題への取り組みとグループワークをとおして公衆衛生看護活動の特質を考える。	矢島 正栄	
	第12回 公衆衛生看護活動の方法 健康相談	矢島 正栄	
	第13回 公衆衛生看護活動の方法 家庭訪問、健康診査	矢島 正栄	
	第14回 公衆衛生看護活動の方法 健康教育・地域組織活動支援	矢島 正栄	
	第15回 公衆衛生看護活動の展開 公衆衛生看護活動の計画・実施・評価	矢島 正栄	
	第16回 公衆衛生看護と法律、職業倫理 公衆衛生看護と法律 公衆衛生看護と職業倫理	矢島 正栄	
	学校保健		
	第1回 養護教諭と保健室 養護教諭制度の歴史の変遷、養護教諭の職務と役割、学校における保健室の目的と機能	中下 富子	
	第2回 学校保健・学校保健組織 学校保健に関する関係法規、学校保健の領域、学校保健の行政体制・主な担当者とその役割、学校保健委員会の意義と機能	中下 富子	
	第3回 学校における保健教育、特別支援教育 保健教育の位置づけと構成・内容、特別支援教育の概念と教育設置基準、学校における医療的ケア、発達や行動上の課題のある児童生徒への対応	中下 富子	
第4回 児童生徒の心の健康 心の健康課題のあらわれ方と特徴、心の健康課題のある児童生徒への対応、不登校や保健室登校の理解と対応	中下 富子		

	第5回	学校における健康診断 児童生徒の健康状態における情報収集とその活用、健康観察、健康診断の目的と法的根拠、健康診断の方法と内容	中下 富子
	第6回	学校における疾病予防と感染症予防 児童生徒の疾病傾向、安全な学校生活を送るための学校生活管理指導票による対応、学校感染症とその対応	中下 富子
	第7回	学校環境衛生及び学校給食 学校環境衛生の目的と法的根拠、学校環境衛生活動と学校環境衛生基準、食育と学校給食、学校給食の衛生管理	中下 富子
	第8回	学校における救急処置と学校安全及び危機管理 学校事故の現状、保健室を中心とした救急処置と救急処置活動、学校安全の考え方、学校安全の領域、危機管理の考え方と進め方	中下 富子
	産業保健		
	第1回	産業保健・産業保健看護の考え方と我が国における変遷 産業保健の目的と定義、産業保健看護の定義と役割、産業保健・産業保健看護の歴史	廣田 幸子
	第2回	産業保健活動を推進するための体制 労働衛生行政、法体系、労働衛生管理体制、労働安全衛生マネジメントシステム	廣田 幸子
	第3回	産業保健の現状と健康課題 労働災害と業務上疾病の発生状況、労働者の健康状態	廣田 幸子
	第4回	産業保健活動の基本 総括管理、作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生教育と各管理における産業保健看護職の役割	廣田 幸子
	第5回	産業保健看護活動の実際① 職業性疾病及び作業関連疾患と予防対策、過重労働対策、メンタルヘルスクエア対策	廣田 幸子
	第6回	産業保健看護活動の実際② 職場巡視、多様化する労働者への対応、地域・職域連携活動	廣田 幸子
科目の目的	公衆衛生看護の概念、地域の人々の健康課題と公衆衛生看護活動の方法について理解し、これからの公衆衛生看護の役割を展望する。【対象の理解】【国際的な視野】		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公衆衛生看護の理念と歴史的変遷を説明できる。</li> <li>2. 公衆衛生看護の対象である個人、家族、集団、地域について説明できる。</li> <li>3. 公衆衛生看護活動の法的根拠を説明できる。</li> <li>4. 公衆衛生看護の活動方法を説明できる。</li> <li>5. 現代の我が国における人々の健康課題について説明できる。</li> <li>6. 公衆衛生看護活動の場の特徴を説明できる。</li> <li>7. 公衆衛生看護活動の倫理について説明できる。</li> </ol>		
関連科目	教養科目群：心身の発達の各科目、人と生活及び社会の仕組みの各科目 専門基礎科目群：健康支援と社会保障制度の各科目 専門科目群の各科目		
成績評価方法・基準	公衆衛生看護学概論（担当：矢島） 試験70%、レポート20%、演習の観察評価10% 学校保健（担当：中下） 試験100%（定期試験80%、小試験20%） 産業保健（担当：廣田） 試験100% それぞれについて評価します。 （最終評価：公衆衛生看護学概論50%、学校保健25%、産業保健25%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義に臨む前にテキスト、配付資料を精読しておいてください。1コマにつき1時間程度の準備学習を求めます。		
教科書	教科書 「保健学講座1 公衆衛生看護学概論」（メヂカルフレンド社） 「国民衛生の動向2023/2024」（財団法人厚生統計協会） （学校保健） 「編集 衛藤隆・岡田加奈子 改訂10版 学校保健マニュアル」（南山堂） 「国民衛生の動向2023/2024」（財団法人厚生統計協会） （産業保健看護） 「保健学講座3 公衆衛生看護活動展開論」（メヂカルフレンド社）		
参考書	（産業保健看護） 「国民衛生の動向2023/2024」（財団法人厚生統計協会） 産業保健看護学－基礎から応用・実践まで－（公益社団法人産業医学振興財団）		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	講義資料は原則として講義2日前から1週間の間Active Academyにより配布します。印刷して持参してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク		

ナンバリング

NSs-201

講義科目名称： 公衆衛生看護技術論

授業コード： 4N111

英文科目名称： Public Health Nursing Skills Method

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
川尻 洋美	奥野みどり	矢島正榮	小林亜由美
	川尻洋美		

授業形態	講義 (8回) ・ 演習 (22回)		担当者
授業計画	第1回	公衆衛生看護の支援技術1 (講義) 対人支援の目的、必要な態度	川尻
	第2回	公衆衛生看護の支援技術2 (演習) 面接技術演習	川尻
	第3回	健康相談 (講義) 1 健康相談の基本姿勢、場の特徴、対象、展開方法	川尻
	第4回	健康相談 (講義) 2 健康教育の理念、目的、対象、方法	川尻
	第5回	家族の保健指導1 (講義) 家族の問題把握と診断、家族支援	川尻
	第6回	家族の保健指導2 (講義) 家族の問題把握と診断、家族支援	川尻
	第7回	家族の保健指導3 (演習) 家族の保健指導計画の立案①	川尻、矢島、小林、奥野
	第8回	家族の保健指導4 (演習) 家族の保健指導計画の立案②	川尻、矢島、小林、奥野
	第9回	家族の保健指導5 (演習) 家族の保健指導計画の立案③	川尻、矢島、小林、奥野
	第10回	実態調査準備1 (演習) グループ分け、交通調査、事前学習①	川尻、矢島、小林、奥野
	第11回	実態調査準備2 (演習) 事前学習②	川尻、矢島、小林、奥野
	第12回	実態調査準備3 (演習) 事前学習③	川尻、矢島、小林、奥野
	第13回	校外学習1 地域の高齢者の生活を知る①	川尻、矢島、小林、奥野
	第14回	校外学習2 地域の高齢者の生活を知る②	川尻、矢島、小林、奥野
	第15回	校外学習3 地域の高齢者の生活を知る③	川尻、矢島、小林、奥野
	第16回	校外学習4 地域の高齢者の生活を知る④	川尻、矢島、小林、奥野
	第17回	GW1 (演習) 地域の高齢者についての理解を深める①	川尻、矢島、小林、奥野
	第18回	GW2 (演習) 地域の高齢者についての理解を深める②	川尻、矢島、小林、奥野

	第19回	GW 3 (演習) 地域の高齢者についての理解を深める③ (発表)	川尻、矢島、小林、奥野
	第20回	家庭訪問 1 (講義) 家庭訪問の意義と目的、対象、展開、事後処理①	奥野
	第21回	家庭訪問 2 (講義) 家庭訪問の意義と目的、対象、展開、事後処理②	奥野
	第22回	家庭訪問 3 (演習) 家庭訪問計画の作成①	奥野、矢島、小林、川尻
	第23回	家庭訪問 4 (演習) 家庭訪問軽悪の作成②	奥野、矢島、小林、川尻
	第24回	家庭訪問 5 (演習) 家庭訪問演習 (ロールプレイ) ①	奥野、矢島、小林、川尻
	第25回	家庭訪問 6 (演習) 家庭訪問演習 (ロールプレイ) ②	奥野、矢島、小林、川尻
	第26回	家庭訪問 7 (演習) 家族の保健指導 6 (演習) 家庭訪問演習振り返り、家族の保健指導の準備	奥野、矢島、小林、川尻
	第27回	健康教育 1 (講義) 健康教育の理念、目的、対象、方法、健康教育に用いられる理論①	川尻
	第28回	健康教育 2 (講義) 健康教育の理念、目的、対象、方法、健康教育に用いられる理論②	川尻
	第29回	地区組織活動 (講義) 地区組織の成り立ち、地域組織の育成・運営に関わる保健師活動	川尻
	第30回	家族の保健指導 7 (演習) 家族の保健指導を終えての振り返り (GW)	川尻
科目の目的	公衆衛生看護活動の方法である健康相談、面接技術、家庭訪問、家族保健指導、健康教育、健康診査、地区組織活動支援について、活動方法の特徴、対象の理解や活動の展開に用いられる主要な理論、地域における展開方法の実際について学び、活動展開に必要な基本的知識・技術を習得する。 【対象の理解】 【看護の実践】 【専門性への探求】		
到達目標	1. 面接技術、健康相談、家族保健指導の意義と目的を理解し、対象や場面に応じた保健指導が実施できる。 2. 健康教育の概念と理論、個人及び集団を対象に健康教育を実施するプロセスと方法が説明できる。 3. 家庭訪問の意義、目的とプロセス (準備・実施・評価) が説明できる。 4. 健康診査の意義、目的とプロセス (規格・実施・評価) が説明できる。 5. 地域組織活動の意義、活用される理論と支援方法が説明できる。		
関連科目	公衆衛生看護学概論、個人・家族の公衆衛生看護技術演習、集団・地域の公衆衛生看護技術演習、公衆衛生看護活動展開論、地域保健政策論、施策化・政策形成過程演習、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ、公衆衛生看護管理、公衆衛生看護学実習、カウンセリング		
成績評価方法・基準	定期試験 (50%)、授業内レポート (50%) *定期試験は100点満点で実施するが50点満点に換算、レポートは授業ごとのリアクションペーパー及び单元ごとの演習時の提出物をもって50点満点とする。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各講義に対する事前および事後は、各テーマについて教科書の内容および講義内配布資料等を精読して予習および復習を行う。(各回1時間)尚、健康相談演習事例に関する事前学習 (2.5時間)、家族への保健指導計画作成と実施・評価 (10時間)		
教科書	【教科書】標準保健学講座2 公衆衛生看護支援技術 (医学書院)		
参考書	保健学講座3 公衆衛生看護活動論 (メディカルフレンド社)		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	保健師国家試験受験資格取得のための要件科目。		
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、体験学習、グループディスカッション		
ナンバリング	NSs-202		

講義科目名称： 対象別公衆衛生看護活動論 I

授業コード： 4N112

英文科目名称： Public Health Nursing Activities I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
奥野 みどり			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 母子保健の動向 1. 母子保健の理念	奥野みどり
	第2回 母子保健の動向 2. 母子保健統計からみた動向	奥野みどり
	第3回 母子保健の動向 3. 現在の主な母子保健医療福祉施策	奥野みどり
	第4回 母性各期の健康課題と支援 1. 妊娠・出産に伴う保健師活動①	奥野みどり
	第5回 母性各期の健康課題と支援 1. 妊娠・出産に伴う保健師活動②	奥野みどり
	第6回 母性各期の健康課題と支援 2. 思春期における保健師活動、3. 更年期における保健師活動	奥野みどり
	第7回 乳幼児期の成長・発達と健康課題への支援 1. 乳幼児の成長・発達と生活	奥野みどり
	第8回 乳幼児期の成長・発達と健康課題への支援 2. 乳幼児期の健康課題と保健師の支援①	奥野みどり
	第9回 乳幼児期の成長・発達と健康課題への支援 2. 乳幼児期の健康課題と保健師の支援②	奥野みどり
	第10回 乳幼児期の成長・発達と健康課題への支援 2. 乳幼児期の健康課題と保健師の支援③	奥野みどり
	第11回 乳幼児期の成長・発達と健康課題への支援 3. 予防接種、4. 事故防止	奥野みどり
	第12回 支援のニーズが高い親子の健康課題と支援 1. 子どもの虐待、女性への暴力①	奥野みどり
	第13回 支援のニーズが高い親子の健康課題と支援 2. 未熟児、低出生体重児、多胎児、特定妊婦	奥野みどり
	第14回 支援のニーズが高い親子の健康課題と支援 3. 発達障害が疑われる児	奥野みどり
	第15回 支援のニーズが高い親子の健康課題と支援 4. 医療的ケアの必要性の高い児、ひとり親家庭、在留外国人に対する支援	奥野みどり
科目の目的	母子保健活動の理念と特質を学び、実践の基礎となる知識を習得する。【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探求】	
到達目標	1. 親子保健活動の理念と目的を説明できる。 2. 親子が抱える健康課題の支援の方法を説明できる。 3. 我が国の母子保健管理システムとその遂行に関わる保健師の役割を説明できる。	
関連科目	公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学方法論、公衆衛生学、社会福祉・社会保障制度論、地域保健行政、母性看護学総論、母子の健康支援、母性看護学方法論、母性看護学演習、小児看護学総論、小児看護学方法論、小児看護学演習、精神看護学総論	
成績評価方法・基準	定期試験(70%)、授業内レポート(30%) *定期試験は100点満点で実施するが70万点に換算、リアクションペーパー15点、事前学習等授業内レポート課題(15点)で採点して30点満点とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学方法論、母性看護学・小児看護学で学んだ知識をしっかりと定着させて臨んでください。 ・教科書の各回講義内容に該当するところを読んでから、授業に臨んでください。 準備学習時間の目安：1コマあたり1時間	
教科書	保健学講座3 公衆衛生看護活動展開論(メディカルフレンド社)	
参考書	・保健師がきた①(双葉社) ・乳幼児健診ハンドブック(診断と治療社)	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	保健師・助産師課程履修希望者は、履修すること。保健師国家試験受験資格取得のための要件科目。	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、体験学習、グループディスカッション	

ナンバリング	NSs-301
--------	---------

講義科目名称： 対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ

授業コード： 4N113

英文科目名称： Public Health Nusring Activities II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
川尻 洋美	小林 亜由美	奥野 みどり	依田 裕子
	一場 美根子		

授業形態	講義（オムニバス方式）30コマ、一部、講義の後に演習あり		担当者
授業計画	第1回	成人保健活動 1 成人保健医療福祉の動向と保健師活動の経緯：健康日本21、健康増進対策（講義）	依田裕子
	第2回	成人保健活動 2 成人保健における健康課題と支援：食事、運動、飲酒、喫煙の課題に対する支援（講義）	依田裕子
	第3回	高齢者保健活動 1 高齢者の保健医療福祉の動向と保健師活動の経緯（講義）	小林亜由美
	第4回	高齢者保健活動 2 介護予防事業の体系（講義）	小林亜由美
	第5回	高齢者保健活動 3 高齢者の健康課題とアプローチ：フレイル、老年症候群（講義）	小林亜由美
	第6回	高齢者保健活動 4 高齢者の健康課題とアプローチ：認知症、高齢者虐待（講義）	小林亜由美
	第7回	成人保健活動 3 生活習慣病予防と特定健康診査・特定保健指導：特定健診とは、保健指導対象者の選定、特定保健指導の方法（講義）	依田裕子
	第8回	成人保健活動 4 成人期に発症する疾患の重症化予防（講義） 各自 1 疾患について住まいのある市町村HPから調べてまとめる（講義後に演習）	依田裕子
	第9回	成人保健活動 5 成人期に発症する疾患の重症化予防（フィードバック）（講義）	依田裕子
	第10回	成人保健活動 6 生活習慣病対策：がん対策・脳卒中・循環器疾患対策（講義） 【授業内テスト5問10点分】	依田裕子
	第11回	歯科保健活動 1 歯科口腔保健の理念と変遷、統計、ライフサイクル・健康レベルに応じた歯科口腔保健（講義）	依田裕子
	第12回	歯科保健活動 2 口腔の健康保持と歯科保健活動：う蝕予防、歯周疾患予防、口腔機能・嚥下機能の低下予防（講義）	依田裕子
	第13回	感染症保健活動 1 感染症対策における疾患管理と支援：新興・再興感染症（COVID-19）（講義）	依田裕子
	第14回	感染症保健活動 2 感染症対策における疾患管理と支援：結核（講義）	依田裕子
	第15回	感染症保健活動 3 感染症対策における疾患管理と支援：ヒト免疫不全ウイルス感染症、後天性免疫不全症候群、性感染症（講義）	依田裕子
	第16回	感染症保健活動 4 感染症対策における疾患管理と支援：ウイルス性肝炎、食中毒、病原性大腸O-157（講義）	依田裕子
	第17回	難病保健活動 1 難病保健の動向と保健師活動の経緯（講義）	依田裕子
	第18回	難病保健活動 2 難病患者の健康課題と個別支援：神経・筋系疾患患者（講義）	依田裕子
	第19回	難病保健活動 3 難病患者の健康課題と個別支援：小児慢性特定疾患児の成人移行の支援（講義）	依田裕子
	第20回	難病保健活動 4 難病患者の地域ケアシステムの構築（講義） 【授業内テスト5問10点分】	依田裕子
	第21回	障害者（児）保健活動 1 障がい者（児）保健医療福祉の動向と保健師活動の経緯（講義）	川尻洋美

	第22回	障害者（児）保健活動2 障がい者（児）の健康課題と支援（講義）	川尻洋美
	第23回	障害者（児）保健活動3 発達障がい者支援（講義）	奥野みどり
	第24回	精神保健活動1 精神保健医療福祉の動向（講義）	一場美根子
	第25回	精神保健活動2 精神保健福祉法と障害者総合支援法（講義）	一場美根子
	第26回	精神保健活動3 ライフステージからみたこころの問題とその特性（講義）	一場美根子
	第27回	精神保健活動4 地域で展開されている精神保健福祉活動（1）-1（講義） ～都道府県・市町村における保健師活動～	一場美根子
	第28回	精神保健活動5 地域で展開されている精神保健福祉活動（1）-2（講義） ～都道府県・市町村における保健師活動～	一場美根子
	第29回	精神保健活動6 地域で展開されている精神保健福祉活動（2）（講義） ～疾患別の個別支援の特徴～	一場美根子
	第30回	精神保健活動7 地域で展開されている精神保健福祉活動（3）（講義） ～個別支援から地域全体の支援へ～	一場美根子
科目の目的	公衆衛生看護活動の対象となる成人保健、高齢者保健、精神保健、感染症対策、難病対策、障害者保健についてその理念と特質を学び、保健指導を実践するための基盤となる知識を習得する。またそれぞれの領域において現代の地域社会が抱える課題について考え、我が国の保健管理システムとその遂行に関わる保健師の役割について学ぶ。【対象の理解】【看護の実践】【専門性の探究】		
到達目標	1. 成人、高齢者、精神疾患、感染症、難病、障害者（児）に関する保健活動の理念と目的が説明できる。 2. 同領域の対象が抱える問題と支援の展開方法を説明できる。 3. 同領域における我が国の保健管理システムとその遂行に関わる保健師の役割が説明できる。		
関連科目	免疫・感染症学、発達心理学、公衆衛生学、疫学、社会福祉・社会保障制度論、地域保健行政、栄養学（含食品学）、成人看護学総論、成人看護方法論、老年看護学総論、高齢者の健康と障害、精神保健、精神看護学総論、精神看護方法論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護技術論、対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ、個人・家族の公衆衛生看護技術演習、集団・地域の公衆衛生看護技術演習、公衆衛生看護活動展開論、地域保健政策論、施策化・政策形成過程演習、公衆衛生看護管理、公衆衛生看護学実習		
成績評価方法・基準	・授業内テスト20%【成人6%+高齢者4%+歯科2%+感染症4%+難病4%】 ・定期テスト80%【成人14%+高齢者10%+歯科4%+感染症10%+難病10%+障がい者10%+精神22%】		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義内容について教科書及び国民衛生の動向を事前に読み、不明点を明らかにしておくこと。 また関連科目における、授業で扱う分野の既習部分については、読み返しておく（約45分）		
教科書	保健学講座 3 公衆衛生看護活動展開論 メヂカルフレンド社		
参考書	国民衛生の動向2023/2024（厚生統計協会）		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	保健師国家試験受験資格取得のための要件科目。		
アクティブ・ラーニングの実施	なし		
ナンバリング	NSs-302		

講義科目名称： 個人・家族の公衆衛生看護技術演習

授業コード： 4N114

英文科目名称： Practice in Public Health Nursing Skills Method  
for Person & Family

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
奥野 みどり	矢島 正栄	小林 亜由美	川尻 洋美
授業形態	講義（4回）・演習（11回）		
担当者			
授業計画			
第1回	公衆衛生看護支援技術における個別支援とは(講義) 対人支援の目的、必要な態度、技術について確認する		奥野
第2回	公衆衛生看護学技術（家庭訪問・健康相談・健康診査）の確認(講義)		奥野
第3回	継続支援事例展開 1		奥野、矢島、小林、川尻
第4回	継続支援事例展開2(演習)		奥野、矢島、小林、川尻
第5回	継続支援事例展開3(演習) グループワーク①		奥野、矢島、小林、川尻
第6回	継続支援事例展開4(演習) グループワーク②		奥野、矢島、小林、川尻
第7回	継続支援事例展開4(演習) 家庭訪問 ロールプレイ①		奥野、矢島、小林、川尻
第8回	継続支援事例展開5(演習) 家庭訪問 ロールプレイ②		奥野、小林、矢島、川尻
第9回	継続支援事例展開6(演習・講義) 家庭訪問 振り返り		奥野、矢島、小林、川尻
第10回	継続支援事例展開 7(演習) 健康診査（10か月健診）ロールプレイ①		奥野、矢島、小林、川尻
第11回	継続支援事例展開 8(演習) 健康診査（1.6健診）ロールプレイ②		奥野、矢島、小林、川尻
第12回	継続支援事例展開9(演習・講義) 健康診査 振り返り		奥野、矢島、小林、川尻
第13回	事例に基づいた活動展開1(演習) グループワーク①		奥野、矢島、小林、川尻
第14回	事例に基づいた活動展開2(演習) グループワーク② 発表準備		奥野、矢島、小林、川尻
第15回	事例に基づいた活動展開3(発表) 成果発表		奥野、矢島、小林、川尻
科目の目的	個人・家族による主体的な健康課題の解決・改善に向けた継続支援の展開方法を具体的な事例をと おして理解し、また、公衆衛生看護活動の方法である家庭訪問、健康相談、保健指導、健康診査に ついて、演習を中心とする学習により基本的技術を習得する。実践現場のあらゆる場面でこれらの 活動方法を適切に選択・適応し得る判断力・応用力を養うことを目指し、ロールプレイングや地域 の実践例を素材とした活動展開の演習を組み合わせ学習する。【対象の理解】 【看護の実践】 【専門性への探求】		

到達目標	1. 面接技術、健康相談、保健指導の意義と目的を理解し、対象や場面に応じた保健指導が実施できる。 2. 家庭訪問の意義、目的とプロセス（準備・実施・評価）が説明できる。 3. 健康診査の意義、目的とプロセス（規格・実施・評価）が説明できる。 4. 地域の健康問題解決のための活動展開の手段を選択できる。
関連科目	公衆衛生看護学概論、集団・地域の公衆衛生看護技術演習、公衆衛生看護活動展開論、地域保健政策論、施策化・政策形成過程演習、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ、公衆衛生看護管理、公衆衛生看護学実習、カウンセリング
成績評価方法・基準	定期試験（50%）、授業内レポート（50%） *定期試験は100点満点で実施するが50点満点に換算、レポートは授業ごとのリアクションペーパー及び単元ごとの演習時の提出物をもって50点満点とする。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各講義に対する事前および事後は、各テーマについて教科書の内容および講義内配布資料等を精読して予習および復習を行う。（各回1時間）尚、健康相談演習事例に関する事前学習（2.5時間）、家族への保健指導計画作成と実施・評価（10時間）
教科書	【教科書】保健学講座2 公衆衛生看護支援技術（メディカルフレンド社）
参考書	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動（医学書院） 公衆衛生看護学JP（インターメディカル）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	保健師国家試験受験資格取得のための要件科目。
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、体験学習、グループディスカッション
ナンバリング	NSs-202
実務経験のある教員による授業	
実務経験	奥野 みどり（保健師）、矢島 正栄（保健師）、小林 亜由美（保健師）、川尻 洋美（保健師）
授業の概要	個人・家族による主体的な健康課題の解決・改善に向けた継続支援の展開方法を具体的な事例をとおして理解し、また、公衆衛生看護活動の方法である家庭訪問、健康相談、保健指導、健康診査について、演習を中心とする学習により基本技術を習得する。実践現場のあらゆる場面でこれらの活動方法を適切に選択・適用し得る判断力・応用力を養うことを目指し、ロールプレイングや地域の実践例を素材とした活動展開の演習を組み合わせ学習する。

講義科目名称： 集団・地域の公衆衛生看護技術演習

授業コード： 4N115

英文科目名称： Practice in Public Health Nursing Skills Method  
for Group & Community

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
川尻 洋美	矢島 正栄	小林 亜由美	奥野 みどり
授業形態	講義（3回）・演習（12回）		担当者
授業計画	第1回	地域組織活動1（講義） 健康教育の理念、目的、対象、方法地域組織の育成・支援、保健師による地域組織支援の変遷、種類	川尻川尻
	第2回	地域組織活動2（講義） 地域組織のアセスメント方法、養成・支援・協働活動と評価 地域組織にかかわる際に利用できる概念・理論・ツール	川尻、奥野、小林、矢島川尻
	第3回	地域組織活動3（演習） 認知症サロン立ち上げ支援の保健師活動の事例を用いた演習1（演習）	川尻、奥野、小林、矢島
	第4回	地域組織活動4（演習） 認知症サロン立ち上げ支援の保健師活動の事例を用いた演習2（演習）	川尻、奥野、小林、矢島
	第5回	健康教育1（講義） 健康教育の理念、目的、対象、方法	川尻
	第6回	健康教育2（演習） 健康教育の対象観と健康課題、目的、テーマ① 対象観と健康課題をワークシートにまとめる	川尻、奥野、小林、矢島
	第7回	健康教育3（演習） 健康教育の対象観と健康課題、目的、テーマ② 対象観と健康課題についてグループごとに話し合い、健康教育の目的、テーマを決める 企画書作成①	川尻、奥野、小林、矢島
	第8回	健康教育4（演習） 企画書作成②、授業内に教員より指導を受けて企画書修正① 施設訪問時の行動計画作成	川尻、奥野、小林、矢島
	第9回	健康教育5（演習） 健康教育の対象の理解（施設訪問）①	川尻、奥野、小林、矢島
	第10回	健康教育6（演習） 健康教育の対象の理解（施設訪問）② 企画書の修正②	川尻、奥野、小林、矢島
	第11回	健康教育7（演習） 企画書の修正③ 指導案の作成①	川尻、奥野、小林、矢島
	第12回	健康教育8（演習） 指導案の修正②・教育媒体の作成①、読み原稿の作成①	川尻、奥野、小林、矢島
	第13回	健康教育9（演習） 指導案の修正③・教育媒体の修正②、読み原稿作成② プレゼン練習①	川尻、奥野、小林、矢島
	第14回	健康教育10（演習） 教育媒体の修正②、読み原稿修正① プレゼン練習②	川尻、奥野、小林、矢島
	第15回	健康教育11（演習） 教育媒体の修正③、読み原稿の修正 プレゼン練習③：発表	川尻、奥野、小林、矢島
科目の目的	公衆衛生看護活動の方法である、健康教育、地区組織活動支援について、活動方法の特徴、対象の理解や活動の展開に用いられる主要な理論、地域における展開方法の実際について学び、活動展開		

	に必要な基本的知識・技術を習得する。【対象の理解】【看護の実践】
到達目標	1. 健康教育の概念と理論、個人及び集団を対象に健康教育を実施するプロセスと方法が説明できる。 2. 地域組織活動の意義、活用される理論と支援方法が説明できる。
関連科目	公衆衛生看護学概論、個人・家族の公衆衛生看護技術演習、公衆衛生看護活動展開論、地域保健政策論、施策化・政策形成過程演習、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ、公衆衛生看護管理、公衆衛生看護学実習、カウンセリング
成績評価方法・基準	定期試験（50%）、授業内レポート（50%） *定期試験は100点満点で実施するが50点満点に換算、レポートは授業ごとのリアクションペーパー及び単元ごとの演習時の提出物をもって50点満点とする。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各講義に対する事前および事後は、各テーマについて教科書の内容および講義内配布資料等を精読して予習および復習を行う。（各回1時間）
教科書	【教科書】保健学講座2 公衆衛生看護支援技術（メディカルフレンド社）
参考書	保健学講座3 公衆衛生看護活動論（メディカルフレンド社）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	保健師国家試験受験資格取得のための要件科目。
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、体験学習、グループディスカッション
ナンバリング	NSs-402
実務経験のある教員による授業	
実務経験	川尻 洋美（保健師）、矢島 正栄（保健師）、小林 亜由美（保健師）、奥野 みどり（保健師）
授業の概要	個人の健康課題を起点として集団・組織の課題を見だし、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの連動による解決方法を考える。家庭訪問の継続支援から地域組織育成への展開方法を、事例を活用した演習で学習する。また、産業保健、学校保健における活動の展開について事例を用いた演習を行い、集団の特性に応じた課題解決への活動方法を学習する。

講義科目名称： 公衆衛生看護活動展開論

授業コード： 4N116

英文科目名称： Advanced Public Health Nursing Activities

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
奥野 みどり			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	第1回 地域診断の概念と過程 (講義) 地域診断の定義・意義 関連する法令 PDCAサイクル コミュニティーアズパートナーズモデル	奥野みどり
	第2回 地域集団の特性の把握 (講義) 地域把握の視点 情報収集とアセスメント、地域踏査計画立案	奥野みどり
	第3回 健康課題の抽出方法1 (講義) 対象となる地域および集団の特定 情報収集とアセスメント 現状の把握 (健康課題の予測) と分析 (背景、対処力、影響の分析) 食生活、喫煙、飲酒、就労、睡眠に関する課題と分析	奥野みどり
	第4回 健康課題の抽出方法2 (講義) 健康課題の抽出に有効なモデル：ヘルスプロモーションモデル、プリシード・プロシードモデル 地域診断の記載 健康課題の優先順位	奥野みどり
	第5回 地域保健活動計画立案のプロセス1 (講義) 活動方針、活動目標、活動計画の構成	奥野みどり
	第6回 地域保健活動計画立案のプロセス2 (講義) 具体的活動方法の選択、活動計画立案のプロセス	奥野みどり
	第7回 保健事業 (実施) 計画策定のプロセス (講義) 目的・目標の設定、事業/活動計画、必要量・稼働量の算定、予算化、評価	奥野みどり
	第8回 保健事業 (評価) 計画策定のプロセス (講義)	奥野みどり
	年間活動目標の策定 1	
科目の目的	地域を単位とした健康問題の探求と、問題解決に向けた組織的・計画的な活動の展開方法について学び、保健計画の策定・遂行・評価、及び施策化に関わる看護専門職の役割についての理解を深め	

	る。【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】【専門性の探究】【地域社会への貢献】
到達目標	1) 地域把握の方法について説明できる。 2) 地域診断の方法について説明できる。 3) 年間活動計画の立案方法について説明できる。 4) 保健事業計画方法について説明できる。
関連科目	公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護方法論、公衆衛生看護技術演習、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ、公衆衛生看護管理、公衆衛生看護学実習、疫学、保健統計、社会福祉・社会保障制度論
成績評価方法・基準	定期試験(50%)、課題評価(50%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	第1回～8回までの授業資料を、前日午前中までにアクティブアカデミーにアップします。印刷して授業に持参してください。講義に臨む前にテキスト、配付資料を精読しておいてください。予習及び復習として、概ね各2時間程度の学習が必要です。
教科書	保健学講座2 公衆衛生看護支援技術 (メディカルフレンド社)
参考書	「国民衛生の動向2023/2024」(財団法人厚生統計協会) 標準保健学講座1 公衆衛生看護学概論(医学書院)
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	保健師国家試験受験資格取得のための要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習、問題解決学習、調査学習、グループディスカッション、グループワーク
ナンバリング	NSr-402

講義科目名称： 地域保健政策論

授業コード： 4N117

英文科目名称： Community Health Policy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
小林 亜由美	依田裕子		

授業形態	講義（オムニバス方式）15回		担当者
授業計画	第1回	事業化・施策化の意味と意義1 事業化・施策化の意義と保健師の役割	小林亜由美
	第2回	事業化・施策化の意味と意義2 法的根拠、事業の位置づけ	小林亜由美
	第3回	事業化・施策化のプロセス1 政策（事業・施策の形成過程）	小林亜由美
	第4回	事業化・施策化のプロセス2 予算の編成過程	小林亜由美
	第5回	事業化・施策化のプロセス3 事業・施策の評価	小林亜由美
	第6回	地域ケアシステムの構築1 地域ケアシステムとは	小林亜由美
	第7回	地域ケアシステムの構築2 ネットワークの形成とシステムづくりの実際	小林亜由美
	第8回	地域ケアシステムの構築3 地域ケアシステムにおける保健師の役割	小林亜由美
	第9回	施策化の実際1 介護保険事業計画と高齢者保健福祉計画	小林亜由美
	第10回	施策化の実際2 健康日本21（健康増進計画）	小林亜由美
	第11回	施策化の実際3 母子に関する施策	小林亜由美
	第12回	施策化の実際4 市町村の施策	小林亜由美
	第13回	施策化の実際5 精神障害者に関する施策	依田裕子
	第14回	施策化の実際6 自殺対策	依田裕子
	第15回	施策化の実際7 難病対策	依田裕子
科目の目的	地域の健康問題の解決に向け、地域ニーズに即した社会資源の開発や必要となるケアシステムの構築等、施策化を推進するための基盤となる力を養う。【看護の実践】【協調・協働】【専門性の探究】		
到達目標	1. 国、地方自治体の財政の仕組み、施策化に必要な予算について説明できる。 2. 保健所と市町村、地域、職域との連携、学校、NPO/ボランティアとの協働における保健師の役割について説明できる。 3. 保健医療福祉計画策定とその推進、評価における、保健師の役割について説明できる。		
関連科目	教養科目群：心身の発達の各科目 人と生活及び社会の仕組みの各科目 専門基礎科目群：地域科目群の各科目 専門科目群の各科目		
成績評価方法・基準	授業内レポート (20%) 定期試験（期間外） (80%)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1コマあたり1時間の学習を要する。		
教科書	標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論（医学書院）		
参考書	保健学講座2 公衆衛生看護技術（メディカルフレンド社）		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	保健師国家試験受験資格取得のための要件科目		
アクティブ・ラーニングの実施	一部、事例を用いた体験学習を行う。		

ナンバリング

NSs-404



	<p>第23回 地域診断演習7: 対策の検討・年間活動計画3 事業計画の作成 (目的、目標、対象、場所)</p> <p>第24回 地域診断演習7: 対策の検討・年間活動計画4 事業計画の作成 (場所、日時・回数、従事者)</p> <p>第25回 地域診断演習8: 保健事業計画1 年間活動計画に挙げた事業の中から1事業を選んで、保健事業計画を立てる</p> <p>第26回 地域診断演習8: 保健事業計画2 保健事業を実施する背景の記載</p> <p>第27回 地域診断演習8: 保健事業計画3 事業内容の記載</p> <p>第28回 地域診断演習9: 報告・検討会準備 報告・検討会リハーサル、資料準備、役割分担</p> <p>第29回 地域診断演習9: 地域保健活動計画報告・検討会1 地域診断報告会1</p> <p>第30回 地域診断演習9: 地域保健活動計画報告・検討会2 地域診断報告会2</p>	<p>奥野・川尻</p> <p>奥野・川尻</p> <p>奥野・川尻</p> <p>奥野・川尻</p> <p>奥野・川尻</p> <p>奥野・川尻</p> <p>小林・奥野・川尻・矢島</p> <p>小林・奥野・川尻・矢島</p>
科目の目的	<p>地域を単位とした健康問題の探求と、問題解決に向けた組織的・計画的な活動の展開方法を説明できる。さらに、保健計画の策定・遂行・評価、及び施策化に関わる看護専門職の役割について理解を深めるとともに、演習をとおして健康課題の抽出と保健計画策定の方法を身につける【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】【専門性の探究】【地域社会への貢献】</p>	
到達目標	<p>1) 地域把握を実施できる。  (1) 地域住民の健康課題を把握するために必要な情報を入手できる。  (2) 得られた情報をアセスメントし、地域の健康課題を把握できる。</p> <p>2) 地域診断を実施できる。  (1) 健康課題に関連する情報を入手し、整理・分析することができる。  (2) 健康課題の原因を究明し、解決の方向性を見出すことができる。  (3) 地域の実態調査等さらに地域診断が必要な課題を抽出できる。</p> <p>3) 年間活動計画を立案できる。  (1) 取り組むべき対策の優先順位を決定できる。  (2) 地域の特性と住民の健康課題を踏まえ、活動の方向性と重点目標が立てられる。  (3) 問題解決のために適切な活動方法を選択できる。</p> <p>4) 保健事業計画を立案できる。  (1) 地域の特性と住民の健康課題に基づいた事業の目的・目標をあげられる。  (2) 目標達成のために効果的な事業内容・方法を考え、保健事業を計画することができる。  (3) 住民の生活に合わせた工夫を事業計画に盛り込むことができる。  (4) 地域住民が自ら問題に気づき、解決に取り組むことを促す働きかけを事業計画に組み込むことができる。  5) 要点を押さえた報告ができる。</p>	
関連科目	<p>公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護方法論、公衆衛生看護技術演習、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ、公衆衛生看護管理、公衆衛生看護学実習、疫学、保健統計、社会福祉・社会保障制度論</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験 (50%)、課題評価 (50%)</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>演習では、前回の課題目標までは到達していることを求めます。準備学習に必要な学習時間として2時間/回を要します。</p>	
教科書	<p>保健学講座2 公衆衛生看護支援技術 (メディカルフレンド)</p>	
参考書	<p>「国民衛生の動向2024/2025」 (財団法人厚生統計協会)  標準保健学講座1 公衆衛生看護学概論 (医学書院)</p>	
オフィス・アワー	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照</p>	
国家試験出題基準	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照</p>	
履修条件・履修上の注意	<p>保健師国家試験受験資格取得のための要件科目</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>発見学習、問題解決学習、調査学習、グループディスカッション、グループワーク</p>	
ナンバリング	<p>NSr-402</p>	
<p>実務経験のある教員による授業</p>		
実務経験	<p>奥野 みどり (保健師)、矢島 正栄 (保健師)、小林 亜由美 (保健師)、川尻 洋美 (保健師)</p>	
授業の概要	<p>地域の健康問題を明確化し、地域の特性を踏まえて解決・改善に向けた計画を立案する能力・社会資源開発、システム化、施策化する能力を育成する。保健統計から多角的・継続的・包括的アセスメントの実施、地域の顕在的・潜在的健康課題の明確化、今後起こりうる健康課題の予測・地域の人々の健康を守る力量の把握、健康課題の優先順位付け、解決・改善に向けた目的・目標の設定、地域の人々に適した支援方法の選択、実施計画・評価計画の立案について演習を通して体験的に学ぶ。</p>	

講義科目名称： 公衆衛生看護管理

授業コード： 4N119

英文科目名称： Public Health Nursing Administration

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
矢島 正栄			

授業形態	講義（7回）、演習（1回）		担当者
授業計画	第1回	公衆衛生看護管理の基本 公衆衛生看護管理の意義、公衆衛生看護管理の特色、公衆衛生看護管理の諸相	矢島
	第2回	情報管理 健康関連情報の収集・管理・発信、個人情報取り扱い、情報公開、地域における情報ネットワークの構築	矢島
	第3回	組織運営・管理 組織の目的、組織運営の基本、地方自治体における組織の仕組み・権限・意思決定と指示系統、事業の計画と運営、施策化のプロセス	矢島
	第4回	地域における健康危機管理 健康危機管理とは、健康危機管理の体制と保健師の活動	矢島
	第5回	地域における健康危機管理（演習） 健康危機管理の実践	矢島
	第6回	予算管理 地方自治体における予算の仕組みと保健衛生関係予算の実践、予算の確保と執行	矢島
	第7回	人事管理・人材育成 人事管理の目的、人員確保・適材配置・労務管理の実践、人事評価、人材育成方針、現職教育の計画と方法の実践	矢島
	第8回	地域管理 地域管理の目的・方法、公衆衛生看護の課題	矢島
科目の目的	公衆衛生看護の目的を達成するために必要な公衆衛生看護管理の意義と目的、仕組みを理解することを目的とする。公衆衛生看護活動の公正で発展的な遂行を支える組織運営・管理、事業・業務管理、人事管理・人材育成、予算管理、情報管理に関する基本的な事柄を学び、また、人々が健康で暮らしやすい地域をつくるための地域管理の立場から、地域ケアの質保証、健康危機管理について学ぶ。【協調・協働】【専門性の探究】		
到達目標	1. 公衆衛生看護管理の意義と特色を説明できる。 2. 公衆衛生看護管理における情報管理、組織管理、事業・業務管理、予算管理、人事管理・人材育成の基本的考え方と方法を説明できる。 3. 地域ケアの質保証、地域における健康危機管理の目的、方法と保健師の役割を説明できる。		
関連科目	公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護展開論、災害看護		
成績評価方法・基準	定期試験70%、レポート20%、演習の観察評価10%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義に臨む前にテキスト、配付資料を精読しておいてください。1コマにつき4時間程度の準備学習を求めます。		
教科書	教科書 「保健学講座2 公衆衛生看護支援技術」（メヂカルフレンド社）		
参考書	なし		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	講義資料は原則として講義2日前からActive Academyにより配布しますので、授業に持参してください。 保健師国家試験受験資格取得の要件科目です。		
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、グループワーク		
ナンバリング	NSr-403		

講義科目名称： 助産学概論

授業コード： 4N120

英文科目名称： Introduction to Midwifery

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島 久美子			

授業形態	講義 8回	担当者
授業計画	<p>第1-2回 助産の概念 助産師の職制と業務  ・助産の概念：助産の起源 出産の変遷 助産の定義など  ・助産の定義 助産師の業務  ・助産・助産師の定義：ICMに規定される助産の基本概念 ICMの活動 WHO  ・助産師の役割と責務：助産の意義 助産師の職業倫理 ICM WHO  ・助産における基本的な概念  ・地域のさまざまな場における助産師の役割</p> <p>第3回 助産師と倫理 性・生殖と人権と倫理  ・助産師と生命倫理 助産師と職業倫理  ・性と生殖における倫理 女性の意思決定と擁護  ・母体保護 出生前診断など</p> <p>第4回 助産の歴史と文化  ・助産の変遷（出産の変遷）  ・助産師の変遷（我が国及び世界）  ・助産師の法的変遷</p> <p>第5回 母子保健の動向  ・母子保健の歴史  ・母子保健の動向と諸制度  ・母子保健活動における連携・協働</p> <p>第6-7回 助産師と教育  ・我が国及び諸外国における助産師教育の歴史  ・我が国及び諸外国における助産師教育</p> <p>第8回 助産の将来  ・助産師の役割（業務・責務）とこれからの展望  ・助産の将来  ・全体討議（1～7の講義を通して）</p>	<p>中島</p> <p>中島</p> <p>中島</p> <p>中島</p> <p>中島</p> <p>中島</p>
科目の目的	・助産師の役割・責務および助産師に求められる知識と社会人としての教養(姿勢・態度も含む)について学ぶ。 ・専門助産師として自立できる能力及び他の職種（医師等）と連携できる能力を養う。 ・生涯にわたる助産師職探究の基とする。 【対象の理解／看護の実践／協調・協働／専門性の探究／地域社会への貢献／国際的な視野】	
到達目標	・助産師の役割・責務について説明できる。 ・母子並びに家族の尊厳と権利の尊重を理解し、助産師としての職業倫理について説明できる。 ・助産師として他の職種との連携について述べることができる。 ・母子保健の動向を述べることができる。	
関連科目	専門科目群：母性看護学総論	
成績評価方法・基準	定期試験（80％） 課題（20％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容：AAで登録した内容についてまとめ講義日に提出すること 準備：母性看護学総論に関する既習講義内容の復習をして臨むこと。 準備学習時間の目安：1コマ当たり45分	
教科書	助産学概論（医学書院）	
参考書	・世界の出産（勉誠出版） ・新版 助産師業務要覧 第3版 基礎編 2021年版（日本看護協会）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	助産師課程履修希望者は履修可能とする。また、助産師課程に必須要件科目。	
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッション、各自のレポート課題提出	

ナンバリング

NSt-301

講義科目名称： 母子と家族の心理・社会学

授業コード： 4N121

英文科目名称： Psychosociology for Mother, Child and Family

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島 久美子	岡崎 友香	千明 理恵	

授業形態	講義（6回）・演習（2回）		担当者
授業計画	第1回	女性のライフサイクル：思春期・青年期女性への援助 ・月経前緊張症、望まない妊娠と中絶、STD :ピアエデュケーションの役割と実践に向けての説明	中島久美子
	第2回	女性のライフサイクル：成人期女性への援助（妊娠・出産をめぐる問題1） ・不妊症、不妊治療患者の心理、不妊治療と治療後妊娠における諸問題と助産ケア	岡崎友香
	第3回	女性のライフサイクル：成人期女性への援助（妊娠・出産をめぐる問題2） ・出生前診断をめぐる問題、出生前診断を考える女性の意思決定へのケア、 ・流産・死産の悲嘆反応、子どもを亡くした親へのケア（親子をめぐる問題） ・障がいのある子どもを育てる親へのケア（親子をめぐる問題）	千明理恵
	第4回	女性のライフサイクル：思春期・青年期女性への援助（2） 演習 ピアエデュケーションを用いた性教育と母性看護の支援に関する演習：準備	中島久美子
	第5回	親一子をめぐる問題：母子関係（1）：正常な経過からの逸脱・ハイリスク状態にある妊産褥婦のアセスメントと援助 ・アタッチメント理論 ・周産期の母親のメンタルヘルスと母子関係 ・愛着障害・児童虐待、産前・産後うつ病、産後うつ病が子どもの心身の発達に与える影響	中島久美子
	第6回	親一子をめぐる問題・母子関係（2）（演習）：正常な経過からの逸脱・ハイリスク状態にある妊産褥婦のアセスメントと援助 ・若年妊産婦 ・未婚女性 ・外国人妊産婦 ・多胎児を育てる親 ・低出生体重児の親 ・被災を受けた妊産婦 （課題：演習）	中島久美子
	第7回	親一子をめぐる問題：父子関係 ・父親の育児、子育てにおける父親の抑うつ	中島久美子
	第8回	家族と社会 父母と社会、子どもと社会 ・家族とは、近代家族の特徴、家族をめぐる諸問題、夫婦関係と夫婦の関係性への支援 ・家族と法（児童虐待防止法、DV防止法） ・母親と社会、父親と社会 ・現代の家族支援への道のり、日本の子育て支援、世界の子育て支援	中島久美子
科目の目的	女性のライフサイクル各期における心理社会的問題や、親子関係、家族・父母・子どもと社会をめぐる問題について理解し、助産師として必要とされる考え方、支援について学ぶ。  【対象の理解／看護の実践／協調・協働／専門性の探究】		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期・青年期女性の健康問題として、望まない妊娠と中絶等を理解し、必要な助産援助について説明できる。（ピアエデュケーターとしての役割を含む）</li> <li>・成人期女性の健康問題として、不妊・流早産・死産等を理解し、必要な助産援助について説明できる。</li> <li>・親子関係（母子関係、父子関係）の問題について、虐待障害や産後うつ等を理解し、子育て支援について説明できる。</li> <li>・家族と社会をめぐる問題について理解し、子育て支援について説明できる。</li> </ul>		
関連科目	母性看護学総論、母性看護学方法論、母性看護学演習、母子の健康支援、助産学概論、助産基礎医学		
成績評価方法・基準	定期試験（50％）、課題提出（30％）、演習（20％）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習内容：母性看護学総論の復習 準備学習の目安：1コマ当たり45分		
教科書	教科書：「助産学講座4、基礎助産学[4]、母子の心理・社会学」村瀬聡美・我部山キヨ子（医学書院）		
参考書	「助産師基礎教育テキスト第7巻ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア」遠藤俊子（日本看護協会出版会） 授業中に必要時に提示します		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		

履修条件・履修上の注意	助産師課程の必須要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	ピアエデュケーション、プレゼンテーション演習
ナンバリング	NSt-302

講義科目名称： 助産基礎医学

授業コード： 4N122

英文科目名称： Basic Medicine for Midwifery

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
早川 有子	早川有子	竹中恒久	秋元かつみ

授業形態	講義・演習	担当者
授業計画	<p>第1回 遺伝と遺伝性疾患 講義1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝学的重要性</li> <li>・ 染色体：染色体と遺伝子 遺伝の法則 常染色体異常 性染色体異常</li> <li>・ 遺伝子：遺伝子疾患</li> <li>・ 遺伝性疾患の分類</li> <li>・ 出生前診断</li> </ul> <p>第2回 母子と薬剤 講義2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性と生殖に関する薬物</li> <li>思春期 成熟期 更年期と薬物：経口避妊薬 排卵誘発剤など</li> <li>妊娠、分娩、産褥、授乳期と薬物：</li> <li>陣痛促進剤 子宮収縮剤 緊急避妊薬 薬物の催奇形性 薬物の母乳移行など</li> </ul> <p>第3回 母子の健康に影響を及ぼす因子 母子と感染 講義3</p> <p>母子と生活環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物理的要因：放射線 騒音など</li> <li>・ 化学的要因：大気汚染 環境汚染物質と環境など</li> <li>・ 母子と嗜好品・薬物：たばこ アルコール 依存性薬物など</li> </ul> <p>母子と感染：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子感染の重要性</li> <li>・ 母子感染の機序</li> <li>・ 母子感染総論</li> <li>・ 母子感染各論：</li> </ul> <p>ヒトパルボウイルスB19 C型肝炎ウイルス ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 成人T細胞白血病ウイルス トキソプラズマ 梅毒トレポネーマ ヒトパピローマウイルス 風疹 梅毒など</p> <p>第4回 母子と栄養その1 講義&amp;演習1</p> <p>母子の健康と食生活：妊娠期・授乳期の栄養と食生活 栄養に関する基礎知識 妊婦の栄養：妊婦の栄養と食生活 母体の栄養と胎児の発育 妊産婦の食生活指針 授乳婦の栄養： 乳幼児の栄養： 学童・思春期の子どもの栄養： 母子の健康に影響を及ぼす因子：栄養所要量 母体栄養と妊娠合併症：妊娠高血圧症候群など</p> <p>第5回 母子と栄養その2 講義&amp;演習2</p> <p>母子の健康と食生活：妊娠期・授乳期の栄養と食生活 栄養に関する基礎知識 妊婦の栄養：妊婦の栄養と食生活 母体の栄養と胎児の発育 妊産婦の食生活指針 授乳婦の栄養： 乳幼児の栄養： 学童・思春期の子どもの栄養： 母子の健康に影響を及ぼす因子：栄養所要量 母体栄養と妊娠合併症：妊娠高血圧症候群など</p> <p>第6回 母子への援助・予防 講義&amp;演習3</p> <p>遺伝・薬剤・感染・栄養に関する母子の予防と援助 1～5回の学びを通してGW 発表</p> <p>第7回 母子と感染 講義4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児に起こりやすい疾患（感染症）：</li> </ul> <p>麻疹 水痘 突発性発疹 手足口病 カンジダ症 RSウイルス感染症 伝染性膿痂疹 乳幼児下痢症(ロタウイルス ノロウイルス)</p> <p>第8回 母子と免疫 講義5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 免疫とは</li> <li>・ 母体の免疫学的特徴 ・ 胎児の免疫学的特徴 ・ 新生児の免疫学的特徴</li> <li>・ 免疫と母乳栄養 免疫と予防接種など</li> <li>・ 妊娠の維持機構と免疫 ・ 臓器の成熟と器官形成（免疫系）</li> <li>・ 免疫能の特性</li> <li>・ 低出生体重児の特徴：免疫</li> </ul>	<p>竹中</p> <p>竹中</p> <p>竹中</p> <p>早川</p> <p>早川</p> <p>早川</p> <p>秋元</p> <p>秋元</p>
科目の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝・感染・免疫・薬剤・栄養の視点から母子の対象を理解し、科学的根拠に基づいた看護が考えられる。</li> <li>・ 地域社会への貢献に結び付けて考えられる。</li> <li>・ 【対象の理解】 【看護の実践】 【協調・協働】 【専門性の探究】 【地域社会への貢献】</li> </ul>	

到達目標	遺伝・感染・免疫・薬剤・栄養の視点から母子の健康が説明できる。
関連科目	専門基礎科目：生理学ⅠⅡ 解剖学Ⅱ 免疫・感染症学 薬理学 栄養学 臨床病態学Ⅳ
成績評価方法・基準	定期試験（100%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容：母性看護、助産ケアに関連する既習科目の予習をして講義に臨むこと。 準備学習時間の目安：教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う（30時間分相当）
教科書	教科書：基礎助産学2（母子の基礎科学）医学書院 基礎助産学3（母子の健康科学）医学書院 「2024年最新」産婦人科診療ガイドライン産科編
参考書	参考資料 1) 病気が見える：vol.10産科（第4版） 3) 食品成分表2023 4) 第2版 食品成分順位表 栄養素量100 2) 病気が見える：vol.15小児科（第1版）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	助産師国家試験受験資格取得のための要件科目（助産師課程履修者のみ履修可能）
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習（各自まとめ・指導・プレゼン・討議）
ナンバリング	NSt=401

講義科目名称： 周産期診断学

授業コード： 4N123

英文科目名称： Perinatal Diagnostics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
家坂 直子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 妊娠期の異常</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期の異常：妊娠疾患：妊娠悪阻 妊娠高血圧症候群</li> <li>・妊娠持続期間異常：流産 早産 過期妊娠など</li> <li>・着床異常：異所性妊娠 前置胎盤 低位胎盤 低置胎盤など</li> <li>・胎児異常妊娠：胎児発育不全 血液型不適合妊娠 多胎妊娠など</li> <li>・胎児付属物異常妊娠：絨毛膜羊膜炎 常位胎盤早期剥離 など</li> </ul> <p>ハイリスク妊娠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・偶発性合併妊娠：心疾患合併妊娠 呼吸器疾患合併妊娠 糖尿病合併妊娠など</li> <li>・妊娠期の異常：妊娠疾患：妊娠悪阻 妊娠高血圧症候群</li> <li>・妊娠持続期間異常：流産 早産 過期妊娠など</li> <li>・着床異常：異所性妊娠 前置胎盤 低位胎盤 低置胎盤など</li> <li>・胎児異常妊娠：胎児発育不全 血液型不適合妊娠 多胎妊娠など</li> <li>・胎児付属物異常妊娠：絨毛膜羊膜炎 常位胎盤早期剥離 など</li> </ul> <p>第2回 ハイリスク妊娠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・偶発性合併妊娠：心疾患合併妊娠 呼吸器疾患合併妊娠 糖尿病合併妊娠など</li> </ul> <p>第3回 分娩期の異常・偶発疾患</p> <p>分娩の3要素の異常</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・娩出力の異常：過強陣痛 微弱陣痛</li> <li>・産道の異常：軟産道強靱 狭骨盤</li> <li>・胎児の異常：回旋・進入の異常 巨大児など</li> <li>・胎児付属物の異常：絨毛膜羊膜炎 臍帯巻絡 臍帯下垂・脱出 常位胎盤早期剥離前置胎盤など</li> <li>・分娩経過の異常：肩甲難産 子宮内反症 など</li> <li>・軟産道損傷：膣・会陰裂傷 頸管裂傷 子宮破裂など</li> <li>・出血量の異常：弛緩出血など</li> </ul> <p>第4回 産科手術および産科医療処置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産科ショック：出血性ショック 羊水塞栓 DIC など</li> <li>・産科手術および産科医療処置：骨盤位牽出術 吸引遂娩術 鉗子遂娩術 無痛分娩（硬膜外麻酔）帝王切開術 分娩誘発・促進時の管理</li> <li>・緊急事態の予測と予期的対応</li> </ul> <p>第5回 産褥期の異常・偶発疾患</p> <p>性器の異常：子宮復古不全 晚期産褥出血など・産褥器感染症：産褥熱 尿路感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血栓・塞栓症：深部静脈血栓・肺塞栓症</li> <li>・乳房・乳頭・乳腺異常：乳腺炎など</li> <li>・産褥期精神障害：マタニィブルー 産後うつ病 など</li> <li>・産後後遺症：妊娠高血圧症候群後遺症</li> </ul> <p>第6回 妊娠期の助産診断に必要な検査法 臨床検査 母体・胎児の健康診査に必要な検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期の検査 胎児胎盤機能検査</li> </ul> <p>第7・8回 NICUとハイリスク新生児</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早産児・低出生体重児のケア</li> <li>・ハイリスク児の主要な病態とケア：呼吸障害 チアノーゼ おう吐 新生児痙攣 病的黄疸 感染症など</li> <li>・先天性異常</li> </ul>	<p>家坂</p> <p>家坂</p> <p>家坂</p> <p>家坂</p> <p>家坂</p> <p>家坂</p> <p>家坂</p>
科目の目的	妊娠・分娩・産褥・新生児の正常・異常を助産診断し、助産ケアに生かすことができる能力を養う。【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】【専門性の探究】【地域社会への貢献】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠・分娩・産褥・新生児期の正常・異常を診断できる。</li> <li>・妊娠・分娩・産褥・新生児期の正常・異常を助産師の立場から判断し、ケアに結び付けて考えられる。</li> <li>・緊急事態に対応できる能力を養う。</li> </ul>	
関連科目	母性看護学Ⅰ Ⅱ 助産診断技術学演習	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容：既習で学んだ母性看護、助産師ケアの復習をして講義に臨むこと。 準備学習時間の目安：1コマにつき4時間	

教科書	教科書：助産診断技術学Ⅱ（ 1 2 3 ）医学書院
参考書	病気がみえる 産科 第4版 メディックメディア 産婦人科診療ガイドライン（産科編2023）日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	助産師国家試験受験資格取得のための要件科目 助産師課程履修者のみ履修可能とする。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	NSs-404

講義科目名称： 妊娠期助産診断技術学

授業コード： 4N124

英文科目名称： Gestation Period Midwifery Diagnostic Technology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
廣瀬 文乃	中島 久美子		

授業形態	講義6回、演習2回		担当者
授業計画	第1回	<p>妊娠期の経過と診断【演習】 (グループワーク) 妊娠の成立・維持 妊娠経過の診断(正常・異常を含む) ・妊娠による母体の変化 胎児の発育・健康状態の診断 妊娠期の助産診断の特徴 ・助産診断 ・紙上事例の紹介</p>	廣瀬文乃
	第2・3回	<p>妊娠期の助産診断と正常妊娠経過にある妊婦への援助①【講義】 妊娠初期～中期の助産診断とケア ・妊婦健康診査における妊娠経過の診断とケア ・妊婦の健康生活の診断とケア ・妊娠期のフィジカルアセスメント ・妊娠期のマイナートラブル ・社会的側面の診断とケア</p>	廣瀬文乃
	第4・5回	<p>保健指導の技術【講義・演習】 個別相談、集団指導の基本 個人への保健指導 ・マイナートラブルなどへの支援、バースプランの作成への支援など 集団への保健指導 ・出産前準備教室などの集団指導の実際</p>	廣瀬文乃
	第6・7回	<p>妊娠期の助産診断と正常妊娠経過にある妊婦への援助②【講義】 妊娠後期の助産診断とケア ・妊婦健康診査における妊娠経過の診断とケア ・妊婦の健康生活の診断とケア ・妊娠期のフィジカルアセスメント ・社会的側面の診断とケア</p>	廣瀬文乃
	第8回	<p>妊娠期の心理【講義】 妊娠前期・中期・末期における心理 ・妊娠期における心理の変化 ・親役割準備への支援 ・家族の役割の変化に対する支援</p>	中島久美子
科目の目的	<p>正常経過にある妊婦の健康状態を診断し、妊娠経過に応じた身体的・心理社会的援助、必要な保健指導(集団指導・個別指導)ができるための知識・技術を学ぶ。 【対象の理解、看護の実践、協調・協働、専門性の探究】</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正常経過にある母体の妊娠による変化と胎児の成長・発育について説明できる。</li> <li>・妊婦及び家族の健康保持や正常からの逸脱を予防するための保健指導、出産や育児準備・心理的適応への援助が説明できる。</li> <li>・妊娠各期における妊婦および胎児の助産診断と、その診断に基づくケアについて説明できる。</li> </ul>		
関連科目	<p>専門科目群：母性看護学総論、母子の健康支援、母性看護方法論、母性看護学演習、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、助産基礎医学、母子と家族の心理・社会学、周産期診断学、助産診断技術学演習</p>		
成績評価方法・基準	<p>定期試験(70%)、課題提出(30%)</p>		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>母性看護に関する既習の講義内容、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰの講義内容を復習しておくこと。 【準備学習に必要な時間の目安】教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う(30時間分相当)。</p>		
教科書	<p>「助産学講座6、助産診断・技術学Ⅱ、[1] 妊娠期」我部山キヨ子・武谷雄二(医学書院) 「助産学講座5、助産診断・技術学Ⅰ」堀内成子(医学書院)</p>		
参考書	<p>「助産師基礎教育テキスト 2020年版 第4巻 妊娠期の診断とケア」森恵美(日本看護協会出版会) 「最新産科学 正常編 改訂第22版」, 荒木勤(文光堂) 「今日の助産 改訂第4版」, 北川真理子・内山和美(南江堂) その他、講義内で紹介する。</p>		
オフィス・アワー	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照</p>		

国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	助産師国家試験受験資格取得のための要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	学生によるプレゼンテーション、ディスカッション
ナンバリング	NSs-405

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
中島 久美子	廣瀬文乃	吉野めぐみ	橋爪由紀子

授業形態	講義6回, 演習9回		担当者
授業計画	第1回	助産診断・技術学の概要 【講義】 ・助産過程の概要、助産診断学の概要、助産技術学の概要 ・助産診断学・助産技術学の理論構築（教科書「1妊娠期」） ・診断学ガイダンス	中島久美子
	第2-4回	分娩期の助産診断 分娩期のフィジカルアセスメントと産婦への援助 【講義】 ・分娩進行状態の診断：分娩開始の予知・分娩開始・破水・分娩経過の診断、 ・産婦及び胎児の健康状態の診断、産婦の心理社会的側面の診断、出生直後の新生児の診断 ・援助の基本、分娩進行に伴う助産ケア（第1期、第2.3期、分娩後2時間まで）	廣瀬文乃
	第5回	正常経過にある産婦への心理的援助 【講義】 ・分娩経過に伴う産婦と家族の心理社会的側面のケア ・主体的出産への支援、産婦の分娩想起と出産体験理解への支援	中島久美子
	第6回	夫婦の関係性のアセスメントと支援 【講義】 ・アセスメントツールを用いた夫婦面接	中島久美子
	第7-9回	助産過程の展開（正常編 紙上事例：妊娠期）【演習】 ・7回 妊娠初期 助産診断と保健指導の立案 ・8回 妊娠中期 助産診断と保健指導の立案 ・9回 妊娠末期 助産診断と保健指導の立案 妊娠期から分娩・産褥期まで継続した看護方針の立案	廣瀬文乃
	第10-13回	助産過程の展開（正常編 紙上事例：分娩期）【演習】 ・10-12回（分娩期） 分娩予測、正常分娩の助産診断、パルトグラムに沿った分娩経過 ・13回 分娩期の助産ケアの計画立案（産通緩和ケア、分娩促進ケア、夫・家族の関わり方への支援）	中島、廣瀬、吉野、橋爪
	第14-15回	助産過程の展開（正常編 紙上事例：産褥期・新生児期）【演習】 14回（産褥期） 正常産婦の助産診断と助産ケアの計画立案 15回（新生児） 正常新生児の助産診断	吉野、橋爪
科目の目的	分娩期における女性と新生児の身体的・心理的・社会的状態について、EBMをふまえた基礎的助産診断・技術を養う。 産婦の分娩経過から正常経過の促進ケア、予防的ケアと正常経過からの逸脱時の早期発見・対処ができる能力を養う。 【対象の理解／看護の実践／協調・協働／専門性の探究／地域社会への貢献】		
到達目標	分娩の生理と産婦の身体的・心理社会的変化を理解し、説明できる。 正常な分娩経過をアセスメントし、助産ケアの実践に繋げることができる。 妊娠・分娩・産褥・新生児の助産過程を展開できる（紙上事例）。 妊娠期から分娩・産褥・新生児期まで継続した看護方針の立案ができる（紙上事例）。 親への移行期にある夫婦の関係性への支援について理論と夫婦面接が実施できる。		
関連科目	母性看護方法論、母性看護学演習、基礎助産医学、母子の健康支援、母子と家族の心理社会学、妊娠期助産診断技術学、産褥期助産診断技術学、新生児・乳幼児期助産診断技術学、助産診断技術学演習		
成績評価方法・基準	定期試験（50％）・課題提出（50％）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	基礎助産学及び助産診断・技術学の予習・復習。 準備学習時間の目安：1コマ当たり45分		
教科書	教科書：「助産学講座6、助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院） 「助産学講座7、助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院）		
参考書	病気がみえる産科編（メディックメディア）		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照A～G、IV-9-A～C、IV-10-A～C		

履修条件・履修上の注意	助産師課程履修者のみ履修可能とする
アクティブ・ラーニングの実施	ディスカッション
ナンバリング	NSs-406

講義科目名称：産褥期助産診断技術学

授業コード：4N126

英文科目名称：Puerperium Midwifery Diagnostic Technology

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
橋爪 由紀子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 産褥期の経過と診断 ① 母体の全身状態と退行性変化</p> <p>第2・3回 産褥期の経過と診断 ② 進行性変化 母乳育児支援とその実際 2週間健診・1か月健診までの母乳育児支援（指導案の作成）</p> <p>第4回 産褥期の経過と診断 ③ 心理・適応過程 産褥期の心理社会的変化 褥婦の心理社会的側面への支援 母親役割の獲得</p> <p>第5回 産褥期の経過と診断 ④ 家族・適応過程 父親役割の獲得、家族の役割獲得と家族関係 家族計画</p> <p>第6回 産褥期の経過と診断 ⑤ 生活・社会環境 出産後の生活の変化と退院後の環境 社会資源の活用への支援</p> <p>第7・8回 正常な産褥経過からの逸脱およびハイリスク状態にある褥婦のアセスメントと支援 身体的・心理社会的ハイリスク因子のアセスメント 正常な産褥経過からの逸脱およびハイリスク状態にある褥婦とその家族への支援 腹式帝王切開術後の支援</p>	<p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p>
科目の目的	産褥期の正常・異常の診断および援助・保健指導ができるための知識（母乳育児支援・乳房ケアなど）・技術・態度について学ぶ。これらの技術が母親にとって、自立につながるよう支援できるための能力を養う。また、異常な経過を伴うハイリスク褥婦のケアに対応できる能力を養う。【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】【専門性の探究】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正常経過にある褥婦の助産診断が説明できる。</li> <li>・褥婦および、その家族への援助に必要な技術を説明できる。</li> <li>・正常経過にある褥婦に対し、必要な保健指導を説明できる。</li> <li>・ハイリスク褥婦や正常を逸脱した褥婦およびその家族に必要な援助を考察できる。</li> </ul>	
関連科目	専門科目群：母性看護学総論、母子の健康支援、母性看護方法論、母性看護学演習、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、助産基礎医学、母子と家族の心理・社会学、周産期診断学、助産診断技術学演習	
成績評価方法・基準	定期試験（80％）、課題提出（20％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母性看護に関する既習の講義内容、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰの講義内容を復習しておくこと。</li> <li>・【準備学習に必要な時間の目安】各講義につき4時間程度の授業時間外における学習（予習・復習など自己学習）が必要となる。</li> </ul>	
教科書	「助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期」、我部山キヨ子・藤井知行（医学書院） 「助産師基礎教育テキスト 2024年版 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア」、小林康江（日本看護協会出版会）	
参考書	「助産師基礎教育テキスト 2024年版 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア」、江藤宏美（日本看護協会出版会） 「最新産科学 正常編 改訂第23版」、荒木勤・鈴木俊治（文光堂） 「今日の助産 改訂第4版」、北川眞理子・内山和美（南江堂） その他、講義内で紹介する	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	助産師国家試験受験資格取得のための要件科目	
アクティブ・ラー	学生によるプレゼンテーション、助産診断に関するグループワーク	

ニングの実施	
ナンバリング	NSt-405

講義科目名称： 新生児・乳幼児期助産診断技術学

授業コード： 4N127

英文科目名称： Neonatal and Infant Period Midwifery Diagnostic Technololy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
吉野 めぐみ			
授業形態	講義7回	演習1回	担当者
授業計画	<p>第1回 新生児の経過と診断（事前課題の発表） 新生児及び乳幼児の身体的・生理的特徴 ・新生児の身体的特徴と生理的特徴 ・乳幼児の身体的特徴と生理的特徴</p> <p>第2回 新生児の診断と援助①（講義） 出生直後の新生児の診断とケア ・妊娠経過や分娩経過から出生する児の予測診断と必要な準備 ・出生直後の新生児の観察と助産ケア ・子宮外生活への適応を促すケア</p> <p>第3回 新生児の診断と援助②（講義） 出生後24時間以内の新生児の経過診断とケア ・子宮外生活への適応の診断と助産ケア ・出生後24時間以内の新生児のアセスメントと助産ケア</p> <p>第4回・第5回 新生児の診断と援助③（講義） 出生後24時間以降～生後1週間までの早期新生児期の経過診断とケア ・母子・親子関係を促進するケア ・新生児の行動上の特徴 ・家庭生活への移行とフォローアップ</p> <p>第6回 フィジカルアセスメント（演習） 新生児のフィジカルアセスメントとケア ・新生児の観察技術とアセスメント</p> <p>第7回 新生児の診断と援助④（講義） 出生後1ヶ月までの新生児の診断とケア ・退院後の新生児の健康課題に対する予測とケア ・新生児を迎える生活環境のアセスメントとケア ・新生児期の健康診査（1ヶ月健診） 発育・発達評価、保健指導の要点 ・新生児訪問指導</p> <p>第8回 乳幼児の経過とその援助（講義） 乳幼児の正常経過 ・身体的特徴、生理的特徴など 乳幼児の健康診査 ・健診に必要な技術 ・発育・発達評価・保健指導の要点 正常経過にある乳幼児およびその家族への援助 ・乳幼児に見られる感染症への支援 ・乳幼児の発達上の問題と発達性を促進するケア（栄養、遊びなど） ・起こりやすい疾病の予防的ケア（乳幼児突然死症候群、予防接種など） ・家族へのケア（育児相談、母子相互関係・親子関係の確立、虐待予防）</p>		<p>吉野めぐみ</p> <p>吉野めぐみ</p> <p>吉野めぐみ</p> <p>吉野めぐみ</p> <p>吉野めぐみ</p> <p>吉野めぐみ</p> <p>吉野めぐみ</p>
科目の目的	<p>新生児・乳幼児の正常経過における診断および援助ができるための知識・技術を養う。特に新生児の看護や養育に必要な基本的技術・生活環境、また正常経過にある新生児や乳幼児の母子および家族への援助について学ぶ。 【対象の理解】 【看護の実践】 【協調・協働】 【専門性の探究】</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正常経過にある新生児の助産診断が説明できる。</li> <li>・新生児および乳幼児、その家族への援助に必要な技術を説明できる。</li> <li>・乳幼児の経過と、各時期に合わせた援助について理解することができる。</li> </ul>		
関連科目	<p>専門科目群：母性看護学総論、母子の健康支援、母性看護方法論、母性看護学演習、小児看護学総論（新生児期や乳幼児期、NICUに関連する内容）、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、助産基礎医学、母子と家族の心理・社会学、周産期診断学、助産診断技術学演習</p>		
成績評価方法・基準	<p>定期試験（80％）、課題提出（20％）</p>		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>【準備学習の内容】母性看護に関する既習の講義内容、小児看護方法論（新生児期や乳幼児期、NICUに関連する内容）、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰの講義内容を復習しておくこと。 【準備学習に必要な時間の目安】第1回から第2回の事前課題に要する準備時間は各6時間である。第3回以降は、各講義につき3時間の授業時間外における学習（予習・復習など自己学習）が必要とな</p>		

	る。(30時間相当)
教科書	「助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期」石井邦子・廣間武彦(医学書院)
参考書	「助産師基礎教育テキスト 2025年版 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア」江藤宏美(日本看護協会出版会) 「助産師基礎教育テキスト 2025年版 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア」小林康江(日本看護協会出版会) 「新生児学入門 第5版」, 仁志田博司(医学書院) その他、講義内で紹介する。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	助産師国家試験受験資格取得のための要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	学生による教室内でのプレゼンテーション
ナンバリング	NSt-406

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
吉野 めぐみ	廣瀬 文乃	橋爪 由紀子	

授業形態	講義7回 演習1回	担当者
授業計画	<p>第1回・第2回                      正常な妊娠経過からの逸脱およびハイリスク妊婦へのアセスメントと援助①②【講義】                      正常な妊娠経過からの逸脱におけるアセスメントと助産診断                      ・身体的ハイリスク因子や心理社会的ハイリスク因子のアセスメント                      異常妊娠・ハイリスク妊婦の助産診断と助産ケアおよび家族へのケア                      ・産科合併症を有する妊婦                      （妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群、切迫流早産、異所性妊娠、多胎妊娠、血液型不適合妊娠、                      羊水の異常、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、妊娠糖尿病、など）                      ・合併症のある妊婦                      （帝王切開既往、婦人科系疾患、心疾患、呼吸器系疾患、腎疾患、血液疾患、内分泌・代謝疾患、                      自己免疫疾患、精神・神経疾患合併）                      ・母子感染リスクのある妊婦                      （TORCH症候群、B型肝炎、成人T細胞白血病、HIV感染症、B群溶血性連鎖球菌感染症、水痘、                      麻疹、新興・再興感染症など）                      助産師による妊婦のリスク診断</p>	廣瀬文乃
	<p>第3回                      正常な分娩経過からの逸脱及びハイリスク状態にある産婦のアセスメントと援助①【講義】                      正常な分娩経過からの逸脱におけるアセスメントと助産診断および助産ケア                      ・身体的ハイリスク因子や心理的ハイリスク因子のアセスメント                      ・助産診断に基づく産婦とその家族への助産ケア                      異常時の援助の基本                      正常分娩急変時の母児への対応                      ・緊急時のアセスメントと助産ケア、産科ショック時の対応                      ・分娩中に搬送すべき症状を呈する母体の疾患と支援</p>	吉野めぐみ
	<p>第4回                      正常な分娩経過からの逸脱及びハイリスク状態にある産婦のアセスメントと援助②【演習】                      （課題学習・プレゼンテーション）                      産科手術および産科的医療処置が必要な産婦への支援                      ・器械分娩（吸引分娩・鉗子分娩）、帝王切開術などの適応、母児への影響、異常分娩時の対応とアセスメント、助産ケア                      ・無痛分娩における母児への影響、観察、助産ケア                      ・分娩誘発や促進時のアセスメントと助産ケア                      ・羊水混濁時、児心音低下時、肩甲難産時の対応とアセスメント、助産ケア                      ・異常出血時の対応とアセスメント、助産ケア</p>	吉野めぐみ
	<p>第5回                      正常な分娩経過からの逸脱及びハイリスク状態にある産婦のアセスメントと援助③【講義】                      分娩に伴う損傷や合併症を有する産婦への支援                      ・分娩に伴う損傷                      心理社会的なハイリスク状態にある妊婦とその家族への支援                      ・帝王切開術を受ける産婦、子どもを亡くした母親への支援</p>	吉野めぐみ
	<p>第6回・第7回                      正常な産褥経過からの逸脱およびハイリスク状態にある褥婦のアセスメントと援助①②【講義】                      正常な産褥経過からの逸脱におけるアセスメントと助産診断                      ・身体的ハイリスク因子や心理社会的ハイリスク因子のアセスメント                      ハイリスク褥婦や正常を逸脱した褥婦の助産診断と助産ケアおよび家族へのケア                      ・産褥期の異常と合併症の予防                      （異常出血、子宮復古不全、産褥期に起こる感染症、深部静脈血栓症、血栓性静脈炎、                      分娩の影響による異常、妊娠高血圧症候群後遺症、妊娠糖尿病、母子感染症など                      身体的に正常を逸脱している褥婦およびその家族への援助）                      ・腹式帝王切開術後のアセスメントと助産ケア                      ・精神的に問題のある褥婦のアセスメントと助産ケア                      （マタニティーブルーズ、産後うつ病、産後精神病など）</p>	橋爪 由紀子

	第8回	<p>正常な新生児経過からの逸脱およびハイリスク状態にある新生児のアセスメントとケア【講義】</p> <p>正常な新生児の経過からの逸脱におけるアセスメントと助産診断</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイリスク因子のアセスメント</li> </ul> <p>ハイリスク新生児とその家族へのケア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生理学的適応を助ける援助の基本</li> <li>・低出生体重児や早産児へのケア (ハイリスク新生児のケアの原則、ディベロップメンタルケアなど)</li> <li>・ハイリスク児の主要な病態と治療を受ける新生児のケア (呼吸系疾患、循環器系疾患、消化器系疾患、ビリルビン代謝性疾患、中枢神経系疾患、感染症、 分娩外傷など)</li> <li>・児を中心とした家族への支援 (ファミリーセンタードケア)</li> </ul>	吉野めぐみ
科目の目的	<p>妊娠経過の正常からの逸脱を判断し、異常を予測する臨床判断能力を養う。分娩期では、分娩経過の異常を予測し、異常事態に対応する産婦とその家族への助産実践能力を養う。また、産褥期に起こる身体的・精神的問題を診断し、必要な助産支援を行うための知識・技術を学ぶ。ハイリスク新生児のケアの基本を理解し、生理的適応を助けるケアを学ぶ。さらに、妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期において、正常から逸脱した際その他職種、他施設等の連携及び、産科医との協働について学ぶ。</p> <p>【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】【専門性の探究】</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正常を逸脱した妊産褥婦および新生児の助産診断とその診断に基づくケアについて説明できる。</li> <li>・ハイリスク状態にある妊産褥婦および新生児とその家族に必要な援助を説明できる。</li> <li>・ハイリスク状態にある妊産褥婦および新生児のそれぞれの経過をアセスメントし、各期において予防的視点で必要な助産ケアや異常の早期発見および対処を説明できる。</li> <li>・ハイリスク状態にある妊産褥婦や新生児への多職種連携や産科医との協働について考察できる。</li> </ul>		
関連科目	<p>専門科目群：母性看護学総論、母子の健康支援、母性看護方法論、母性看護学演習、小児看護学総論（新生児期や乳幼児期、NICUに関連する内容）、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、助産基礎医学、妊娠期助産診断技術学、分娩期助産診断技術学、産褥期助産診断技術学、新生児・乳幼児期助産診断技術学、母子と家族の心理・社会学、周産期診断学、助産診断技術学演習、ハイリスク助産診断技術学演習</p>		
成績評価方法・基準	定期試験（100％）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>【準備学習の内容】</p> <p>母性看護に関する既習の講義内容、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、小児看護方法論（新生児期や乳幼児期、NICUに関連する内容）の講義内容を復習しておくこと。 基礎助産学及び助産診断・技術学の予習や復習を行っておくこと。</p> <p>【準備学習に必要な時間の目安】</p> <p>各講義につき教科書・講義資料をもとにした3時間の授業時間外における学習（予習・復習など自己学習）が必要となる。（30時間相当）</p>		
教科書	<p>「助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ」堀内成子・片岡弥恵子（医学書院）  「助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院）  「助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期」我部山キヨ子・藤井知行（医学書院）  「助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期」石井邦子・廣間武彦（医学書院）  「助産師基礎教育テキスト 2025年版 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア」小林康江（日本看護協会出版会）</p>		
参考書	<p>「助産師基礎教育テキスト 2025年版 第4巻 妊娠期の診断とケア」森恵美（日本看護協会出版会）  「助産師基礎教育テキスト 2025年版 第5巻 分娩期の診断とケア」佐々木くみ子（日本看護協会出版会）  「助産師基礎教育テキスト 2025年版 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア」江藤宏美（日本看護協会出版会）</p> <p>その他、講義内で紹介する。</p>		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	助産師国家試験受験資格取得のための要件科目		
アクティブ・ラーニングの実施	学生による教室内でのプレゼンテーションやディスカッション		
ナンバリング	NSst-407		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
中島 久美子	廣瀬文乃	吉野めぐみ	橋爪由紀子

授業形態	講義1回・実技29回	担当者
授業計画	<p>第1回 妊娠期の技術 (1) 基礎助産技術 (診察技術、援助技術) 【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習ガイダンス</li> <li>・問診、アセスメント</li> </ul> <p>第2 - 3回 妊娠期の技術 (2) 基礎助産技術 (診察技術、援助技術) 【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外計測、骨盤計測、聴診、内診、クスコ診 (頸部スメア)、レオポルド触診法、子宮底・腹囲測定、ザイツ法他</li> </ul> <p>第4-6回 妊娠期の技術 (3) シミュレーション学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期の助産ケア：シミュレーション学習 (ロールプレイ、リフレクション)</li> </ul> <p>第7-8回 分娩期の技術 分娩介助の原理 【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩介助の総論 (入院時の判断、第1期～分娩室入室の判断、準備、初産婦の分娩介助DVD視聴、他)</li> <li>・正常分娩介助法の原理、間接介助の役割他</li> <li>・助産基本技術 (導尿、無菌操作、ガウンテクニックなど)</li> <li>・分娩介助準備 (物品準備、清潔野、外陰部消毒)</li> </ul> <p>第9-12回 正常分娩の介助 (1) 正常分娩介助法 【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩介助時の技術 (肛門保護、人工破膜、会陰保護)</li> <li>・分娩介助時の技術：児の娩出・児の処置 (児頭娩出、顔面清拭、巻絡確認、肩甲娩出～体幹娩出、娩出時間・性別確認、出生児の呼吸助成、臍帯切断)</li> <li>・胎盤の検査：胎盤娩出 (胎盤精査、子宮収縮・軟産道精査、子宮底輪状マッサージ)</li> </ul> <p>第13回 分娩介助の準備 【実技試験①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩介助準備 (分娩物品準備の展開、清潔テクニック)</li> </ul> <p>第14回 分娩介助法の実際、分娩介助技術評価 【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩介助手順の説明、ビデオ学習</li> <li>・分娩介助評価法の解説</li> <li>・分娩介助技術試験②の解説</li> </ul> <p>第15回 分娩介助法・産後の助産ケアの実際 (分娩第1期・産後の緩和ケア) 【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産痛と産痛緩和法：呼吸法・怒責法・腹圧、分娩促進・姿勢の工夫、ツボ刺激、マッサージ他</li> <li>・無痛分娩の分娩第1期の観察と助産ケア</li> <li>・産後の緩和ケア：全身観察、産後の身体的緩和、マッサージ他</li> </ul> <p>第16-17回 分娩介助演習 (1) 【実技】 ゲストスピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩介助手順のデモンストレーション、分娩介助演習</li> </ul> <p>第18回 新生児の出生直後の観察・助産技術 (1) 【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出生直後の観察・ケア・諸計測、成熟度評価、アプガールスコア、シルバーマンスコア</li> </ul> <p>第19-21回 新生児の出生直後の観察・助産技術 (2) シミュレーション学習 【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児期の助産ケア：シミュレーション学習 (ロールプレイ、リフレクション)</li> </ul> <p>第22回 産褥期の技術 乳房管理・乳房ケア 【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退行性変化促進への援助、日常生活適応 (マイナートラブル) への援助、等</li> <li>・乳汁分泌の機序、乳房診察、乳管開通法、乳房マッサージ、搾乳など</li> </ul> <p>第23-24回 産褥期の技術 乳房管理・乳房ケア シミュレーション学習 【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産褥期の母乳育児支援：シミュレーション学習 (ロールプレイ、リフレクション)</li> </ul> <p>第25回 分娩介助法の実際 (フリースタイル分娩) 【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・側臥位、座位、四つんばい、スクワット他</li> </ul>	<p>中島・廣瀬・吉野</p> <p>廣瀬・吉野</p> <p>中島・廣瀬・橋爪 廣瀬・吉野</p> <p>廣瀬・吉野</p> <p>中島・橋爪・廣瀬・吉野</p> <p>中島</p> <p>吉野</p> <p>中島・橋爪・廣瀬・吉野・ゲストスピーカー</p> <p>吉野</p> <p>吉野・廣瀬・中島</p> <p>橋爪・吉野</p> <p>橋爪・吉野・中島</p>

	第26-28回 分娩介助演習(2) シミュレーション学習【実技】 ・分娩介助演習：分娩期シミュレーション学習（ロールプレイ、リフレクション） ・直接・間接介助の連携・協働	廣瀬・中島・吉野・橋爪
	第29-30回 分娩介助 【実技試験②】 ・直接介助 ・間接介助／新生児観察ケア	
科目の目的	妊娠・分娩・産褥各期の女性と新生児の身体的・心理的・社会的状態の正常・異常の判断と、対象によりよい助産を提供するための基礎的実践能力を養う。 【対象の理解／看護の実践／協調・協働／専門性の探究／地域社会への貢献】	
到達目標	妊娠・分娩・産褥各期の女性と新生児の身体的・心理的・社会的状態の正常・異常の判断について説明できる。 妊娠・分娩・産褥・新生児の正常経過に沿ったシミュレーションにより、助産診断・助産ケアが習得できる。 正常分娩介助法の原理が理解でき、分娩介助技術が習得できる。 正常分娩におけるチーム連携が理解でき、直接介助、間接介助の各々の助産師の役割と助産ケアが習得できる。	
関連科目	母性看護方法論、母性看護学演習、基礎助産医学、母子の健康支援、母子と家族の心理社会学、妊娠期助産診断技術学、分娩期助産診断技術学、産褥期助産診断技術学、新生児・乳幼児期助産診断技術学	
成績評価方法・基準	実技試験（80％）：分娩準備10％ 直接介助50％ 間接介助・新生児観察ケア20％ シミュレーション学習の課題（20％）：妊娠期5％ 分娩期5％ 産褥期5％ 新生児5％	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習内容：基礎助産学及び助産診断・技術学の予習・復習。分娩介助技術と基礎看護技術の実技の習得。助産診断・助産課程に関する演習課題。 準備学習時間の目安：1時間	
教科書	「助産学講座6、助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院） 「助産学講座7、助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院） 「助産学講座8、助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院）	
参考書	「正常分娩の助産術、トラブルへの対応と会陰裂傷縫合」進純郎・堀内成子（医学書院） 「助産外来の健診技術、根拠に基づく診察とセルフケア指導」進純郎・高木愛子（医学書院）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	助産師課程履修者のみ履修可能とする。助産師課程に必須要件科目。	
アクティブ・ラーニングの実施	ディスカッション、妊娠・分娩・産褥・新生児および産科危機予防の助産技術演習、シミュレーション教育	
ナンバリング	NSs-409	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	中島 久美子（助産師）、橋爪 由紀子（助産師）、廣瀬 文乃（助産師）、吉野 めぐみ（助産師）	
授業の概要	正常経過の助産診断技術学で学んだ理論に基づき、妊婦健康診査時の妊婦への援助、分娩進行の診断に係る技術、産痛の緩和と安楽な分娩期の過ごし方への援助、分娩介助技術、新生児の観察とケア、褥婦への援助と母乳育児支援等を演習により習得する。 助産の実践に必要な基本的技術及び分娩等において、対象や他職種専門性を尊重し、適切な役割分担と連携の下で支援を行うための高いコミュニケーション能力を演習により習得する。”	

講義科目名称： ハイリスク助産診断技術学演習

授業コード： 4N130

英文科目名称： Practice in High Risk Midwifery Diagnostic Technololy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
廣瀬 文乃	中島 久美子	橋爪 由紀子	吉野 めぐみ
	六川 俊一	遠藤 究	
授業形態	演習15回		
授業計画	第1-6回	異常な経過の妊産褥婦の事例を通した助産過程の展開【演習】 1・2回 妊娠期の異常 ハイリスク妊婦・異常妊婦の助産診断（HDP、PROM、切迫早産） 3・4回 分娩期の異常ハイリスク分娩・異常分娩の助産診断（異常出血の処理、帝王切開前後のケア） 5回 産褥期 ハイリスク褥婦（帝王切開後の産褥経過のケア、メンタルヘルス） 6回 新生児期 新生児の助産診断（低出生体重児、帝王切開分娩児のケア）	
	第7-8回	超音波診断・胎児心拍数陣痛モニタリング 母体・胎児の健康診査に必要な基礎知識【実技】 ・超音波診断、胎児心拍数陣痛モニタリングによる検査の実際、包括的な胎児の健康状態の評価	
	第9回	止血法 基礎助産技術：緊急時の対応と応急処置（1）【実技】 ・止血技術の実際（緊急時使用物品と薬剤、止血法、出血性・非出血性ショック時の処置、異常出血への対応） ・産後異常出血時の臨床判断、連携・協働（シミュレーション）	
	第10回	会陰切開・裂傷部縫合 基礎助産技術：緊急時の対応と応急処置（2）【実技】 ・会陰切開と裂傷部の縫合の実際	
	第11回	新生児蘇生 基礎助産技術：緊急時の対応と応急処置（3）【実技】 ・新生児蘇生の実際	
	第12-15回	ハイリスク編分娩介助シミュレーション【実技】 ・異常経過をたどる産婦に対する分娩介助シミュレーション（急速遂娩、出血、胎児機能不全） ・ロールプレイ、リフレクション	
担当教員	1・2回廣瀬、3・4回中島、5回橋爪、6回吉野 遠藤究 六川俊一 六川俊一 六川俊一 中島・橋爪・廣瀬・吉野		
科目の目的	ハイリスク状態にある妊産褥婦および新生児の経過から予防的ケアと以上の早期発見・対処ができる能力を養う。対象者が正常から逸脱した際の、多職種との連携・協働を学ぶ。 【対象の理解、看護の実践、協調・協働、専門性の探究】		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠・分娩・産褥および新生児期の異常を予測する助産診断と、診断に基づくケアを説明できる。</li> <li>・正常から逸脱した際の母子への介入に関わる助産技術を説明できる。</li> <li>・正常から逸脱した際の多職種との連携・協働を説明できる。</li> </ul>		
関連科目	母性看護方法論、母性看護学演習、基礎助産医学、母子の健康支援、母子と家族の心理社会学、妊娠助産診断技術学、分娩期助産診断技術学、産褥期助産診断技術学、新生児・乳幼児期助産診断技術学、ハイリスク助産診断技術学		
成績評価方法・基準	課題提出（50%）、定期試験（50%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容：基礎助産学及び助産診断・技術学の予習・復習。分娩介助技術と基礎看護技術の実技の習得。助産診断・助産過程に関する演習課題。 学習時間の目安：1時間		
教科書	「助産学講座6、助産診断・技術学Ⅱ〔1〕妊娠期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院） 「助産学講座7、助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院） 「助産学講座8、助産診断・技術学Ⅱ〔3〕新生児期・乳幼児期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院） 「助産師基礎教育テキスト7、ハイリスク妊産褥婦新生児へのケア」遠藤俊子（日本看護脅威会出版会）		
参考書	「正常分娩の助産術、トラブルへの対応と会陰裂傷縫合」進純郎・堀内成子（医学書院） 「助産外来の健診技術、根拠に基づく診察とセルフケア指導」進純郎・高木愛子（医学書院） その他、講義内で紹介する。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	助産師課程支流者のみ履修可能とする。助産師課程に必須要件科目。		
アクティブ・ラーニングの実施	ディスカッション、妊娠・分娩・産褥・新生児および産科危機予防の助産技術演習、シミュレーション教育		

ナンバリング	NSt-409
実務経験のある教員による授業	
実務経験	廣瀬 文乃（助産師）、中島 久美子（助産師）、橋爪 由紀子（助産師）、吉野 めぐみ（助産師）
授業の概要	異常な経過をたどる妊産褥婦の事例を通して、妊娠、分娩、産褥、新生児期の異常経過を予測し、異常時の援助ができるための助産過程の展開を学び、異常時の対応を演習により習得する。 ハイリスク助産診断技術学で学んだ理論に基づき、妊婦健康診査に係る技術(ノンストレステストの実施、経腹超音波など)、異常発生時の母子への介入に係る技術として、胎児機能不全への対応、産科危機的出血への処置、産婦に対する一時救命処置、新生児蘇生法の実施、会陰切開及び裂傷時の縫合等を演習により習得する。”

講義科目名称： 地域母子保健論

授業コード： 4N131

英文科目名称： Community maternal and child health

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
橋爪 由紀子			

授業形態	講義（一部グループワークを含む）	担当者
授業計画	<p>第1回 地域母子保健活動の意義 地域母子保健活動の目的と目標 母子をめぐる諸問題と課題</p> <p>第2回 地域母子保健活動における助産師の役割 助産サービスの目的と特徴 助産所・保健センター</p> <p>第3回 産後の母子の母子訪問① 母子のフィジカルアセスメント 母乳栄養の確立 産後の精神衛生 乳児の生活環境など</p> <p>第4回 産後の母子の母子訪問② 産後の母子の母子訪問の助産計画の立案</p> <p>第5回 産後の母子訪問の実際 ロールプレイ</p> <p>第6回 地域における子育て支援 地域子育て支援の意義と役割 地域における子育て支援活動の必要性</p> <p>第7回 乳児の健康診査 乳児の成長発達と健康診査（1か月健診と4か月健診） プレゼンテーション</p> <p>第8回 在日外国人の母子保健 異なる文化を持つ妊産婦への助産ケア 文化として妊娠・出産 外国人母子への助産ケアのポイント</p>	<p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p> <p>橋爪由紀子</p>
科目の目的	保健・医療・福祉関係者と連携・協働しながら、地域における子育て世代を包括的に支援する能力を養う。 助産師による地域母子保健活動の特徴と実際について学ぶ。 産後4か月までの母子の健康状態のアセスメントと支援に必要な能力を養う。 在日外国人の母子保健について母子の健康問題及び助産ケアの特徴を学ぶ。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・医療・福祉関係者と連携・協働と地域における子育て世代を包括的な支援について説明できる。</li> <li>・産後4か月までの母子の健康状態のアセスメントの視点、援助に必要な技術を説明できる</li> <li>・助産師による地域母子保健活動の特徴について説明できる。</li> <li>・在日外国人の母子保健について母子の健康問題及び助産ケアの特徴について説明できる。</li> </ul>	
関連科目	専門科目群：母性看護学総論、母子の健康支援、母性看護方法論、母性看護学演習、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ、助産基礎医学、母子と家族の心理・社会学、周産期診断学、助産診断技術学演習	
成績評価方法・基準	プレゼンテーション・ロールプレイ（60%）、課題提出（40%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母性看護に関する既習の講義内容を復習しておくこと。</li> <li>・【準備学習に必要な時間の目安】各講義につき4時間程度の授業時間外における学習（予習・復習など自己学習）が必要となる</li> </ul>	
教科書	「助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健」我部山キヨ子（医学書院）	
参考書	「新版 助産師業務要欄Ⅰ 基礎編」 福井トシ子・井本寛子（日本看護協会出版会） 「助産師基礎教育テキスト6 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア」江藤宏美（日本看護協会出版会） 「乳児健診マニュアル 第7版」福岡地区小児医師会 乳幼児保健委員会（医学書院）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	助産師国家試験受験資格取得のための要件科目	

アクティブ・ラーニングの実施	学生によるプレゼンテーション、ロールプレイ
ナンバリング	NSt-410

講義科目名称： 助産管理

授業コード： 4N132

英文科目名称： Midwifery Management

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
早川 有子	早川有子	高橋美鈴	前川智美
	松浦光子		

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1・2回 助産管理の基本と助産業務管理 管理者とは 管理者の役割とは 助産管理とは 助産業務管理とは ・助産管理の基本と助産業務管理の過程 ・助産業務管理の方法 ・助産業務管理と医療経済</p> <p>第3・4回 病産院における助産管理 ・周産期棟・混合病棟の管理 ・院内助産・院内助産院の管理 ・助産師外来の管理</p> <p>第5・6回 関係法規と助産師の義務・責務 ・関係法規 ・助産師の法的責任と義務</p> <p>第7回 助産所における助産業務の管理・運営の実際</p> <p>第8・9回 助産業務と医療事故 助産に関する医療安全と危機管理 ・助産師が行う安全対策と医療事故防止</p> <p>第10・11回 助産業務の実際 助産業務管理の過程 助産業務管理の方法 産科棟の管理 外来の助産管理 病産院における助産業務の管理・運営など 妊産婦及び児の安全の確保 産科病棟における医療事故の原因と対応 災害時の助産師の役割と対応 周産期医療システムの運用と地域連携</p> <p>第12・13回 周産期管理システムとリスクマネジメント、チーム医療と職種間・地域の連携 周産期医療体制と地域連携 助産に関する医療安全と危機管理</p> <p>第14・15回 助産業務と災害看護・対策 最近の災害と対策 助産業務の早期復旧と継続に向けたマニュアル 妊産婦・母子・女性への災害に対する教育 母乳バンク等について 災害に備える助産師のための減ドリルの活用</p>	<p>早川</p> <p>早川</p> <p>早川</p> <p>松浦</p> <p>早川</p> <p>前川</p> <p>高橋</p> <p>早川</p>
科目の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助産管理の基本概念及び施設の形態に応じた助産の業務、人事管理、予算管理、情報管理の基本的考え方について学ぶ。</li> <li>・医療事故への助産師としての対応について学ぶ。</li> <li>・周産期医療システムの運用と関係機関との連携について学ぶ。</li> <li>・【協調・協働】 【専門性の探求】 【地域社会への貢献】</li> </ul>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助産業務の管理、助産所の運営の基本について説明できる。</li> <li>・周産期医療システムの運用と関係機関との連携について説明できる。</li> <li>・周産期における医療安全の確保と医療事故への対応について説明できる。</li> </ul>	
関連科目	基礎助産学 I 地域保健行政	
成績評価方法・基準	定期試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>準備学習の内容：母性看護、助産ケアの既習講義の復習をして講義に臨むこと。 学習課題を持って講義に臨むこと。</p> <p>準備学習時間の目安：本科目は、90時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30時間（15コマ）となるため、60時間分相当の準備学習が必要である。</p>	
教科書	教科書 助産管理（医学書院）	
参考書	参考書 助産業務ガイドライン2019（日本助産師会）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	

国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	助産師国家試験受験資格取得のための要件科目（助産師課程履修者のみ履修可能）
アクティブ・ラーニングの実施	テーマを提示しthink-pair-share 事例課題によるディスカッション
ナンバリング	NSt-411

講義科目名称： 看護基礎実習

授業コード： 4N133

英文科目名称： Basic Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
千葉 今日子	萩原 一美	堀込 由紀	長嶺 めぐみ
	村田亜夕美	森田 綾子	

授業形態	実習（5日間）	担当者
授業計画	<p>実習内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病院の構造・機能、地域医療の中での役割を理解する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護部のオリエンテーション、部門見学</li> <li>2) 病棟オリエンテーション、病棟見学</li> </ol> </li> <li>2. 病院で働く看護職及び他の様々な職種の役割を理解する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護師の援助場面に同行</li> <li>2) 病棟でのカンファレンス</li> <li>3) 看護部のオリエンテーション</li> </ol> </li> <li>3. 対象との関係を成立させるコミュニケーションを理解する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護師と患者のコミュニケーション場面の見学 傾聴・受容的態度、言語的・非言語的コミュニケーション</li> <li>2) 患者とコミュニケーション</li> </ol> </li> <li>4. コミュニケーションをとおしての自己の課題と解決策を考える。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) プロセスレコードによる自己のコミュニケーションの振り返り</li> <li>2) コミュニケーションにおける自己の傾向と課題と解決策</li> </ol> </li> <li>5. 看護者の役割と責務、看護の目的を考える。 実習をとおしての学びとしてレポート記述</li> </ol> <p>実習期間・時間 2026年：2月の5日間（9：00～16：00）</p> <p>実習場所 1. 病院実習：高崎総合医療センター 2. 学内実習（大学内 講義室）</p> <p>実習のすすめ方 1) 学内オリエンテーション：学内 実習目的、目標、行動目標、実習方法、実習記録、評価、留意事項について教員が説明を行う。 2) 病院実習              (1) 病院オリエンテーション：高崎総合医療センター              ① 病院の機能、構造、役割              ② 看護部の役割、チーム医療              (2) 病棟オリエンテーション              病棟の特徴、看護体制、構造などを実習指導者より説明を受ける。              (3) 選定された患者とのコミュニケーション              (4) 看護師の看護援助場面の見学              3) 学内実習              (1) 入院患者の身体的・心理的・社会的特徴の特徴を理論と実際を比較し考察する。              (2) 患者とのコミュニケーションから、自己のコミュニケーション能力を分析し考察する。</p>	萩原一美 堀込由紀 千葉今日子 長嶺めぐみ 村田亜夕美 森田綾子
科目の目的	コミュニケーションをとおして看護の対象とその生活環境を理解し、看護の役割を考えることを目的とする。【対象の理解】【協調・協働】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象が療養する場としての病院の環境を説明できる。</li> <li>2. 対象が療養する場での生活について説明できる。</li> <li>3. 会話をとおして、看護の対象の特徴を説明できる。</li> <li>4. 対象とのコミュニケーションをとおして自己を振り返り、課題に気づくことができる。</li> <li>5. 実習をとおして、看護師の役割と責任及び看護の目的を説明できる。</li> <li>6. 看護学生として積極的に学び、責任ある行動をとることができる。</li> </ol>	
関連科目	教養科目群：社会学、情報リテラシー 専門基礎科目群：発達心理学、臨床心理学  専門科目群：看護学概論Ⅰ・Ⅱ 基礎看護技術演習 コミュニケーション論 日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ 成人看護学総論、老年看護学総論、精神保健	
成績評価方法・基準	看護基礎実習の評価表に準じ評価する（100%）。評価にあたっては、実習の出席日数、実習中の学習・事前・事後学習への取り組みを勘案して総合的に評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	実習前・後 1日につき 60分～120分	
教科書	教科書1：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 教科書2：系統看護学講座 専門分野 看護学概論 医学書院	

参考書	実習開始前に提示する。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	病院実習では、実習用ユニフォーム、ナースシューズ、名札を着用する。また、実習要項を熟読の上、積極的な姿勢で臨む。 履修条件：学生便覧 履修の手引き「臨地実習・臨床実習科目」の欄を参照する。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習・発見学習・問題解決学習
ナンバリング	NSu-101
実務経験のある教員による授業	
実務経験	千葉今日子（看護師）、萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、長嶺めぐみ（看護師）、村田 亜夕美（看護師）、森田 綾子（看護師）
授業の概要	療養生活支援実習及び臨床看護実習、地域・在宅看護実習の基盤の実習となるよう、従来の病院での療養者（患者）だけを対象とするのではなく、さまざまな場（環境）で生活する看護の対象を理解する。対象を理解する上で必要な、コミュニケーションの基本「聴く」「書く」「話す」を通して、自己のコミュニケーションを振り返る。

講義科目名称： 療養生活支援実習

授業コード： 4N134

英文科目名称： Nursing Practicum in Hospitalized Life Support

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
堀込 由紀	萩原 一美	長嶺 めぐみ	千葉 今日子
	村田 亜夕美	森田 綾子	

授業形態	実習(2週間)		担当者
授業計画	<p>実習病院 高崎総合医療センター、公立藤岡総合病院、群馬中央病院、善衆会病院、日高病院、公立富岡総合病院</p> <p>学内実習 群馬パース大学教室、ゼミ室、実習室等</p> <p>実習期間 2025年8月18日～8月29日、 2023年9月1日～9月12日 2週間</p> <p>実習時間 9：00～16：00</p> <p>実習内容</p> <p>病院実習 &lt;1週目&gt; 月曜日 学内実習（事前学習確認、実習行動計画表作成、受け持ち患者決定等） 火～金曜日 病院実習（病棟オリエンテーション、受け持ち患者の看護過程の展開のうち、情報収集、アセスメント、関連図、看護問題リスト）</p> <p>&lt;2週目&gt; 月～木曜日 病院実習（受け持ち患者の看護過程の展開のうち、ケアプランの立案、実施・評価・修正） 金曜日 学内実習（記録整理・評価面接）</p> <p>実習内容 病院実習においては、学生1名に対し、1名の対象者を受け持ち、療養生活上のニーズを捉え、必要な看護援助を行う。詳細は実習要項に提示する。</p> <p>実習記録等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>受け持ち患者記録1（フェイスシート）</li> <li>受け持ち患者記録2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、2-6、2-7、2-8（アセスメントシート）</li> <li>受け持ち患者記録3（関連図）</li> <li>受け持ち患者記録4（問題リスト）</li> <li>受け持ち患者記録5（ケアプラン）</li> <li>看護援助実施計画</li> <li>実習行動計画表</li> <li>カンファレンスの記録</li> <li>実習評価表</li> <li>レポート</li> <li>その他（事前学習ワークシート、看護技術自己練習表、実習及び演習におけるプログレスファイル）</li> <li>体調チェックシート（実習2週間前～実習前日、実習期間）</li> </ol> <p>オリエンテーション（7月） 実習目的、実習目標、実習方法、留意事項、事前学習等に関して説明を聞き、実習に向けての準備を行う。</p>	堀込由紀・萩原一美・千葉今日子・長嶺めぐみ・村田亜夕美・森田綾子	
科目の目的	対象を理解し、健康の維持や回復に関わる療養生活上のニーズを捉え看護過程の展開を通して対象に必要な看護援助を行う。また、実施した看護について振り返り、自己の課題を明確化する。 【対象の理解】 【看護の実践】		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>対象者へ関心を持ち、援助関係を構築することができる。</li> <li>対象者の療養生活におけるニーズを把握し看護過程を展開することができる。</li> <li>対象者に必要な療養生活上の看護援助を根拠に基づき、安全、安楽に配慮し実施することができる。</li> <li>看護学生としての責任と態度について考え、自己の課題を明らかにすることができる。</li> </ol>		
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ、臨床検査学、免疫・感染症学、発達心理学、看護学概論Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション論、基礎看護技術演習、看護基礎実習、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、看護過程論入門、看護過程展開論演習		

成績評価方法・基準	実習期間の4/5以上出席し、指定された期限内に実習記録類を提出した者を対象に、療養生活支援実習評価表に基づき評価する（100%）。療養生支援実習評価表は、実習目標の到達度、実習に対する主体的な態度や取り組み状況の評価等を総合的に評価するよう構成する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習は別途提示する。また、既習の看護技術について、実習室にて自己学習を行う（療養生支援実習技術練習表参照）。
教科書	指定しない。
参考書	指定しない。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	事前学習を行い、既習の看護技術について自己練習を行って十分な準備をした上で、主体的に実習に臨むこと。体調管理に十分に留意し、実習2週間前から実習終了日まで体調チェックシートを記録し教員のチェックを受けること。個人情報保護の必要性を十分に理解し、行動すること。実習では身だしなみを整え、倫理的態度をもって実習に臨むこと。
アクティブ・ラーニングの実施	臨地での実習において、学生自らが主体となり、療養生支援を中心とした看護を実践するための基礎的能力を修得し、学習過程で生じた疑問や意見は、教員や実習指導者への質問、カンファレンスでの意見交換による相互学習を行うことで、理解につなげていく。
ナンバリング	NSu-201
実務経験のある教員による授業	
実務経験	堀込 由紀（看護師）、萩原 一美（看護師）、長嶺 めぐみ（看護師）、千葉 今日子（看護師）、森田 綾子（看護師）、佐藤 美保（看護師）、村田 亜夕美（看護師）
授業の概要	健康問題を抱えた対象の療養生上のニーズを捉え、対象者と援助的関係を築きながら、日常生活援助支援を中心とした看護を実践するための基礎的能力を育む。また、看護を実践する上で必要な思考過程を学ぶ。

講義科目名称： 臨床看護基盤実習

授業コード： 4N135

英文科目名称： Fundamental Clinical Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 政孝	萩原 英子, 関 妙子, 金子 吉美	反町 真由, 東泉 貴子, 高野 直美	佐藤 和也, 湯澤 香緒里, 日下田 那美
	廣瀬 文乃, 吉野めぐみ, 林 恵		

授業形態	実習：病院実習7日間、学内実習3日間		担当者
授業計画	<p>実習期間 実習日程 1クール目 2026年2月10日(月)～2月25日(火)、2クール目 2月21日(金)～3月10日(月) *いずれか1つのクール 病院実習7日間、学内実習3日間、合計10日間とする。 実習時間 学内実習9:00～16:00 病院実習8:30～16:30</p> <p>実習施設 独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター 公立藤岡総合病院 公立富岡総合病院</p> <p>実習の過程 2週間の実習期間の内、病院実習7日間、学内実習3日間で展開する。 実習期間前に、全体オリエンテーション(1月頃)、施設別オリエンテーション(2月頃)を実施する。日程は確定次第周知する。 1)病院実習 実習2日目から8日目に実施する。 受け持ち対象者基準に準じた1名を受け持ち、疾患や障害により生じる健康上の問題に焦点をあて、情報の分析、看護診断(看護問題の抽出)、ケアプラン立案、実施・評価という健康問題の解決のための看護過程を展開する。 2)学内実習 実習1日目、9日目、10日目に実施する。 実習1日目はグループ別オリエンテーションとし、実習要項の内容について実習担当教員と共に確認を行う。また、グループ内の役割決定や実習に必要な看護技術の演習、実習を行う病棟の疾患や治療についての学習を行う。 実習9日目および10日目は、実習記録の追加修正、実習担当教員との面談、実習後レポートの作成、最終記録物の提出を行う。</p> <p>実習記録 1. 実習記録用紙 1) 受け持ち患者記録Ⅰ(アセスメントシート) 2) 受け持ち患者記録Ⅱ(関連図) 3) 受け持ち患者記録Ⅲ(ケアプラン) 4) 実習行動計画表 5) 最終カンファレンスシート 2. 病院実習後レポート</p>		堀越 政孝, 萩原 英子, 関 妙子, 金子 吉美, 反町 真由, 東泉 貴子, 高野 直美, 佐藤 和也, 湯澤 香緒里, 日下田 那美, 廣瀬 文乃, 吉野めぐみ, 林 恵
科目の目的	既習の看護学の知識と技術および態度を統合し、対象の疾患や障害により生じる健康上の問題を解決するための看護過程を展開し実践する能力を養う。 【対象の理解】 【看護の実践】		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疾患や障害をもつ対象の身体的・心理社会的特性を把握することができる。</li> <li>2. 対象の疾患や障害により生じる健康問題を理解し、系統的に看護過程を展開することで、具体性のあるケアプランを立案し、それに則った看護を実践できる。</li> <li>3. 展開した看護過程を振り返り、実践した看護の評価およびケアプランの修正ができる。</li> <li>4. チーム医療における看護師の役割と責務を理解し、チームの一員という自覚のもと行動できる。</li> </ol>		
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、病態栄養学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、免疫・感染症学、臨床検査学、発達心理学、臨床心理学、看護学概論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習、コミュニケーション論、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、看護過程論入門、看護過程展開論演習、治療援助学演習、看護基礎実習・療養生活支援実習ほか全臨地実習、統合実習		
成績評価方法・基準	実習日数のうち4/5以上、出席した者を評価の対象とし、臨床看護学基盤実習評価表に基づき評価する。 実習目標到達度80%、事前学習への取り組み10%、学内実習への取り組み10%とする。		

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に必要な学習時間は5時間程度である。準備学習課題として「事前学習シート」に取り組み、実習病棟の代表的な疾患(呼吸器、消化器等)についての病態生理、症状、検査、治療、看護に関する学習を行う。詳細は、実習要項に提示する。
教科書	『ナーシング・グラフィカ 基礎看護学1 看護学概論』(メディカ出版) 『ナーシング・グラフィカ 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ』(メディカ出版) 『ナーシング・グラフィカ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ』(メディカ出版) 『看護がみえるvol.1 基礎看護技術』(MEDIC MEDIA) 『看護がみえるvol.4 看護過程の展開』(MEDIC MEDIA) 『系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論』(医学書院) 『系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論』(医学書院) 『系統看護学講座 成人看護学2～14』(医学書院) 『看護診断ハンドブック 第12版』(医学書院)
参考書	『緊急度・重症度からみた 症状別看護過程+病態関連図』(医学書院) 『わかる!検査値とケアのポイント』(医学書院) 解剖学、生理学、薬理学、病態生理学、疾病の理解等において使用した教科書および参考書
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	履修条件： 2年次後期までに開講される全ての必修科目の単位認定を受けていること。 また、必要なワクチン接種(麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘・B型肝炎・インフルエンザなど)が完了していること。 履修上の注意： 自己の健康管理に留意し、主体的に実習に取り組むこと。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習(実習)
ナンバリング	NSu-202
実務経験のある教員による授業	
実務経験	堀越 政孝(看護師)、中下 富子(看護師)、西川 薫(看護師)、萩原 英子(看護師)、中島 久美子(看護師)、関 妙子(看護師)、金子 吉美(看護師)、反町 真由(看護師)、東泉 貴子(看護師)、佐藤 和也(看護師)、村田 亜夕美(看護師)、湯澤 香緒里(看護師)日下田 那美(看護師)、廣瀬 文乃(看護師)、吉野 めぐみ(看護師)、林 恵(看護師)
授業の概要	生活上の視点から看護の対象を捉え看護過程を展開する方法から、健康問題・健康障害をもつ対象という視点に移行する初期の段階に位置づけた実習となる。1名の患者を受け持ち、健康上の問題に焦点をあて、情報の分析、看護診断、計画立案、実施・評価という、健康問題の解決のための看護の過程を学ぶ。

講義科目名称： 地域・在宅看護学実習

授業コード： 4N136

英文科目名称： Home and Community-based Care Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 基	反町 真由	林 恵	

授業形態	実習(2W)		担当者
授業計画	<p>実習期間 2025年8月25日(月)～2026年2月6日(金) 2週間(訪問看護ステーション6日間、地域包括支援センター1日間、学内実習3日間)</p> <p>実習施設 訪問看護ステーション(①～⑦順不同のうち1施設) ①訪問看護オールケア高崎 ②群馬県看護協会訪問看護ステーション渋川 ③群馬県看護協会訪問看護ステーション富岡 ④群馬中央医療生活協同組合城東訪問看護ステーションたんぼぼ ⑤はるな生活協同組合訪問看護ステーションほほえみ ⑥訪問看護ステーションいせさき ⑦訪問看護ステーション咲</p> <p>地域包括支援センター(①～③のうち1施設) ①高齢者あんしんセンターたかさき社協 ②高齢者あんしんセンター希望館 ③高齢者あんしんセンター通町</p> <p>実習概要 訪問看護ステーション 1)施設内オリエンテーション 2)訪問看護の同行 複数の訪問事例を通して対象の理解を深め、対象の生活の場や状況に応じた援助方法を学ぶ。 3)看護過程の展開 1事例について、看護過程を展開する。 4)カンファレンス 指導者/スタッフ・指導教員・学生同士でのカンファレンスを通じて学習体験を共し、学びを深める。</p> <p>地域包括支援センター 1)施設の概要の説明および見学 地域包括支援センターの役割・機能について理解する。 2)各業務の見学・同行 総合相談支援、権利擁護業務、介護予防支援、ケアマネジメント支援などの業務の実際を見学・同行し、関係機関・関係職種との連携の実際を学ぶ。また、地域で生活する健康レベルの高い人の健康を保持する支援を学ぶ。 3)発表資料の作成、カンファレンスの参加</p> <p>学内実習 1)訪問看護ステーションおよび地域包括支援センターでの実習を通し、地域ケアシステムの中での関係機関・関係職種との連携方法、地域における訪問看護の役割について考える。グループワークを行い、プレゼンテーション資料を作成する。 2)発表会を行い、学びの共有を図る。</p>	齋藤 基 反町 真由 林 恵	
科目の目的	<p>既習の知識・技術を用いて、地域で療養する対象とその家族に対する理解を深め、地域・在宅の場における看護の方法と在宅ケアチームにおける看護の役割を学ぶ。また、地域ケアシステムの中での関係機関・関係職種との連携方法、地域で生活する健康レベルの高い人々の健康を保持するための支援方法を学ぶ。</p> <p>ディプロマポリシー【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】【地域社会への貢献】</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅看護の対象となる療養者とその家族の療養生活の特徴が説明でき、対象者に応じた看護支援が説明できる。</li> <li>2. 在宅療養の場における訪問看護の役割が説明できる。</li> <li>3. 在宅療養者とその家族を対象とする看護過程が展開できる。</li> <li>4. 訪問看護ステーションの機能・役割が説明できる。</li> <li>5. 在宅療養支援システムの仕組みと多職種連携の実際を学び、それぞれの専門性や役割が説明できる。</li> <li>6. 地域包括支援センターの役割・機能、高齢者支援の実際を説明できる。</li> </ol>		
関連科目	<p>既習の在宅看護関連科目(地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護方法論、地域・在宅看護展開論、地域・在宅看護学演習)、既習の看護専門科目</p>		
成績評価方法・基準	<p>実習評価表(80%)、事前課題(10%)、まとめレポート(10%)</p>		

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	〈予習〉地域・在宅看護学関連科目で学修した内容を復習し、事前課題を整理し、実習に臨む。 〈復習〉実習期間中は日々の提出物が提示されるため、遅れないよう提出する。また、訪問事例に 対する理解を深めるための調べ学習を必要に応じて行う(60分程度)
教科書	「系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤」河原加代子(医学書院) 「系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践」河原加代子(医学書院)
参考書	「看護診断ハンドブック」(医学書院)
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	履修条件：3年次前期までに開講される全ての必修科目の単位認定を受けていること。 履修上の注意：自己の健康管理を行い、主体的に取り組むこと。訪問看護ステーションにおける同 行訪問では、療養者・家族の生活の場に訪問することを自覚し、マナーを守りつつ積極的に学ぶ態 度で臨むこと。
アクティブ・ラー ニングの実施	訪問看護同行実習、グループディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション
ナンバリング	NSu-301
実務経験のある教員による授業	
実務経験	齋藤 基(看護師)、反町 真由(看護師)、林 恵(看護師)
授業の概要	訪問看護ステーションでの実習を通して、地域で生活しながら療養する対象と家族に対する具体的 な看護の実践方法を学ぶ。在宅療養者と家族の生活にふれ、訪問看護の実際に参加することで、地 域における訪問看護の役割と責任について考える。また、地域ケアシステムの中での関係機関・関 係職種との連携方法を理解する。更に、地域で生活する健康レベルの高い人の健康を保持するた めの支援方法を学ぶ。

講義科目名称： 成人看護学実習

授業コード： 4N137

英文科目名称： Adult Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	5単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 英子	堀越政孝	金子吉美	湯澤香緒里
	日下田那美		

授業形態	実習 (5週間)	担当者
授業計画	<p>1. 実習場所                      病院実習：前橋赤十字病院(5C病棟、6B病棟、6D病棟)                      渋川医療センター(4東病棟、4西病棟、5西病棟、6西病棟)                      済生会前橋病院(整形外科病棟)                      学内実習：群馬パース大学 教室・ゼミ室等</p> <p>2. 実習期間                      2025年8月～2026年1月                      ※うち、病院実習4週間、学内実習1週間の計5週間</p> <p>3. 実習時間                      病院実習：8:30～16:30                      学内実習：9:00～16:00</p> <p>4. 実習スケジュール                      &lt;1週目&gt;                      月曜日：学内実習                      (部門別実習オリエンテーション、模擬患者参加型看護技術演習)                      火～金曜日：病院実習(部門別実習)                      &lt;2週目&gt;                      月～金曜日：病院/学内実習(患者受け持ち実習)                      &lt;3週目&gt;                      月～金曜日：病院/学内実習(患者受け持ち実習)                      &lt;4週目&gt;                      月～金曜日：病院/学内実習(患者受け持ち実習)                      &lt;5週目&gt;                      月～金曜日：病院/学内実習(患者受け持ち実習)</p> <p>5. 実習の進め方                      &lt;実習オリエンテーション&gt;                      実習目的、目標、行動目標、実習方法、実習記録、評価、注意事項等について、                      教員より説明を受ける。                      &lt;部門別実習&gt;                      グループ単位で、主に手術室、外来診療部門、外来化学療法センター、リハビリ                      テーション部門、退院調整部門等の見学実習を行う。                      &lt;患者受け持ち実習&gt;                      成人期にある患者を実習施設より紹介していただき、一連の看護過程を展開す                      る。                      &lt;学内実習&gt;                      模擬患者参加型看護技術演習を通して、成人期にある患者の看護援助に必要な基                      本的な看護技術の確認を行う。                      また、看護実践報告会を開催し、受け持った患者の疾患(病態生理)・治療・看                      護についての理解を深めて学生個々の学習体験の共有化を図る。                      その他、病院実習での学びを振り返り、学内実習課題(ディスカッション、レ                      ポートの作成等)に取り組む。</p> <p>6. 実習記録                      ①受け持ち患者記録Ⅰ(アセスメントシート)                      ②受け持ち患者記録Ⅱ(関連図)                      ③受け持ち患者記録Ⅲ(ケアプラン)                      ④受け持ち患者記録Ⅳ(看護記録)                      ⑤受け持ち患者記録Ⅴ(フローシート)                      ⑥実習行動計画表                      ⑦模擬患者参加型看護技術演習ワークシート                      ⑧チーム医療ワークシート                      ⑨ケースレポート                      ⑩看護実践報告会資料                      ⑪部門別実習ワークシート                      ⑫その他</p>	萩原英子、堀越政孝、金子吉美、湯澤香緒里、日下田那美
科目の目的	既習の知識、技術を用いて、健康問題を持つ成人期にある対象を、発達段階を踏まえて総合的にとらえ、看護を実践する能力を養う。 (ディプロマポリシー；【対象の理解】 【看護の実践】 【協調・協働】)	
到達目標	1. 健康問題を持つ成人期にある対象の身体的・精神的・社会的特性について発達課題を踏まえて理解し、説明することができる。	

	<p>2. 対象の病期及び健康問題に応じた看護を実践することができる。</p> <p>3. チーム医療における看護師の役割を理解し、看護師としての基本的態度に基づいた行動をとることができる。</p> <p>4. 生活者である対象に提供される医療のシステムを理解し、地域完結型看護の実践方法について説明することができる。</p> <p>5. 自己の看護実践を振り返り、看護に対する見方や考え方を深める。</p>
関連科目	<p>生命倫理、解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、病態栄養学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、免疫・感染症学、臨床検査学、発達心理学、臨床心理学、基礎看護技術演習、コミュニケーション論、日常生活援助学演習Ⅰ（活動・食事・排泄）、日常生活援助学演習Ⅱ（清潔・安楽）、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、看護過程論入門、看護過程展開論演習、治療援助学演習、看護基礎実習、療養生活支援実習、臨床看護基盤実習、成人看護学総論、成人看護学方法論、慢性期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学演習、成人看護学特論、救急看護、統合実習</p>
成績評価方法・基準	<p>実習期間の4/5以上出席した者を評価の対象とし、成人看護学実習評価表に基づき評価する（100%）。成人看護学実習評価表では、実習目標の到達度のほか、実習に取り組む姿勢、記録物の内容や提出期限の遵守状況等を踏まえて、総合的に評価をする。</p>
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>本科目では単位認定上の準備学習時間は設けていないが、準備学習課題として「成人看護学 事前・事後学習課題シート」のうち、受け持ちが予測される疾患や治療に関するワークシート（5時間程度）に取り組み、期日（後日連絡）までに提出すること。尚、詳細は実習要項に記載する。</p>
教科書	<p>1. 系統看護学講座 成人看護学②～⑭ 医学書院</p> <p>2. 系統看護学講座 別巻 臨床外科総論 医学書院</p> <p>3. 系統看護学講座 別巻 臨床外科各論 医学書院</p>
参考書	<p>1. 治療薬マニュアル 医学書院</p> <p>2. 看護データブック 医学書院</p> <p>3. 看護診断ハンドブック 医学書院</p>
オフィス・アワー	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照</p>
国家試験出題基準	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照</p>
履修条件・履修上の注意	<p>履修条件： 3年次前期までに開講されるすべての必修科目の単位認定を受けていること。 また、必要なワクチン接種（麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘・B型肝炎・インフルエンザ）が完了していること。 履修上の注意： 自身の健康管理に留意し、主体的に実習に取り組むこと。 体調不良等で欠席する場合には、必ず単位認定者まで連絡をすること。</p>
アクティブ・ラーニングの実施	<p>実習、グループディスカッション、シミュレーション、プレゼンテーション</p>
ナンバリング	<p>NSu-302</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	
実務経験	<p>萩原 英子（看護師）、堀越 政孝（看護師）、金子 吉美（看護師）、湯澤 香緒里（看護師）、日下田那美（看護師）</p>
授業の概要	<p>既習の知識、技術を用いて、健康問題をもつ成人期にある対象を総合的に捉え、看護を実践する能力を養う。地域で生活している対象が外来受診後、入院し、治療やリハビリテーションを経て、地域での生活に戻るという一連の過程を踏まえ、受け持ち患者及び家族の身体的・心理的・社会的特徴を理解する。また、対象の特徴や疾患、病期等をもとにアセスメントし、看護計画を立案・実施・評価をする。看護計画の立案においては、患者の心身の苦痛を緩和する援助及び治療・検査時の援助、患者・家族のセルフマネジメント能力獲得の支援方法を考察し、実践を通してその看護技術を習得する。さらに、医療チームの活動の見学や参加により、医療チームにおける看護師の役割と医療従事者としての基本的態度を養う。</p>

講義科目名称： 老年看護学実習

授業コード： 4N138

英文科目名称： Gerontological Nurisng Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	3単位	必修
担当教員	担当者		
東泉 貴子	関 妙子	その他	

授業形態	実習（15日間） 病院実習2週間、介護保険サービス施設 1 週間	担当者
授業計画	<p>実習期間 老年看護学実習（3週間） 病院実習： 2025年8月～2026年2月（2週間） 介護保険サービス施設： 2025年8月～2026年2月（1週間）</p> <p>実習場所 病院実習：群馬パース病院 介護保険サービス施設： ①グループホーム じゃんけんぼん 大利根前橋 ②グループホーム あいあいえす ③グループホーム じゃんけんぼん 群馬町 ④小規模多機能の家 じゃんけんぼん 大利根前橋 ⑤小規模多機能の家 じゃんけんぼん 国府 ⑥看護・小規模多機能の家 じゃんけんぼん 金井淵 ⑦複合型サービス じゃんけんぼん 観音寺 ⑧小規模多機能の家 じゃんけんぼん 棟高 ⑨関越中央病院 介護・福祉村 北原の里 ⑩デイサービス もてなし日和 えん ⑪デイサービス もてなし日和 ゆのえん ⑫介護老人保健施設 銀鈴</p> <p>実習概要 1. 実習オリエンテーション 1) 実習目的、目標、実習方法、記録、評価、留意事項、施設概要等について理解する。 2) 施設別オリエンテーションでは、病院、高齢者が生活する施設の特徴について理解する。 2. 実習方法 1) 病院：老年期にある対象者とその家族から実習施設を通して、同意が得られた高齢患者の看護過程を展開する。 2) 介護保険サービス施設：施設で生活をする高齢者や認知症高齢者（対象者）と関わる中で、コミュニケーションやスタッフの対応を通し生活する高齢者の特徴と援助方法を学ぶ。</p>	東泉貴子 関妙子
科目の目的	老年期にある対象者を総合的に理解し、保健・医療・福祉チームの一員として、既習の知識・技術を活用し、尊重する態度を持って対象者に応じた看護を展開する能力を養う。 ディプロマ・ポリシー【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】	
到達目標	<p>1. 老年期にある対象者の加齢変化や疾病による健康問題、生活行動、人生観やニーズ等の特性を含め観察し、全人的に理解する</p> <p>2. フィジカルアセスメント、コミュニケーション技術等を通し老年期にある対象のアセスメントを行い、看護問題に応じた個別的なケアプランを立案し、実施・評価する。</p> <p>3. 老年期にある対象者の特性を踏まえ、自立、安全に配慮したケア技術の実践方法を習得する。</p> <p>4. 老年期にある対象者の尊厳・権利の尊重に基づいたケア提供者としての態度を習得する。</p> <p>5. 老年期にある対象者のケアに関わる保健・医療・福祉の各専門職の役割と機能、連携について理解する。</p> <p>6. 地域で生活する老年期にある対象者の日常生活におけるケアの特性を理解する。</p>	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、臨床解剖学、生理学Ⅰ・Ⅱ、病理学、臨床薬理学、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、免疫・感染症学、社会福祉・社会保障制度論、看護過程展開論演習、ヘルスアセスメント演習、治療援助学演習、療養生活支援演習、臨床看護基礎実習、コミュニケーション論、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、看護過程展開論演習、基礎看護技術演習、老年看護学総論、高齢者の健康と障害、老年看護方法論、老年看護学演習、統合実習	
成績評価方法・基準	実習評価表に基づき病院実習 80%、介護保険サービス施設実習 20% を総合して評価	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	老年看護学総論、高齢者の健康と障害、老年看護学方法論、老年看護学演習で取り組んだ学習を整理し、レポート作成を行い実習に臨む。実習期間中は日々の課題が示されるので、1日当たり2～3時間の自己学習時間を要する。	

教科書	教科書1: 「ナーシング・グラフィカ 老年看護学①「高齢者の健康と障害」」 (メディカ出版) 教科書2: 「ナーシング・グラフィカ 老年看護学②「高齢者看護の実践」」 (メディカ出版) 教科書3: 「高齢者の看護技術」 (医歯薬出版)
参考書	参考書1: 「生活機能から見た老年看護過程+病態・生活機能関連図」 (医学書院) 参考書2: 「根拠と事故防止からみた老年看護技術」 (医学書院) 参考書3: 「今日の治療薬」 (南江堂)
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」 参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」 参照
履修条件・履修上の注意	【履修の条件】 3年次前期までに開講されている全ての必修科目の単位認定を受けていること。 【履修上の注意】 自己の体調管理に留意し、体調不良等で欠席する場合は、必ず教員へ連絡すること。 レポート作成や対象者の関わり等、主体的に実習に取り組むこと。
アクティブ・ラーニングの実施	臨地実習や学内実習においてグループワーク・プレゼンテーションを行う。
ナンバリング	NSu-303
実務経験のある教員による授業	
実務経験	東泉 貴子 (看護師)、関 妙子 (看護師)
授業の概要	病院及び介護保険施設において、健康障害をもつ高齢者とその家族の特徴を総合的に理解する。病院においては、疾病をもつ高齢者を受け持ち、指導者のもとで疾患及び患者の生活機能を踏まえた健康課題を把握し、既習の知識や技術を統合して看護過程を展開する。また、介護保険施設においては施設のもつ役割と機能、多職種が協働して取り組む支援方法を理解し、日常生活を送る認知症高齢者の特徴と援助方法を学習する。さらに、高齢者に向き合う自己の姿勢や高齢者観と看護について学問的に追求する姿勢を養う。

講義科目名称： 小児看護学実習

授業コード： 4N139

英文科目名称： Child Health Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
高野 直美	中下富子		

授業形態	実習（10日間） 保育園実習（1日間）、重症心身障害児施設見学実習（1日間）、NICU/GCU見学実習（1日間）、病院実習（4.5日間）、学内実習（2.5日間）	担当者
授業計画	<p>実習場所</p> <p>1)群馬県内保育園（所） 前橋市立第一保育所 前橋市立第三保育所 前橋市立六供保育所 前橋市立細井保育所 前橋市立南橋保育所 前橋市立元総社保育所 あおぞら総社こども園</p> <p>2)重度心身障害児施設：群馬整肢養護園</p> <p>3)桐生厚生総合病院（NICU/GCU病棟）</p> <p>4)群馬県立小児医療センター（第1病棟・第2病棟・NICU/GCU病棟）</p> <p>5)前橋赤十字病院（4A病棟）</p> <p>実習期間</p> <p>基本2週間1クールの実習として、8月第3週～2月第2週の期間に行う。 実習オリエンテーション・小児看護技術復習 1.5日 保育園（所）実習 1日 重症心身障害児施設見学実習 1日 NICU/GCU見学実習 1日 病院実習 4.5日 実習総括 1日</p> <p>内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園（所）実習では発達段階が異なるクラスに配属され、乳幼児の成長・発達と日常生活援助について学ぶ。</li> <li>・重症心身障害児施設見学実習、NICU/GCU見学実習では、指導者からの施設概要、対象者の説明を受けて、看護ケアの実際の見学を中心に行う。</li> <li>・病院実習では対象となる子どもと家族の看護上の問題を明確にし、問題解決に向けた看護過程を展開する。</li> </ul>	1) 2) 3) 中下富子 4) 5) 高野直美 他
科目の目的	成長・発達の過程にある子どもの特徴を理解し、様々な健康状態にある子どもと家族に対する基本的な看護実践能力を身につける。 【看護の対象】【看護の実践】【協調・協働】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの理解と成長・発達段階を踏まえた健康上の問題について看護展開ができる。</li> <li>2. 保育園（所）に通園している健康な乳幼児の成長・発達過程を考慮した援助を行うことができる。</li> <li>3. 重症心身障害児施設に入所（通所）する子どもと家族の看護の実際と課題を学ぶことができる。</li> <li>4. NICU/GCUに入院している子どもと家族への看護の実際と課題を学ぶことができる。</li> <li>5. 子どもと家族の権利を保障し、看護実践を行うことができる。</li> <li>6. 小児看護における倫理観をもって、個人及びチームで実習を遂行することができる。</li> </ol>	
関連科目	小児看護学（小児看護学総論、小児看護学方法論、小児看護過程・技術論、小児看護学演習、小児看護学特論）、母性看護学各科目、基礎看護学各科目、精神看護学各科目、公衆衛生学各科目、共通教養科目群（心理学、生命倫理、教育学、社会学、環境論）、専門基礎臨床科目群（解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、発達心理学、臨床病態学Ⅳ、免疫・感染症学、薬理学、公衆衛生学、保健統計、栄養学、歯科保健、健康管理論ほか）	
成績評価方法・基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習の評価は、実習時間の4/5以上の出席者かつ実習記録の最終提出をした者を対象とする。</li> <li>2. 小児看護学実習評価表に基づいて評価する。</li> </ol>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	臨床病態学Ⅳ、小児看護学総論、小児看護学方法論、小児看護過程・技術論、小児看護学演習の講義ノートを一括し復習する。子どもの発達段階別特徴のまとめ資料（小児看護学総論にて配布）を完成する。実習前には、自主的に小児看護学技術演習の復習・実践をする。	
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護」中野綾美（メディカ出版）</li> <li>2. 「新版 写真で分かる 小児看護技術アドバンス」山本恵子監修（インターメディカ）</li> <li>3. 「発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程 第2版」荃津智子（医歯薬出版）</li> </ol>	
参考書	1. 「発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図」浅野みどり他（医学書院）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	当該実習科目前に開講されている全必修科目の単位認定を受けていること	

アクティブ・ラーニングの実施	既習科目で修得した知識・技術・態度をもとに、子どもと家族への看護を实践する。保育園（所）実習では健康な子どもの成長・発達段階を踏まえたコミュニケーションや日常生活援助を実施する。重症心身障害児施設見学実習、NICU/GCU見学実習、病院実習では、子どもの成長・発達段階を踏まえ、さまざまな健康状態のある子どもと家族に実際に関わることで、小児看護におけるコミュニケーションや子どもと家族に合わせた援助を実施する。さらに、病院実習では対象となる子どもと家族の看護上の問題を明確にし、問題解決に向けた看護過程を展開することで、小児看護の基本的な看護実践能力を身につける。
ナンバリング	NSu-304
実務経験のある教員による授業	
実務経験	高野 直美（看護師）、中下 富子（看護師）
授業の概要	健康段階の異なる子どもが生活する4つの施設（保育所・小児病棟・NICU/GCU・重症心身障害児施設）で実習を行う。成長・発達の過程にある子どもの特徴を理解し、病気や障害があること、治療を受けることや病院、施設に入院・入所することが、子ども自身やその家族にどのような影響をもたらすのかを学ぶ。また、子どもの入院生活において、単に健康回復に向けた援助のみでなく、成長発達を阻害する要因に着目し、子どもや家族のもつ強みを生かした看護援助方法を学ぶ。

講義科目名称： 母性看護学実習

授業コード： 4N140

英文科目名称： Maternity Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
橋爪 由紀子	廣瀬 文乃	吉野 めぐみ	

授業形態	実習	担当者
授業計画	<p>実習施設 愛弘会 横田マタニティーホスピタル</p> <p>実習期間 2025年10月20日（火）～2026年2月13日（金）</p> <p>実習の進め方 1) 1組の母子を受け持ち、母子と家族との関わりを通して、看護展開をする。 (1) 母親の産褥過程、新生児の経過に合わせた行動計画を立案し、ウェルネス思考に基づいた看護を実践する。 (2) 学生主体の事例カンファレンスでは、看護過程の展開を通して現実に即した看護を迫るための事例検討を行う力を養う。 2) 母性看護の対象への理解を深めるため、以下のような実習を行う。 (1) 妊婦健康診査の見学（妊娠期の基本的看護技術、妊婦の身体的、心理社会的側面の看護） (2) 分娩見学（正常分娩・腹式帝王切開術の立ち会い、産痛緩和、新生児の出生時の蘇生（見学） 家族関係・家族役割への支援） (3) 新生児室実習および新生児1ヶ月健診の見学 (4) 母親学級・マタニティヨガ教室（動画視聴） (5) 生殖医療外来（担当看護師によるオリエンテーションを受け、生殖医療外来における検査・治療の理解、不妊治療を受ける女性の看護について考える） (6) ハイリスク妊婦（入院中の妊婦）の看護（学内にてシミュレーション実習を行う）</p>	橋爪・中島・廣瀬・吉野
科目の目的	妊娠・分娩・産褥期及び新生児を総合的にとらえ看護過程を展開する。また、母子の看護に必要な基礎的実践能力を養う。【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦・産婦・褥婦及び新生児とその家族に対する個別的な援助について理解し、実践できる。</li> <li>・妊婦・産婦・褥婦及び新生児の援助を実施するために必要な基本的技術が習得できる。</li> <li>・母性の発達課題、健康に影響する因子をアセスメントし、健康課題と家族の支援状況に応じた看護・健康教育及び母性看護に関連するチーム医療・地域連携について考察できる。</li> </ul>	
関連科目	<p>教養科目群：すべての科目 専門基礎科目群：すべての科目 専門科目群：すべての科目。特に母性看護学総論、母子の健康支援、母性看護方法論、母性看護学演習、基礎看護学関連の科目全般。</p>	
成績評価方法・基準	<p>実習日数のうち4/5以上出席した者を評価の対象とし、母性看護学実習評価表に基づき評価する。評価項目は以下のとおりである。 母子の看護過程の理解と基本的看護技術の実践（35%）、妊婦と産婦の基本的看護技術の習得（10%）、母性看護学領域における健康課題やチーム医療・地域連携（20%）、課題レポート（10%）、事前学習状況（5%）、実習における基本的態度と看護職としての在り方（20%）を総合的に評価する。 詳細は実習要項にて提示する。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>準備学習の内容：母性看護学の講義及び演習で学習した内容。詳細は実習要項にて提示する。 準備学習に必要な学習時間の目安：事前準備および実習中の学習時間の目安として最低15時間必要となる。</p>	
教科書	教科書：「系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学〔2〕」、森恵美（医学書院）	
参考書	参考書：必要時提示する	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	3年次前期までに開講される必修科目すべての単位認定を受けていることが履修条件となる。	
アクティブ・ラーニングの実施	フィールドワーク、ディスカッション、シミュレーション演習	
ナンバリング	NSu-305	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	橋爪 由紀子（助産師）、廣瀬 文乃（助産師）、吉野めぐみ（助産師）	

授業の概要	正常褥婦とその新生児1組を受け持ち、指導のもと個別性を踏まえ、看護の計画・実施・評価の過程を展開する。また、外来（妊婦健康診査・不妊外来）・健康教育（両親学級・ヨガ）や分娩の立会いを通し、妊娠・分娩・産褥・新生児についての経過（身体的・心理的・社会的変化）を理解し、健康保持増進・苦痛緩和のための援助方法と保健指導の重要性を学ぶ。
-------	---

講義科目名称： 精神看護学実習

授業コード： 4N141

英文科目名称： Psychiatric Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 和也	西川 薫		

授業形態	実習（2週間）	担当者
授業計画	<p>実習場所            病院実習：医療法人原会 原病院（1病棟・A病棟・B病棟・C病棟・D病棟）            医療法人大和会 西毛病院（本館2階病棟・北館2階病棟）            学内実習：群馬バース大学 講義室・ゼミ室</p> <p>実習期間            2025年9月～2026年2月            ※うち、学内実習2日、病院実習8日</p> <p>実習時間            病院実習 8:30～16:30            学内実習 9:00～16:00</p> <p>実習スケジュール            &lt;1週目&gt;            月：学内実習 実習オリエンテーション            火～金：病院実習 対象者受け持ち実習、プロセスレコード検討会            &lt;2週目&gt;            月～木：病院実習 対象者受け持ち実習            社会復帰施設実習（2週目 半日）            金：学内実習 最終カンファレンス</p> <p>実習の進め方            &lt;実習オリエンテーション&gt;            実習目的、実習目標、行動目標、実習方法、注意事項について、拒印より説明を受ける。            &lt;対象者受け持ち実習&gt;            精神に障害を抱える対象者を受け持ち、リカバリーに向けた看護過程を展開する。            &lt;社会復帰施設実習&gt;            デイケア、グループホーム等の見学実習を行う。</p> <p>実習記録            No.1：基本情報            No.2：生物学的アセスメント①②            No.3：心理学的アセスメント            No.4：社会的アセスメント            No.5：セルフケアアセスメント            No.6：真のニーズと生きづらさのアセスメント            No.7：コプロダクション計画            No.8：プロセスレコード            No.9：行動計画表</p>	西川 薫、 佐藤 和也
科目の目的	精神的健康の維持・増進、回復のために必要な看護学及び関連領域の知識と精神看護学を展開するための技術及び態度を統合し、精神に障害を持つ人への看護実践の基礎能力を習得する。 ディプロマポリシー：【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】	
到達目標	1. 精神に障害を抱える人を取り巻く環境を理解できる。 2. 「患者－看護師関係」の治療的意味を考察できる。 3. 精神に障害を抱える人を全人的にアセスメントし、希望・真のニーズ・生きづらさを明確にできる。 4. 精神に障害を抱える人のリカバリーに向けたコプロダクション計画を立案・実践・評価できる。 5. 精神に障害を抱える人を支援する保健医療福祉チームの役割を理解できる。 6. 精神に障害を抱える人への看護の意義を見出すことができる。	
関連科目	精神保健、精神看護学概論、精神看護学方法論、精神看護学演習、精神看護学特論、心理学、臨床心理学	
成績評価方法・基準	1. 評価対象の条件：実習の4/5以上の出席があること。 2. 評価方法（配点） 1) 事前課題10点 2) 目標到達度60点 3) 実習態度15点 4) 実習レポート15点	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習課題①：実習要項に記載してある実習で活用する内容を学習する。 ②：事前レポートを作成する。 上記内容を実習初日に提出する。2時間の自己学習時間を要する。 実習期間中の課題：日々提示される課題に取り組む。1日当たり1時間程度の自己学習時間を要する。
教科書	新体系 看護学全書 精神看護学概論／精神保健 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 精神障害をもつ人の看護 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社
参考書	「看護判断のための気づきとアセスメント 精神看護」吉川隆博（中央法規） 「クライアントとともに創る コプロダクション型精神看護過程-基礎知識・事例&計画シートで実践に活かす」木戸芳史（中央法規）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	実習前後の精神疾患を持つ人に対する自己の考えや認識の変化を細かく観察すること。また、対象者との関係性の変化を探ることから、治療的関係性の意味について吟味することが求められる。そのためには、自分自身を客観的に捉えることが必要となるため、他者からの意見をより多く得ることが実習目標到達へのポイントとなる。実習グループメンバー、指導教員、実習指導者から多くの意見を積極的に得るようにする。
アクティブ・ラーニングの実施	実習、プロセスレコード検討会、各種カンファレンス
ナンバリング	NSu-306
実務経験のある教員による授業	
実務経験	佐藤 和也（看護師）、西川 薫（看護師）
授業の概要	精神科（閉鎖、開放）病棟において、入院患者1名以上を受け持ち、看護過程を展開する。指導者のもとで、既習の知識を統合して、精神の健康障害がセルフケアに及ぼす影響を把握し、セルフケア行動がとれるよう援助する方法を考え、実践し評価する。実習を通して精神医療における看護の役割・機能及び精神を障害された個人とその家族の理解を深め、自己の内面の変化を洞察し、自己理解や看護観を深める。また、患者との適切な援助関係を結ぶための看護師としてのコミュニケーション技術について考える。

講義科目名称： 統合実習

授業コード： 4N142

英文科目名称： Integrated Practice

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美	基礎、地域在宅、成人、老年、母性、小児、精神看護学 各領域の全教員		

授業形態	実習：病院実習 7日～8日（領域ごとに異なる） 学内実習：3～2日（領域ごとに異なる） 合計 10日間	担当者
授業計画	<p>実習期間 2025年 6月～10月の間の2週間（配当時期については、領域ごとに異なる）</p> <p>実習時間 8：30～16：30</p> <p>実習施設 NH0高崎総合医療センター（基礎看護学領域） 群馬大学医学部付属病院・訪問看護ステーション（地域・在宅看護学領域） NH0渋川医療センター、前橋赤十字病院（成人看護学領域） 公立富岡総合病院・グループホーム（老年看護学領域） 日高病院・群馬県立小児医療センター（小児看護学領域） 公立藤岡総合病院・みどり市保健福祉部健康管理課（母性看護学領域） 医療法人大和会西毛病院（精神看護学領域）</p> <p>実習内容 1. 看護師として就業するために必要な、看護管理に関する学習を臨地実習をとおして全員が学習する。 2. 専門職業人として希望する領域の専門性を実習をとおして探究する。</p> <p>実習方法 1. 3年次の3月下旬までに全体オリエンテーションを行う。その上で、専門性の探究を領域の希望調査を行い、学生配置を決定する。 2. 学生配置は、病院の受け入れ人数、専門性の探究理由を勘案して、調整の上決定する。 3. 4年次4月以降 専門領域ごとにオリエンテーションを実施する。 4. その他の詳細については、全体オリエンテーションで説明する。</p>	
科目の目的	<p>教養科目群、専門基礎科目群を土台とした専門科目群で学んだ知識・技術を統合し、保健医療福祉の組織の中で展開される看護サービスの実際を学ぶ。さらに、興味関心のある領域の看護を探究することを目的とする。 【協調・協働】 【専門性の探究】</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護チームにおける看護マネジメントについて理解できる。</li> <li>2. 組織で取り組む医療安全対策を理解できる。</li> <li>3. 患者を中心とした医療チーム及び多職種の協働・連携を理解できる。</li> <li>4. 看護専門職として質の高い看護を提供するための探究的姿勢を養うことができる。</li> </ol>	
関連科目	1年次～3年次で学習した、講義・演習・実習のすべての科目および4年次の臨床看護管理学の学習内容	
成績評価方法・基準	評価対象は、実習日数の4/5以上の出席者とし、専門領域ごとの評価表にて評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	実習前・中・後の学習時間として、1日当たり6時間程度の自己学習が必要である。	
教科書	臨床看護管理学に準じる。そのほかは、領域ごとに指定する。	
参考書	領域ごとのオリエンテーションで説明する。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	

国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	実習病院の選択は、専門性を探究するための根拠が重要である。学生間で安易に相談せず、4年間の集大成の学習という事を念頭に、卒業後の将来のキャリア形成を考慮した選択を望む。
アクティブ・ラーニングの実施	臨地での体験学習
ナンバリング	NSu-401
実務経験のある教員による授業	
実務経験	萩原 一美（看護師）、齋藤 基（看護師）、矢島 正栄（看護師）、小林 亜由美（看護師）、早川 有子（看護師）、中下 富子（看護師）、西川 薫（看護師）、萩原 英子（看護師）、中島 久美子（看護師）、奥野 みどり（看護師）、堀越 政孝（看護師）、関 妙子（看護師）、金子 吉美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、千葉 今日子（看護師）、長嶺 めぐみ（看護師）、反町 真由（看護師）、東泉 貴子（看護師）、高野 直美（看護師）、佐藤 和也（看護師）、川尻 洋美（看護師）、村田 亜夕美（看護師）、湯澤 香緒里（看護師）、日下田 那美（看護師）、廣瀬 文乃（看護師）、吉野 めぐみ（看護師）、森田 綾子（看護師）、林 恵（看護師）
授業の概要	既習の知識や技術を統合し、ケア提供組織の中で展開されるチームアプローチを通して、総合的な看護実践能力を高める。複数の患者に対し、その特性や状況にあわせた計画的・継続的看護を提供する方法を学ぶ。また、看護の質保障と安全管理のためのシステム、看護職間及び多職種間における協同・連携（チームアプローチ）について、看護スタッフと共に行動することを通して、理解を深める。さらに、これらの活動を通して学生自身が見いだした課題について探索的に学ぶことにより、看護専門職としての価値と専門性を発展させていく姿勢を養う。

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習

授業コード： 4N143

英文科目名称： Public Health Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	5単位	選択
担当教員	担当者		
奥野 みどり			

授業形態	実習 (5週間)		担当者
授業計画	1	<p>学内実習1 実習の目的、目標、実習方法、記録、評価等についての説明 7月17日</p>	矢島、小林、奥野、川尻
	2	<p>学内実習2 事前学習：実習日程表に組まれているプログラム毎に、根拠法令、目的、対象、学びたいことを整理する (8月19日～9月23日)</p>	奥野、川尻
	3	<p>臨地実習 1. 実習期間：9月9日～10月18日 2. 実習施設別展開方法 1) 保健所・保健福祉事務所実習：渋川保健福祉事務所、利根沼田保健福祉事務所、吾妻保健福祉事務所、前橋市保健所 ・管内概要、施設沿革、組織、業務、運営方針、事業内容、保健師活動等についての説明 ・保健事業の準備・実施・事後処理の見学及び参加、保健医療福祉関連統計資料や研究報告書の読み取り・分析、家庭訪問への同行等 2) 市町村 (保健センター) 実習：渋川市保健センター、中之条町保健センター、東吾妻町保健センター、前橋市保健センター、片品村役場、沼田保健福祉センター ・保健事業の準備・実施・事後処理の見学及び参加、家庭訪問への同行等 ・介護保険担当課、地域包括支援センター等、関連部署での実習 3) 産業保健実習：県内事業所 複数箇所 ・安全衛生管理担当者・看護職による安全衛生管理・産業保健活動の説明 ・事業所内保健活動の準備・実施・事後処理の参加・見学 4) 学校保健実習：高崎市内公立小学校4校、中学校2校 ・養護教諭・教職員による学校保健活動の説明 ・学校内保健活動の準備・実施・事後処理の参加・見学</p>	奥野、川尻
	4	<p>実習のまとめ 1. 臨地実習最終日に、実習グループの学生間で学習体験を共有・確認する。 2. 臨地実習終了後、大学内にて保健師課程の全学生間で学習体験を共有する。 ①グループワーク (10月21日～10月25日) ②発表会 (10月28日)</p>	矢島、小林、奥野、川尻
科目の目的	<p>公衆衛生の理念と目標を実現するために行われる、地域で生活する人々を対象とした看護活動の方法と看護の展開に必要な技術を学び、地域保健医療福祉における看護専門職の役割を理解する。 【対象の理解】【看護の実践】【協調・協働】【専門性の探究】【地域社会への貢献】</p>		
到達目標	<p>1. 地域で生活する個人・家族・集団の健康を守るための保健活動の展開方法を説明できる。 2. 個人・家族・集団の健康課題の改善・解決に向けた支援技術を実施できる。 3. 保健医療福祉システムを有効に機能させるための保健師の役割を説明できる。 4. 地域の健康危機管理の方法について説明できる。 5. 産業保健における安全・衛生管理の方法と看護職の役割を説明できる。</p>		
関連科目	<p>公衆衛生学、疫学、保健統計、社会福祉・社会保障制度論、地域保健行政、栄養学、歯科保健、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護方法論、公衆衛生看護技術演習、公衆衛生看護活動展開論、公衆衛生看護活動論Ⅰ、公衆衛生看護活動論Ⅱ、公衆衛生看護管理</p>		
成績評価方法・基準	<p>口頭試問 (50%)、レポート (50%)</p>		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>実習施設に関する年間活動計画、保健事業計画、施設概要、事業実績等の資料を読み解く (6時間)。実習中に実施可能な看護技術を練習する (2時間)。翌日の実習プログラムを確認し、学びたいことを整理する (8時間)。健康教育指導案、教育媒体 (模造紙またはパワーポイント、配付資料)、読み原稿の作成、練習 (8時間)。</p>		
教科書	なし		
参考書	なし		

オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	保健師課程履修者のみ履修できる。保健師国家試験受験資格取得のための要件科目。
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習、問題解決学習、体験学習、グループディスカッション、グループワーク
ナンバリング	NSv-401
実務経験のある教員による授業	
実務経験	奥野みどり（保健師）、矢島 正栄（保健師）、小林 亜由美（保健師）、川尻 洋美（保健師）
授業の概要	保健所とその管内市町村における保健活動の実際を体験することにより、地域住民の健康と生活に対する理解を深め、個人・家族・集団・地域の特性に応じた、継続した指導も含めた公衆衛生看護活動の展開方法を学ぶ。またPDCAの展開や、多職種との協働の過程を事業化した事例をとおして学ぶ。さらに、産業保健領域、学校保健領域の活動について学ぶ。

講義科目名称： 助産学実習

授業コード： 4N144

英文科目名称： Actual practice midwifery

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	11単位	選択
担当教員	担当者		
中島 久美子	橋爪由紀子	廣瀬文乃	吉野めぐみ

授業形態	実習	担当者
授業計画	<p>1. 助産学実習Ⅰ（9単位） 生理的な経過をとる妊産婦を対象に以下の実習を行う。 10例の分娩介助を行い、そのうち1例は妊娠期から産後1カ月までの期間を受け持つ。</p> <p>1) 妊娠期実習 2) 分娩介助・継続事例実習 3) 産褥期実習 4) 胎児・新生児・間接介助実習 5) 学内実習シミュレーション事例の助産診断・助産計画</p> <p>2. 助産学実習Ⅱ（1単位） ハイリスク状態にある妊産婦及び新生児を1例受け持ち、対象の健康状態を助産診断し、助産過程の展開を行う。</p> <p>3. 助産学実習Ⅲ（1単位） 地域の助産師の活動を見学、参加することで助産業務の特性と課題、今後の展望を考察する。</p>	<p>中島、橋爪、廣瀬、吉野</p> <p>中島、橋爪、廣瀬、吉野</p> <p>中島</p>
科目の目的	<p>周産期の母子と家族のケアに必要な助産診断・技術の基礎的能力、社会の特性を理解し母子と家族の健康を守る科学的思考能力を養う。また、助産師としての職業アイデンティティの形成を目指した知識・技術・態度を学ぶことを目指す。 【知識・理解】 【思考・判断】 【技能・表現】 【関心・意欲】 【態度】</p>	
到達目標	<p>10例の正常分娩介助を通して、助産課程の展開、妊娠中期から生後1カ月の母子の継続した健康診査・ケアを行いその助産診断・技術を習得できる。 1例のハイリスクの妊・産・褥婦を受け持ち、ハイリスクにあるケースの助産診断・技術を習得できる。 学内実習では、シミュレーション学習により、正常・ハイリスク事例の分娩経過を通して助産診断・助産ケアを行い、チームワーク・チーム連携を習得できる。 助産所実習を通して、地域における助産・母子保健活動の実際を知り、助産師の役割を説明できる。 継続事例を通して、助産管理の初歩的実践能力を説明できる。</p>	
関連科目	<p>助産学概論、基礎助産医学、母子と家族の心理社会学、妊娠期助産診断技術学、分娩期助産診断技術学、産褥期助産診断技術学、新生児・乳幼児期助産診断技術学、助産診断技術学演習、対象別公衆衛生看護活動論1、助産管理</p>	
成績評価方法・基準	<p>実習内容、実習記録、実習態度、出席状況等により、助産実習担当教員全員の協議により総合的に評価する。 詳細は実習要項に記載する。 助産学実習Ⅰ（正常編、分娩介助10例、継続事例実習）：84点 助産学実習Ⅱ（異常編、ハイリスク事例実習）：8点 助産学実習Ⅲ（地域母子保健実習）：8点</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>準備学習内容：助産師課程履修科目全ての学習した内容を復習しておくこと。分娩介助を含む助産ケアに係る技術は十分に演習しておくこと。助産所・助産管理に係る事前学習をして臨むこと。 事前の演習練習、実習前・中・後の課題を含めて、83時間程度</p>	
教科書	<p>教科書：「助産学講座6、助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院） 「助産学講座7、助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院） 「助産学講座8、助産診断・技術学Ⅱ[3]新生児期・乳幼児期」我部山キヨ子・武谷雄二（医学書院） 参考書：助産師課程履修科目の前期講義にて提示した参考書に準ずる。</p>	
参考書	<p>・病気がみえる産科編（メディックメディア） ・産婦人科診療ガイドライン産科編（日本産科婦人科学会）</p>	
オフィス・アワー	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照 実習オリエンテーションにて提示する。</p>	
国家試験出題基準	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照</p>	
履修条件・履修上の注意	<p>助産師課程履修者のみ履修可能とする。助産師課程の必須要件。 4年次前期までに開講される全必須科目及び助産師課程履修科目の全ての単位認定を受けていることが履修条件となる。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>フィールドワーク、ディスカッション、シミュレーション教育</p>	

ナンバリング	NSw-401
実務経験のある教員による授業	
実務経験	中島久美子（助産師）、橋爪 由紀子（助産師）、廣瀬 文乃（助産師）、吉野 めぐみ（助産師）
授業の概要	<p>助産診断・技術学、地域母子保健及び助産管理において習得した助産学の知識・技術を統合して助産の実践能力を高める。10例を受け持ち正常分娩介助を通して助産過程を展開する。このうち1例については、妊娠中期から分娩期、生後1カ月までを受け持ち、母子の継続的な健康診査・助産ケアを行う。また、産褥期の授乳支援や1カ月健康診査までの母子のアセスメント及び母子と家族を支援する。</p> <p>ハイリスクの妊産褥婦1例を受け持ち助産過程を展開する。</p> <p>地域における助産（助産所訪問等）・母子保健活動の実際を知り、助産師の役割を学び、産後4カ月の母子のアセスメントを行う。</p> <p>助産業務の管理について実習を通して学ぶ。</p>

講義科目名称： 看護研究概説

授業コード： 4N145

英文科目名称： Introduction to Nursing Research

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 基	萩原 一美、関 妙子	萩原 英子、堀越 政孝	中島 久美子、中下 富子
	西川 薫、奥野みどり		

授業形態	講義（13回）、演習（2回）		担当者
授業計画	第1回	看護研究の意義と目的（講義） 看護における研究の役割と目的、EBN	齋藤 基
	第2回	研究の種類とデザイン（講義） 研究の種類と研究デザインの関係、研究デザインの種類	齋藤 基
	第3回	事例研究と質的研究（講義） 看護の実践と研究、質的研究の特徴と方法	齋藤 基
	第4回	量的研究（講義） 量的研究の特徴と方法、記述統計の基本	齋藤 基
	第5回	研究における倫理（講義） 研究と倫理、研究における倫理ガイドラインと倫理的配慮	齋藤 基
	第6回	専門領域における研究の特徴と実際①（講義） 基礎看護学・老年看護学	萩原 一美・関 妙子
	第7回	専門領域における研究の特徴と実際②（講義） 成人看護学	萩原 英子・堀越 政孝
	第8回	専門領域における研究の特徴と実際③（講義） 母性看護学・小児看護学	中島 久美子・中下 富子
	第9回	専門領域における研究の特徴と実際④（講義） 精神看護学・公衆衛生看護学	西川 薫、奥野みどり
	第10回	研究のプロセス①（講義） 研究テーマの絞り込み、文献検討の意義と活用方法	齋藤 基
	第11回	研究のプロセス②（演習） データベースを用いた文献検索、文献カード作成（課題レポート1）	齋藤 基
	第12回	研究のプロセス③（演習） 研究計画書の作成方法（課題レポート2）	齋藤 基
	第13回	研究のプロセス④（講義） 研究論文の作成、発表方法、クリティーク	齋藤 基
	第14回	研究のプロセス⑤（講義） 文献レビューの書き方	齋藤 基
	第15回	研究のプロセス⑥（講義） 課題レポート1、2のフィードバック	齋藤 基
科目の目的	看護研究とは何か、看護研究の目的と意義、方法、倫理的配慮、各専門領域における研究の動向を学ぶことを通して、看護実践における研究的な視点を養う。【専門性の探究】		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護研究の目的と意義を説明できる。</li> <li>2. 目的に応じて研究の種類とデザインを選択できる。</li> <li>3. 倫理的配慮の必要性と方法について説明できる。</li> <li>4. 各専門領域における研究の動向と特徴が説明できる。</li> <li>5. 必要な情報を得るために文献を検索し入手することができる。</li> <li>6. 研究のプロセスについて説明できる。</li> <li>7. 研究計画書ならびに研究論文の書き方を説明できる。</li> </ol>		
関連科目	全ての既習科目		
成績評価方法・基準	定期試験（60%）、課題レポート（40%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門領域における研究の特徴と実際①～④をとおして関心のある研究領域・取り組みたいテーマをイメージしながら授業に出席する。準備学修として、1コマにつき1時間程度の学修時間を要する。</li> <li>2. 文献検索の実際、論文収集、文献の読み込み、文献カードの作成、研究計画書の作成については、演習時間以外に1コマにつき1～2時間程度の学修時間を要する。</li> </ol>		
教科書	系統看護学講座 別巻 看護研究 坂下玲子他（医学書院）		
参考書	必要に応じて提示する。		

オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	文献検索の演習ではインターネットに接続できるパソコンを持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、調査学習
ナンバリング	NSv-301

講義科目名称： 卒業研究

授業コード： 4N146

英文科目名称： Nursing Research

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	4単位	必修
担当教員	担当者		
中島 久美子	矢島、小林、中下、西川	萩原英、奥野、堀越、関	金子、萩原一、堀込、千葉、橋爪
	長嶺、反町、東泉、高野	佐藤、川尻、村田、湯沢	日下田、廣瀬、吉野、森田、林

授業形態	演習（60回：前期30回／後期30回）		担当者
授業計画	第1回	領域別、指導教員別オリエンテーション	卒業研究担当教員 卒業研究担当教員
	第2-60回	<p>リサーチクエスションの絞り込み、文献検索、研究計画立案、研究の実施、分析、論文作成、発表</p> <p>各領域の指導教員の指導の下、研究計画を立て、実施し、その結果を論文として仕上げる。</p> <p>基礎看護学に関する研究：基礎看護学領域担当教員</p> <p>成人看護学に関する研究：成人看護学領域担当教員</p> <p>老年看護学に関する研究：老年看護学領域担当教員</p> <p>母性看護学に関する研究：母性看護学領域担当教員</p> <p>小児看護学に関する研究：小児看護学領域担当教員</p> <p>精神看護学に関する研究：精神看護学領域担当教員</p> <p>在宅看護学に関する研究：在宅看護学領域担当教員</p> <p>助産学に関する研究：助産学領域担当教員</p> <p>公衆衛生看護学に関する研究：公衆衛生看護学領域担当教員</p>	
科目の目的	看護学における研究課題を学生自ら主体的に探究することを通して、総合的な理解力を養う。看護学及びそれに関連する以下の領域から、学生自身が講義・演習・実習を通して興味をもったテーマを選定し、理論に基づき、教員の指導のもとで研究を計画・実施し、さらに、その結果を発表・論文化する。 【専門性の探究】		
到達目標	<p>1) 研究計画書に沿って表記ができ、看護学科倫理審査委員会の承認を得ることができる。</p> <p>2) 研究計画に沿って必要なデータ収集、分析ができる。</p> <p>3) 執筆要項に沿って研究成果の記載が整えられ、期限までに提出できる。</p> <p>4) 学内発表会において研究成果が分かりやすく発表できる</p> <p>5) 上記1)～4)において積極性、主体性、自立性のある態度で取り組むことができる。</p>		
関連科目	看護研究概説、臨地実習など既習の科目全てと関連する。		
成績評価方法・基準	<p>成績評価は、以下、5項目の結果を総合し、指導教員が評価する。</p> <p>1) 研究計画書作成（30%）</p> <p>2) 研究実施状況（30%）</p> <p>3) 卒業論文作成（20%）</p> <p>4) 研究成果の発表（10%）</p> <p>5) 研究遂行への態度（10%）</p>		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>各指導教員の指導で研究を進めること。</p> <p>その際、自己が取り組む研究テーマについて積極的に文献等の情報収集を行い、研究計画書の作成、データ収集、データ分析、考察の作成を行う。指導教員や他の学生と積極的に意見交換し、多面的な思考ができるようにする。</p> <p>自己学習などに必要な時間は各学生で異なってくるため、研究の遂行にむけて計画を立てて取り組むようにする。</p>		
教科書	<p>教科書</p> <p>看護研究概説で用いた資料、教科書（系統看護学講座 別巻 看護研究（医学書院） <a href="https://www.igaku-shoin.co.jp/book/detail/89059">https://www.igaku-shoin.co.jp/book/detail/89059</a>）</p>		
参考書	<p>参考書</p> <p>1. 黒田裕子の看護研究step by Step、黒田裕子、医学書院</p> <p>2. ひとりで学べる看護研究、山口瑞穂子、石川ふみよ、照林社</p> <p>3. バーンズ&amp;グローブ 看護研究入門―実施・評価・活用―、ナンシー・バーンズ、スーザン・K・グローブ、エルゼビア・ジャパン</p> <p>など。随時、指導教員が紹介する。</p>		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		

履修条件・履修上の注意	主体的に取り組むこと。指導教官とのやり取りはアポイントメントを取ったうえで、指導を受けること。 研究上にて得られたデータの取り扱いや、データの入った記録媒体の取り扱いに注意すること。
アクティブ・ラーニングの実施	フィールドワーク（一部）、ディスカッション
ナンバリング	NSx-401